

根 室 市

市民意識調査報告書

平成29年9月

根 室 市

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の結果	1
3. 1 調査票の回収結果	1
3. 2 回答者の属性.....	1
3. 3 根室市の印象についての市民意識.....	7
3. 4 居住の満足度についての市民意識.....	13
3. 5 まち全体に対する満足度	17
3. 6 まちの将来像についての市民意識.....	25
3. 7 保険医療について	27
3. 8 少子化・子育て支援について	35
3. 9 高齢者支援について.....	37
3. 10 社会福祉について.....	41
3. 11 道路交通について.....	43
3. 12 生活環境について.....	45
3. 13 防災・減災対策について（防災対策として重要と考えていること）	47
3. 14 学校教育・社会教育について.....	49
3. 15 学校教育について（学校教育の充実のために市が力を注ぐべきこと）	51
3. 16 スポーツ・レクリエーション・文化について.....	53
3. 17 産業の振興について	55
3. 18 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）	57
3. 19 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）	59
3. 20 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）	61
3. 21 男女共同参画について	63
3. 22 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	65
4. 市民意識調査結果のまとめ.....	66
5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるK P Iの動向	69
6. 根室市創生総合戦略の評価.....	72
6. 1 基本目標別の政策評価の検討	72
6. 2 まとめ.....	94
資 料 編.....	97
資料1 市民意識調査自由回答（問24）	99
資料2. 市民アンケート調査票	123

1. 調査の目的

根室市では、平成 26 年度に、「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には、「根室市創生総合戦略」を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、根室市の一層の発展と豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところである。

これらの計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じた対応が不可欠である。

本調査は、平成 28 年度調査に引き続き根室市民 3,000 名を対象として根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施し、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として実施した。

2. 調査の方法

本調査は、16 歳以上の市民を対象として、無作為に 3,000 名を抽出し、第 9 期根室市総合計画の成果目標指標のうち市民意識に関する指標、及び根室市創生総合戦略における市民意識に関する K P I に係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。

また、アンケート調査の結果を各計画策定時における現状値、目標値との比較を行い、その達成状況と課題について検討した。

3. 調査の結果

3. 1 調査票の回収結果

アンケート調査の回収数は 869 票であり、有効回収率は 29.1%であった。

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
2,990	869	869	29.1%

3. 2 回答者の属性

(1) 地区別構成

回答者数の構成は、市街地地区住民が、全体の 85.8%を占め、西部地区住民は、5.9%、東部地区住民は 6.9%であった。

平成29年度調査

	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
地区別件数	746	51	60	12	869
	85.8%	5.9%	6.9%	1.4%	100.0%

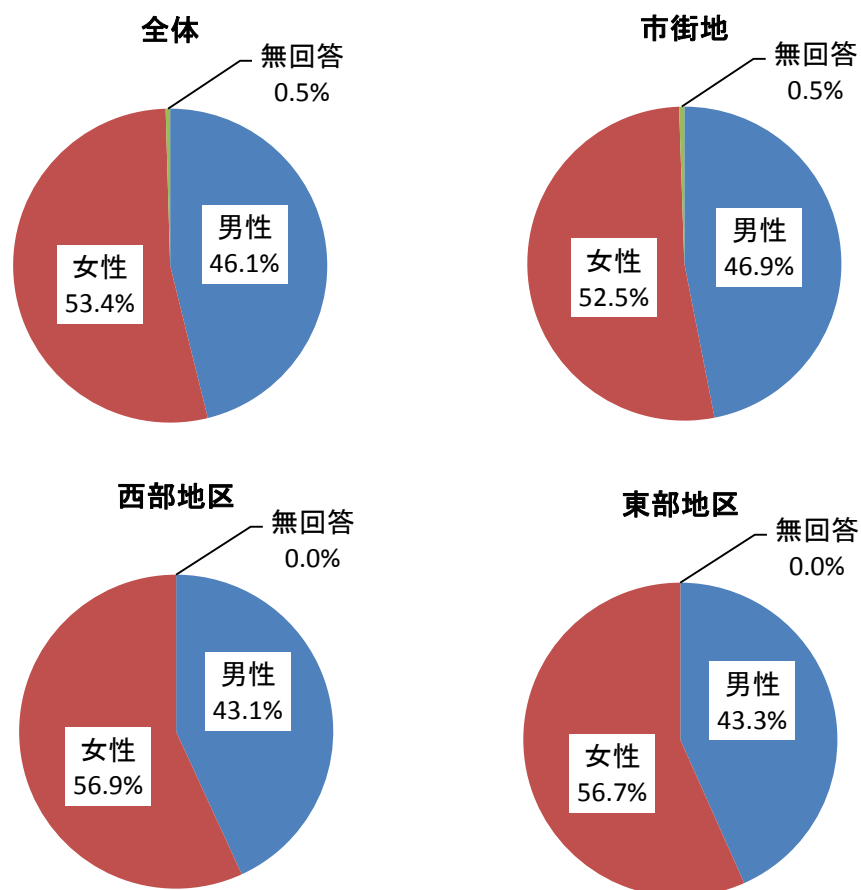
なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

地区区分

地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、檜昔、春国岱
東部地区	友知、双沖、齒舞、瑯瑤瑁、納沙布、温根元、豊里、牧の内

(2) 性別構成

回収票の性別構成をみると全体では、各地区ともやや女性の割合が高くなっている。



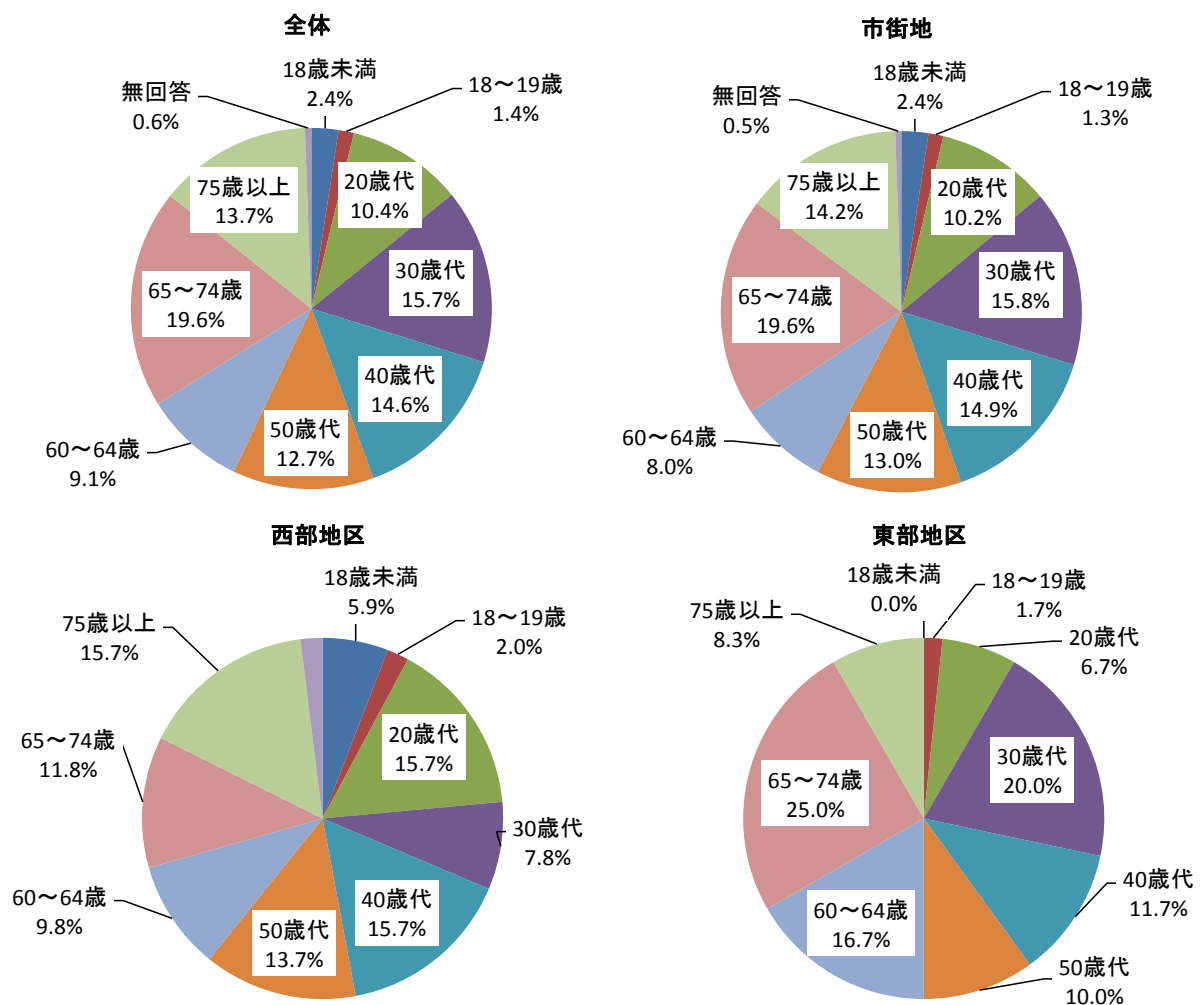
平成29年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
男性	350	22	26	3	401
女性	392	29	34	9	464
無回答	4				4
計	746	51	60	12	869
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
男性	46.9%	43.1%	43.3%	25.0%	46.1%
女性	52.5%	56.9%	56.7%	75.0%	53.4%
無回答	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 年齢別構成

回収票の年齢階層別構成をみると、各年齢階層から回答が得られている状況となっており、市街地地区では 65～74 歳が、西部地区では 20 歳代と 75 歳以上が、東部地区では 65～74 歳の割合がやや高い傾向がみられている。

前回調査と比較すると 60 歳未満の割合が減少し、60 歳以上の割合がやや増加している。



平成29年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	18	3	0	0	21
18～19歳	10	1	1	0	12
20歳代	76	8	4	2	90
30歳代	118	4	12	2	136
40歳代	111	8	7	1	127
50歳代	97	7	6	0	110
60～64歳	60	5	10	4	79
65～74歳	146	6	15	3	170
75歳以上	106	8	5	0	119
無回答	4	1	0	0	5
計	746	51	60	12	869
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	2.4%	5.9%	0.0%	0.0%	2.4%
18～19歳	1.3%	2.0%	1.7%	0.0%	1.4%
20歳代	10.2%	15.7%	6.7%	16.7%	10.4%
30歳代	15.8%	7.8%	20.0%	16.7%	15.7%
40歳代	14.9%	15.7%	11.7%	8.3%	14.6%
50歳代	13.0%	13.7%	10.0%	0.0%	12.7%
60～64歳	8.0%	9.8%	16.7%	33.3%	9.1%
65～74歳	19.6%	11.8%	25.0%	25.0%	19.6%
75歳以上	14.2%	15.7%	8.3%	0.0%	13.7%
無回答	0.5%	2.0%	0.0%	0.0%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

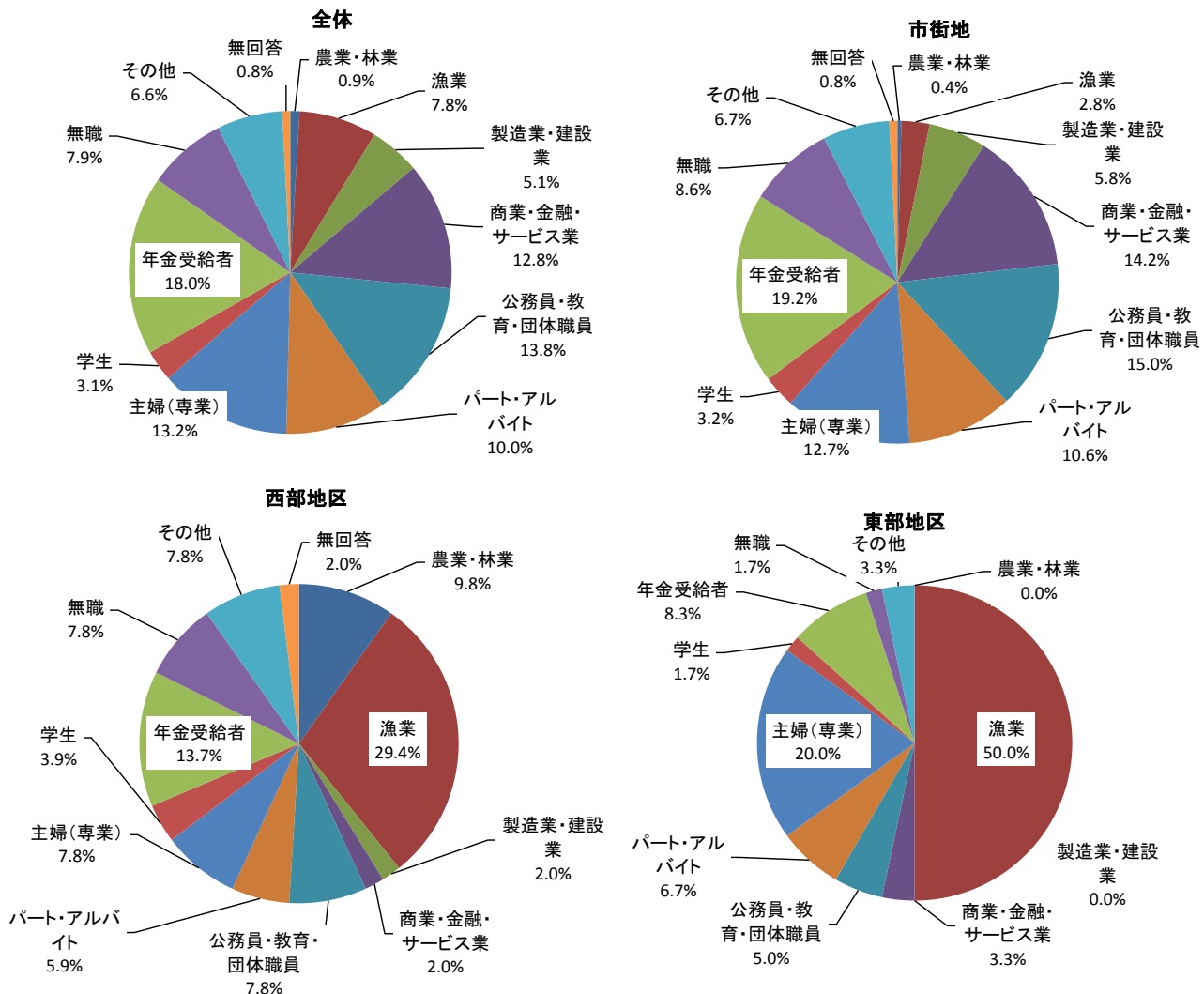
年齢層	平成 25 年度調査 構成比(a) (%)	平成 28 年度調査 構成比(b) (%)	平成 29 年度調査 構成比(c) (%)	増減率 (ポイント) b-a	増減率 (ポイント) c-b
30歳代以下	20. 8	31. 2%	29. 8%	+10. 4	- 1. 4
40～50歳代	31. 7	30. 7%	27. 3%	- 1. 0	- 3. 4
60歳以上	45. 9	37. 9%	42. 3%	- 8. 0	+ 4. 4

注：無回答を除く

(4) 職業別構成

職業別構成をみると、全体では年金受給者、公務員・教育・団体職員、専業主婦の順で多くなっているが、地区別で差がみられている。

市街地では、他の地区に比して年金受給者、公務員・教育・団体職員のほか、商業・金融・サービス業が多く、西部地区では漁業、年金受給者、農業・林業が多いが、他の地区に比して農業・林業の割合が高い。また、東部地区は漁業が 50%と最も多く、それぞれの地区で特徴がみられている。

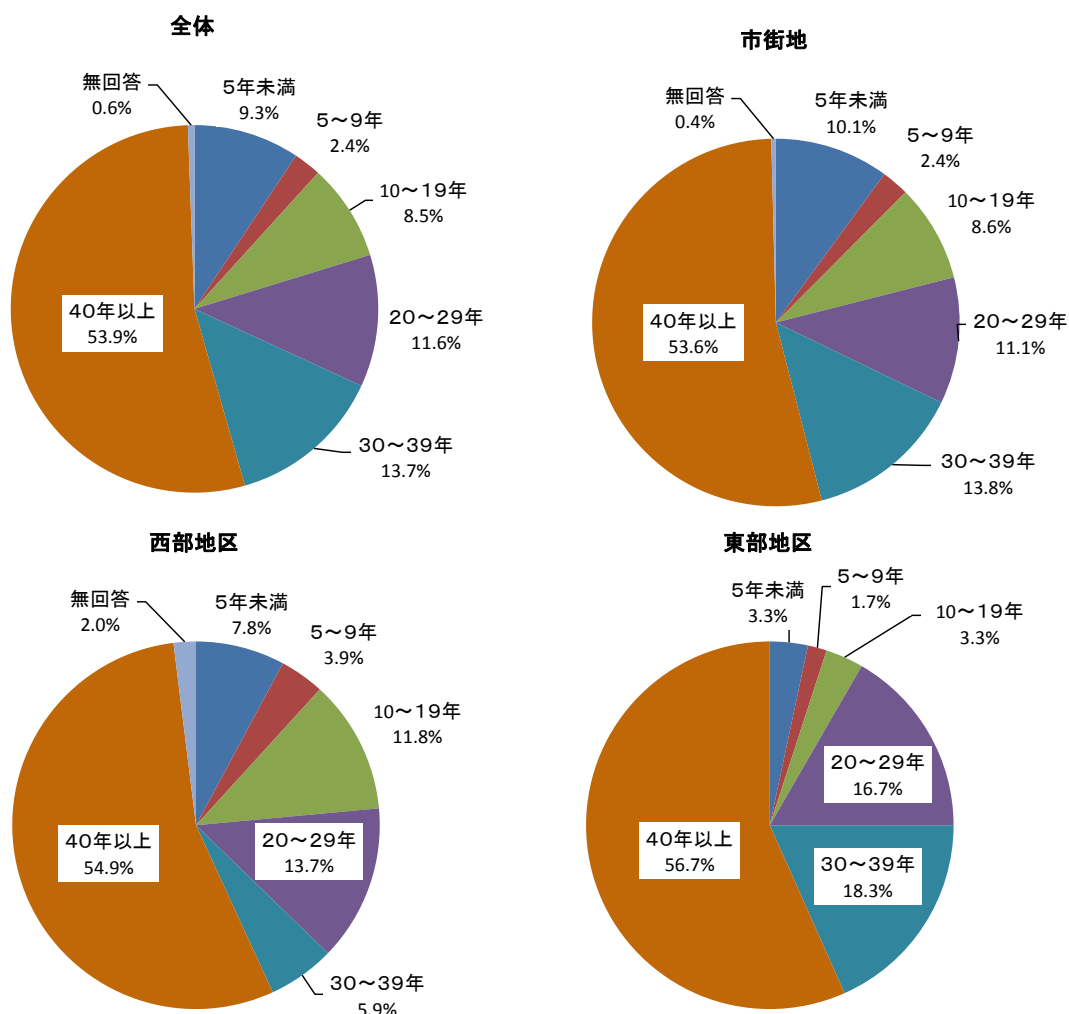


平成29年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	3	5	0	0	8
漁業	21	15	30	2	68
製造業・建設業	43	1	0	0	44
商業・金融・サービス業	106	1	2	2	111
公務員・教育・団体職員	112	4	3	1	120
パート・アルバイト	79	3	4	1	87
主婦(専業)	95	4	12	4	115
学生	24	2	1	0	27
年金受給者	143	7	5	1	156
無職	64	4	1	0	69
その他	50	4	2	1	57
無回答	6	1		0	7
計	746	51	60	12	869
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0.4%	9.8%	0.0%	0.0%	0.9%
漁業	2.8%	29.4%	50.0%	16.7%	7.8%
製造業・建設業	5.8%	2.0%	0.0%	0.0%	5.1%
商業・金融・サービス業	14.2%	2.0%	3.3%	16.7%	12.8%
公務員・教育・団体職員	15.0%	7.8%	5.0%	8.3%	13.8%
パート・アルバイト	10.6%	5.9%	6.7%	8.3%	10.0%
主婦(専業)	12.7%	7.8%	20.0%	33.3%	13.2%
学生	3.2%	3.9%	1.7%	0.0%	3.1%
年金受給者	19.2%	13.7%	8.3%	8.3%	18.0%
無職	8.6%	7.8%	1.7%	0.0%	7.9%
その他	6.7%	7.8%	3.3%	8.3%	6.6%
無回答	0.8%	2.0%	0.0%	0.0%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 居住年数

根室市での居住年数についてみると、どの地区も 40 年以上居住している回答者の割合が最も高くなっているが、市街地では 5 年未満の回答者の割合がやや高く、東部地区は 20 年以上の居住者の割合が高くなっている。



平成29年度調査

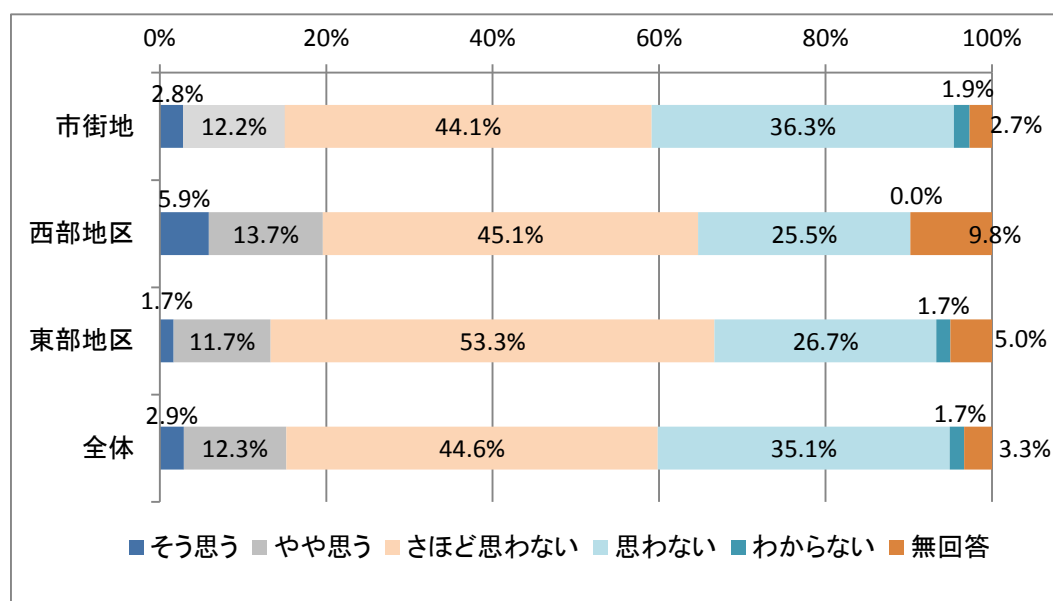
	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	75	4	2	0	81
5～9年	18	2	1	0	21
10～19年	64	6	2	2	74
20～29年	83	7	10	1	101
30～39年	103	3	11	2	119
40年以上	400	28	34	6	468
無回答	3	1		1	5
計	746	51	60	12	869
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	10.1%	7.8%	3.3%	0.0%	9.3%
5～9年	2.4%	3.9%	1.7%	0.0%	2.4%
10～19年	8.6%	11.8%	3.3%	16.7%	8.5%
20～29年	11.1%	13.7%	16.7%	8.3%	11.6%
30～39年	13.8%	5.9%	18.3%	16.7%	13.7%
40年以上	53.6%	54.9%	56.7%	50.0%	53.9%
無回答	0.4%	2.0%	0.0%	8.3%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 3 根室市の印象についての市民意識

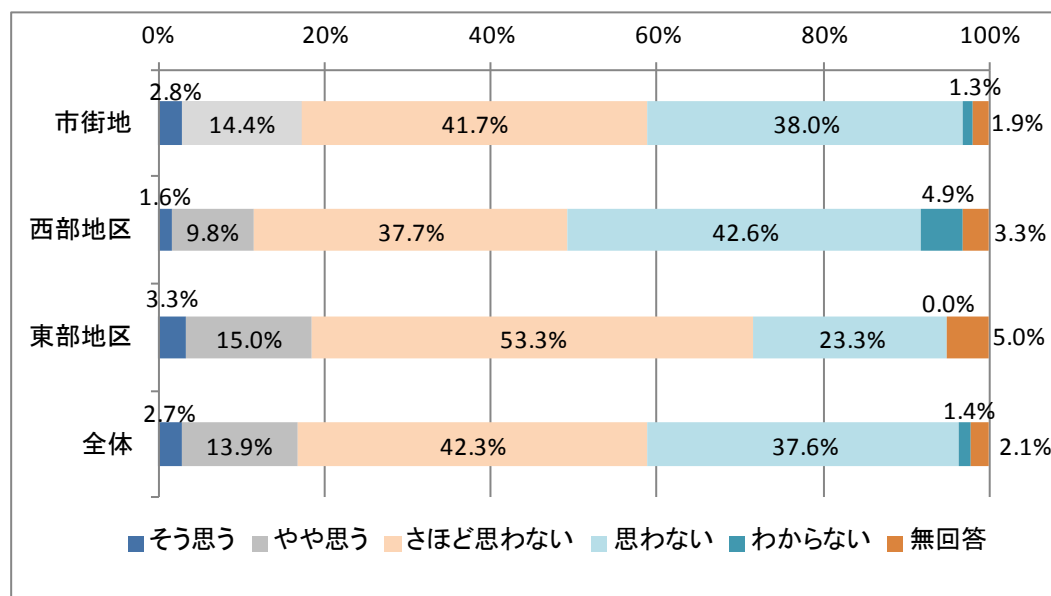
(1) 明るいまち

根室市のイメージとして「明るいまち」と思っている住民の割合は、どの地区も 20%未満となっており、昨年度の調査結果と比較して、西部地区でやや増加しているものの、全体としてはやや低下している。

<29 年度調査>



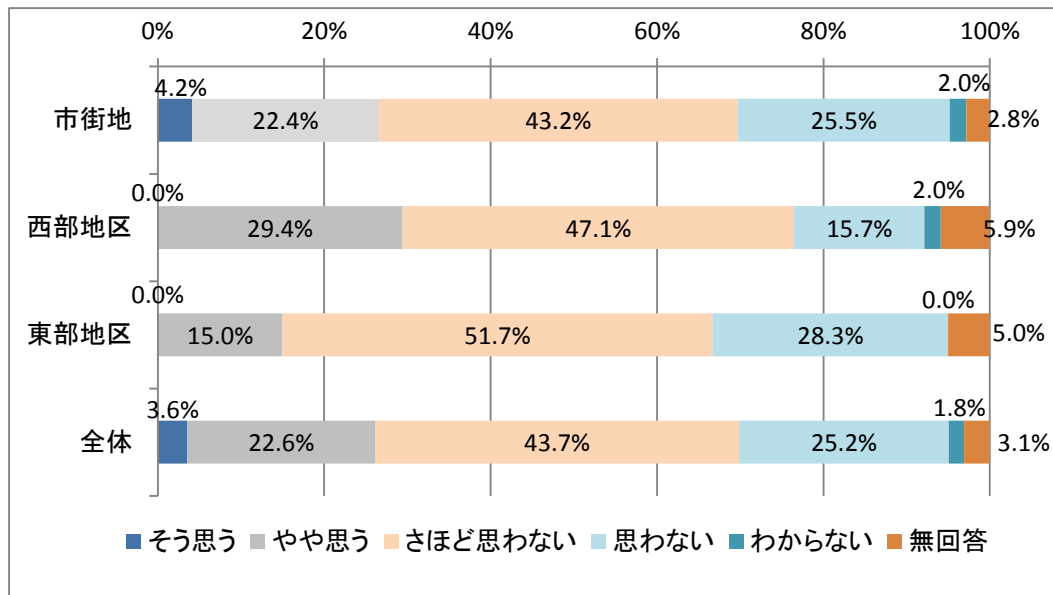
<28 年度調査>



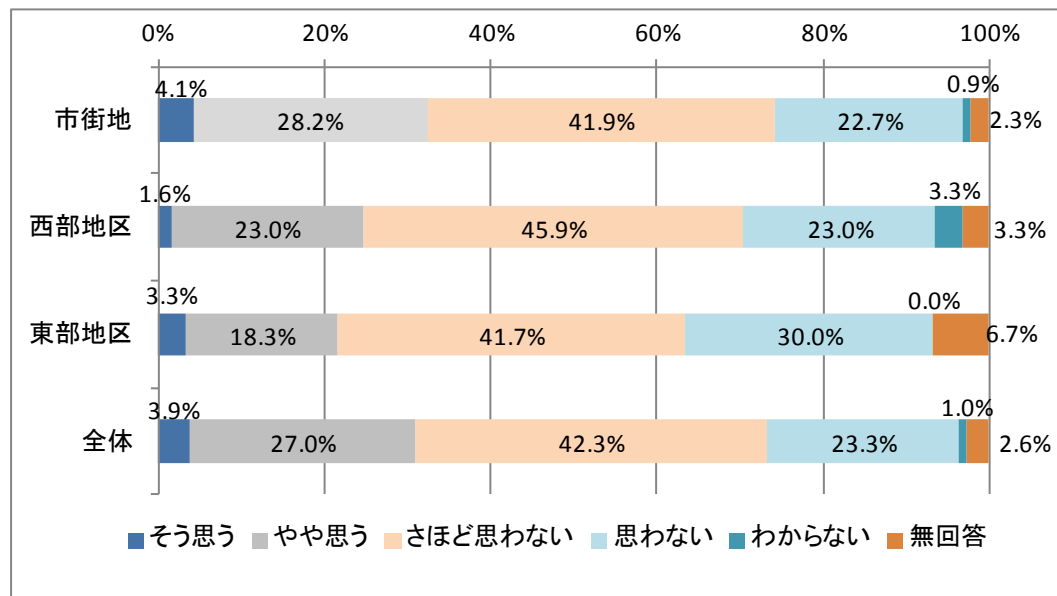
(2) 清潔なまち

「清潔なまち」のイメージについては、各地区とも「明るいまち」に対する印象よりは、やや肯定的な回答が多いものの、2割代に留まっており、前回調査とほぼ同様の傾向となっている。

<29 年度調査>



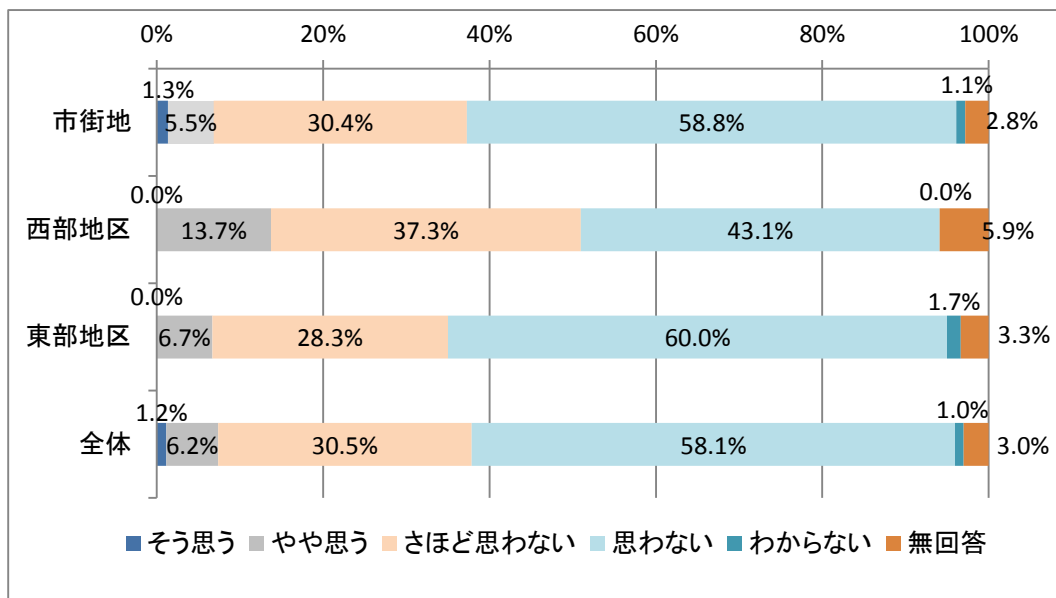
<28 年度調査>



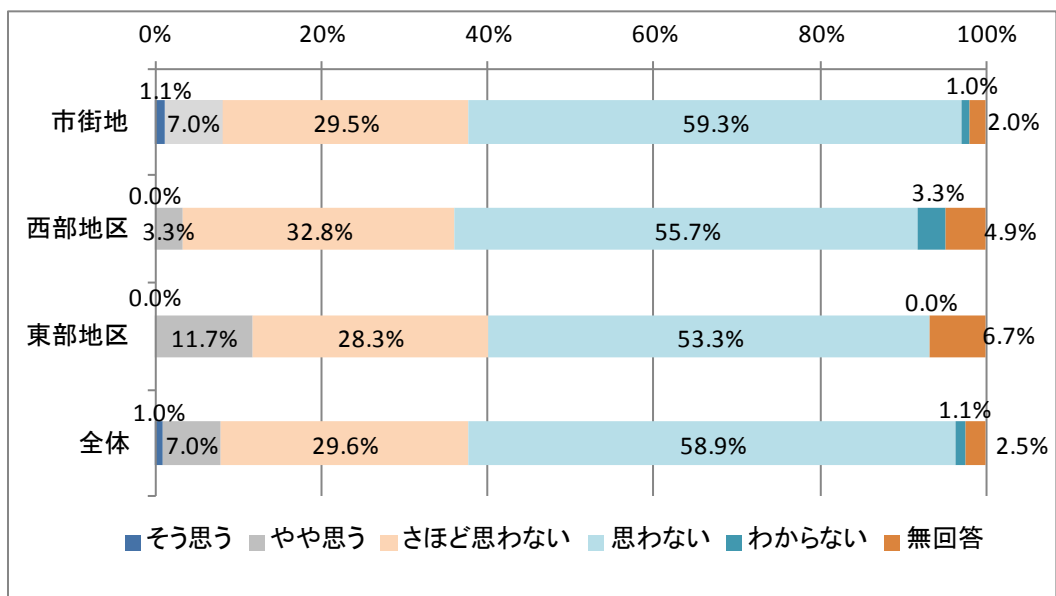
(3) 活気のあるまち

「活気のあるまち」のイメージは、各地区とも低く、肯定的な印象をもっている住民の割合は、概ね1割弱にとどまっており、西部地区で増加しているものの全体では、前回調査よりも低下している。

<29 年度調査>



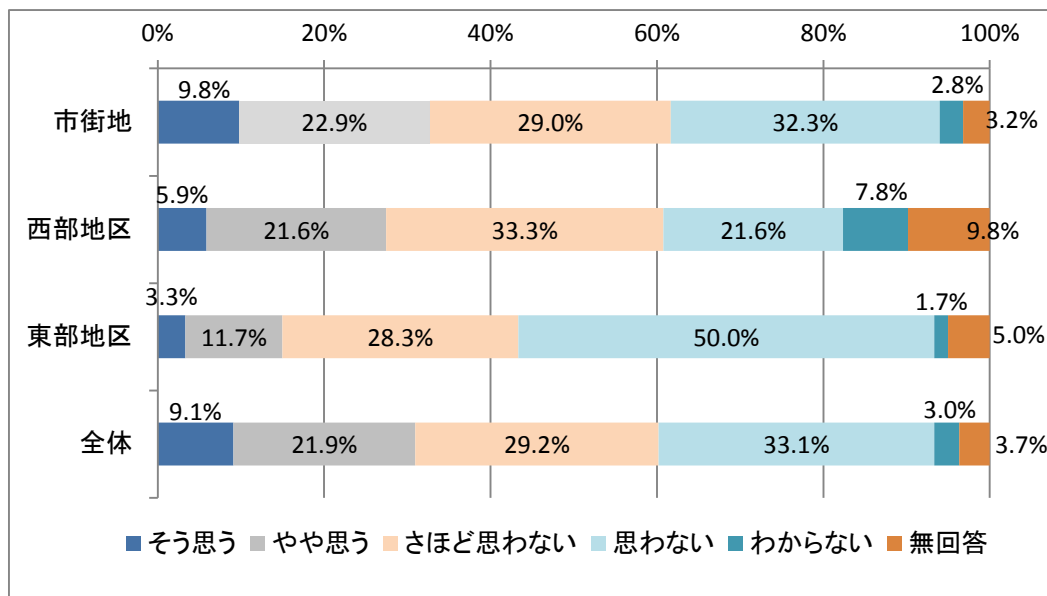
<28 年度調査>



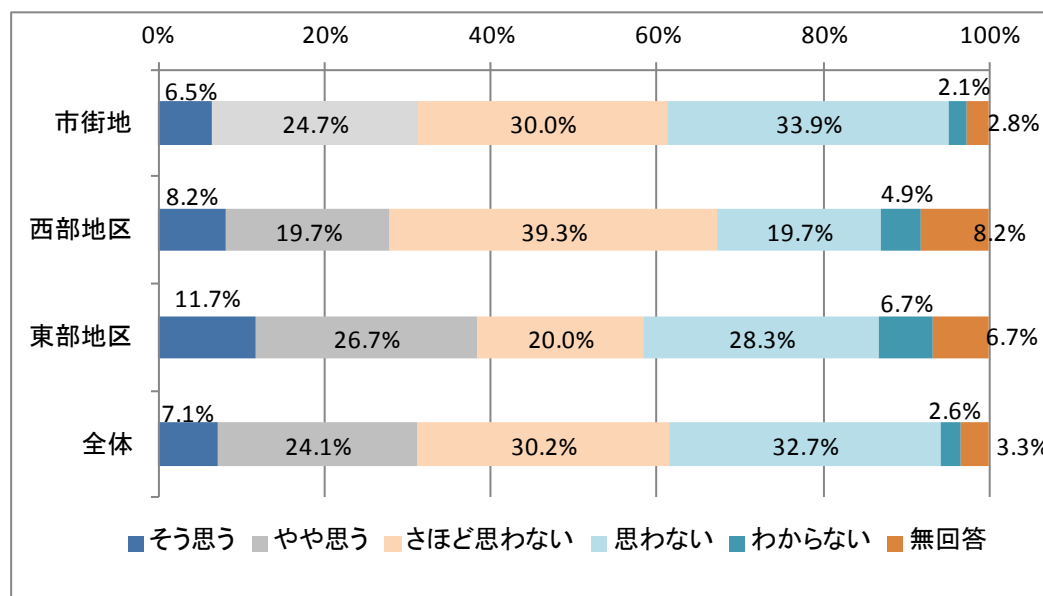
(4) 個性（特色）のあるまち

「個性のあるまち」のイメージについては、東部地区以外は3割前後が肯定的な印象をもっており、前回調査とほぼ同様の結果となっているが、東部地区で評価が大幅に低下している。

<29 年度調査>



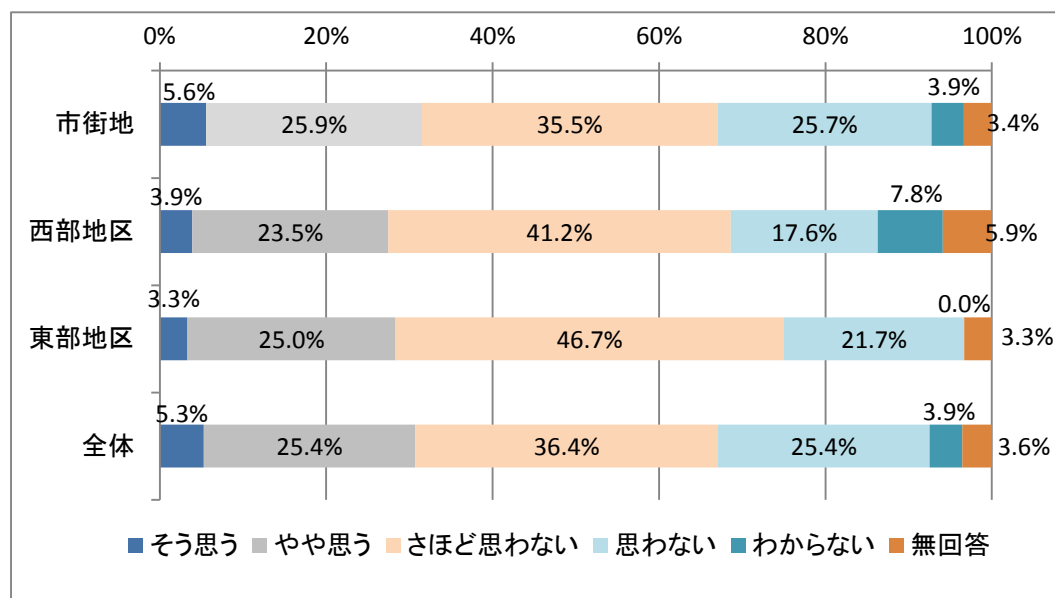
<28 年度調査>



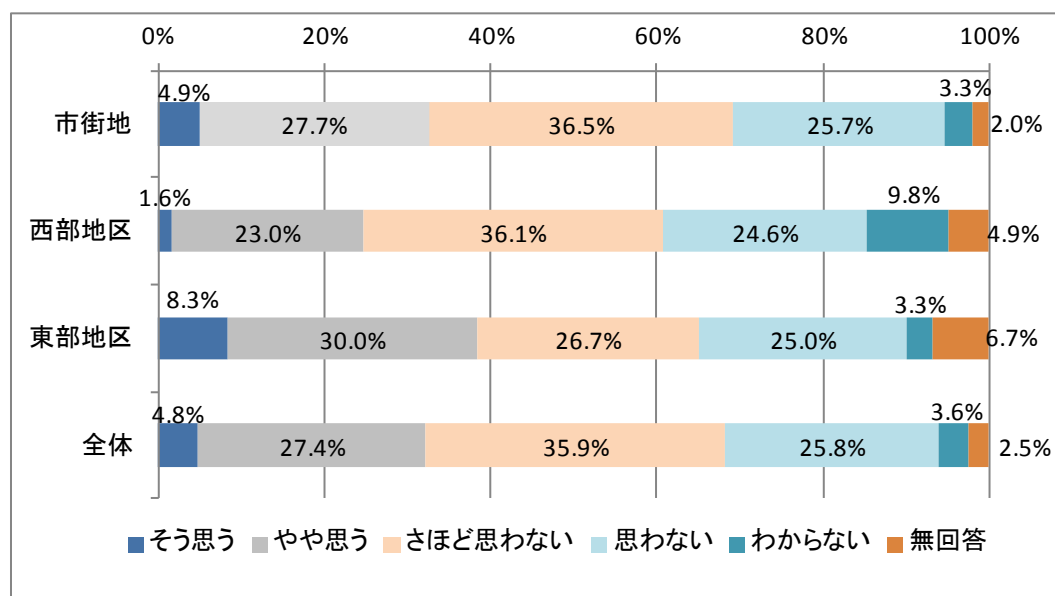
（５）ふれあいや連帯感のあるまち

「ふれあいや連帯感のあるまち」のイメージについても、「個性のあるまち」のイメージと同様、総じて３割前後が肯定的な印象をもっているものの、東部地区では評価が１０ポイント以上低下している。

<29 年度調査>



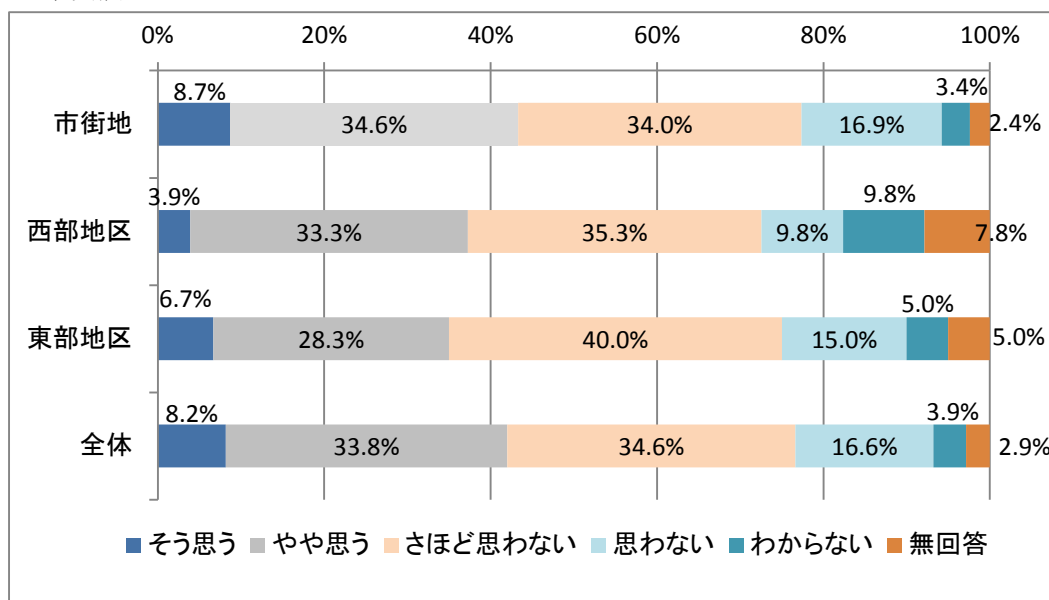
<28 年度調査>



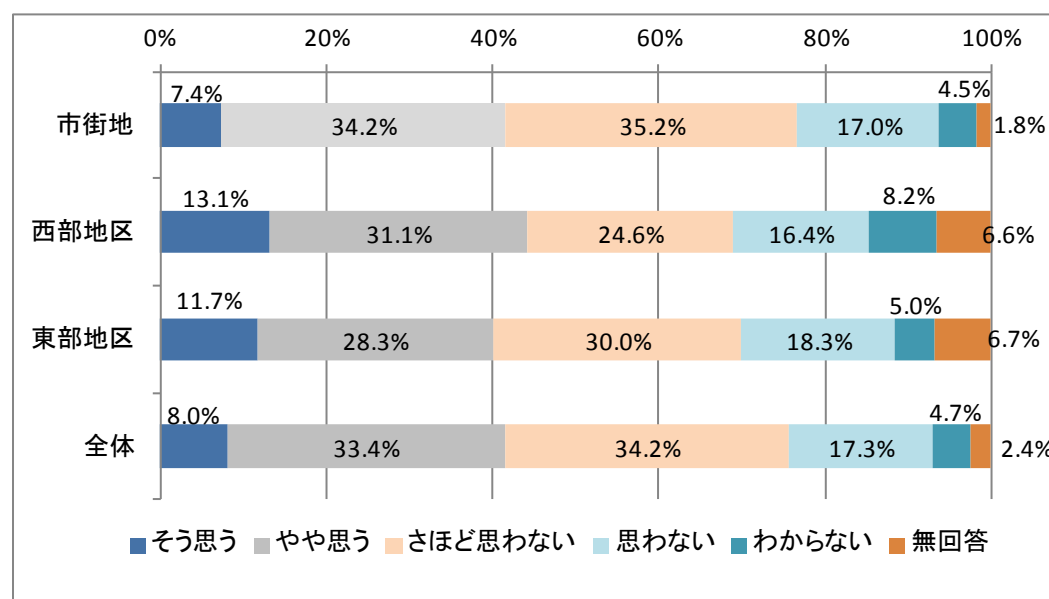
（６）市民として誇りや郷土愛があるまち

「市民として誇りや郷土愛があるまち」のイメージについては、概ね４割前後の肯定的な回答を占めている。前回調査と比較すると西部地区と東部地区では、やや評価がやや低下している。

<29 年度調査>



<28 年度調査>

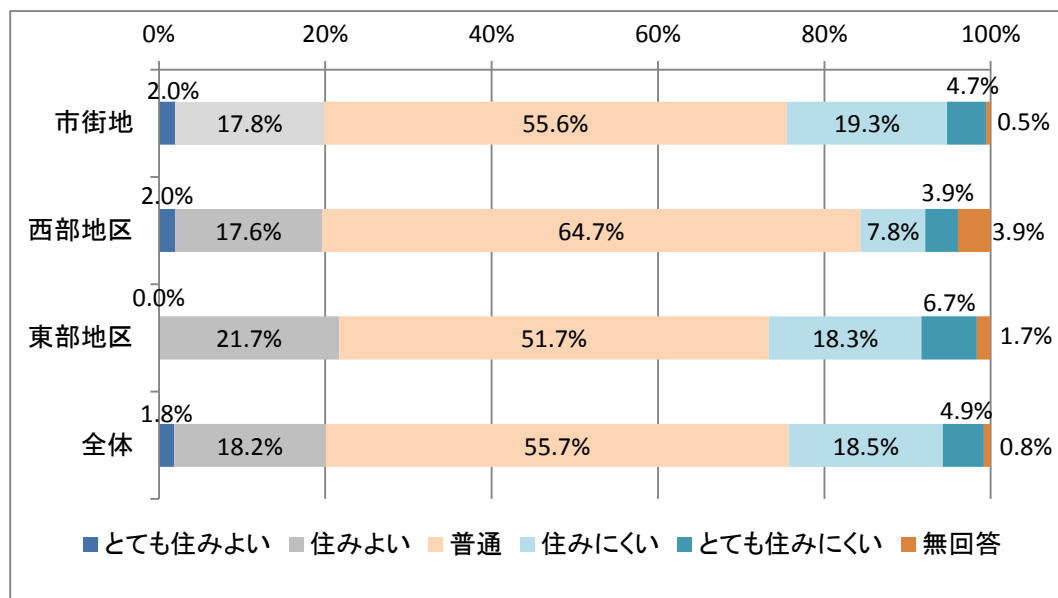


3. 4 居住の満足度についての市民意識

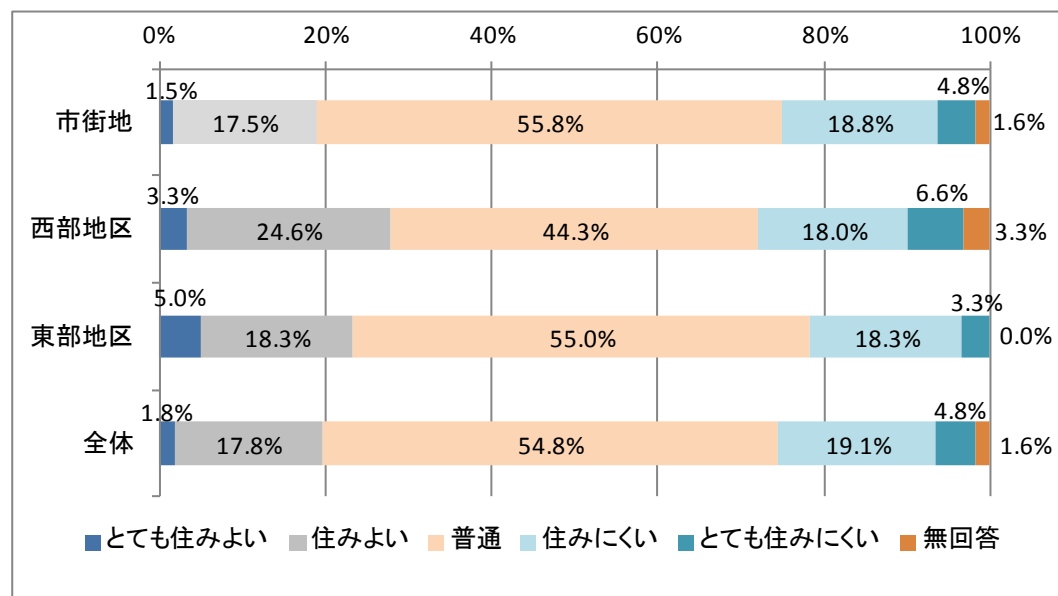
(1) 居住の満足度（住みやすいと思っているか）

根室市を住みよいまちと思っているかについては、総じて2割程度にとどまっているが、西部地区及び東部地区は、前回調査をやや下回る結果となっている。

<29 年度調査>



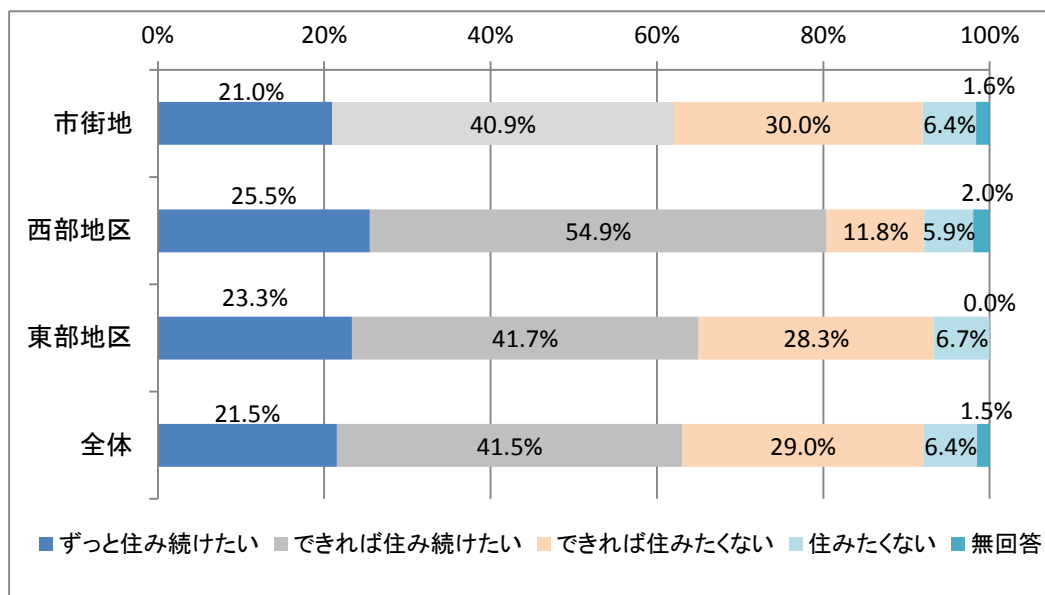
<28 年度調査>



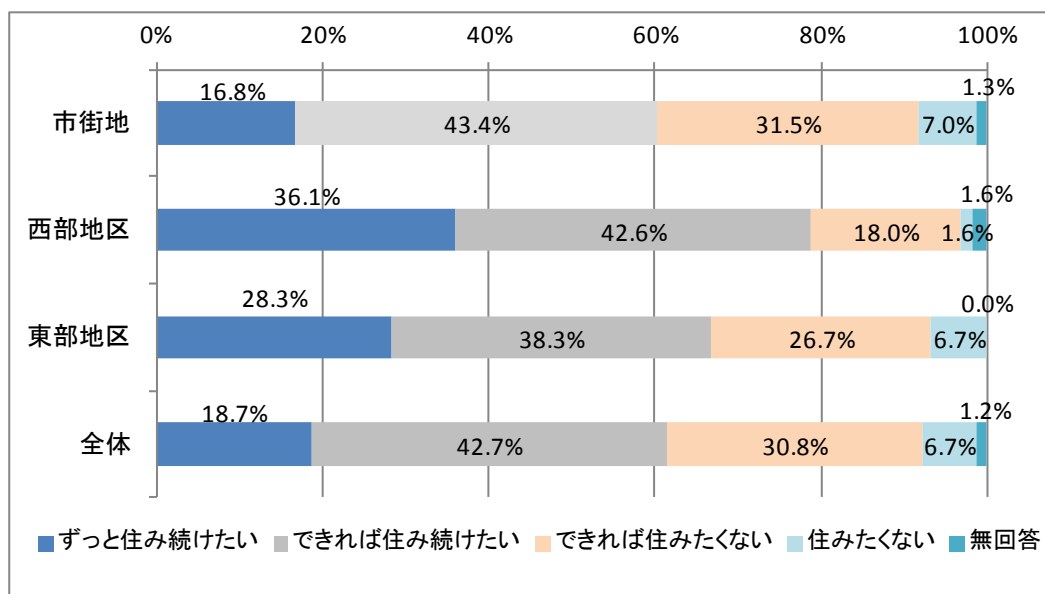
（２）定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

根室市の住みやすさについては、否定的な回答が多かったが、住み続けたいかどうかについては、各地区とも６割を超えており、定住意向が強いことが把握され、前回調査と同様の傾向となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



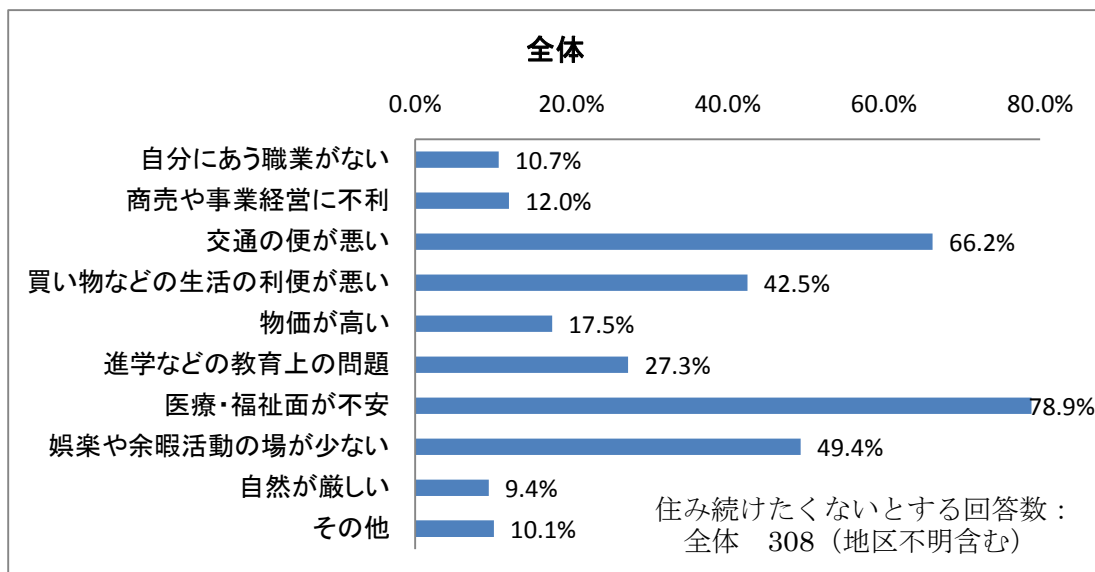
(3) 住み続けたくない理由

①根室市全体

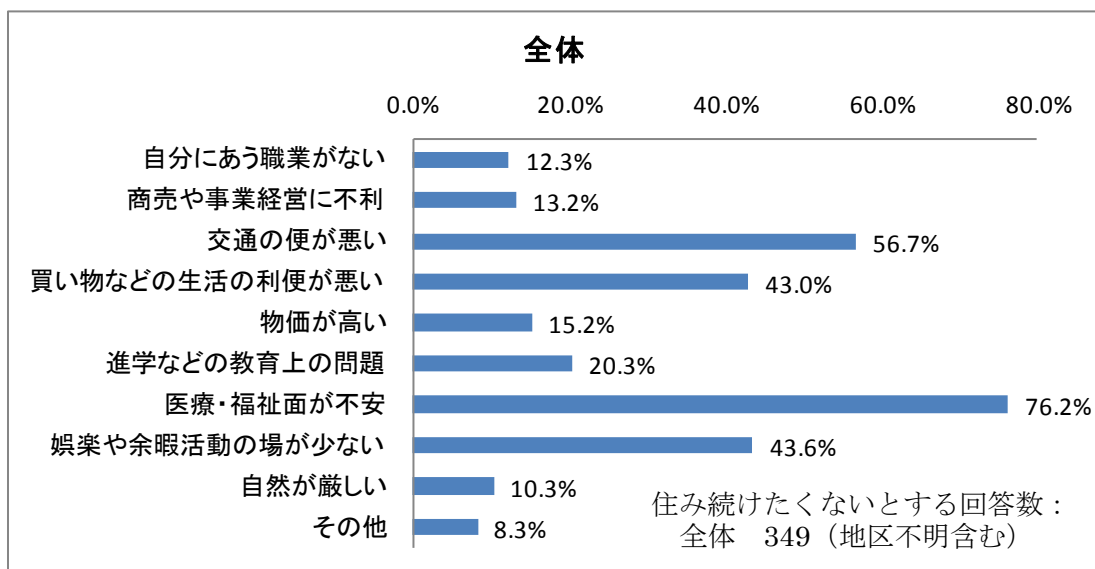
根室市に住み続けたくないとする住民割合は、全体で4割弱となっており、前回調査とほぼ同程度となっている。この住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が78.9%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」、「買い物などの生活の利便が悪い」の順となっており、前回調査と同じ結果となっている。

前回調査と比較すると、職業に起因する理由は、やや減少し、生活環境、利便性に対する不満度合いを高めている状況が把握される。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



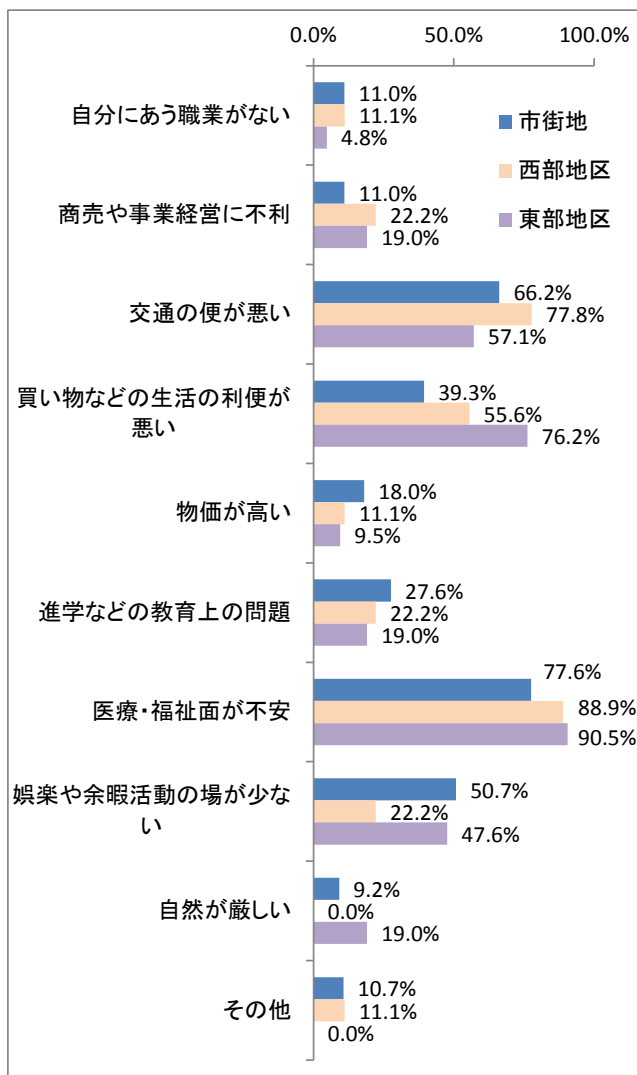
注：本設問は3つまでの選択を求めている

②地区別

地区別にみると、「医療・福祉面での不安」や「交通の便が悪い」は、すべての地区で前回調査を上回っている。

また、「買い物等の生活利便性が悪い」とする回答割合は、市街地では減少しているものの、西部地区、東部地区とも増加している。

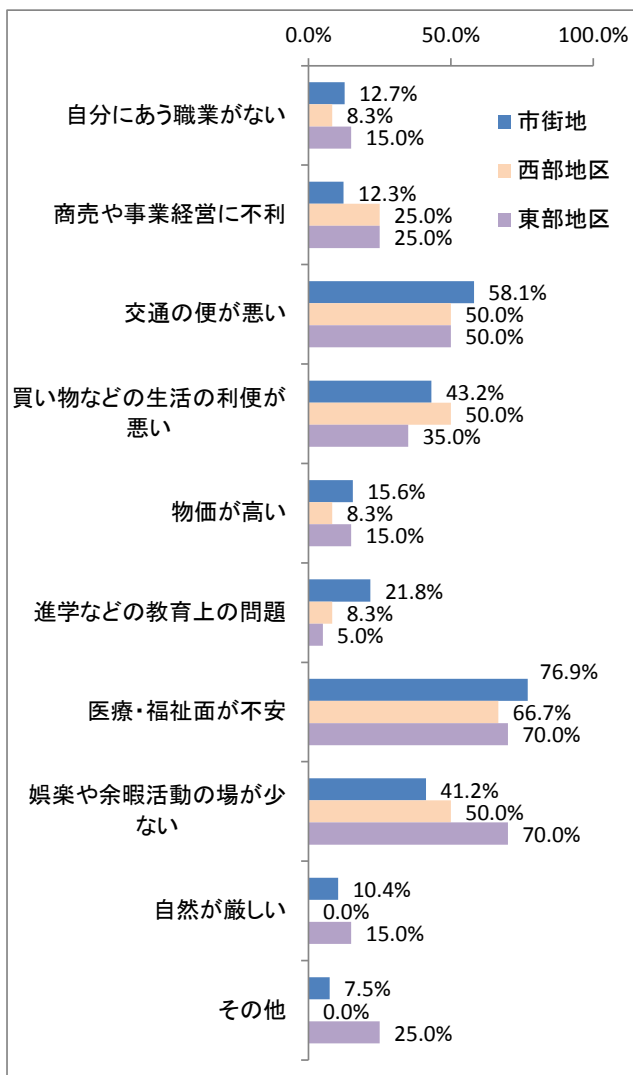
<29 年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 272 件
西部地区 : 9 件
東部地区 : 21 件

<28 年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 308 件
西部地区 : 12 件
東部地区 : 20 件

注：本設問は3つまでの選択を求めている

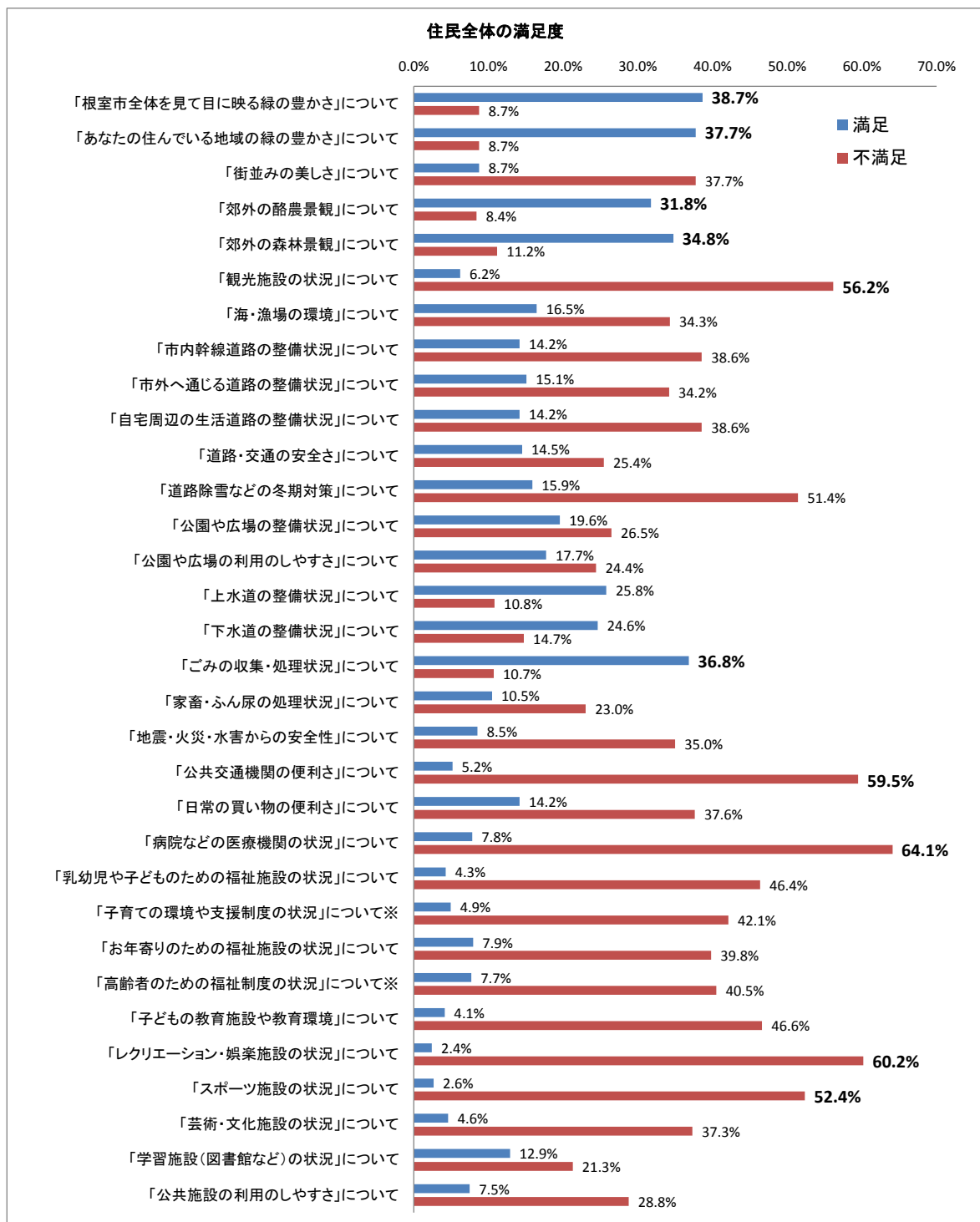
3. 5 まち全体に対する満足度

(1) 市民全体

根室市の現状についての満足度を「満足」及び「やや満足」を満足とし、「不満」及び「やや不満」を不満として、各項目の満足度をみた。

回答者全体では、満足度の高い項目は、「緑の豊かさ」「森林景観」「酪農景観」といった自然景観のほか、「ごみの収集・処理状況」「上水道の整備状況」があげられており、概ね3割以上となっている。

不満度の高い項目は、「病院などの医療機関の状況」「レクリエーション・娯楽施設の状況」「公共交通機関の便利さ」「観光施設の状況」である。



今回の結果を平成 25 年調査の結果と比較すると、「根室市全体の緑の豊かさ」「住んでいる地域の緑の豊かさ」「家畜・ふん尿の処理状況について」の 3 項目以外は、すべて満足度が低下している。ただし、不満度も低下している項目も比較的多くみられていることから、満足ではないが不満でもないとの回答者の割合が増加していると見るべきであろう。

自然や町並み等の景観、身近な道路の整備、交通の安全性、下水道整備、ごみ処理、公共施設の利用のしやすさ等の項目は、「普通」という意識が高くなっている項目である。

一方、観光施設、幹線道路、市外へ通じる道路、公共交通、日常の買い物利便性、医療環境、教育、スポーツ・レクリエーション施設等に関しては、不満度が高まっている状況がうかがえる。

全体

項目	満足				不満足			
	29年調査	28年調査	25年調査	増減	29年調査	28年調査	25年調査	増減
「根室市全体を見て目に映る緑の豊かさ」について	38.7%	41.7%	38.3%	△	8.7%	8.6%	12.9%	▼
「あなたの住んでいる地域の緑の豊かさ」について	37.7%	38.4%	36.5%	△	8.7%	10.2%	13.7%	▼
「街並みの美しさ」について	8.7%	11.8%	10.5%	▼	37.7%	36.1%	39.6%	▼
「郊外の酪農景観」について	31.8%	37.2%	34.3%	▼	8.4%	7.8%	10.2%	▼
「郊外の森林景観」について	34.8%	37.8%	35.9%	▼	11.2%	9.8%	11.7%	▼
「観光施設の状況」について	6.2%	6.4%	8.7%	▼	56.2%	59.1%	53.0%	△
「海・漁場の環境」について	16.5%	20.8%	18.2%	▼	34.3%	32.7%	29.1%	△
「市内幹線道路の整備状況」について	14.2%	16.0%	20.0%	▼	38.6%	37.2%	33.0%	△
「市外へ通じる道路の整備状況」について	15.1%	17.1%	20.7%	▼	34.2%	32.0%	28.3%	△
「自宅周辺の生活道路の整備状況」について	14.2%	15.8%	17.7%	▼	38.6%	37.4%	40.8%	▼
「道路・交通の安全性」について	14.5%	16.7%	18.1%	▼	25.4%	27.5%	25.5%	▼
「道路除雪などの冬期対策」について	15.9%	12.2%	19.5%	▼	51.4%	53.3%	47.2%	△
「公園や広場の整備状況」について	19.6%	19.0%	20.7%	▼	26.5%	26.4%	28.0%	▼
「公園や広場の利用のしやすさ」について	17.7%	18.0%	19.9%	▼	24.4%	24.8%	26.3%	▼
「上水道の整備状況」について	25.8%	27.4%	29.9%	▼	10.8%	8.6%	10.4%	△
「下水道の整備状況」について	24.6%	25.3%	26.6%	▼	14.7%	13.0%	17.7%	▼
「ごみの収集・処理状況」について	36.8%	36.8%	39.3%	▼	10.7%	12.9%	14.8%	▼
「家畜・ふん尿の処理状況」について	10.5%	12.9%	10.0%	△	23.0%	22.5%	25.6%	▼
「地震・火災・水害からの安全性」について	8.5%	9.3%	10.0%	▼	35.0%	43.1%	36.0%	▼
「公共交通機関の便利さ」について	5.2%	4.5%	9.5%	▼	59.5%	58.7%	51.2%	△
「日常の買い物の便利さ」について	14.2%	13.0%	22.5%	▼	37.6%	40.6%	32.0%	△
「病院などの医療機関の状況」について	7.8%	6.0%	10.3%	▼	64.1%	69.5%	61.9%	△
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	4.3%	4.0%	5.8%	▼	46.4%	47.7%	45.5%	△
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	4.9%	5.2%	—	—	42.1%	41.6%	—	—
「お年寄りのための福祉施設の状況」について	7.9%	7.2%	8.9%	▼	39.8%	39.3%	40.8%	▼
「高齢者のための福祉制度の状況」について※	7.7%	6.8%	—	—	40.5%	40.1%	—	—
「子どもの教育施設や教育環境」について	4.1%	4.7%	5.4%	▼	46.6%	42.8%	43.3%	△
「レクリエーション・娯楽施設の状況」について	2.4%	3.1%	3.6%	▼	60.2%	59.7%	57.1%	△
「スポーツ施設の状況」について	2.6%	5.5%	5.7%	▼	52.4%	50.9%	45.2%	△
「芸術・文化施設の状況」について	4.6%	4.1%	8.3%	▼	37.3%	38.5%	37.5%	▼
「学習施設(図書館など)の状況」について	12.9%	12.3%	16.4%	▼	21.3%	22.7%	22.9%	▼
「公共施設の利用のしやすさ」について	7.5%	8.5%	9.7%	▼	28.8%	31.0%	28.9%	▼

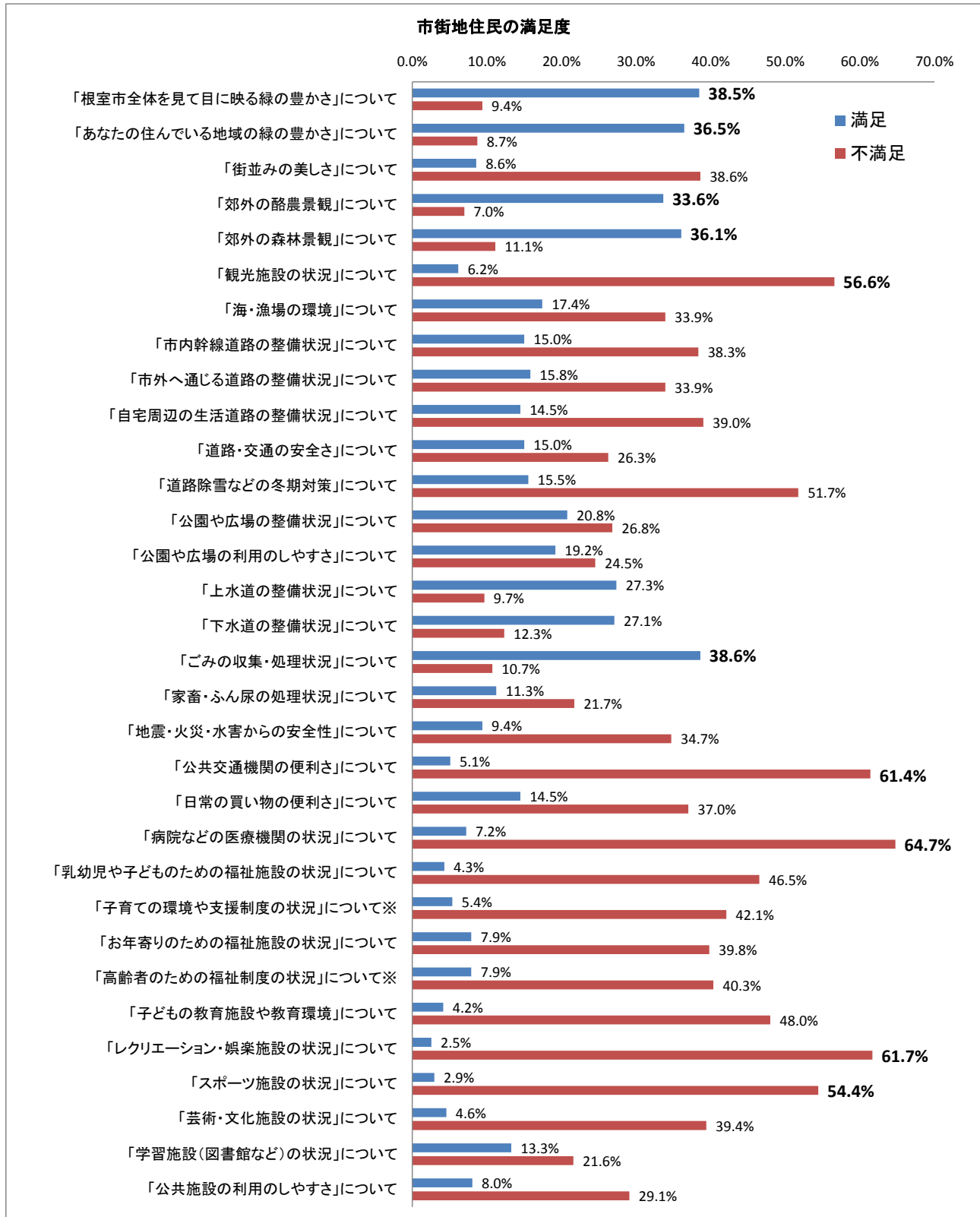
注: ※は平成28年度調査から追加した項目

: △は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

: 「増減」は平成25年調査に対する平成29年調査の増減である

（２）市街地住民の満足度

市街地住民の満足度及び不満意識は、回答者数が全体の８割を市街地住民で占めていることから、ほぼ回答者全体とほぼ同じ傾向を示している。満足度の高かった項目は、「ごみの収集・処理状況」「緑の豊かさ」、不満度の高い項目は、「病院などの医療機関の状況」「レクリエーション・娯楽施設の状況」、「公共交通機関の便利さ」、「観光施設の状況」となっている。



平成 25 年調査と比較してみると、全体とほぼ同様の傾向であり、自然や町並み等の景観、下水道、ごみ処理、家畜ふん尿、公共施設の利用のしやすさ等に関しては、満足度が高くなっている、もしくは不満度が低下している。

しかし、観光施設、交通、医療、買い物、スポーツ・レクリエーション施設等に関しては、総じて不満度が高まっている状況となっている。

項目	満足				不満足			
	29年調査	28年調査	25年調査	増減	29年調査	28年調査	25年調査	増減
「根室市全体を見て目に映る緑の豊かさ」について	38.5%	41.9%	37.9%	△	9.4%	8.4%	13.8%	▼
「あなたの住んでいる地域の緑の豊かさ」について	36.5%	36.4%	33.9%	△	8.7%	10.4%	14.2%	▼
「街並みの美しさ」について	8.6%	12.4%	10.4%	▼	38.6%	36.0%	40.8%	▼
「郊外の酪農景観」について	33.6%	38.0%	35.8%	▼	7.0%	7.9%	8.6%	▼
「郊外の森林景観」について	36.1%	38.7%	36.1%	△	11.1%	9.4%	11.7%	▼
「観光施設の状況」について	6.2%	6.6%	7.7%	▼	56.6%	58.8%	55.4%	△
「海・漁場の環境」について	17.4%	21.9%	18.7%	▼	33.9%	31.8%	28.6%	△
「市内幹線道路の整備状況」について	15.0%	16.6%	19.9%	▼	38.3%	36.8%	34.1%	△
「市外へ通じる道路の整備状況」について	15.8%	17.6%	20.3%	▼	33.9%	31.5%	28.6%	△
「自宅周辺の生活道路の整備状況」について	14.5%	16.5%	17.5%	▼	39.0%	36.2%	40.7%	▼
「道路・交通の安全性」について	15.0%	17.1%	17.9%	▼	26.3%	27.7%	26.8%	▼
「道路除雪などの冬期対策」について	15.5%	12.4%	18.5%	▼	51.7%	52.8%	49.0%	△
「公園や広場の整備状況」について	20.8%	20.4%	21.3%	▼	26.8%	26.5%	28.3%	▼
「公園や広場の利用のしやすさ」について	19.2%	19.0%	20.7%	▼	24.5%	24.4%	25.9%	▼
「上水道の整備状況」について	27.3%	29.8%	31.5%	▼	9.7%	8.0%	9.2%	△
「下水道の整備状況」について	27.1%	28.0%	29.9%	▼	12.3%	11.3%	14.4%	▼
「ごみの収集・処理状況」について	38.6%	38.2%	40.4%	▼	10.7%	13.0%	14.8%	▼
「家畜・ふん尿の処理状況」について	11.3%	13.4%	10.3%	△	21.7%	21.0%	24.1%	▼
「地震・火災・水害からの安全性」について	9.4%	9.3%	10.3%	▼	34.7%	43.6%	33.4%	△
「公共交通機関の便利さ」について	5.1%	4.8%	10.4%	▼	61.4%	58.8%	51.4%	△
「日常の買い物の便利さ」について	14.5%	13.8%	23.9%	▼	37.0%	39.2%	31.7%	△
「病院などの医療機関の状況」について	7.2%	6.0%	10.4%	▼	64.7%	69.3%	62.7%	△
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	4.3%	4.1%	5.4%	▼	46.5%	47.9%	46.2%	△
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	5.4%	5.4%	—	—	42.1%	42.2%	—	—
「お年寄りのための福祉施設の状況」について	7.9%	8.0%	8.7%	▼	39.8%	38.9%	42.0%	▼
「高齢者のための福祉制度の状況」について※	7.9%	7.1%	—	—	40.3%	39.8%	—	—
「子どもの教育施設や教育環境」について	4.2%	4.6%	4.8%	▼	48.0%	44.2%	44.6%	△
「レクリエーション・娯楽施設の状況」について	2.5%	3.5%	3.4%	▼	61.7%	60.5%	58.0%	△
「スポーツ施設の状況」について	2.9%	5.8%	5.4%	▼	54.4%	50.6%	46.1%	△
「芸術・文化施設の状況」について	4.6%	4.1%	8.5%	▼	39.4%	38.3%	38.5%	△
「学習施設(図書館など)の状況」について	13.3%	13.0%	17.0%	▼	21.6%	22.8%	23.2%	▼
「公共施設の利用のしやすさ」について	8.0%	9.4%	9.4%	▼	29.1%	30.9%	30.0%	▼

注：※は平成28年度調査から追加した項目

：△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

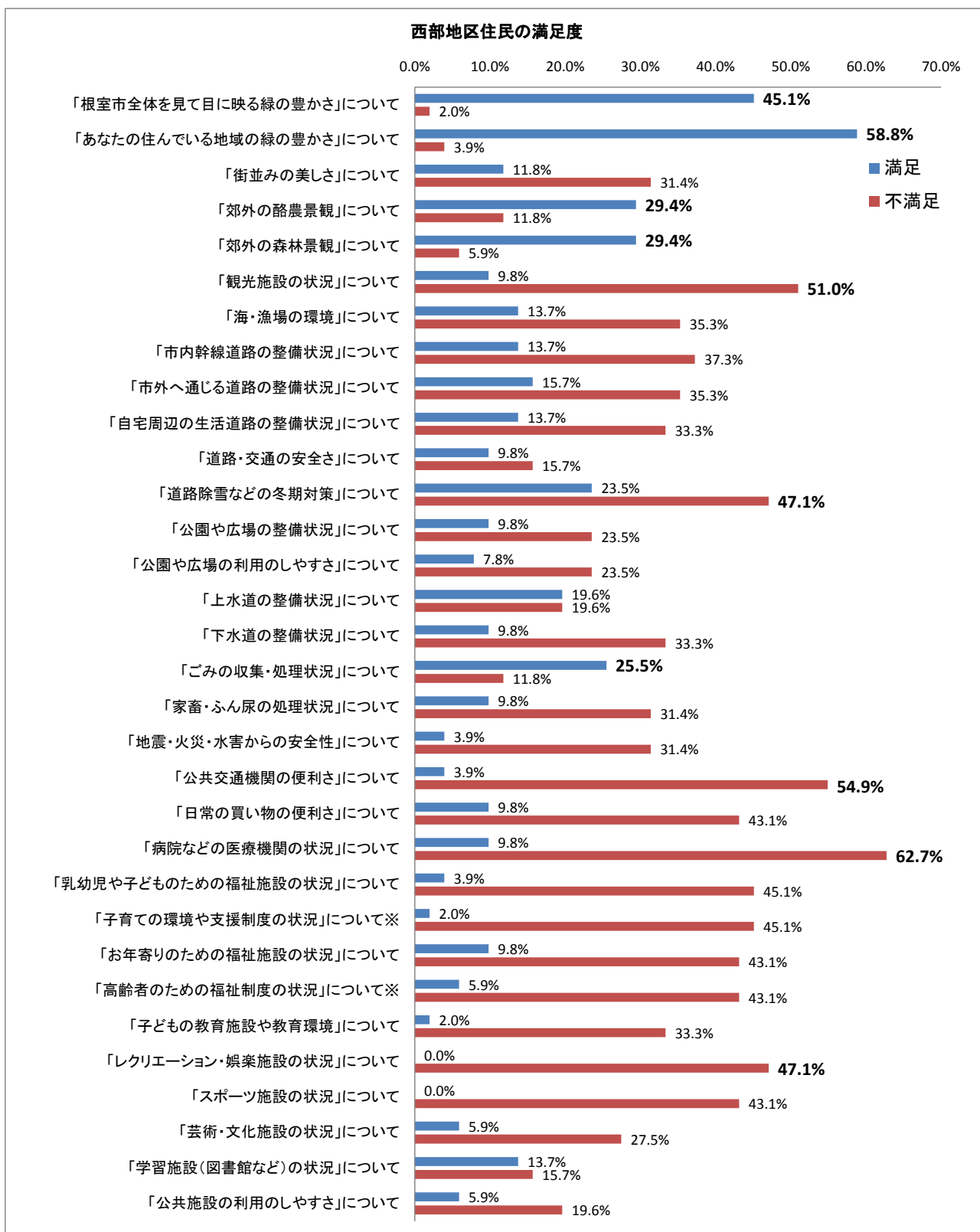
：「増減」は平成25年調査に対する平成29年調査の増減である

(3) 西部地区住民の満足度

西部地区で満足度の高い項目は、「住んでいる地域の緑の豊かさ」「根室市全体の緑の豊かさ」で4割を超えている。そのほか、「郊外の酪農景観」「郊外の森林景観」「ごみ処理」の各項目となっている。

不満の高い項目は、医療機関、公共交通機関、観光施設に対するもので5割を超えている。

このほか、「レクリエーション・娯楽施設の状況」「道路除雪などの冬期対策」に対する不満も高くなっている。



平成 25 年調査と比較すると、全体的には満足度が低下している一方で不満度も低下しており、満足はしていないが、不満もないといった「普通」評価の割合がたかくなっている状況がうかがえる。

満足度が上昇している項目は、主に景観面である。不満度が高まっている項目は、交通、上下水道、買い物利便性、医療・福祉となっている。

項目	満足				不満			
	29年調査	28年調査	25年調査	増減	29年調査	28年調査	25年調査	増減
「根室市全体を見て目に映る緑の豊かさ」について	45.1%	41.0%	37.1%	△	2.0%	9.8%	7.1%	▼
「あなたの住んでいる地域の緑の豊かさ」について	58.8%	57.4%	52.9%	△	3.9%	4.9%	5.7%	▼
「街並みの美しさ」について	11.8%	9.8%	10.0%	△	31.4%	32.8%	35.7%	▼
「郊外の酪農景観」について	29.4%	32.8%	28.6%	△	11.8%	8.2%	21.4%	▼
「郊外の森林景観」について	29.4%	34.4%	37.1%	▼	5.9%	9.8%	11.4%	▼
「観光施設の状況」について	9.8%	3.3%	17.1%	▼	51.0%	62.3%	38.6%	△
「海・漁場の環境」について	13.7%	11.5%	24.3%	▼	35.3%	26.2%	21.4%	△
「市内幹線道路の整備状況」について	13.7%	9.8%	15.7%	▼	37.3%	32.8%	31.4%	△
「市外へ通じる道路の整備状況」について	15.7%	11.5%	18.6%	▼	35.3%	27.9%	32.9%	△
「自宅周辺の生活道路の整備状況」について	13.7%	14.8%	12.9%	△	33.3%	41.0%	47.1%	▼
「道路・交通の安全性」について	9.8%	16.4%	18.6%	▼	15.7%	27.9%	22.9%	▼
「道路除雪などの冬期対策」について	23.5%	16.4%	22.9%	△	47.1%	47.5%	38.6%	△
「公園や広場の整備状況」について	9.8%	4.9%	15.7%	▼	23.5%	26.2%	31.4%	▼
「公園や広場の利用のしやすさ」について	7.8%	4.9%	17.1%	▼	23.5%	26.2%	34.3%	▼
「上下水道の整備状況」について	19.6%	11.5%	20.0%	▼	19.6%	8.2%	17.1%	△
「下水道の整備状況」について	9.8%	8.2%	7.1%	△	33.3%	26.2%	32.9%	△
「ごみの収集・処理状況」について	25.5%	24.6%	32.9%	▼	11.8%	8.2%	17.1%	▼
「家畜・ふん尿の処理状況」について	9.8%	8.2%	4.3%	△	31.4%	34.4%	41.4%	▼
「地震・火災・水害からの安全性」について	3.9%	4.9%	7.1%	▼	31.4%	37.7%	48.6%	▼
「公共交通機関の便利さ」について	3.9%	1.6%	2.9%	△	54.9%	57.4%	51.4%	△
「日常の買い物の便利さ」について	9.8%	4.9%	14.3%	▼	43.1%	49.2%	34.3%	△
「病院などの医療機関の状況」について	9.8%	3.3%	11.4%	▼	62.7%	65.6%	58.6%	△
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	3.9%	1.6%	10.0%	▼	45.1%	45.9%	41.4%	△
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	2.0%	3.3%	—	—	45.1%	32.8%	—	—
「お年寄りのための福祉施設の状況」について	9.8%	0.0%	10.0%	▼	43.1%	34.4%	37.1%	△
「高齢者のための福祉制度の状況」について※	5.9%	3.3%	—	—	43.1%	39.3%	—	—
「子どもの教育施設や教育環境」について	2.0%	6.6%	7.1%	▼	33.3%	32.8%	37.1%	▼
「レクリエーション・娯楽施設の状況」について	0.0%	0.0%	2.9%	▼	47.1%	50.8%	50.0%	▼
「スポーツ施設の状況」について	0.0%	4.9%	7.1%	▼	43.1%	47.5%	50.0%	▼
「芸術・文化施設の状況」について	5.9%	3.3%	5.7%	△	27.5%	44.3%	32.9%	▼
「学習施設（図書館など）の状況」について	13.7%	6.6%	15.7%	▼	15.7%	18.0%	21.4%	▼
「公共施設の利用のしやすさ」について	5.9%	0.0%	10.0%	▼	19.6%	29.5%	24.3%	▼

注：※は平成28年度調査から追加した項目

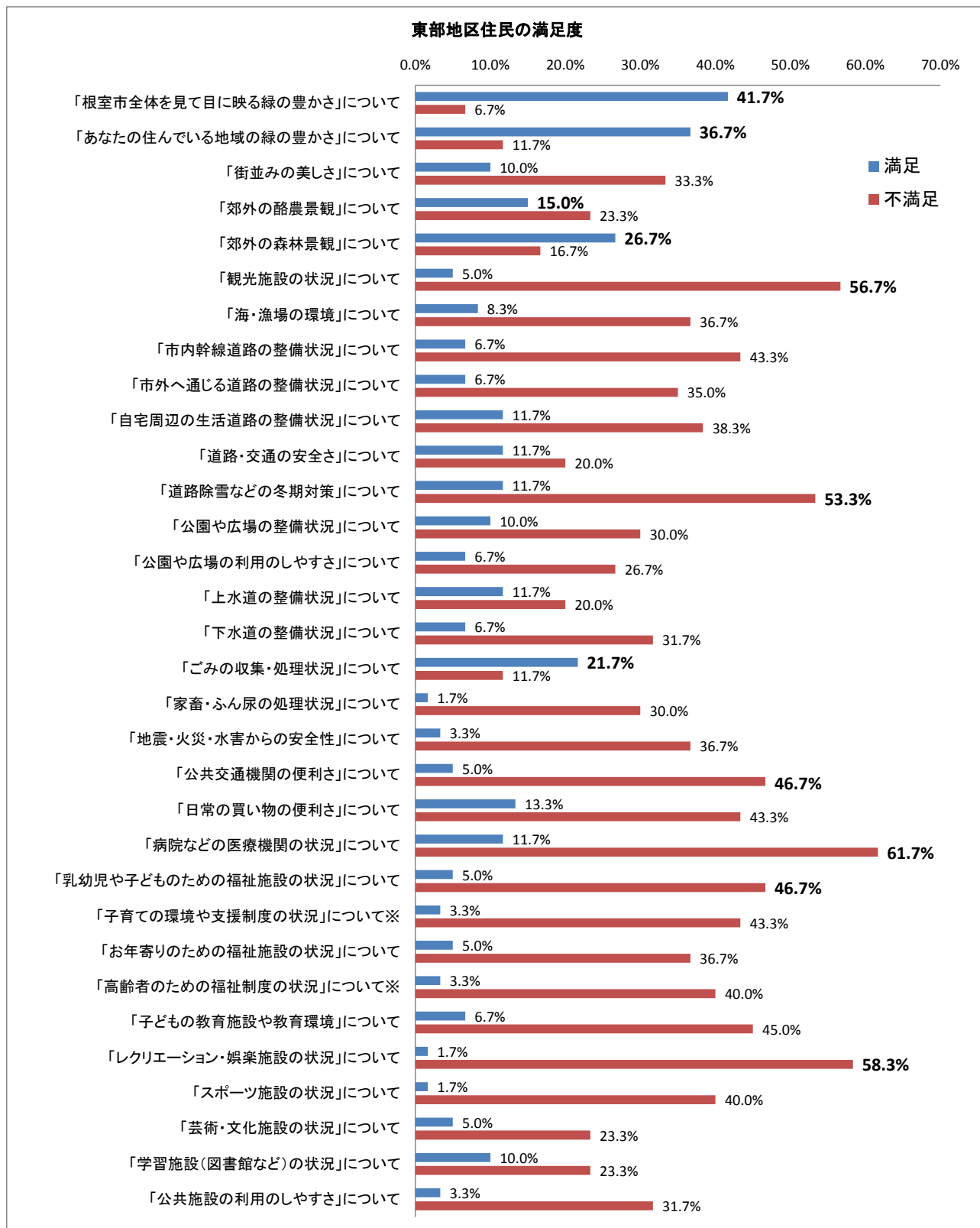
：△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

：「増減」は平成25年調査に対する平成29年調査の増減である

(4) 東部地区住民の満足度

東部地区で満足度の高い項目は、市内や住んでいる地域の「緑の豊かさ」となっている。このほかでは「ごみの収集・処理状況」となっている。

不満の高い項目は、「病院などの医療機関の状況」「レクリエーション・娯楽施設の状況」「観光施設の状況」「道路除雪などの冬期対策」となっている。



平成 25 年調査と比較すると、西部地区と同様に、満足度が低下し、不満度が上昇している項目が多いなど、総じて不満度が高まっている状況が伺える。

特に、交通、買い物利便性、除雪関連のほか、公園、乳幼児や子どものための福祉施設などで不満度合いが高まっている状況となっている。

項目	満足				不満			
	29年調査	28年調査	25年調査	増減	29年調査	28年調査	25年調査	増減
「根室市全体を見て目に映る緑の豊かさ」について	41.7%	43.3%	42.3%	▼	6.7%	1.7%	10.3%	▼
「あなたの住んでいる地域の緑の豊かさ」について	36.7%	48.3%	43.6%	▼	11.7%	10.0%	14.1%	▼
「街並みの美しさ」について	10.0%	6.7%	9.0%	△	33.3%	33.3%	32.1%	△
「郊外の酪農景観」について	15.0%	30.0%	21.8%	▼	23.3%	6.7%	17.9%	△
「郊外の森林景観」について	26.7%	28.3%	30.8%	▼	16.7%	11.7%	15.4%	△
「観光施設の状況」について	5.0%	8.3%	11.5%	▼	56.7%	53.3%	46.2%	△
「海・漁場の環境」について	8.3%	18.3%	9.0%	▼	36.7%	46.7%	43.6%	▼
「市内幹線道路の整備状況」について	6.7%	11.7%	21.8%	▼	43.3%	46.7%	30.8%	△
「市外へ通じる道路の整備状況」について	6.7%	15.0%	24.4%	▼	35.0%	40.0%	25.6%	△
「自宅周辺の生活道路の整備状況」について	11.7%	6.7%	20.5%	▼	38.3%	46.7%	39.7%	▼
「道路・交通の安全さ」について	11.7%	11.7%	16.7%	▼	20.0%	21.7%	17.9%	△
「道路除雪などの冬期対策」について	11.7%	6.7%	23.1%	▼	53.3%	63.3%	39.7%	△
「公園や広場の整備状況」について	10.0%	15.0%	16.7%	▼	30.0%	28.3%	24.4%	△
「公園や広場の利用のしやすさ」について	6.7%	18.3%	14.1%	▼	26.7%	28.3%	23.1%	△
「上水道の整備状況」について	11.7%	11.7%	19.2%	▼	20.0%	16.7%	17.9%	△
「下水道の整備状況」について	6.7%	6.7%	11.5%	▼	31.7%	23.3%	35.9%	▼
「ごみの収集・処理状況」について	21.7%	31.7%	34.6%	▼	11.7%	13.3%	12.8%	▼
「家畜・ふん尿の処理状況」について	1.7%	10.0%	7.7%	▼	30.0%	23.3%	29.5%	△
「地震・火災・水害からの安全性」について	3.3%	13.3%	5.1%	▼	36.7%	43.3%	51.3%	▼
「公共交通機関の利便さ」について	5.0%	5.0%	6.4%	▼	46.7%	55.0%	48.7%	▼
「日常の買い物の便利さ」について	13.3%	11.7%	15.4%	▼	43.3%	46.7%	32.1%	△
「病院などの医療機関の状況」について	11.7%	10.0%	7.7%	△	61.7%	71.7%	57.7%	△
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	5.0%	5.0%	5.1%	▼	46.7%	43.3%	44.9%	△
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	3.3%	5.0%	—	—	43.3%	41.7%	—	—
「お年寄りのための福祉施設の状況」について	5.0%	5.0%	7.7%	▼	36.7%	45.0%	37.2%	▼
「高齢者のための福祉制度の状況」について※	3.3%	6.7%	—	—	40.0%	41.7%	—	—
「子どもの教育施設や教育環境」について	6.7%	5.0%	7.7%	▼	45.0%	35.0%	33.3%	△
「レクリエーション・娯楽施設の状況」について	1.7%	1.7%	3.8%	▼	58.3%	56.7%	52.6%	△
「スポーツ施設の状況」について	1.7%	3.3%	6.4%	▼	40.0%	58.3%	34.6%	△
「芸術・文化施設の状況」について	5.0%	3.3%	7.7%	▼	23.3%	33.3%	35.9%	▼
「学習施設(図書館など)の状況」について	10.0%	6.7%	10.3%	▼	23.3%	28.3%	24.4%	▼
「公共施設の利用のしやすさ」について	3.3%	6.7%	6.4%	▼	31.7%	31.7%	26.9%	△

注: ※は平成28年度調査から追加した項目

: △は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

: 「増減」は平成25年調査に対する平成29年調査の増減である

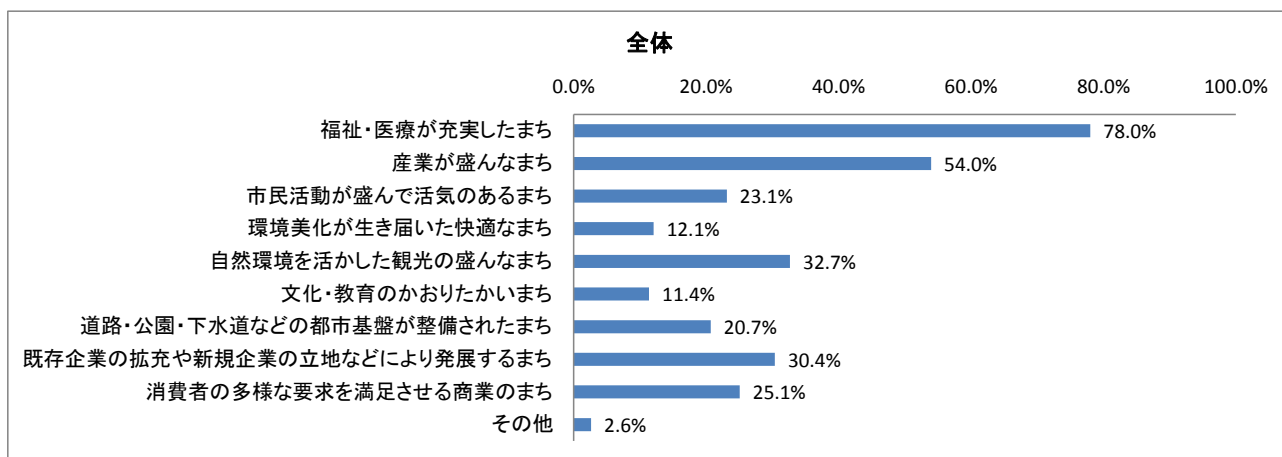
3. 6 まちの将来像についての市民意識

(1) 市民全体

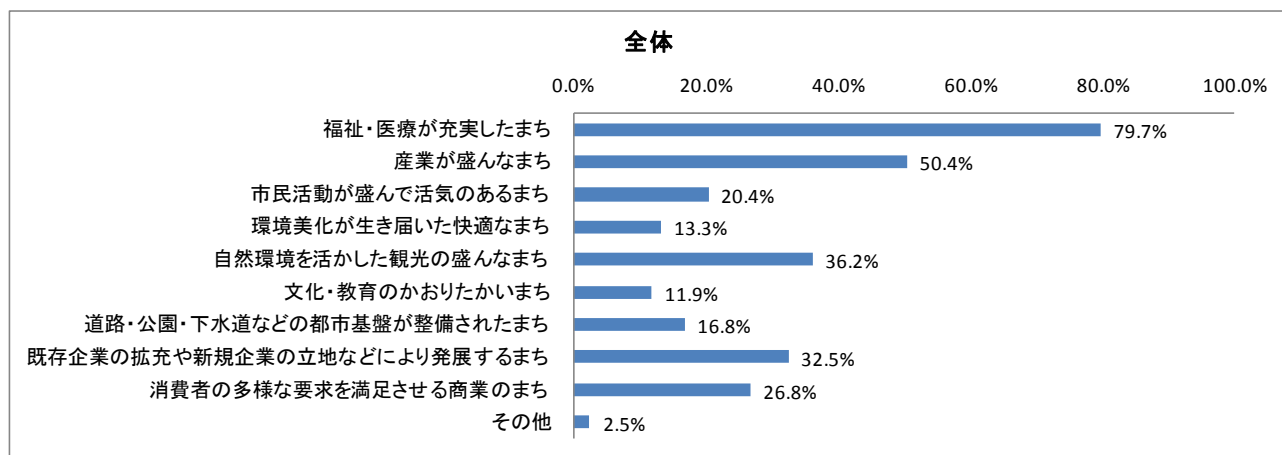
市民が、将来根室市がどのようなまちになることを望んでいるかについてみると、回答者全体では、「福祉・医療が充実したまち」が、8割近くを占めており、次いで「産業が盛んなまち」が5割強となっている。これに次いで、「自然環境を活かした観光の盛んなまち」、「既存企業の拡充や新規企業の立地などにより発展するまち」も3割を超えている。

この結果は、ほぼ平成28年度調査と同様の結果となっている。

<29年度調査>



<28年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

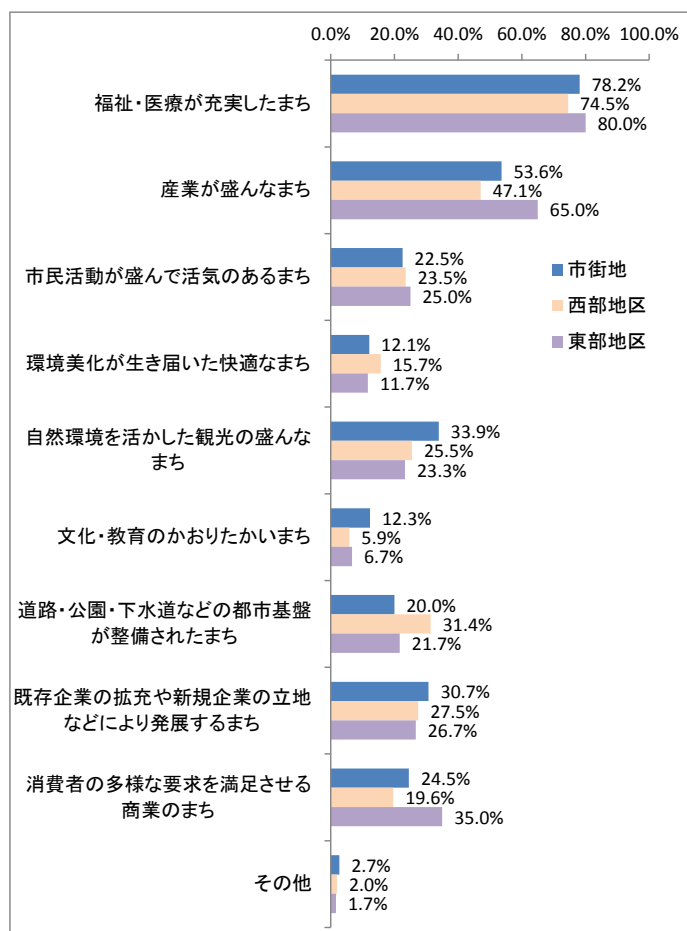
(2) 地区別

地区別では、「医療・福祉が充実したまち」については、平成 28 年度調査と同様に各地区とも 7 割以上と高くなっている。次いで、「産業が盛んなまち」となっており、概ね各地区とも 5 割前後、もしくはどれ以上となっている。

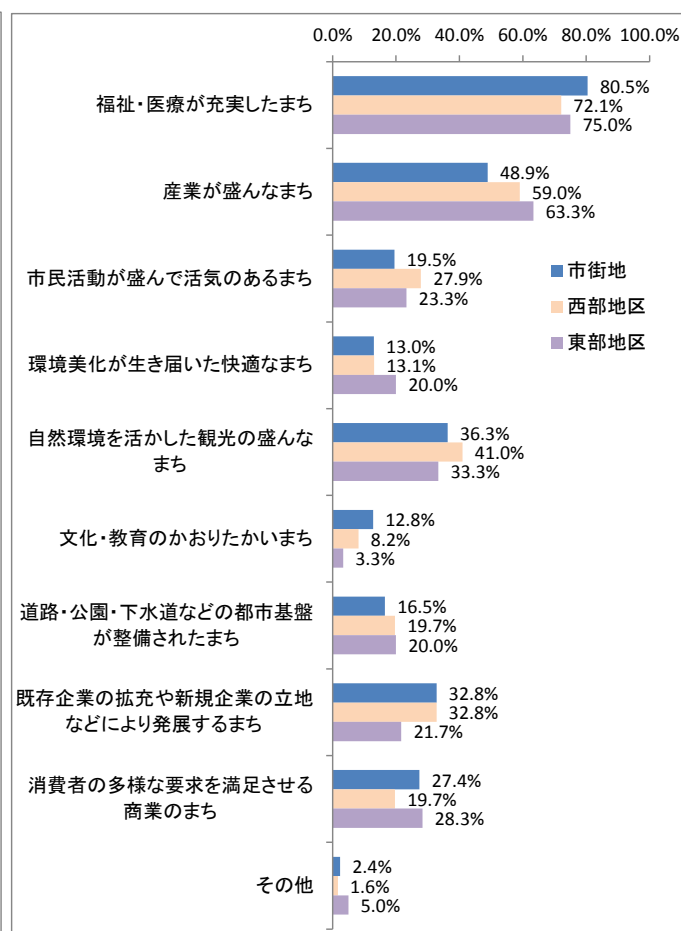
上位 2 つに次ぐ項目については、各地区で異なっており、市街地では「自然環境を活かした観光の盛んなまち」、西部地区では「道路・公園・下水道などの都市基盤が整備されたまち」、東部地区では「消費者の多様な要求を満足させる商業のまち」となっており、いずれも各地区の 3 割を越える回答となっている。

平成 28 年度調査と比較してみると、「産業が盛んなまち」や「自然環境を活かした観光の盛んなまち」を望む割合が高い状況は同様であるが、これらに次ぐ項目でややばらつきがみられている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は 3 つまでの選択を求めている

3. 7 保険医療について

(1) 現在の健康状態

現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」「良好」を合わせた「良好」であるとする割合は、回答者全体で 35.3% となっており、西部地区及び東部地区ではやや低くなっている。これに対して「悪い」及び「きわめて悪い」とする回答は 15.0% となっている。

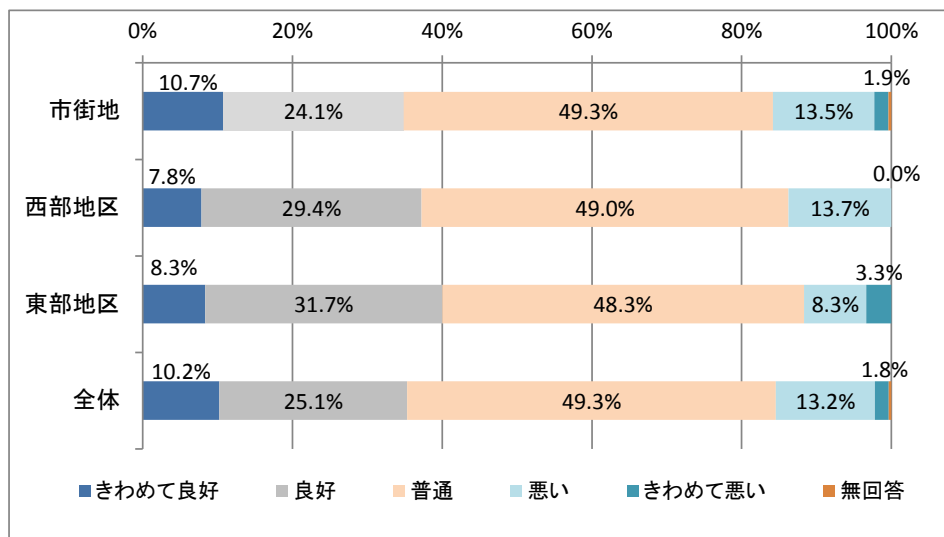
一方、60 歳以上の回答者についてみると、「良好」の割合は 2 割強となっているものの、西部地区でやや低くなっている。

また、「悪い」とする回答は、全体で 2 割強となっている。

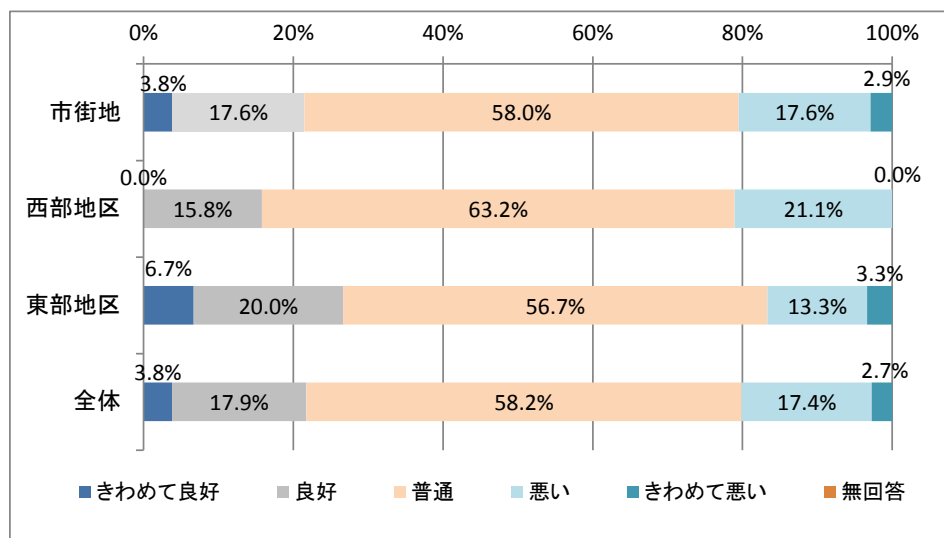
平成 28 年度調査の結果と比較すると、60 歳以上の回答者については、ほぼ同様の結果となっているが、全年齢層でみると、「良好」「悪い」の回答割合がいずれも約 5 ポイント低下しており、「普通」とする回答割合が高くなっている。

<29 年度調査>

(全年齢層)

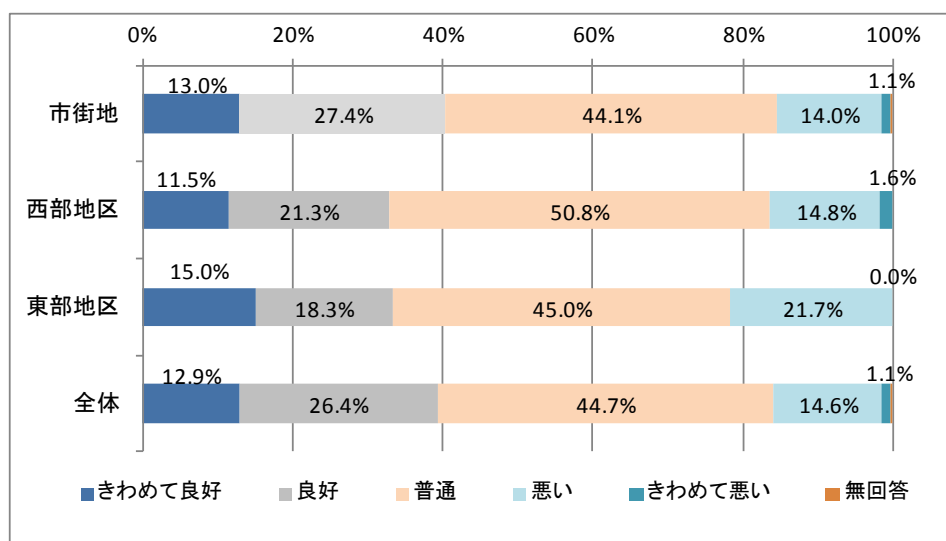


(60 歳以上)

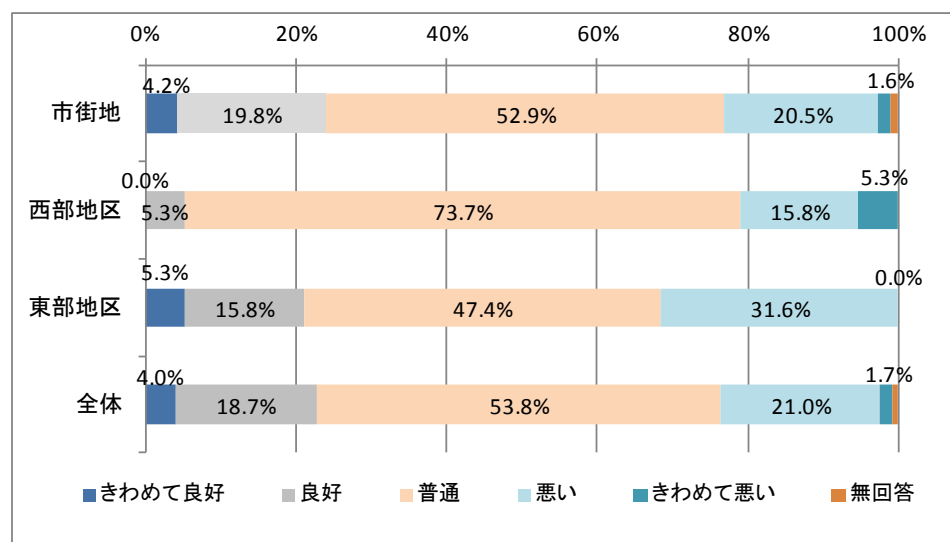


<28 年度調査>

(全年齢層)



(60 歳以上)



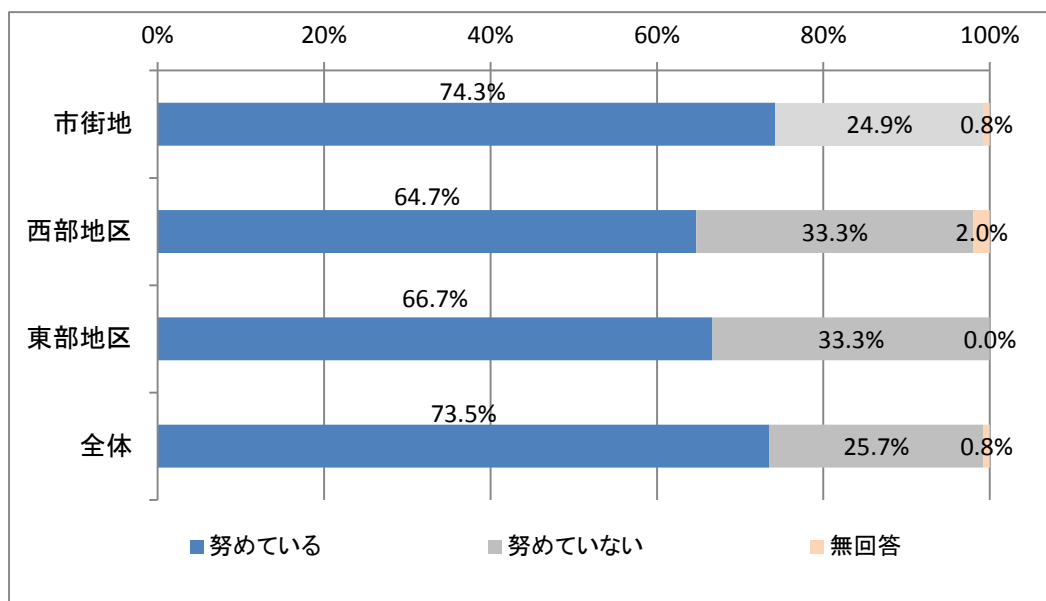
（２）健康管理

日常の健康管理の状況についてみると、回答者全体では７割が、60歳以上の回答者では９割近くが「努めている」としているなど、健康管理への意識が高い状況が把握される。ただし、全年齢層の西部地区、東部地区で「努めている」割合が低くなっているが、サンプル数が少ないことに留意が必要がある。

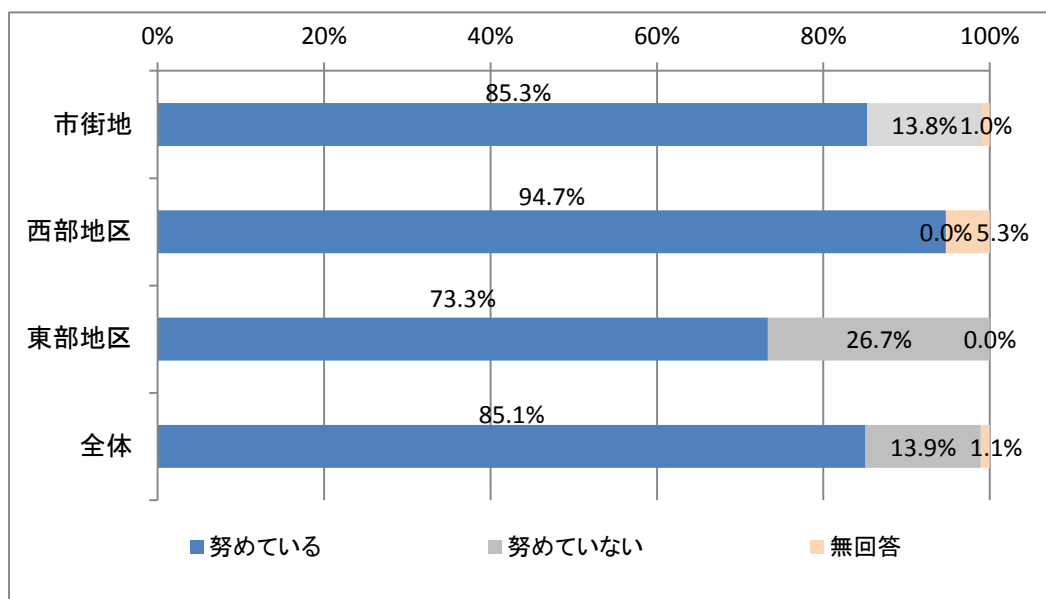
平成28年度調査の結果と比較すると、全年齢層で健康管理に「努めている」とする割合がやや高くなっている。

<29年度調査>

（全年齢層）

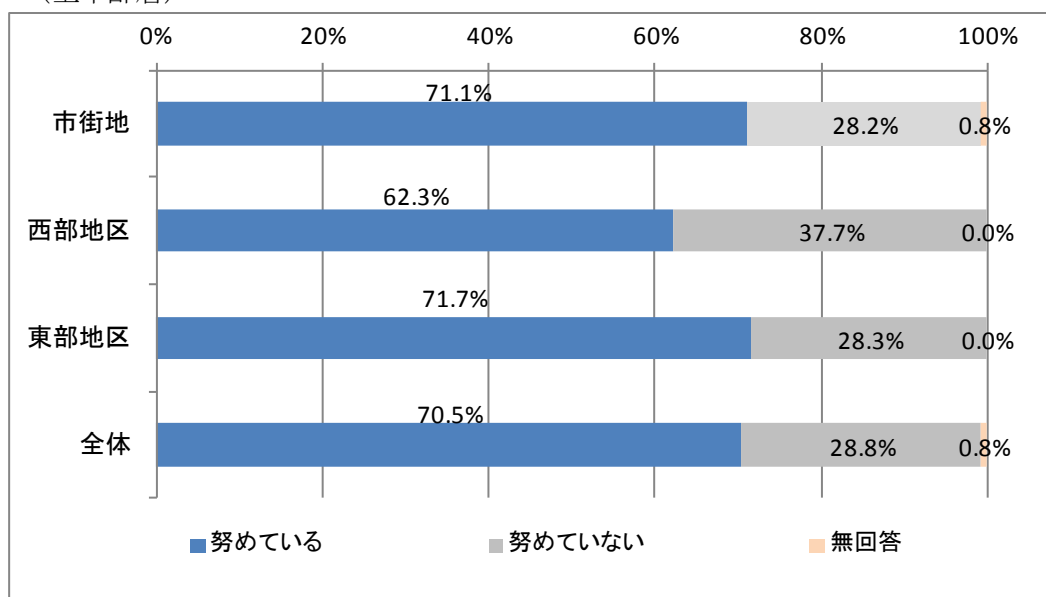


（60歳以上）

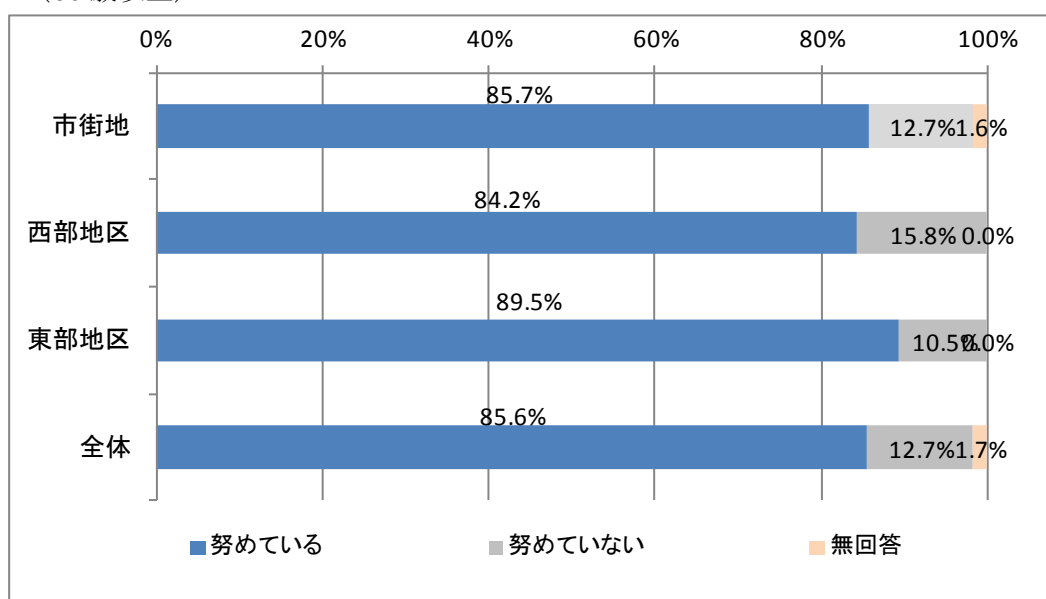


<28 年度調査>

(全年齢層)



(60 歳以上)



(3) 30分以上の運動の実施状況

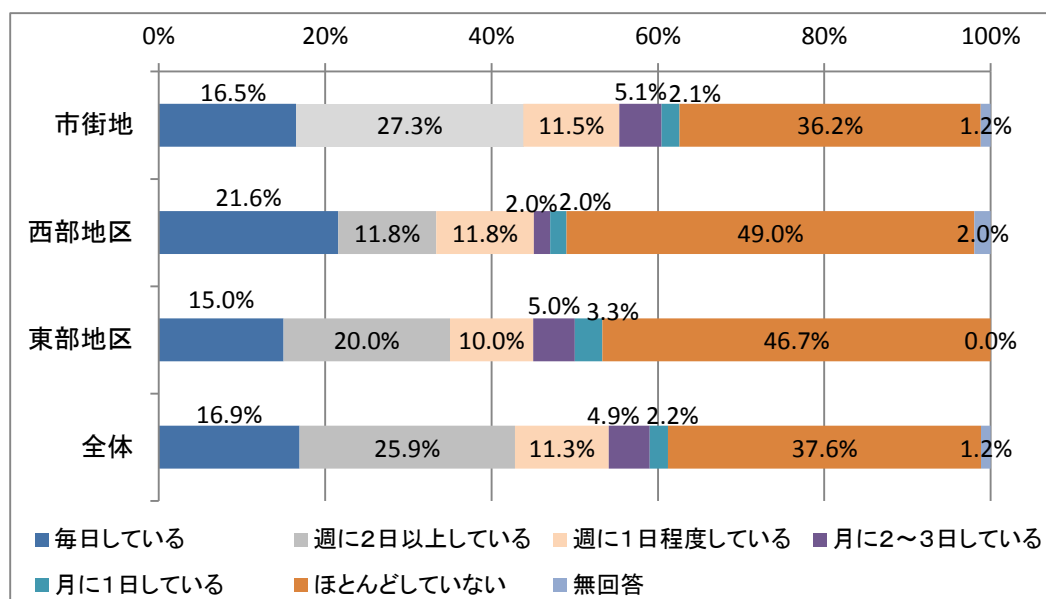
1日30分以上の運動を行っている頻度についてみると、全回答者では「ほとんどしていない」が最も多く3割以上となっている反面、週に1回以上（「毎日」「週に2日以上」「週に1日程度」の合計）運動している割合は、5割強となっている。

一方、60歳以上の回答者についてみると、「週に2日以上」が最も多くなっており、週に1回以上運動している割合は6割を超えている。

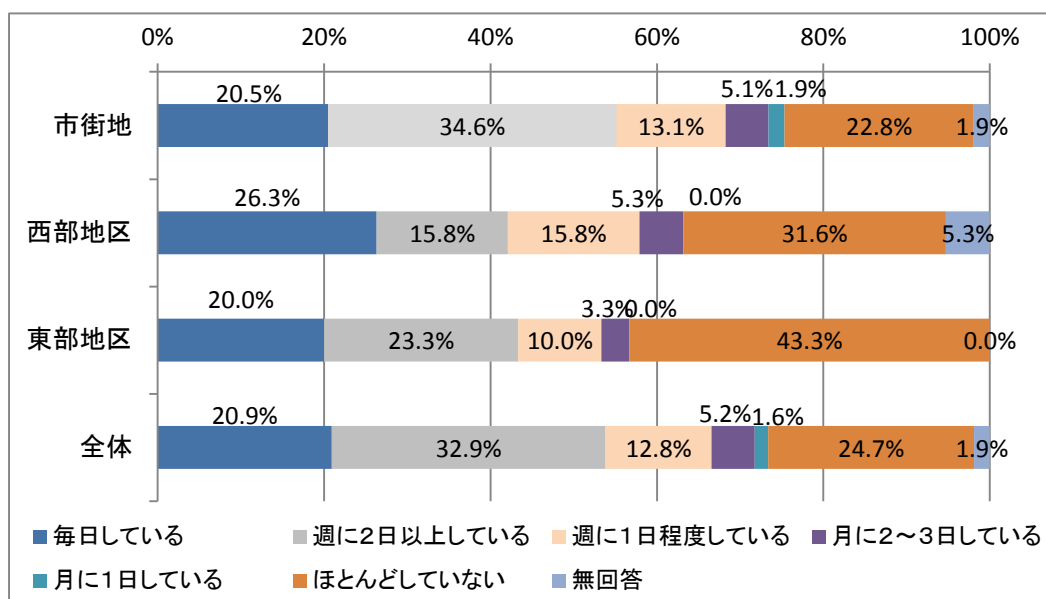
地区別でみると、総じて市街地で実施している住民の割合が高くなっており、平成28年度調査の結果と比較しても、この傾向の違いが見られている。

<29年度調査>

(全年齢層)

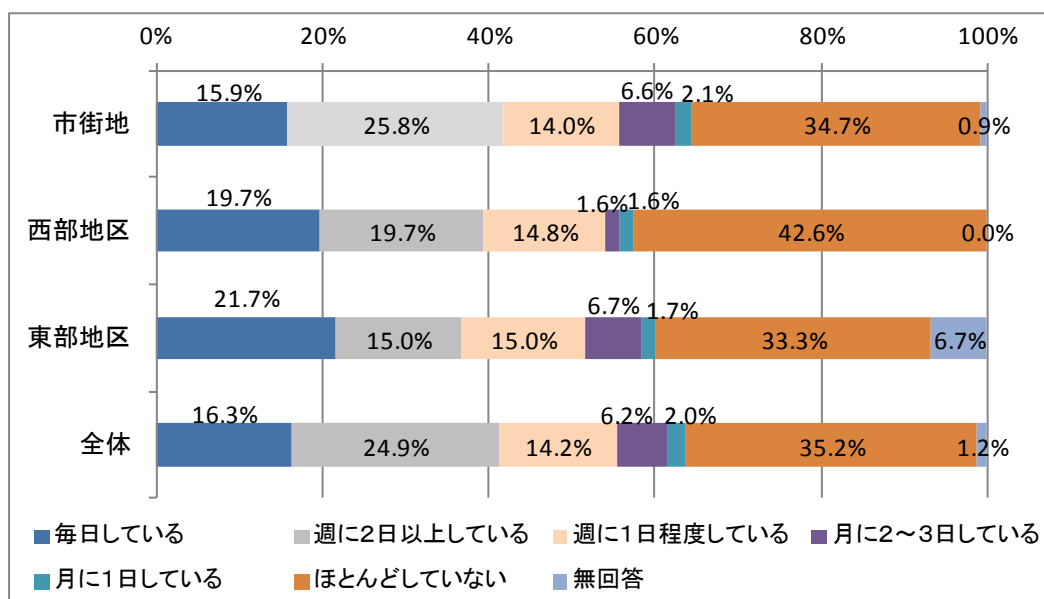


(60歳以上)

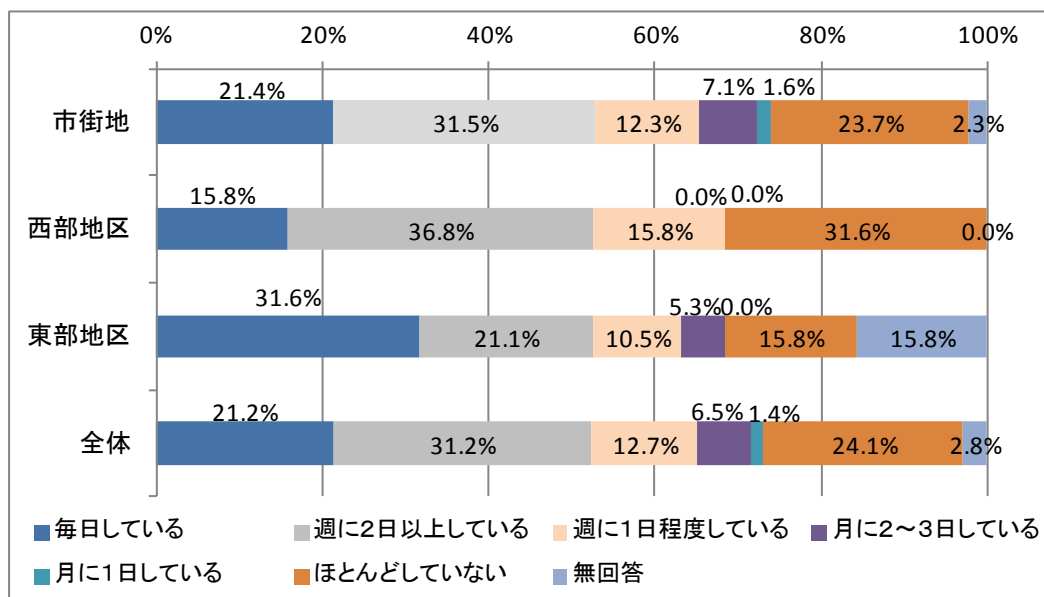


<28 年度調査>

(全年齢層)



(60 歳以上)



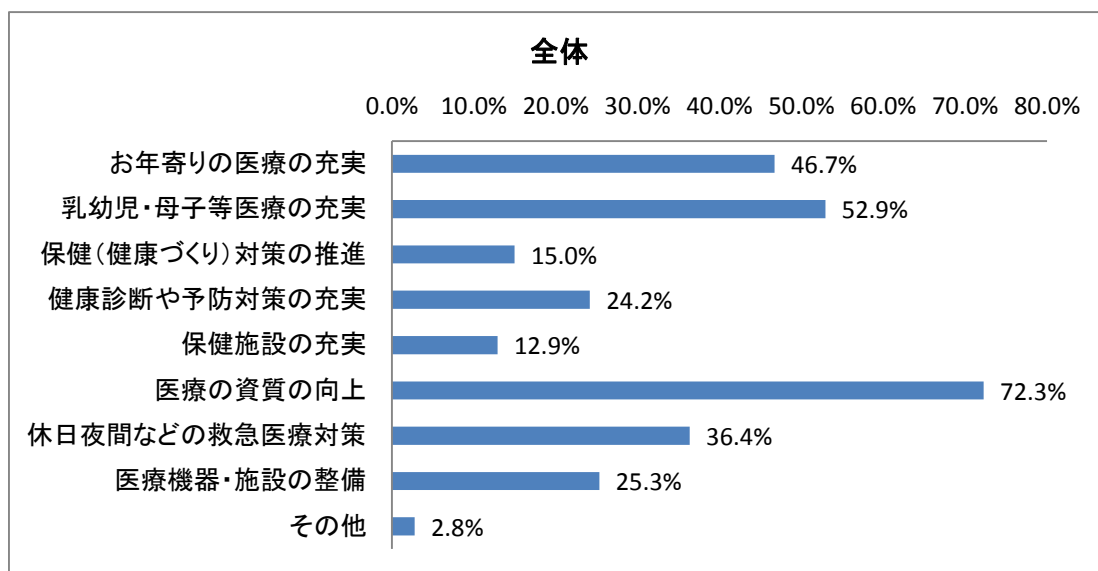
(4) 保健医療政策について

①市民全体

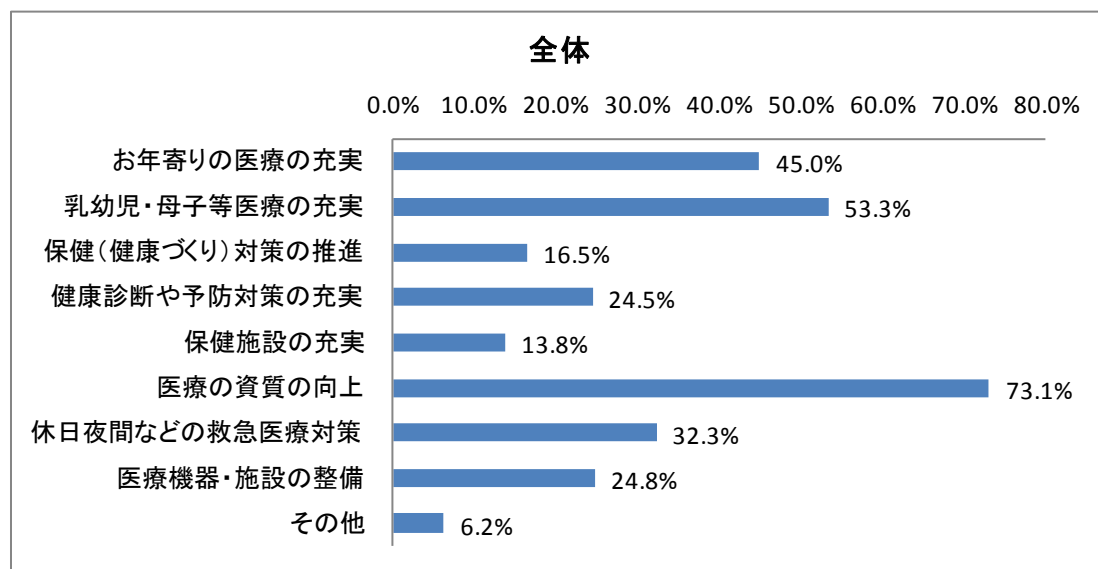
根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべき政策についてみると、回答者全体では、「医療の資質の向上」が最も多くあげられており、7割を超えている。次いで「乳幼児・母子等医療の充実」、「お年寄りの医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」の順となっている。

平成28年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

<29年度調査>



<28年度調査>



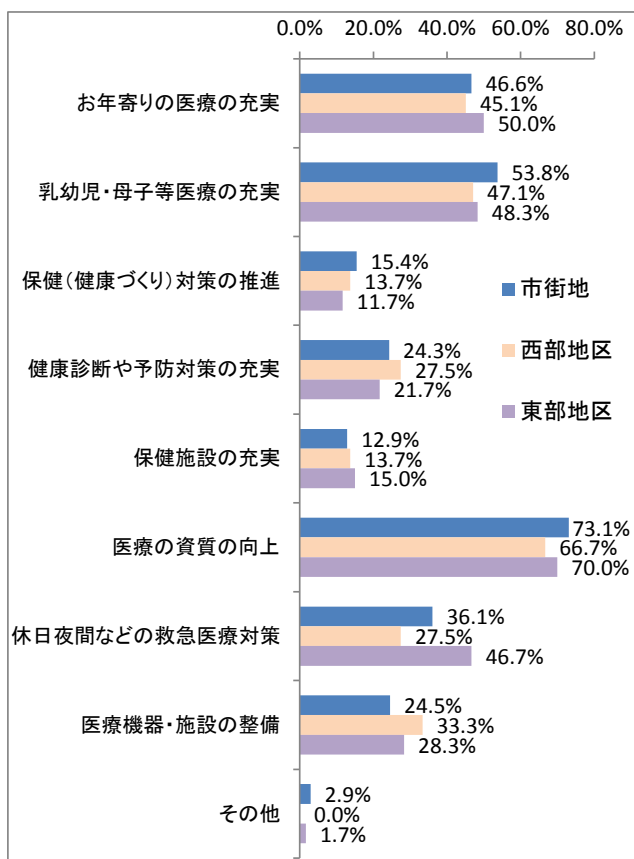
注：本設問は3つまでの選択を求めている

②地区別

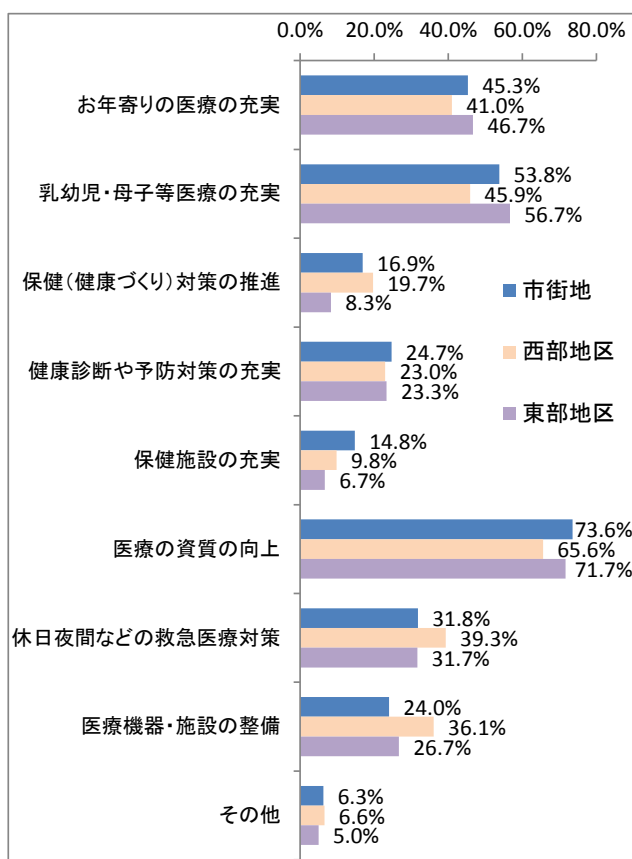
「医療の資質の向上」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「お年寄りの医療の充実」の順位は、各地区とも同様の結果となっており大きな差はない。

平成 28 年度調査と比較すると、例えば、西部地区で 29 年度調査の結果の方が「医療機器・施設の整備」の割合がやや高くなっているなど、若干の違いはみられているが、大きな変動はみられていない。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

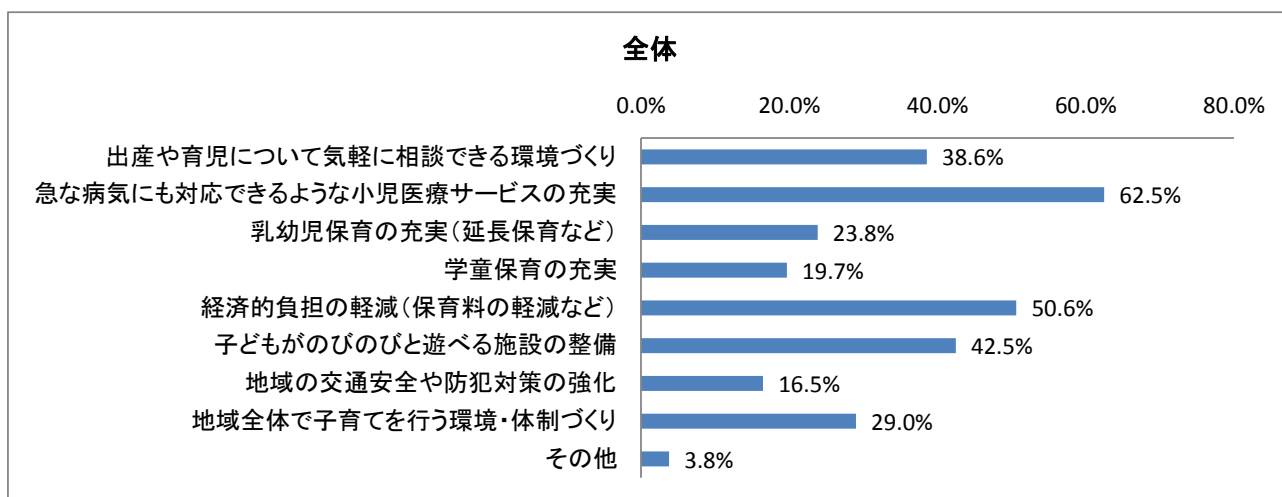
3. 8 少子化・子育て支援について

(1) 市民全体

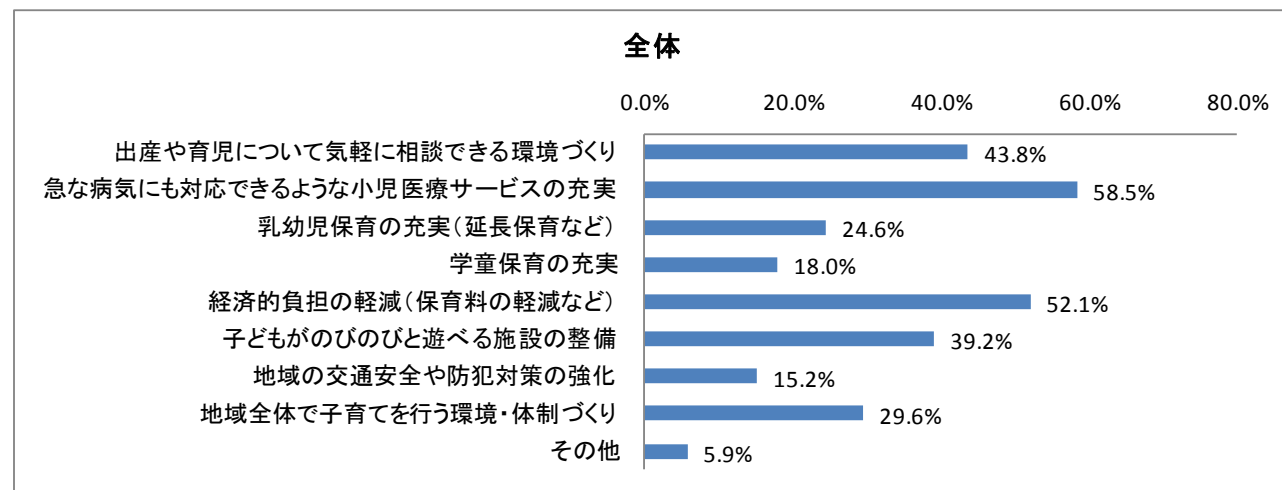
少子化・子育てについて重要だと思う施策についてみると、「急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実」が最も多くあげられており6割強の回答率となっている。次いで「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」の順となっている。

28年度調査の結果と比較すると、平成29年4月から市立根室病院で11年ぶりに分娩が再開されたことなどから、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」と「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」の順位が逆転しているほか、総じて小児科の充実、保育料等の経済負担の軽減、子どものための施設などに重要度の意識が高まっている状況が伺える。

<29年度調査>



<28年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

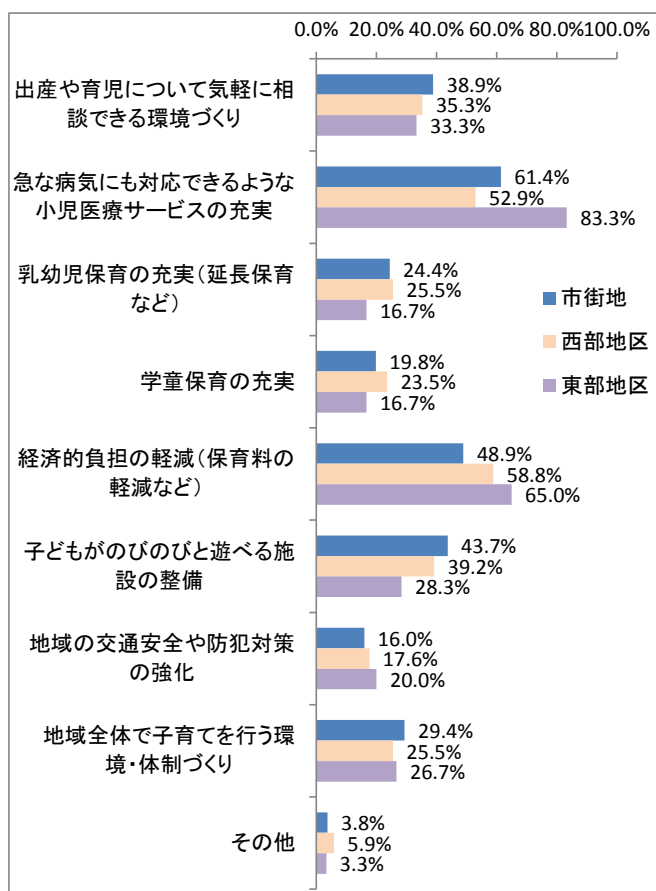
(2) 地区別

「急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実」と「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」の上位2項目については、各地区で順位の違いはあるものの上位2位までにあげられている。

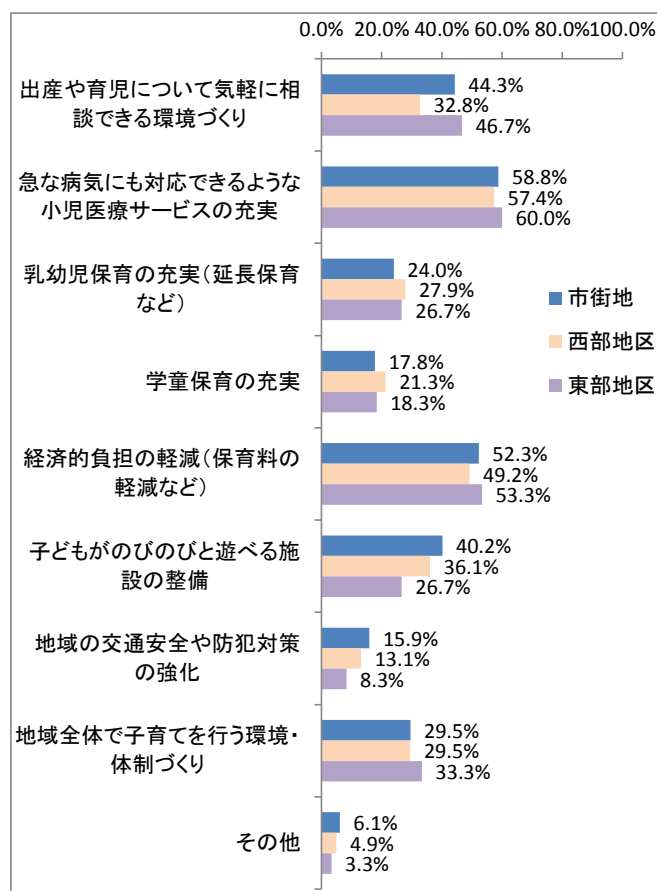
特に、西部地区住民の回答では1位に「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」があげられている。

平成28年度調査の結果と比較すると、全体傾向と同様に、市立根室病院での分娩開始により、各地区とも小児科の充実、保育料等の経済負担の軽減、子どものための施設などに重要度の意識がシフトしてきている状況が伺える。

<29年度調査>



<28年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

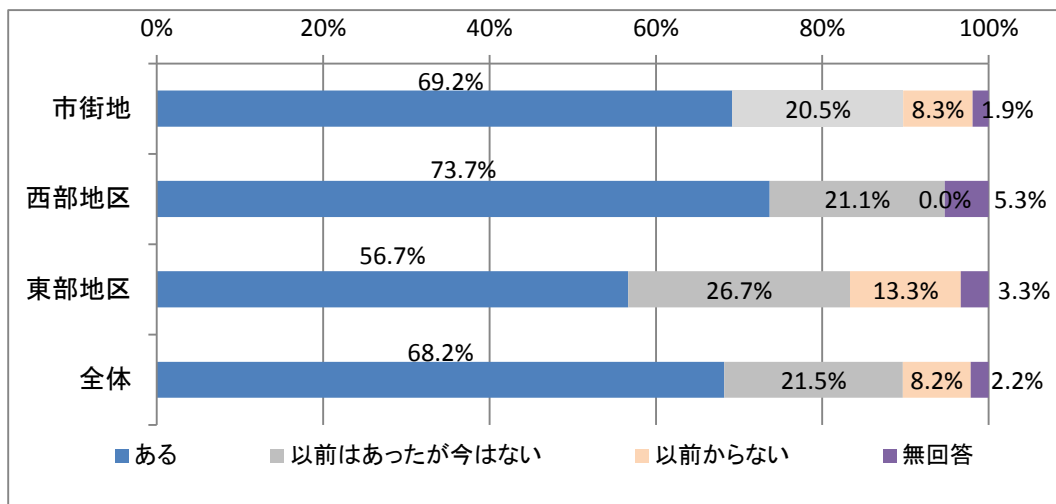
3. 9 高齢者支援について

(1) 趣味・楽しみ、生きがいの有無（60 歳以上）

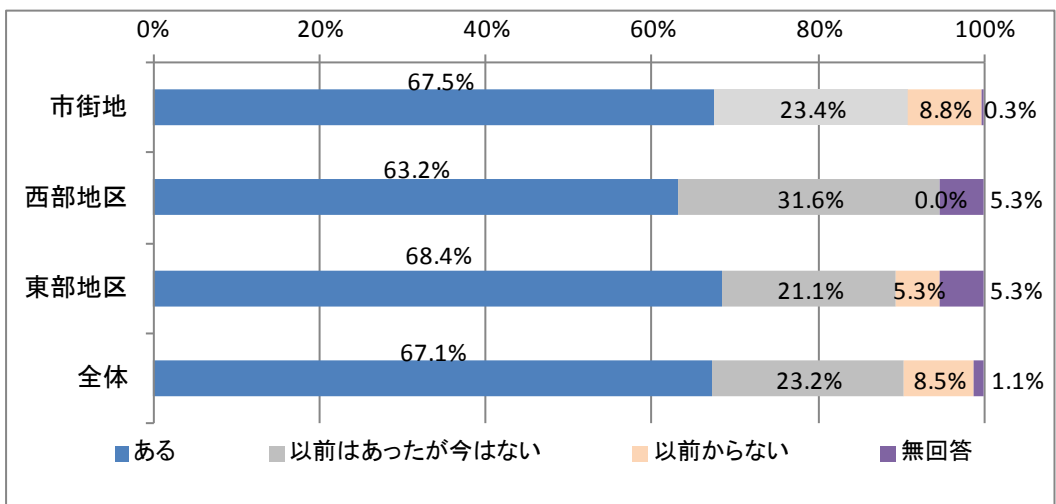
60 歳以上の回答者における趣味・楽しみ、生きがいの有無についてみると、根室市全体では「ある」とする回答が 7 割弱を占めており、ほぼ平成 28 年度調査の結果と同様となっている。

地区別にみると、「ある」の回答割合が西部地区で高く、東部地区で低くなっているなどの差がみられているものの、サンプル数が少ないことに留意する必要がある。

<29 年度調査>



<28 年度調査>

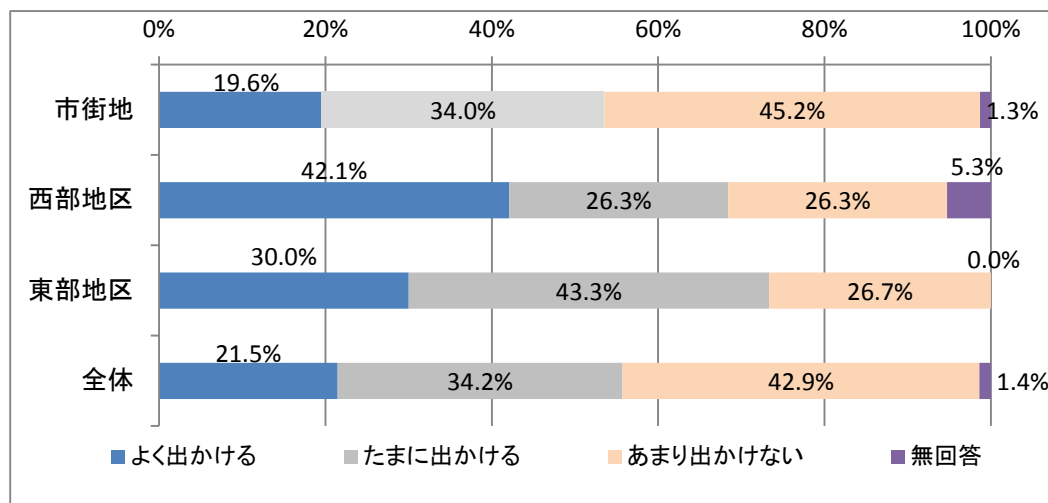


（２）町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況（60 歳以上）

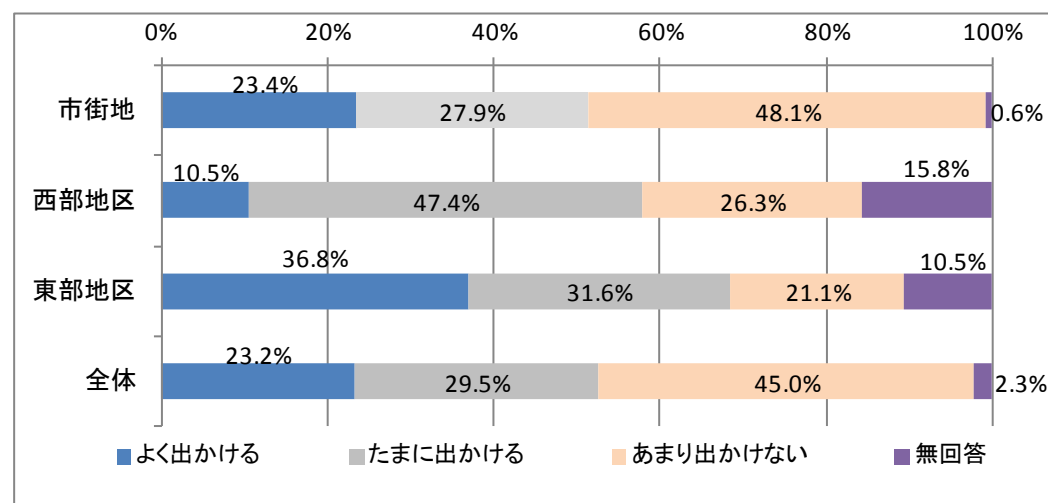
町会等の行事、サークル、地域イベントに出かけるかどうかについてみると、「よく出かける」では、地区によってばらつきがみられるものの、「たまに出かける」を含めた「出かける」とする回答割合では、概ね 6 割前後の参加率となっている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、概ね各地区とも参加率が高まっている状況が伺える。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



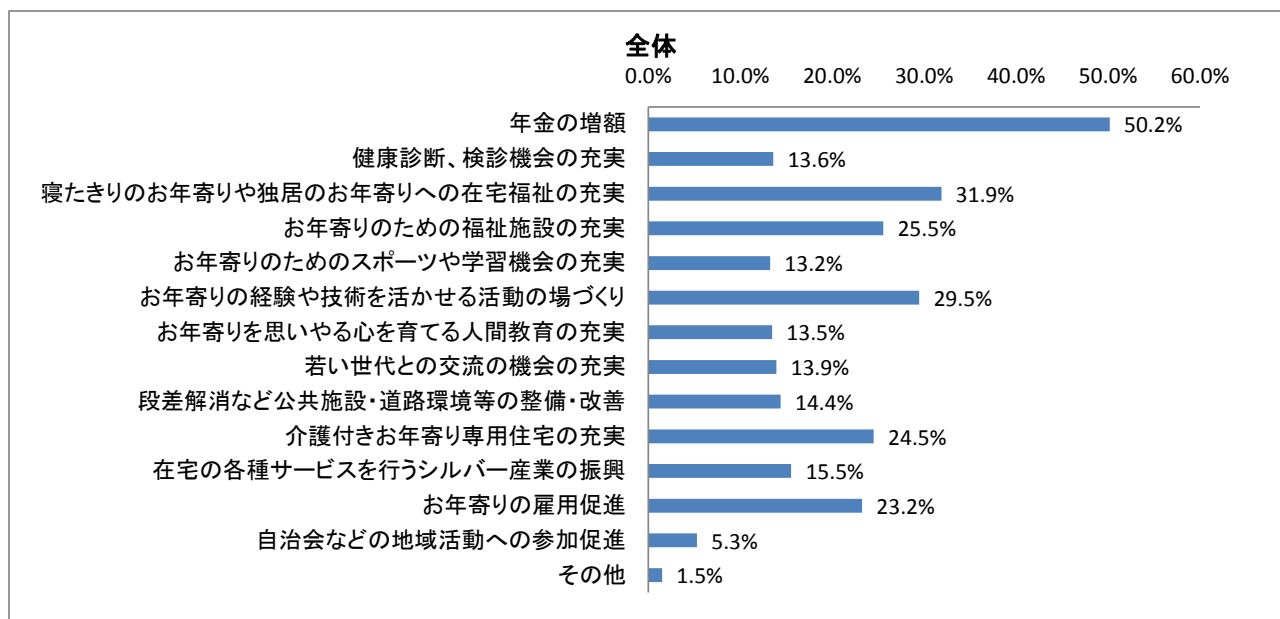
(3) 高齢者にとって重要と思う施策について

①市民全体

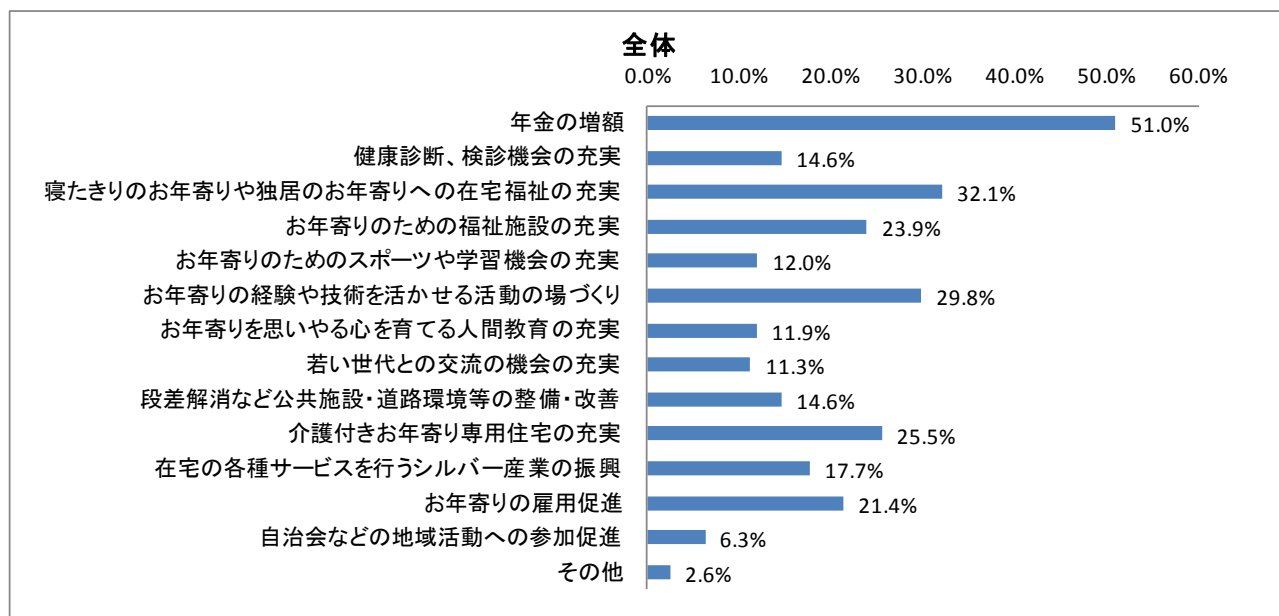
今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「年金の増額」が最も多く、次いで、「寝たきりのお年寄りや独居のお年寄りへの在宅福祉の充実」、「お年寄りの経験や技術を活かせる活動の場づくり」、「介護付きお年寄り専用住宅の充実」の順となっている。

この重要であるとする施策の順位及び回答者の割合は平成 28 年度調査とほぼ同様の結果となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



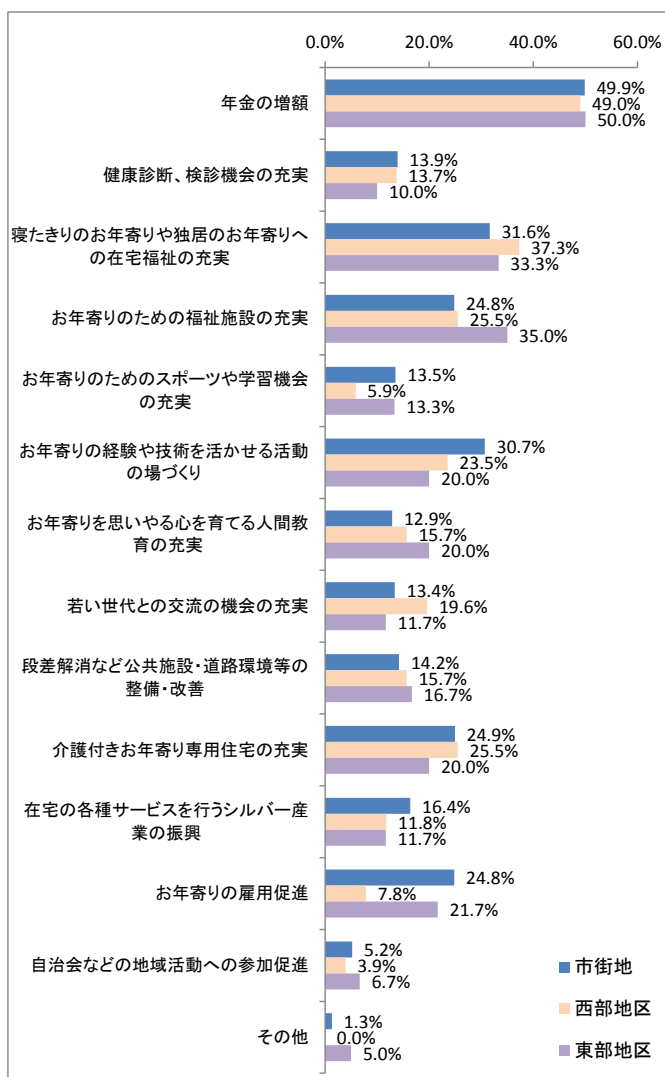
注：本設問は 3 つまでの選択を求めている

②地区別

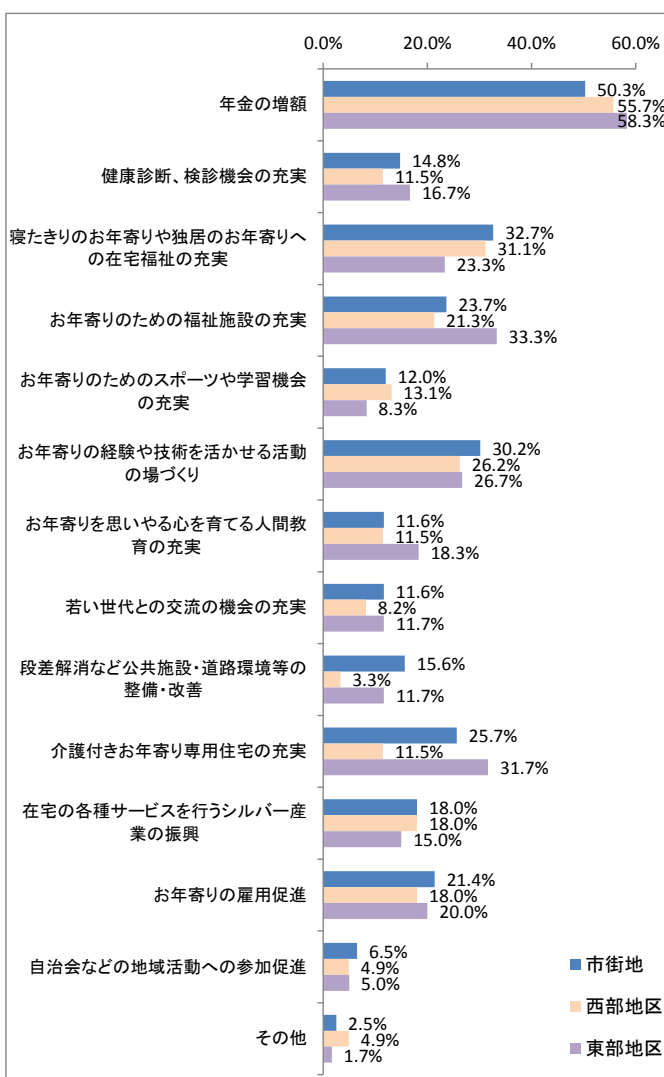
地区別でみると、各地区とも全体とほぼ同様の傾向となっているが、東部地区では「お年寄りのための福祉施設の充実」を望む割合が高くなっている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、重要と考えられている施策の順位は、ほぼ同様の傾向となっているが、西部地区、東部地区とも「お年寄りのための福祉施設の充実」、「寝たきりのお年寄りや独居のお年寄りのための在宅福祉の充実」に対する要望が高まってきている状況が伺える。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

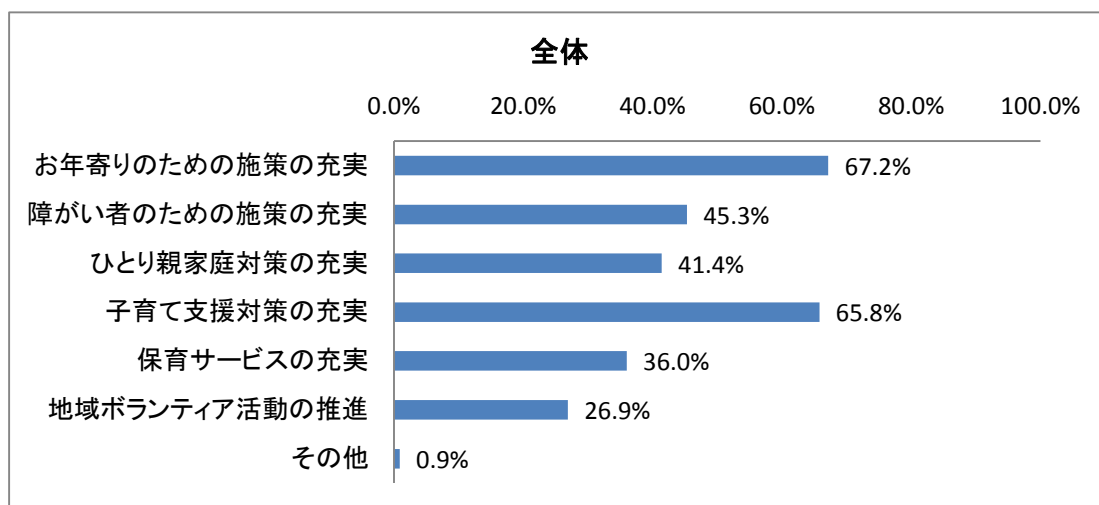
3. 10 社会福祉について

(1) 市民全体

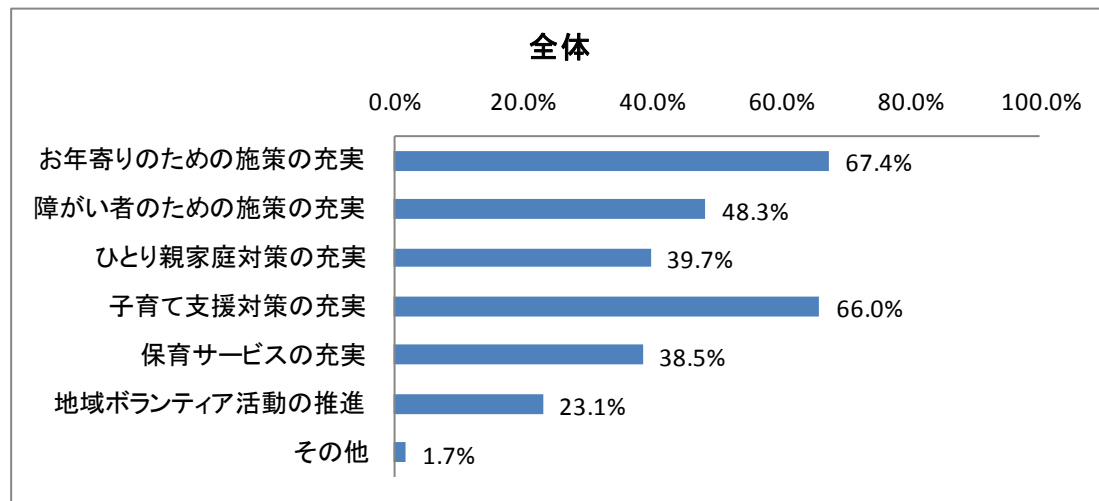
現行総合計画における重点事項のうち、社会福祉に関しては、「お年寄りのための施策」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「子育て支援対策」、「障がい者のための施策の充実」の順となっている。

平成28年度調査の結果と比較すると、重要であるとする施策の順位及び回答者の割合は、ほぼ同様の結果となっている。

<今回調査>



<前回調査>



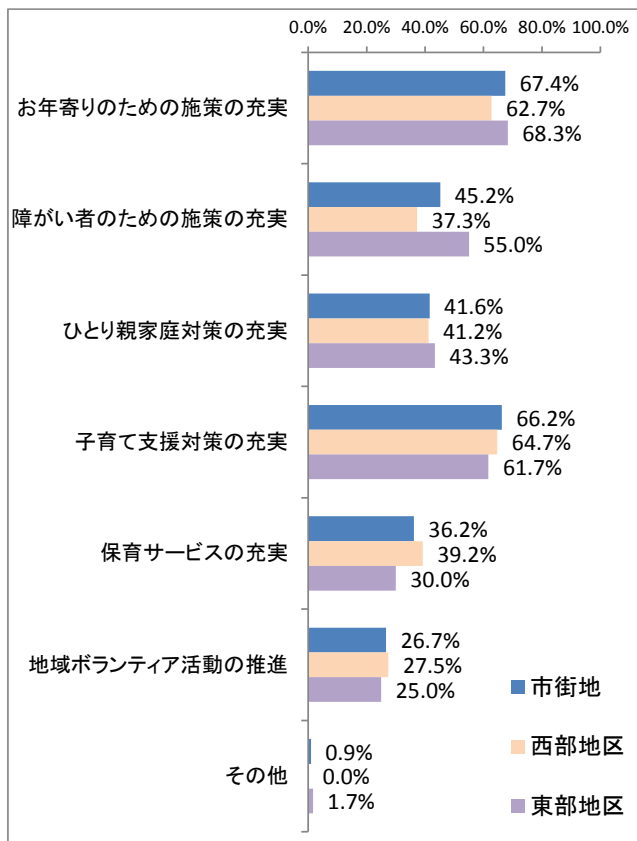
注：本設問は3つまでの選択を求めている

（２）地区別

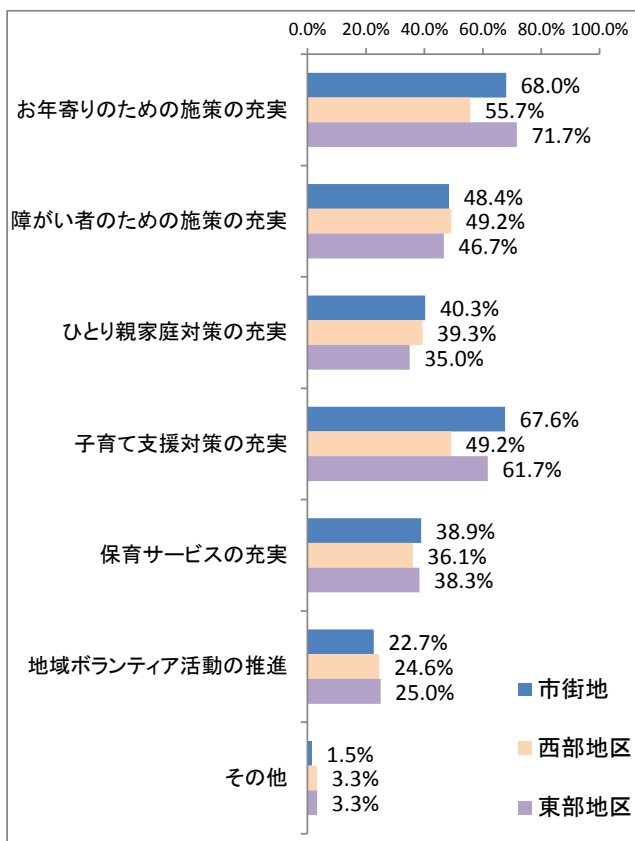
各地区とも「お年寄りのための施策」及び「子育て支援対策」が上位にあげられているほか、西部地区で「障がい者のための施策」への要望が高くなっている以外は、地区別には大きな差はみられていない。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、概ね大きな変化はみられていない。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は 3 つまでの選択を求めている

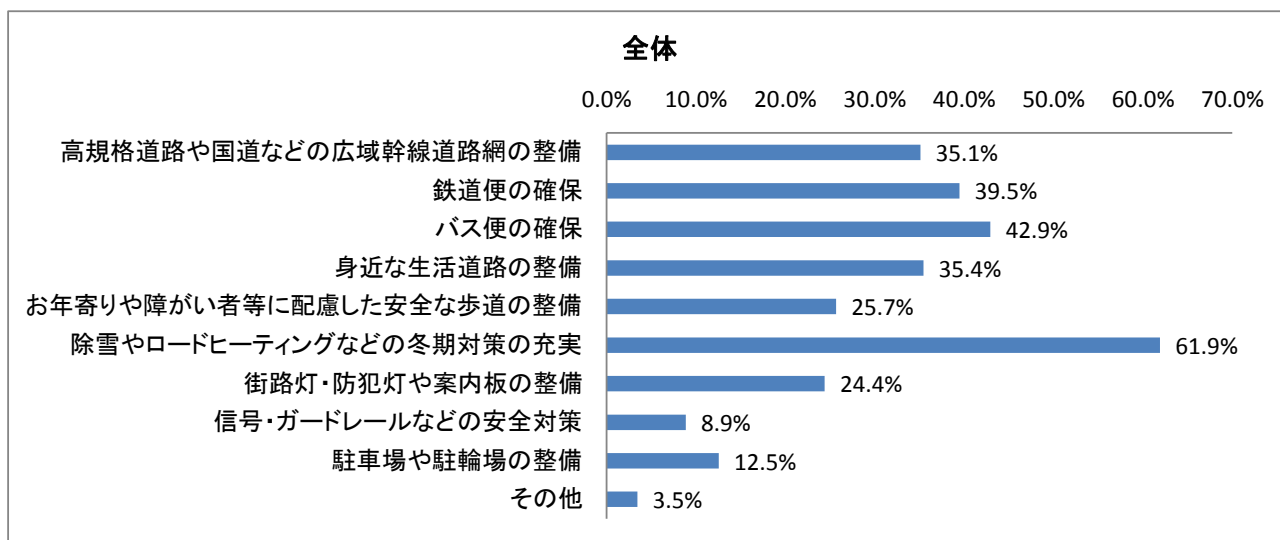
3. 1 1 道路交通について

(1) 市民全体

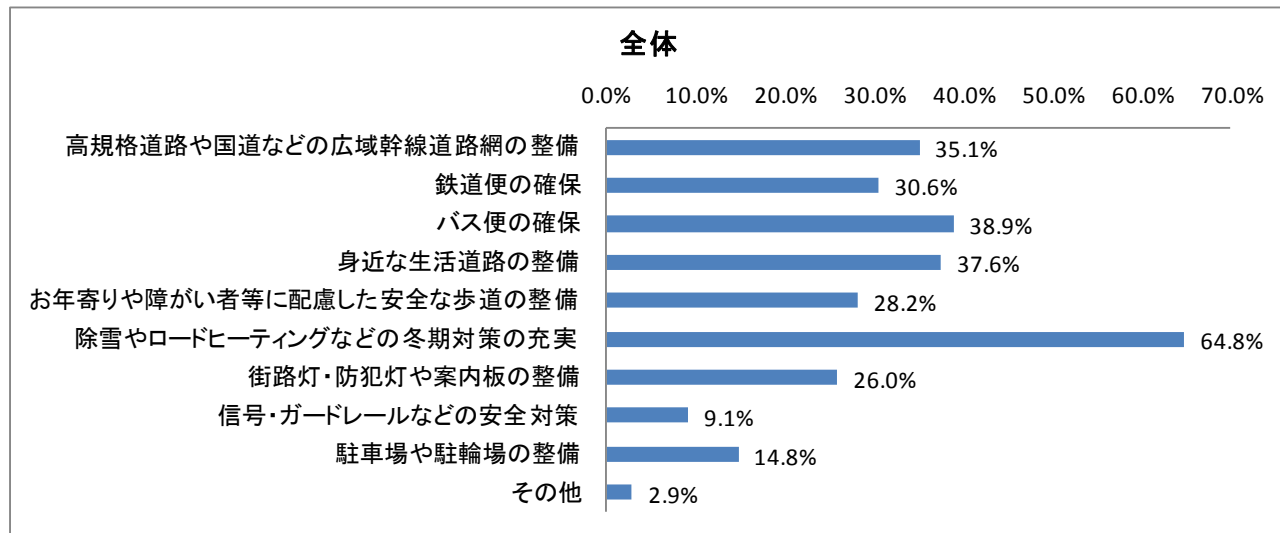
道路交通について今後重点的に取り組むべきと考えられている施策についてみると、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「バス便の確保」、「鉄道便の確保」、「身近な生活道路の整備」の順となっている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、釧路一環室間の鉄道路線の廃止が取り上げられてきている背景から、「鉄道便の確保」に対する意識が高まっている状況が伺える。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



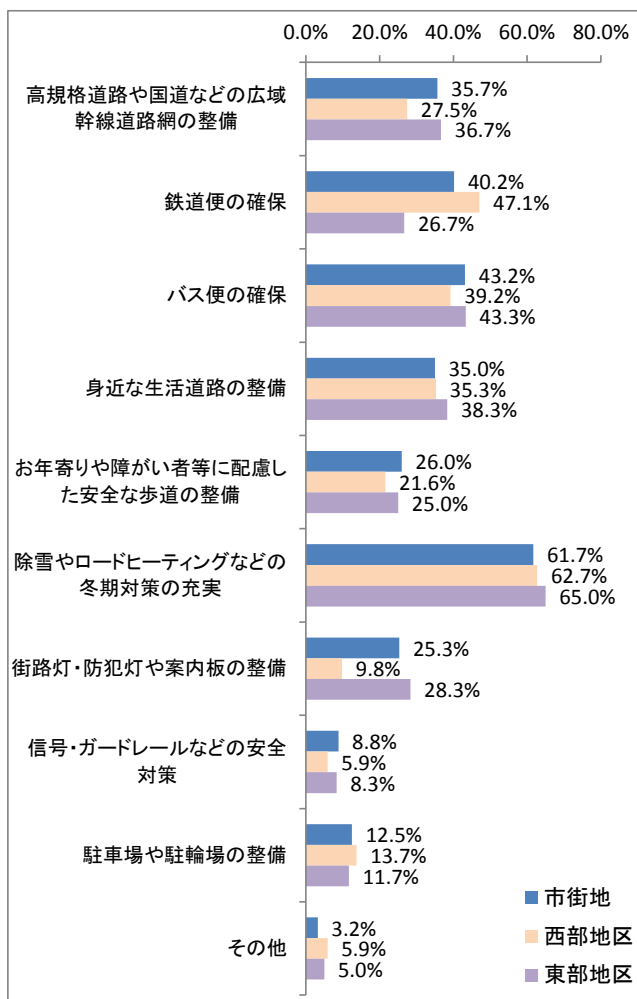
注：本設問は3つまでの選択を求めている

(2) 地区別

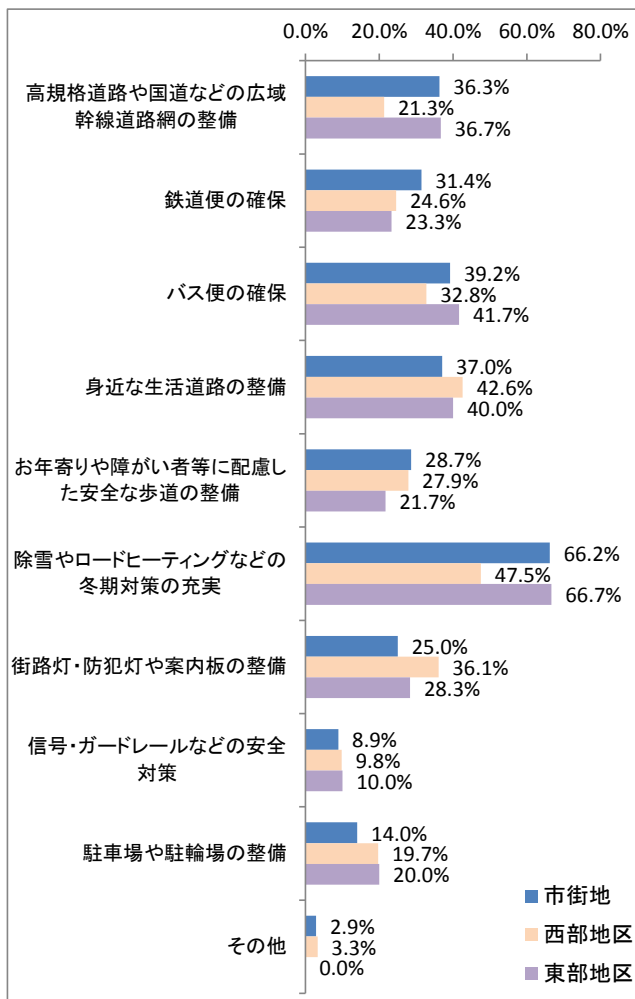
各地区とも「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多くなっているほか、「バス便の確保」、「鉄道便の確保」、「身近な生活道路の整備」、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」が上位にあげられている。ただし、「鉄道便の確保」に関しては、東部地区と西部地区で差がみられている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、特に、市街地と西部地区の住民では「鉄道便の確保」を重要とする回答割合が明らかに増加しているほか、西部地区では、「街路灯・防犯灯や案内板の整備」をあげる回答者の割合が減少している。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は 3 つまでの選択を求めている

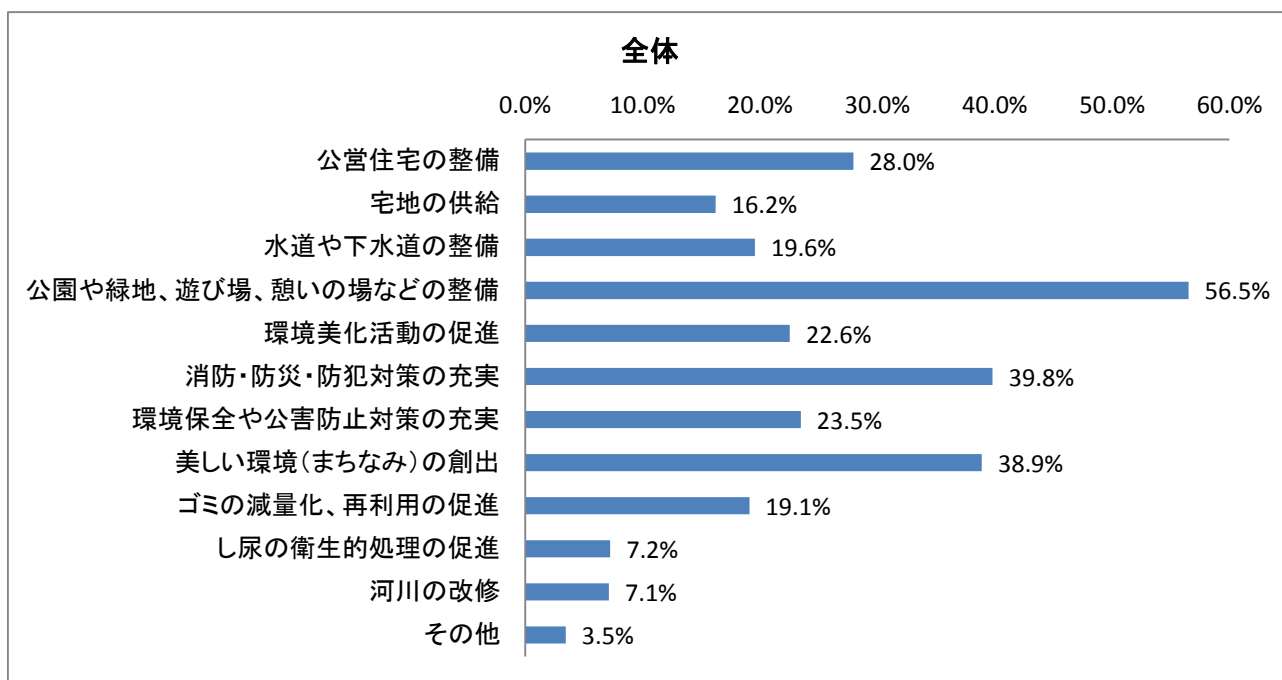
3. 1 2 生活環境について

(1) 市民全体

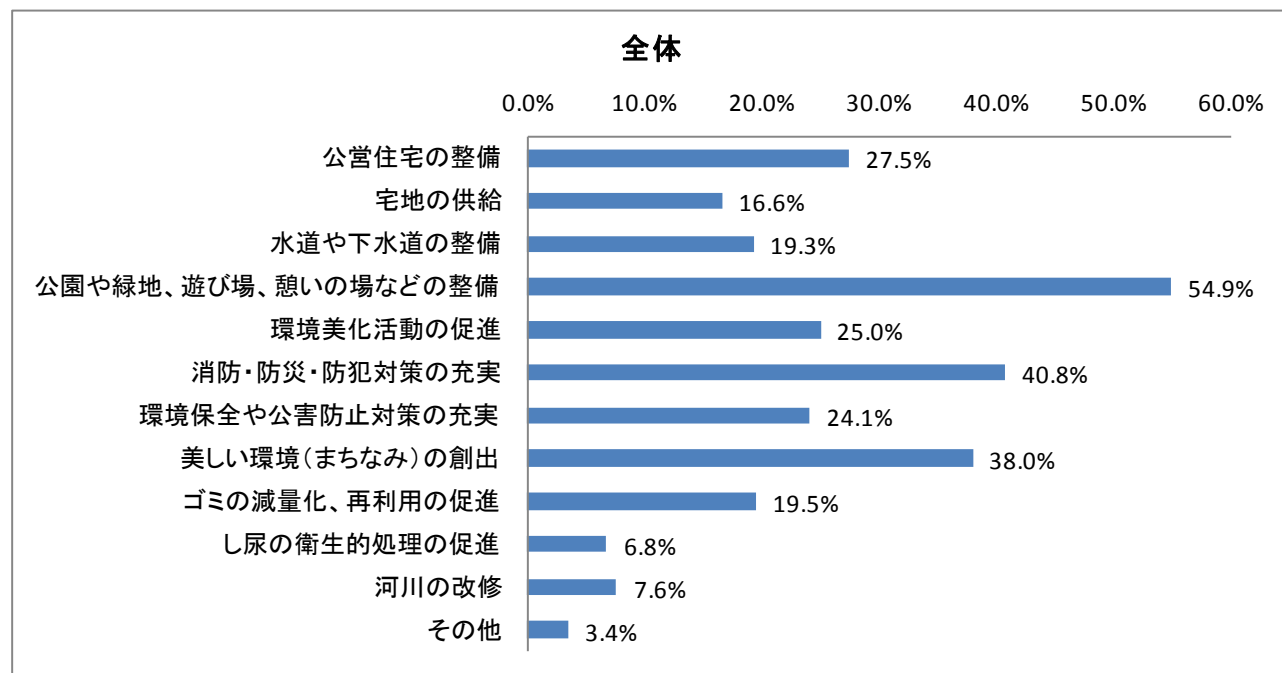
生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考えられている施策についてみると、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が最も多く、次いで「消防・防災・防犯対策の充実」、「美しい環境（まちなみ）の創出」、「公営住宅の整備」の順となっている。

この上位にあげられている施策の順位や回答者の割合は、平成 28 年度調査の結果とほぼ同じ結果となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



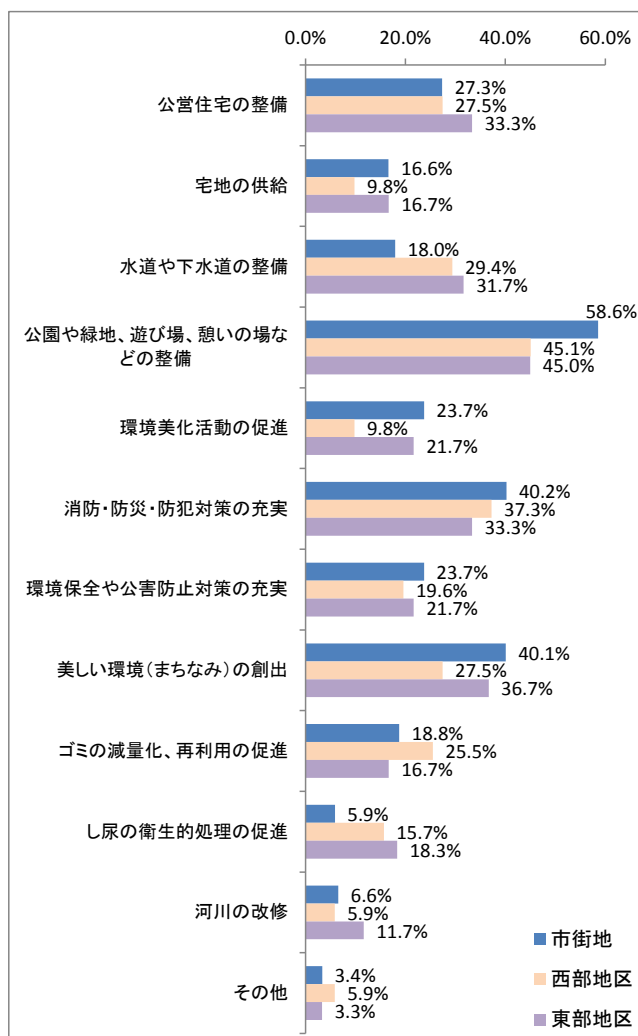
注：本設問は3つまでの選択を求めている

(2) 地区別

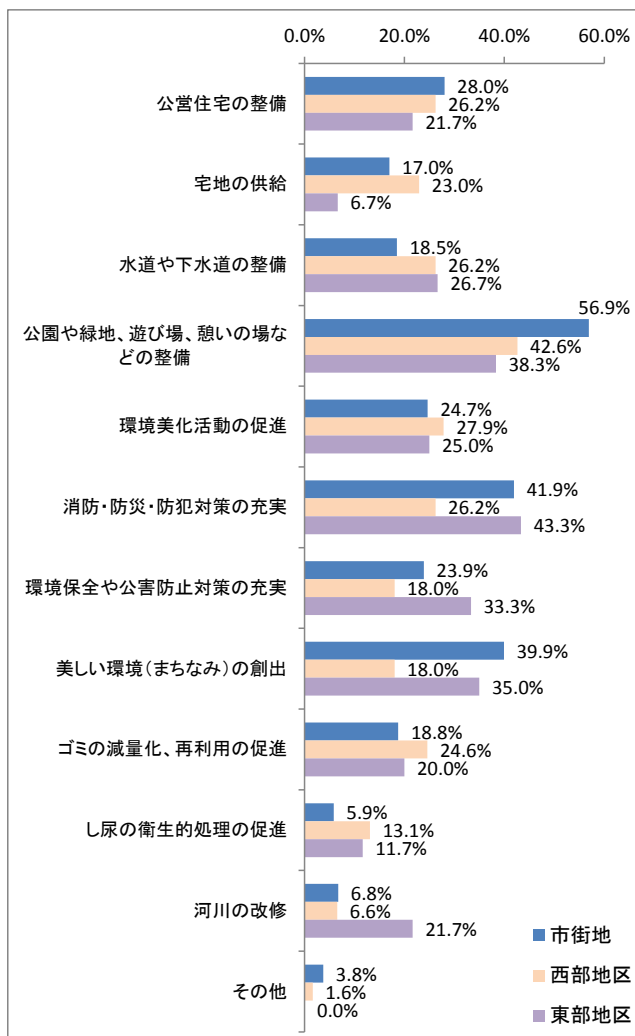
各地区ともに「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」を重要とする割合が最も高い。次いで、市街地、西部地区では「消防・防災・防犯対策の充実」が、東部地区では「美しい環境（まちなみ）の創出」が高くなっている。

この結果は、概ね平成 28 年度調査の結果と概ね同様の結果となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

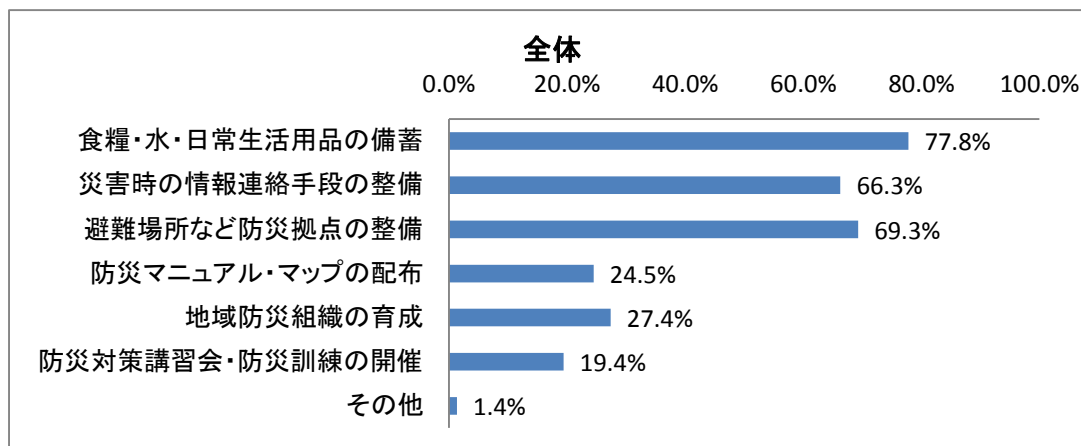
3. 13 防災・減災対策について（防災対策として重要と考えていること）

（1）市民全体

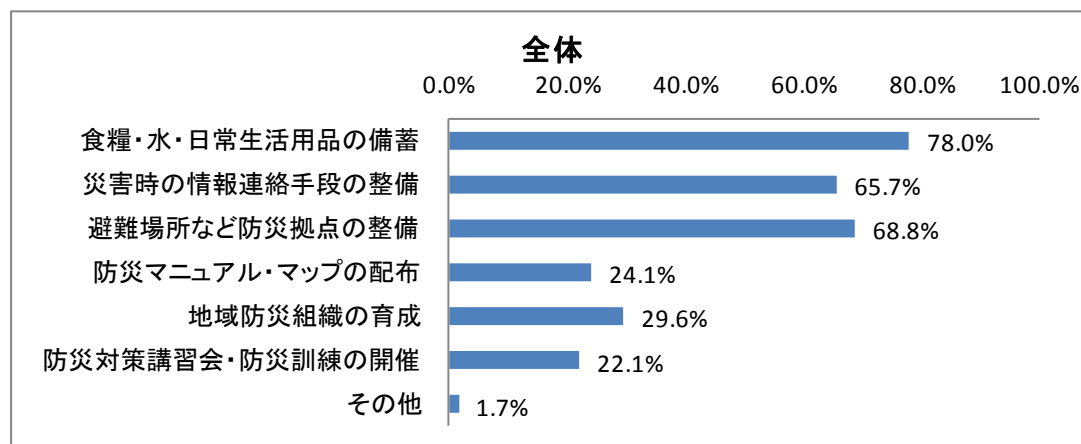
防災・減災対策として重要であるとする項目をみると、最も回答割合が高かった項目は、「食糧・水・日常生活用品の備蓄」であり、次いで、「避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」の順となっている。

この結果は、平成 28 年度調査の結果とほぼ同様の結果となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



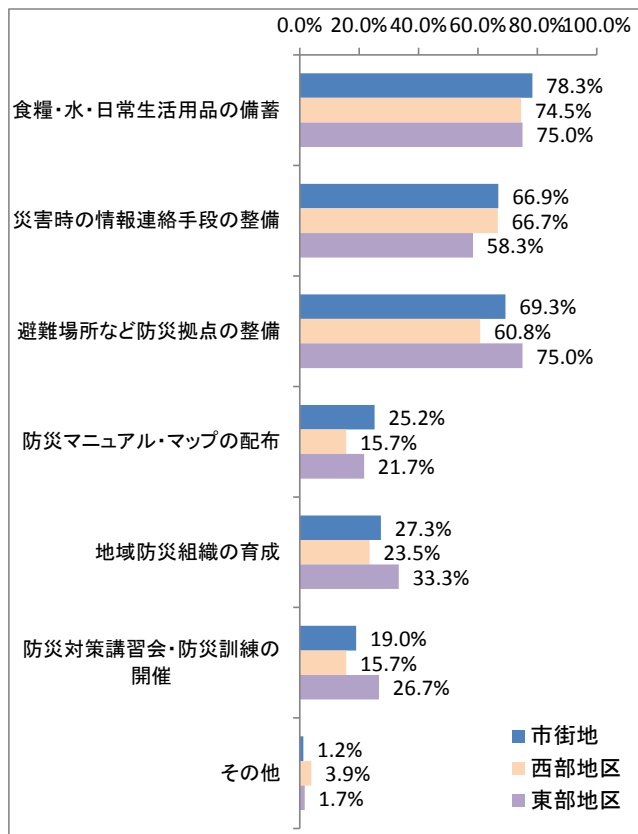
注：本設問は 3 つまでの選択を求めている

(2) 地区別

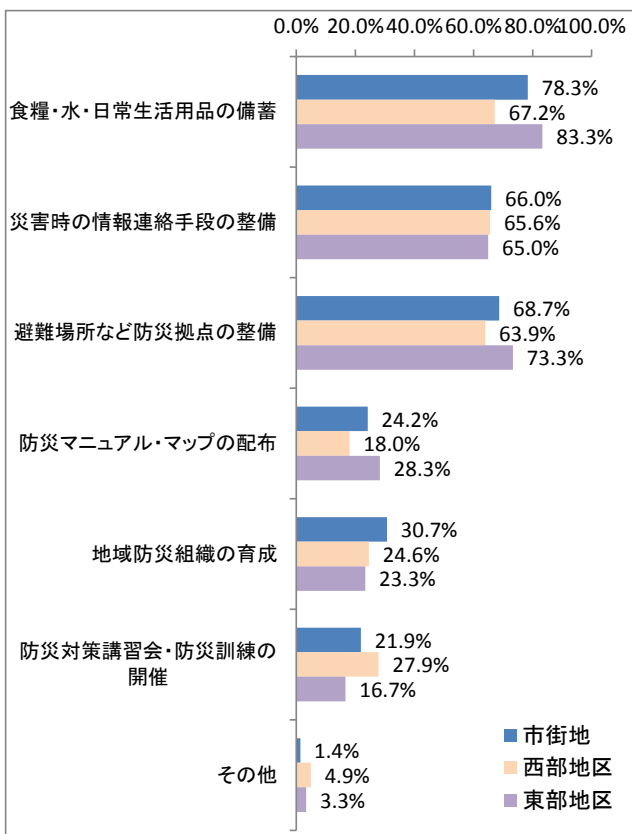
いずれの地区とも「食糧・水・日常生活用品の備蓄」、「避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」が上位にあげられており、地区によっては順位に違いはあるものの、この3項目は防災対策として重要とされている。

この結果は、平成28年度調査の結果とほぼ同様である。

<29年度調査>



<28年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

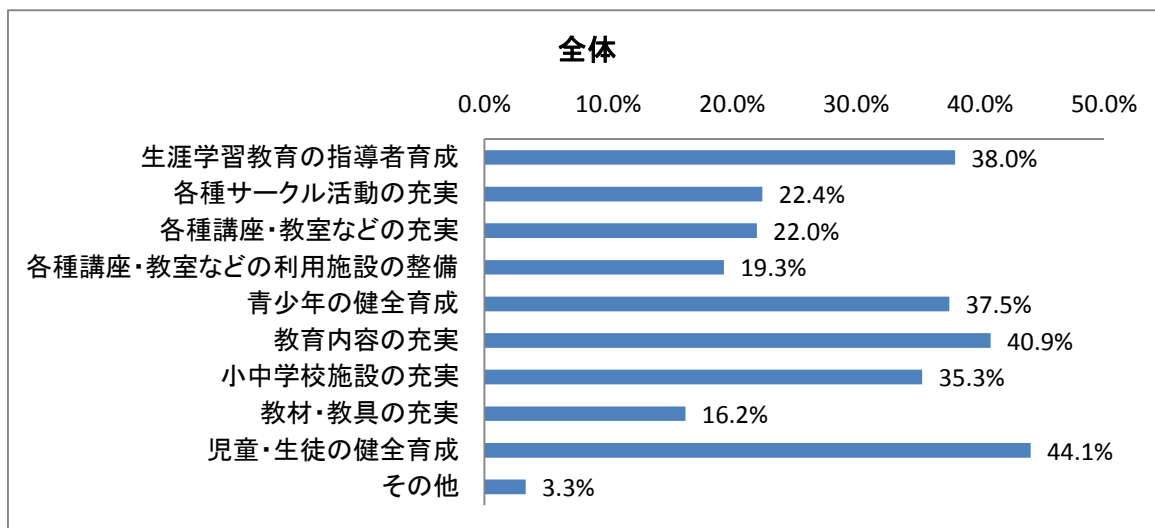
3. 1 4 学校教育・社会教育について

(1) 市民全体

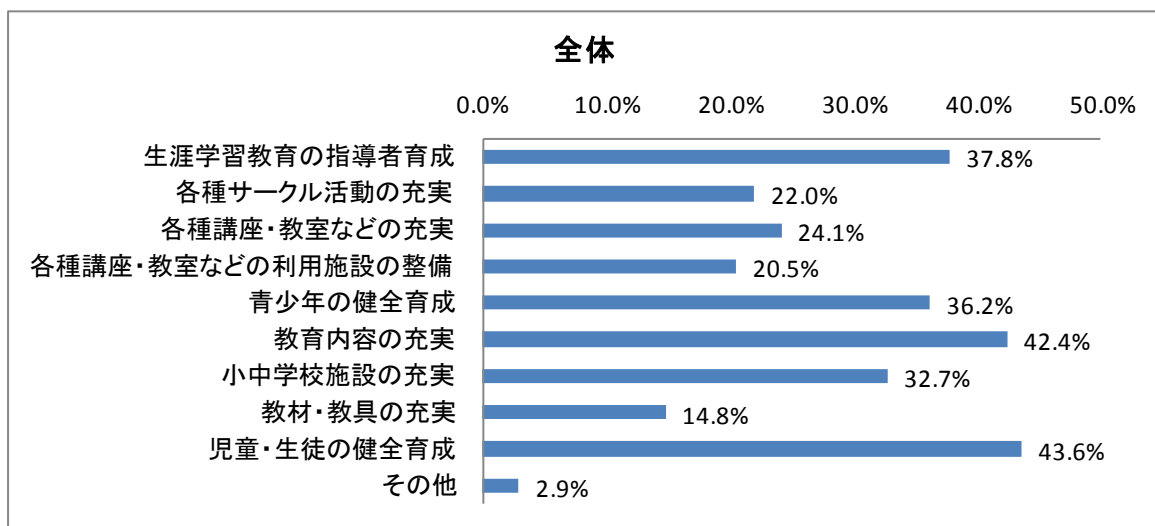
学校教育・社会教育に関して重要であるとする項目をみると、「児童・生徒の健全育成」が最も多く、次いで、「教育内容の充実」、「生涯学習教育の指導者育成」の順となっている。

この結果は、平成 28 年度調査の結果とほぼ同様の結果となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



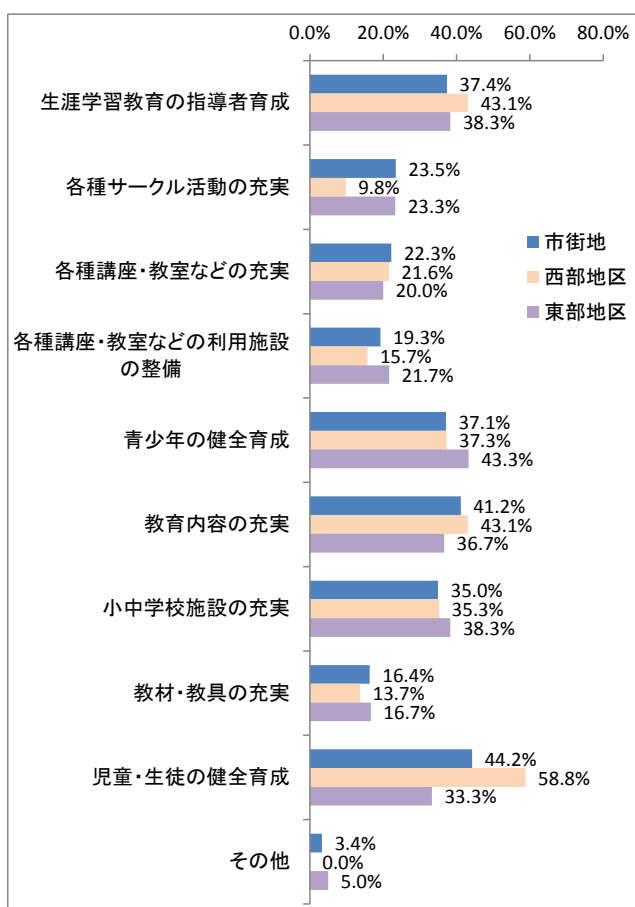
注：本設問は 3 つまでの選択を求めている

（２）地区別

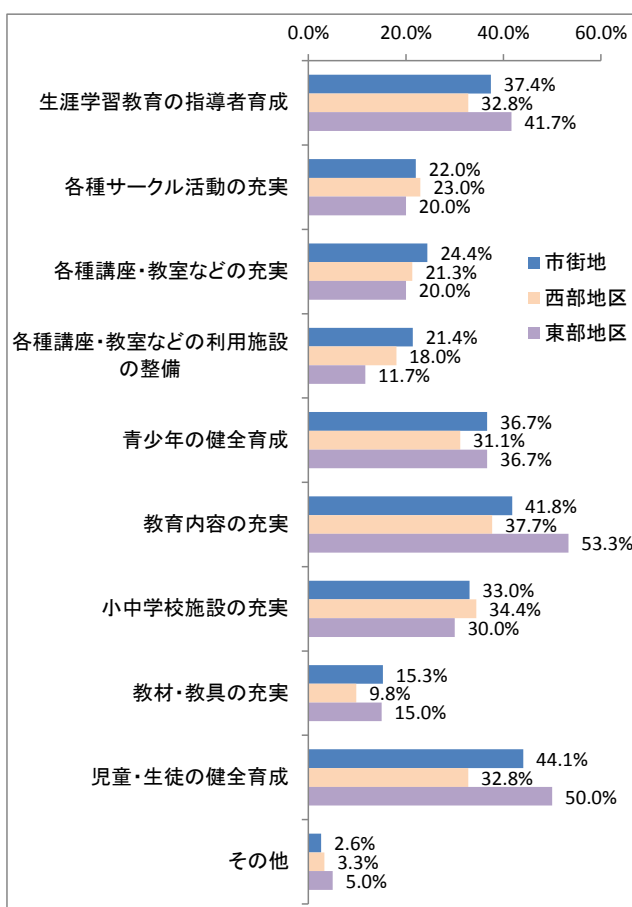
市街地と西部地区では、全体と同様に「児童・生徒の健全育成」が最上位にあげられ、次いで、「教育内容の充実」、「生涯学習教育の指導者育成」の順となっているが、東部地区では「青少年の健全育成」が最上位にあげられ、次いで、「小中学校施設の整備」、「生涯学習教育の指導者育成」の順となっており、地区別でやや異なる傾向がみられている。

平成28年度調査の結果と比較すると、西部地区及び東部地区で回答内容に変動がみられているが、サンプル数が少ないことなども要因と考えられ、次回以降の調査結果の動向を勘案することが必要である。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

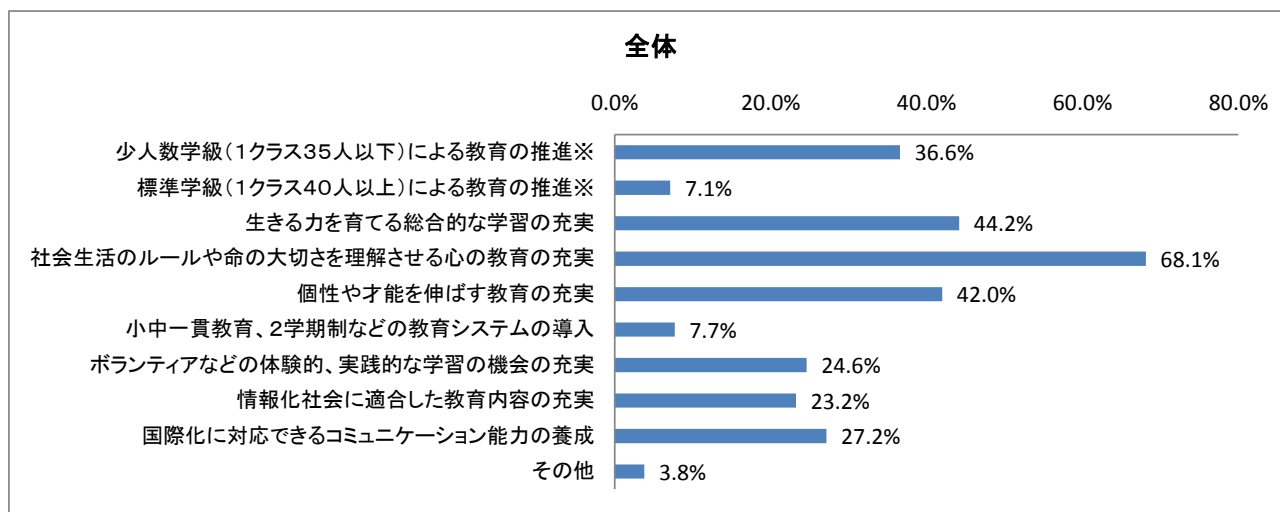
3. 15 学校教育について（学校教育の充実のために市が力を注ぐべきこと）

（１）市民全体

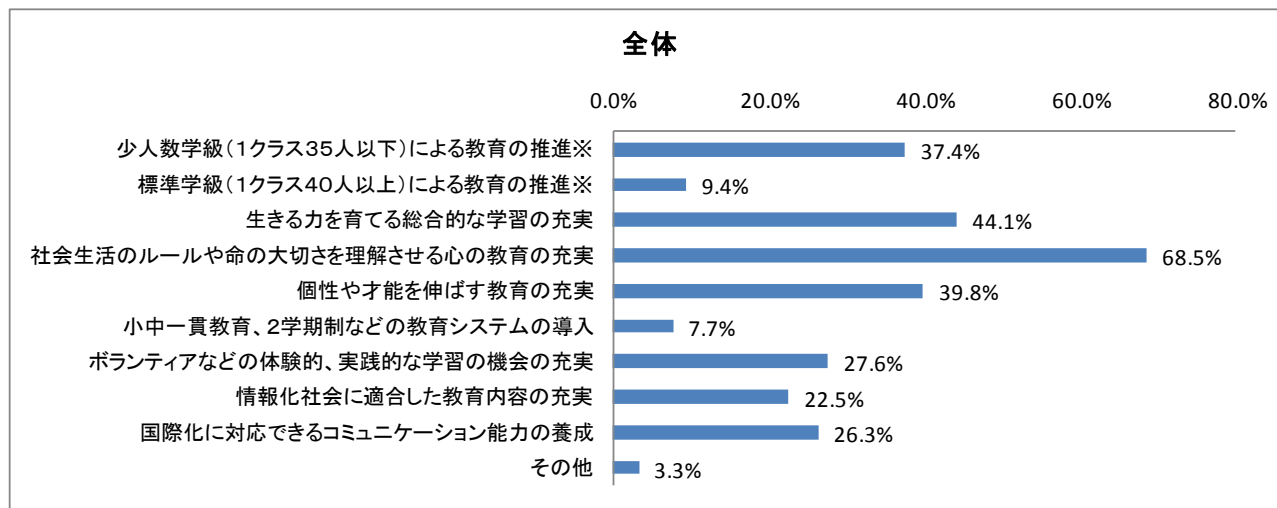
学校教育の充実のために市行政が力を注ぐべきと思う施策についてみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「少人数学級（１クラス 35 人以下）による教育の推進」の順となっている。

この結果は、ほぼ平成 28 年度調査と同様となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



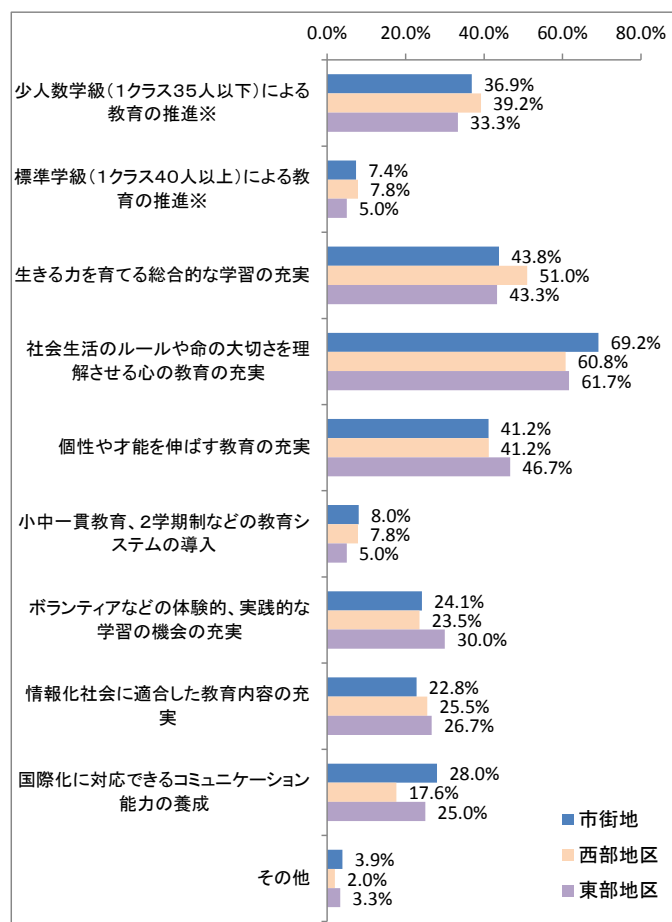
注：※は 28 年度調査から変更した項目

注：本設問は 3 つまでの選択を求めている

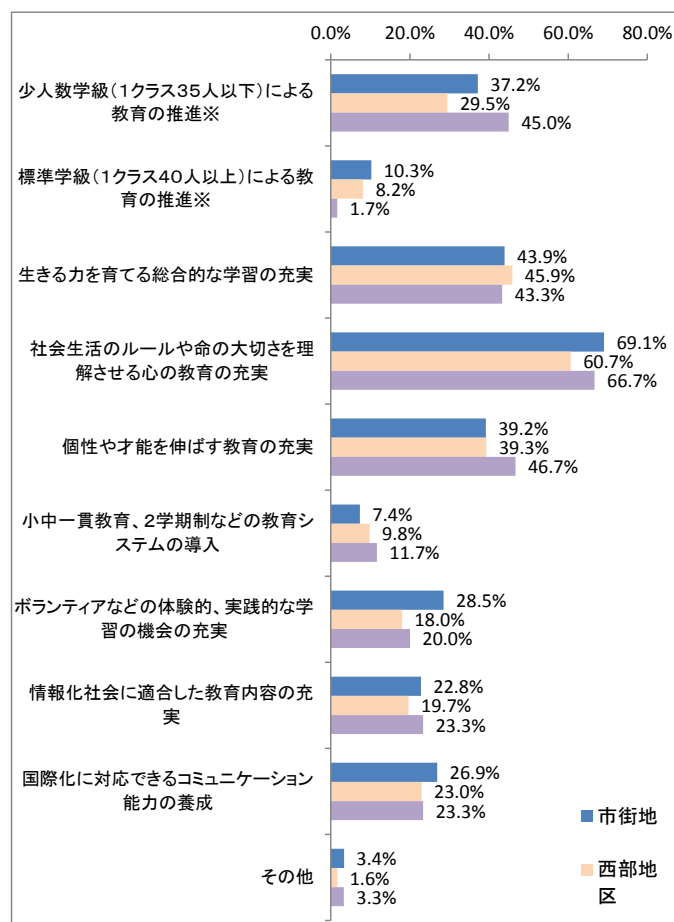
（２）地区別

いずれの地区も「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」の３項目が上位にあげられており、平成28年度調査の結果と同様となっている。

＜29 年度調査＞



＜28 年度調査＞



注：本設問は3つまでの選択を求めている

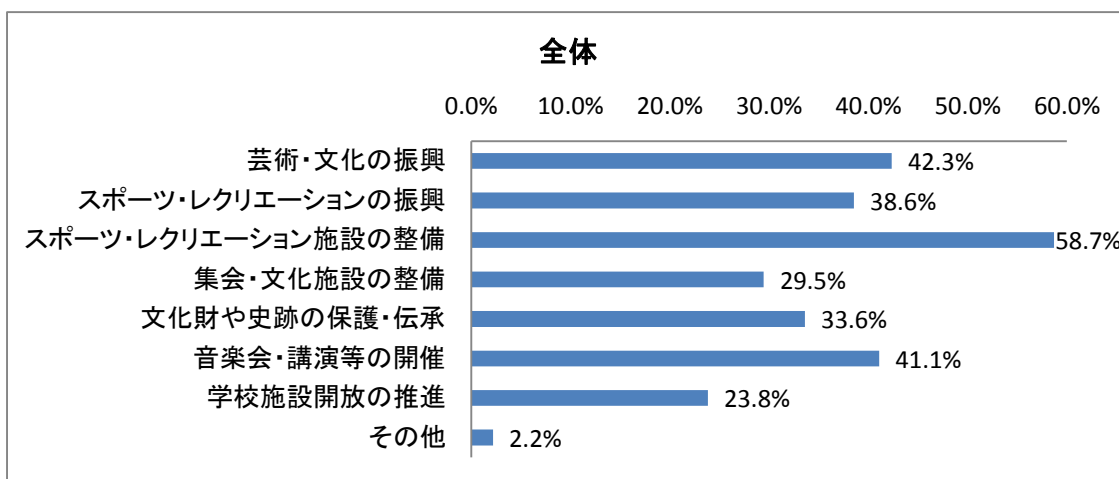
3. 16 スポーツ・レクリエーション・文化について

(1) 市民全体

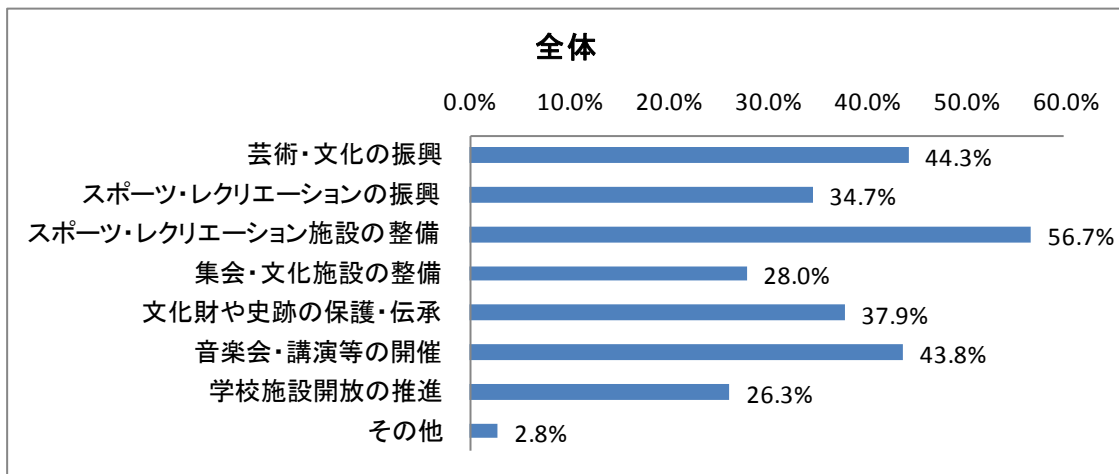
スポーツ・レクリエーション・文化について今後重点的に実施すべきと思う施策についてみると、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が最も多くなっており、次いで、「芸術・文化の振興」、「音楽会・講演会の開催」、「スポーツ・レクリエーションの振興」の順となっている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、「スポーツ・レクリエーションの振興」と「文化財や史跡の保護・伝承」が逆転している。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



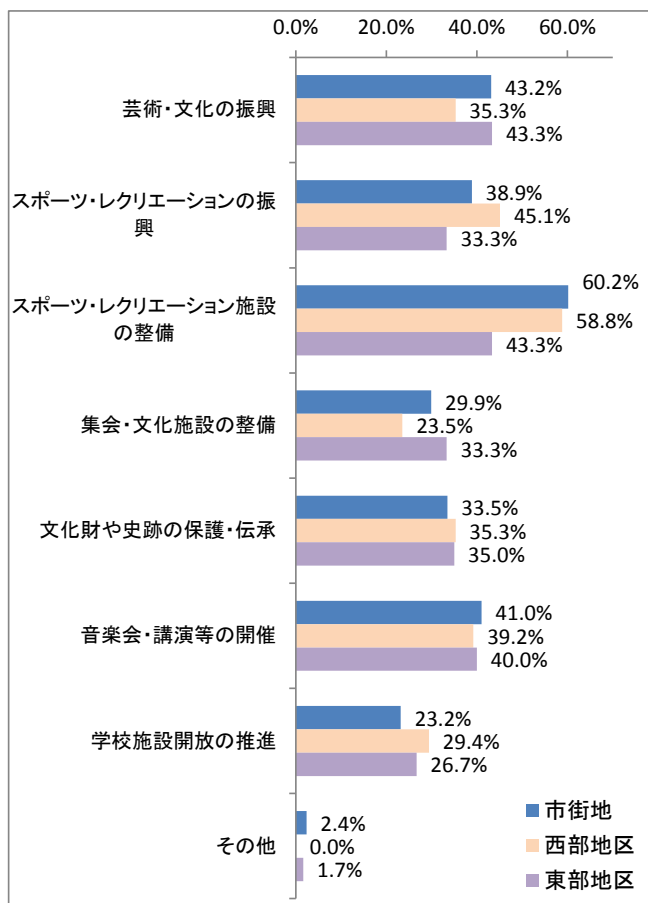
注：本設問は3つまでの選択を求めている

（２）地区別

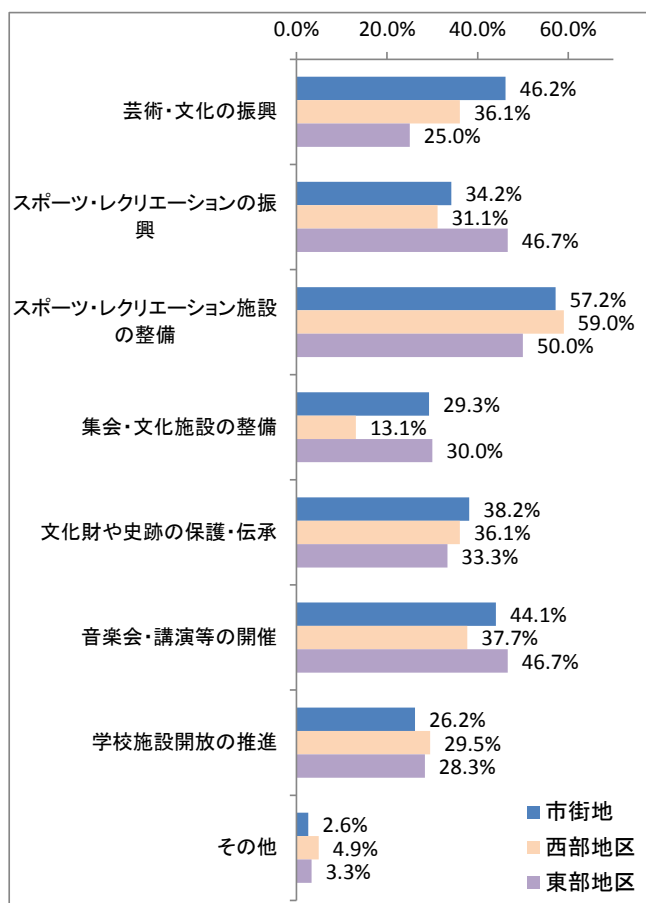
いずれの地区とも「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が最上位となっており、次いで、市街地、東部地区では「芸術・文化の振興」、西部地区では「スポーツ・レクリエーションの振興」の順となっている。

平成 28 年度調査の結果と比較しても、大きな変化はみられていない。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は3つまでの選択を求めている

3. 17 産業の振興について

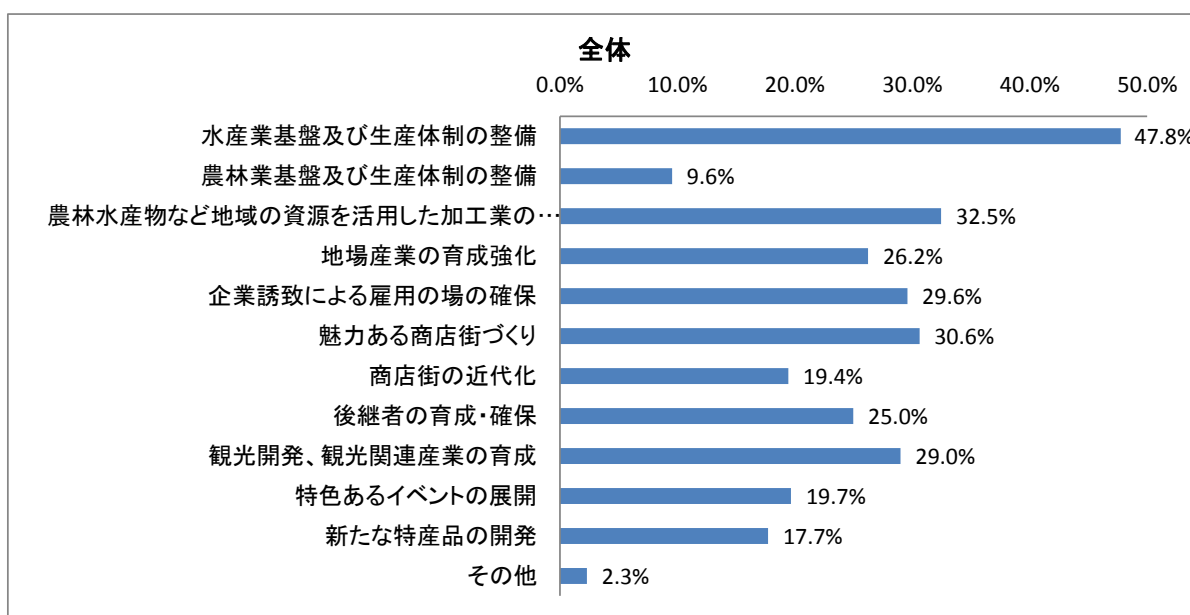
(1) 市民全体

根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高い。次いで、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「観光開発、観光関連産業の育成」の順となっている。

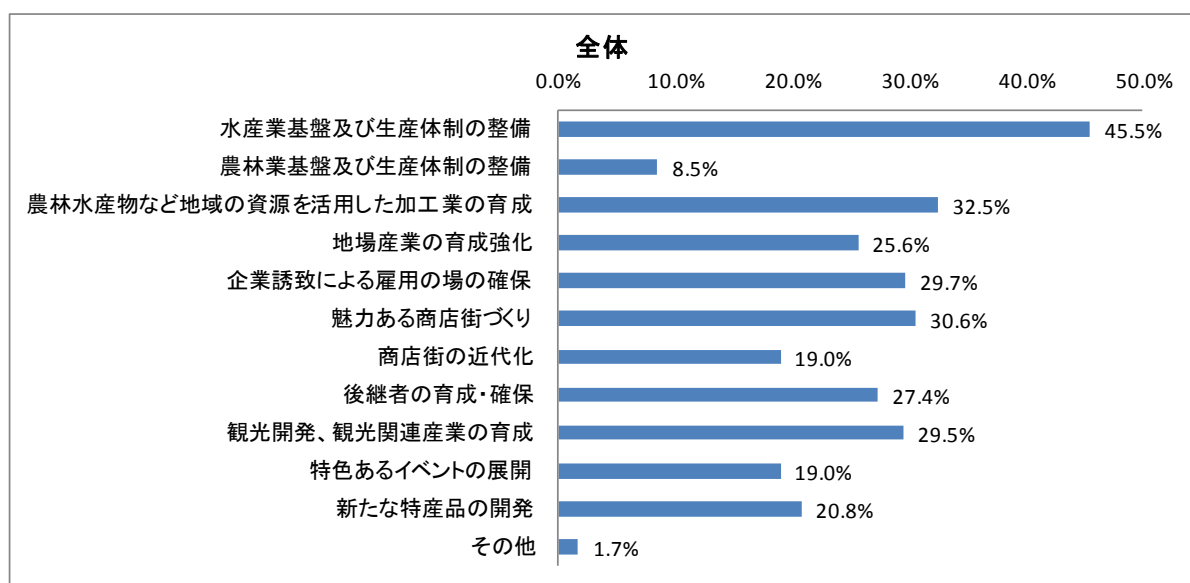
平成28年度調査の結果と比較すると、ロシア200海里内サケマス流し網漁が禁止になった影響が今年度も継続している状況が伺え、「水産業基盤及び生産体制の整備」が最上位にあげられている。

その他、上位にあげられている項目の順位及び回答者の割合はほとんど変わっていない。

<29年度調査>



<28年度調査>



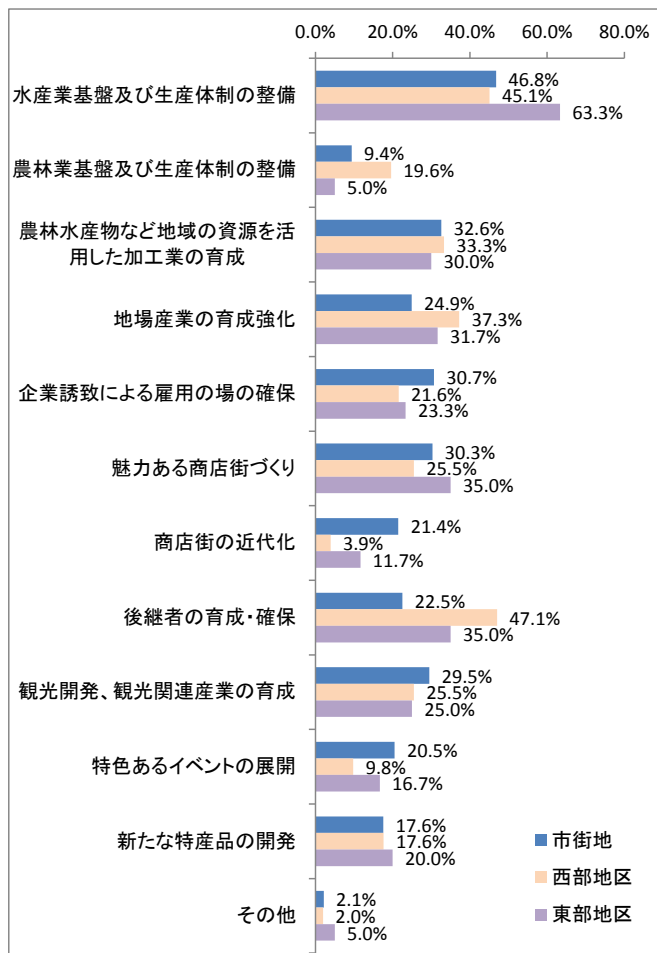
注：本設問は3つまでの選択を求めている

（２）地区別

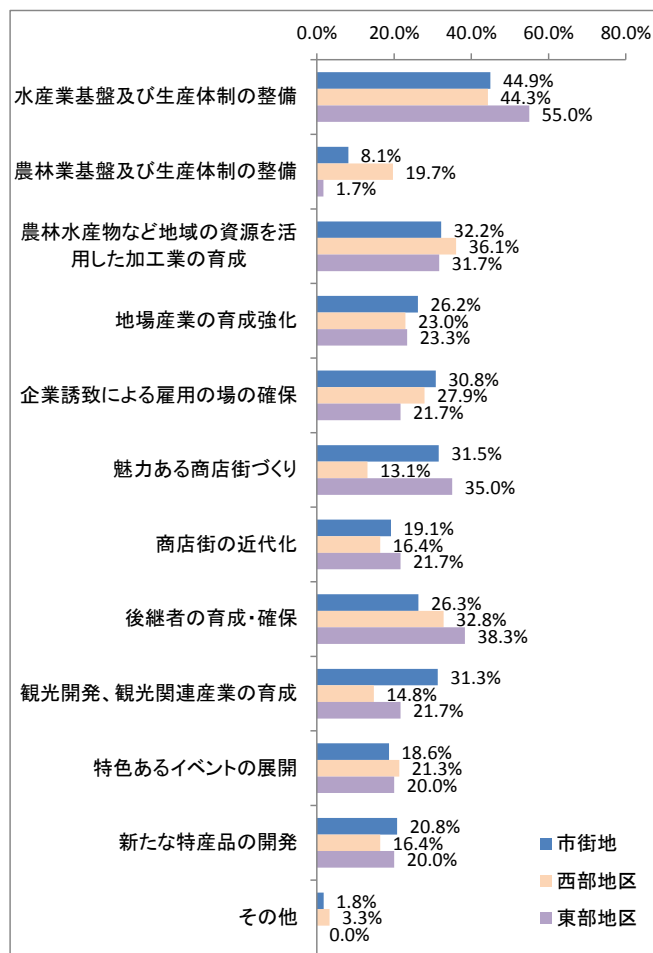
地区別でみると、市街地は、ほぼ市民全体の傾向と同様の傾向を示しているが、東部地区と西部地区では、主たる産業を反映して異なった傾向がみられており、東部地区では漁業者が多いことから「水産業基盤及び生産体制の整備」が、西部地区では酪農事業者も多く居住することから、「後継者の育成・確保」が最上位にあげられている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、地区別で若干の順位の変動がみられているものの、ほぼ同様の結果となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は３つまでの選択を求めている

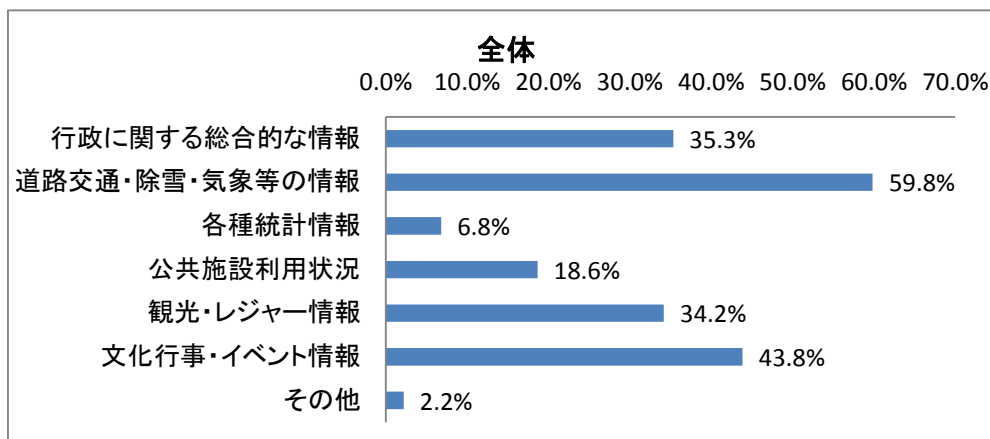
3. 18 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

（1）全体

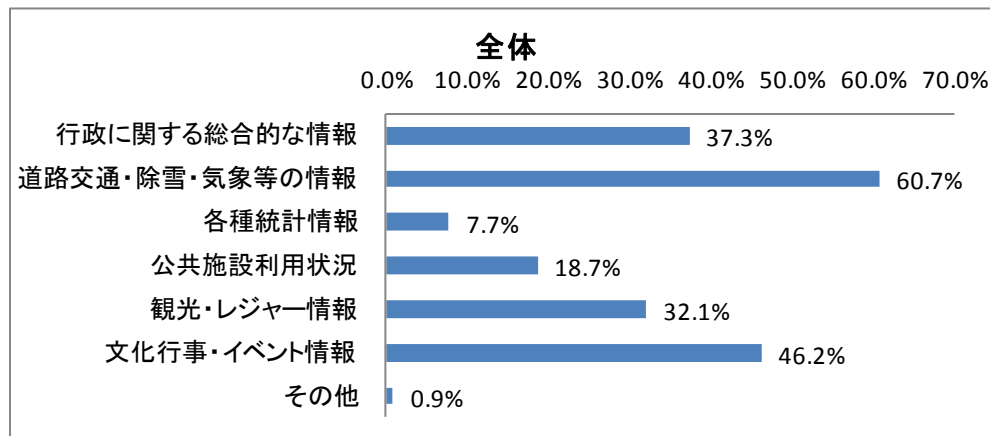
行政からの情報提供に対する要望をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高くなっている。

この結果は、平成 28 年度調査の結果とほぼ同様である。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



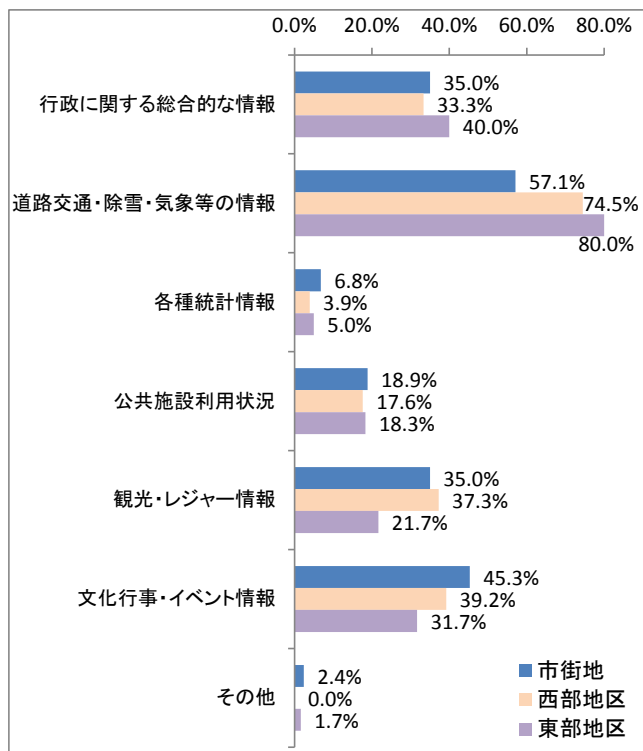
注：本設問は2つまでの選択を求めている

（２）地区別

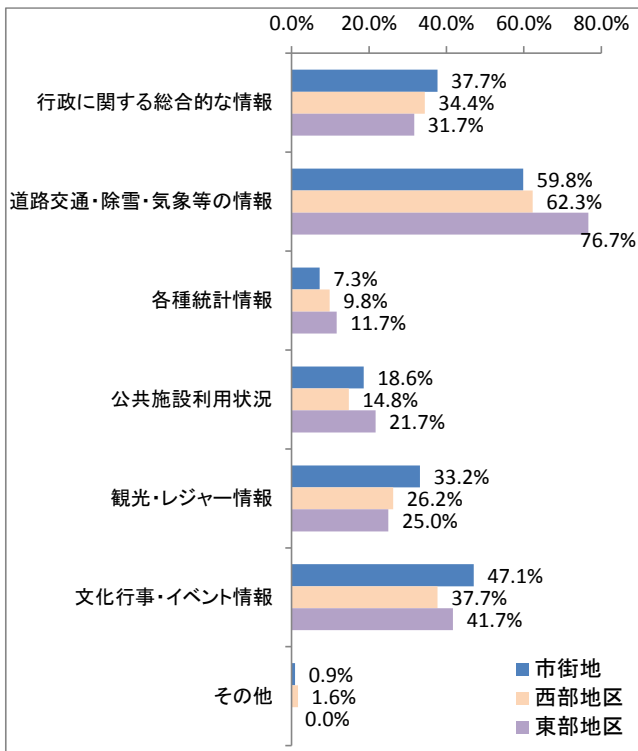
「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」は、すべての地区で上位にあげられている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、「観光・レジャー情報」に対する重要度も高まっている状況が伺える。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は 2 つまでの選択を求めている

3. 19 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）

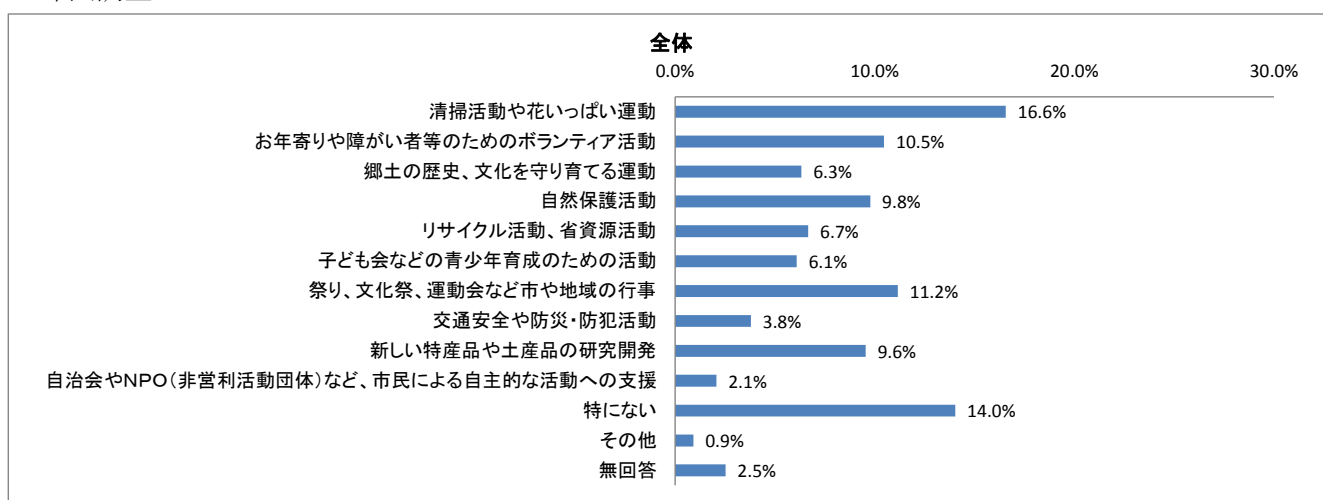
（1）市民全体

市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加するとの回答が最も多かった活動は、「清掃活動や花いっぱい運動」であり、次いで「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「お年寄りや障がい者のためのボランティア活動」の順となっている。

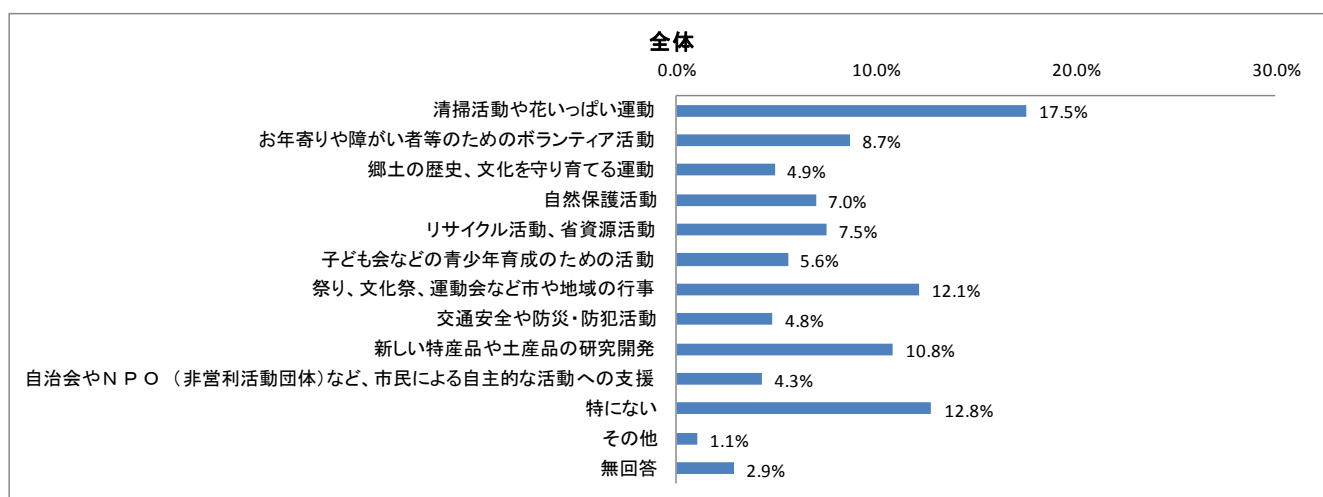
ただし、一方では「特にない」という回答も14.0%と多くなっている。

平成28年度調査の結果と比較すると、「清掃活動や花いっぱい運動」や「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」等への参加率がいずれも減少し、「特にない」が増加しており、総じて市民協働への参加意識がやや低下しているようにも伺える。

<今回調査>



<前回調査>



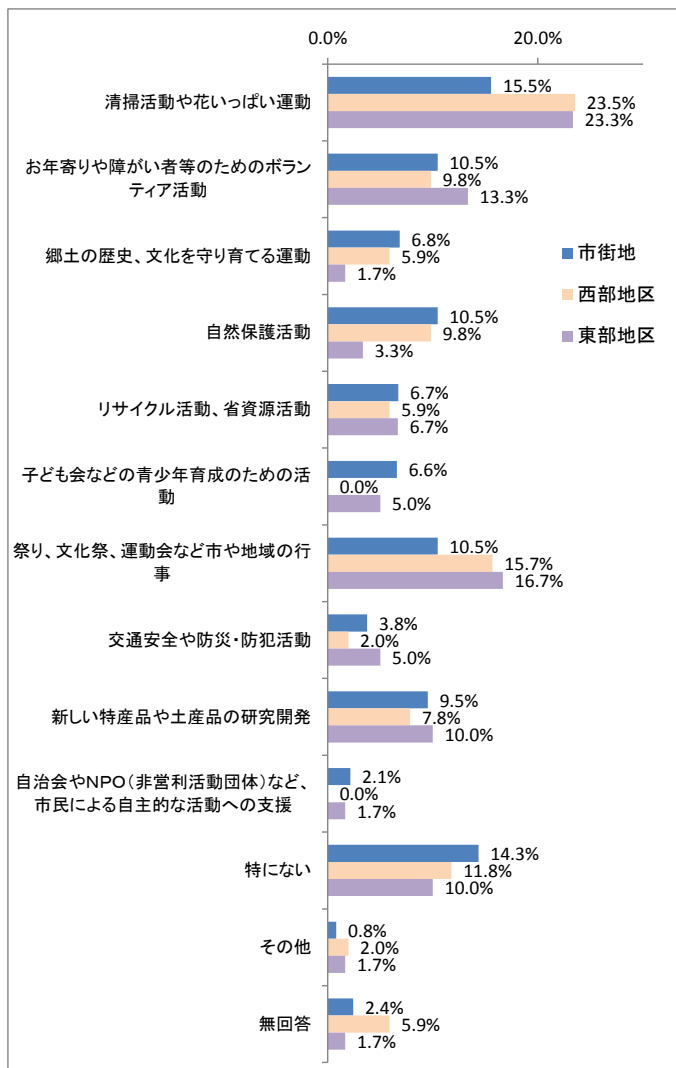
注：本設問は複数回答ではないが、参加希望率の大小を比較し易いように棒グラフで示した。

（２）地区別

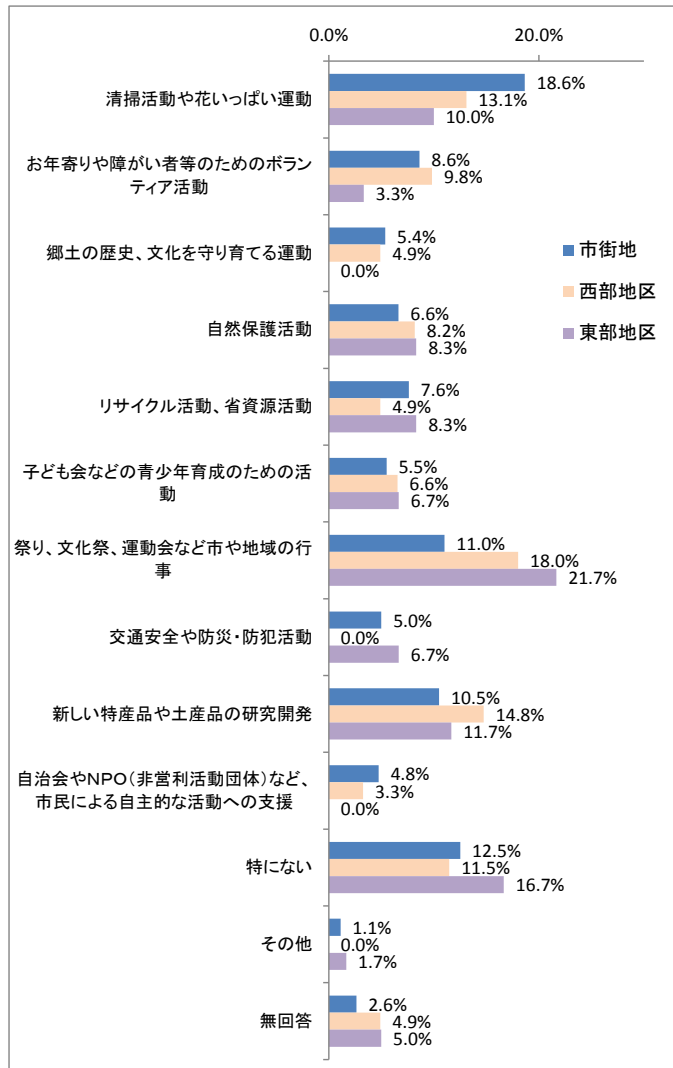
各地区とも「清掃活動や花いっぱい運動」への参加率が最も多く、次いで「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」となっている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、総じて、参加率が低下している中で、「お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動」や「自然保護活動」への参加率はやや増加している。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は複数回答ではないが、参加希望率の大小を比較し易いように棒グラフで示した。

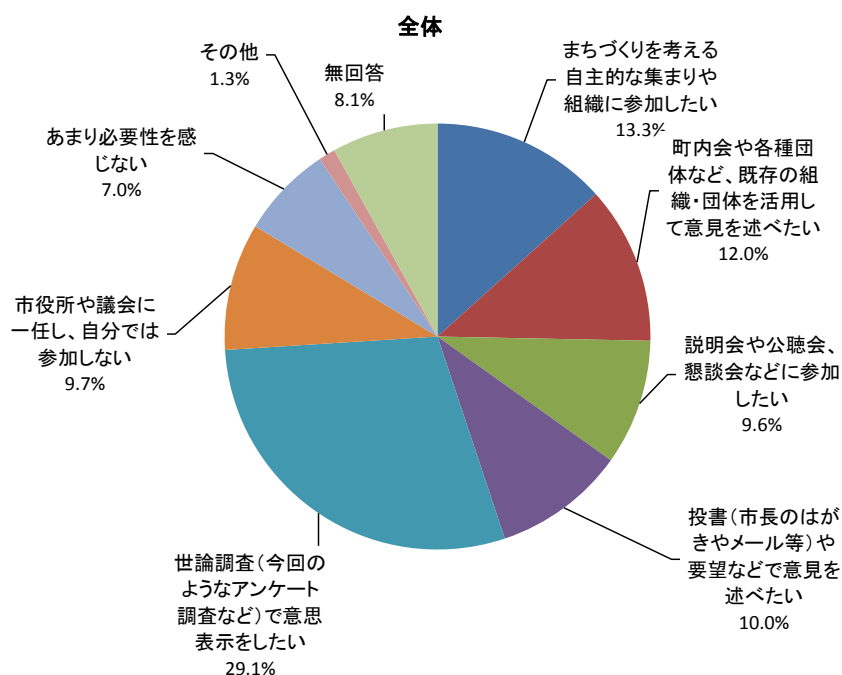
3. 20 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

（1）全体

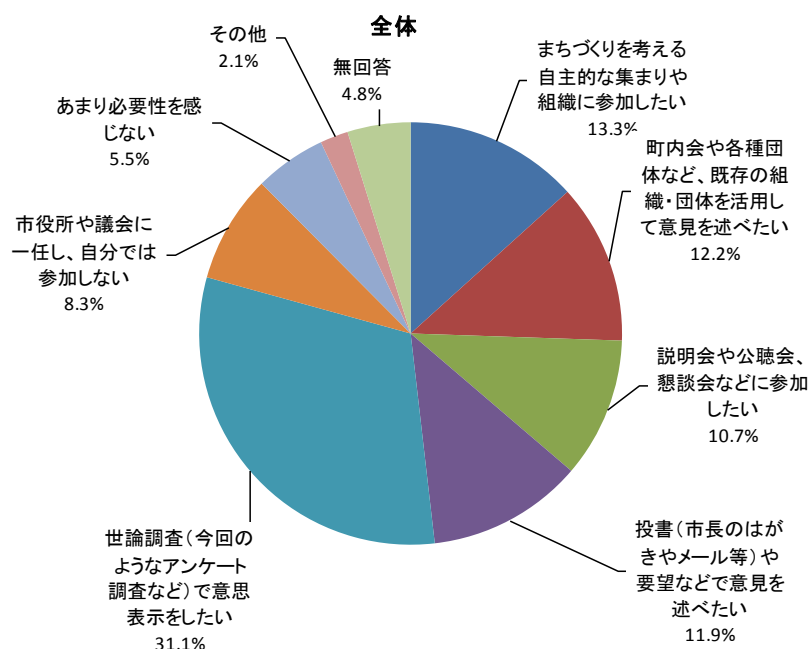
まちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望であった。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、といった要望も比較的多かった。

この結果は、平成 28 年度調査とほぼ同様の結果となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>

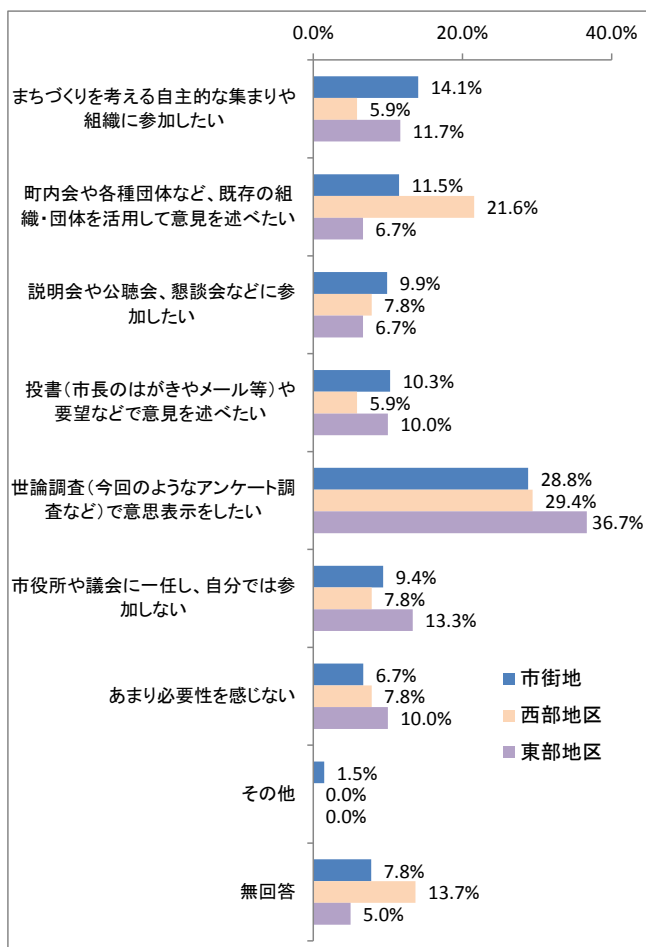


（２）地区別

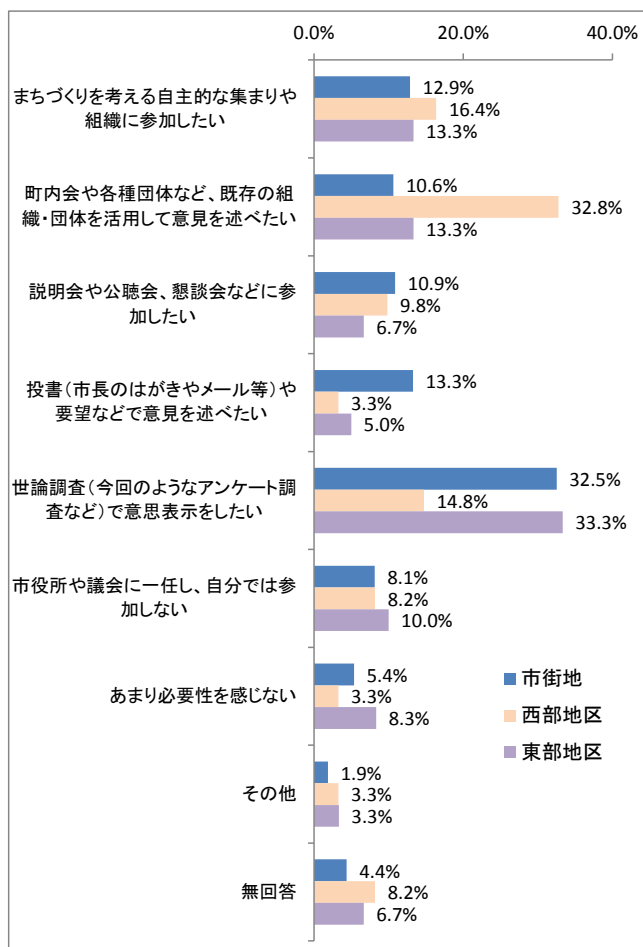
地区別にみると、各地区とも、世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」が最も多くなっており、これに次いで市街地では、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」が、西部地区では「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」が多くなっている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、地域によって希望が多い方法の順位はやや異なるものの、概ね同様の傾向となっている。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



注：本設問は複数回答ではないが、参加希望率の大小を比較し易いように棒グラフで示した。

3. 2 1 男女共同参画について

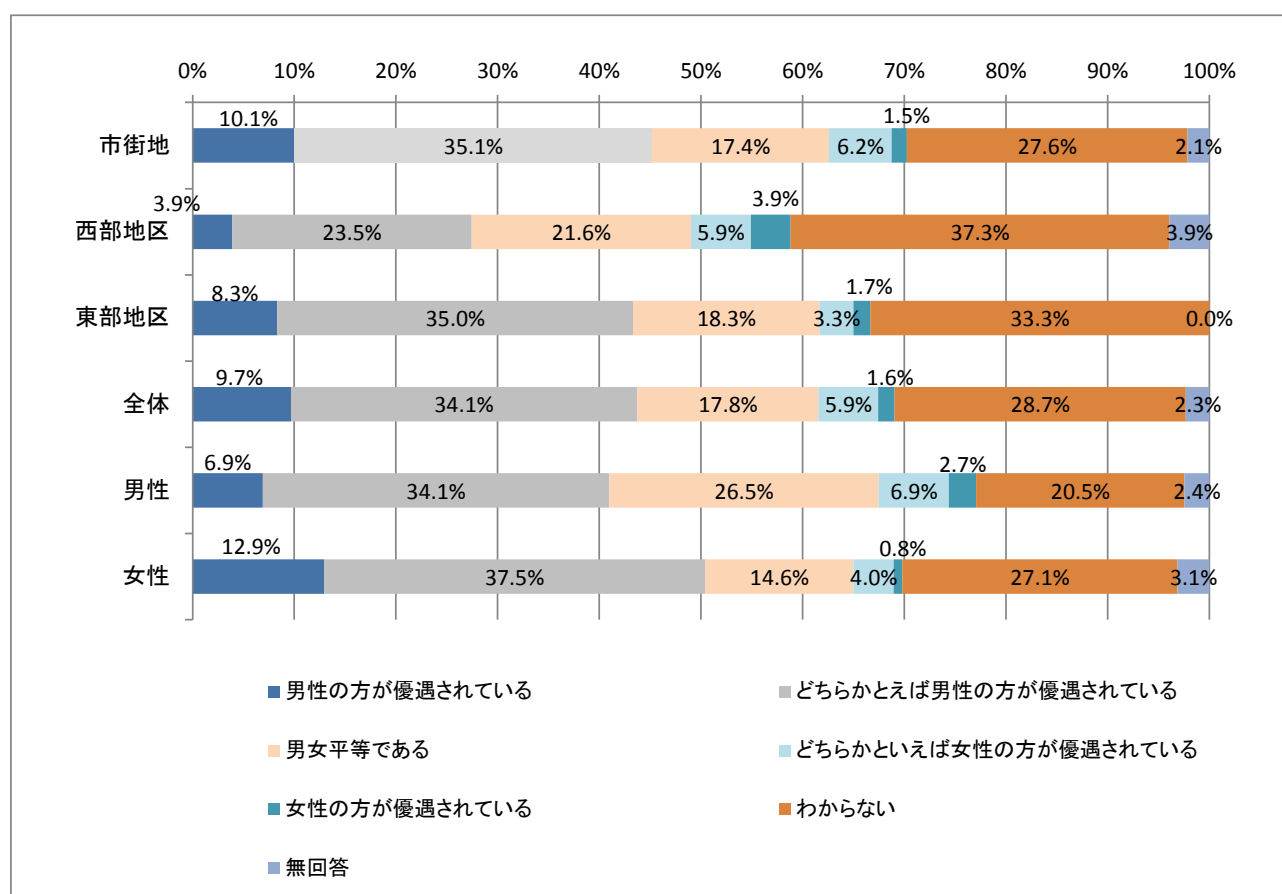
生活全般を通しての男女平等については、市民全体では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて 43.8%となっており、「男女平等である」は 17.8%と、男女平等意識が低い状況となっている。

このような傾向は、ほぼ各地区とも同様となっている。

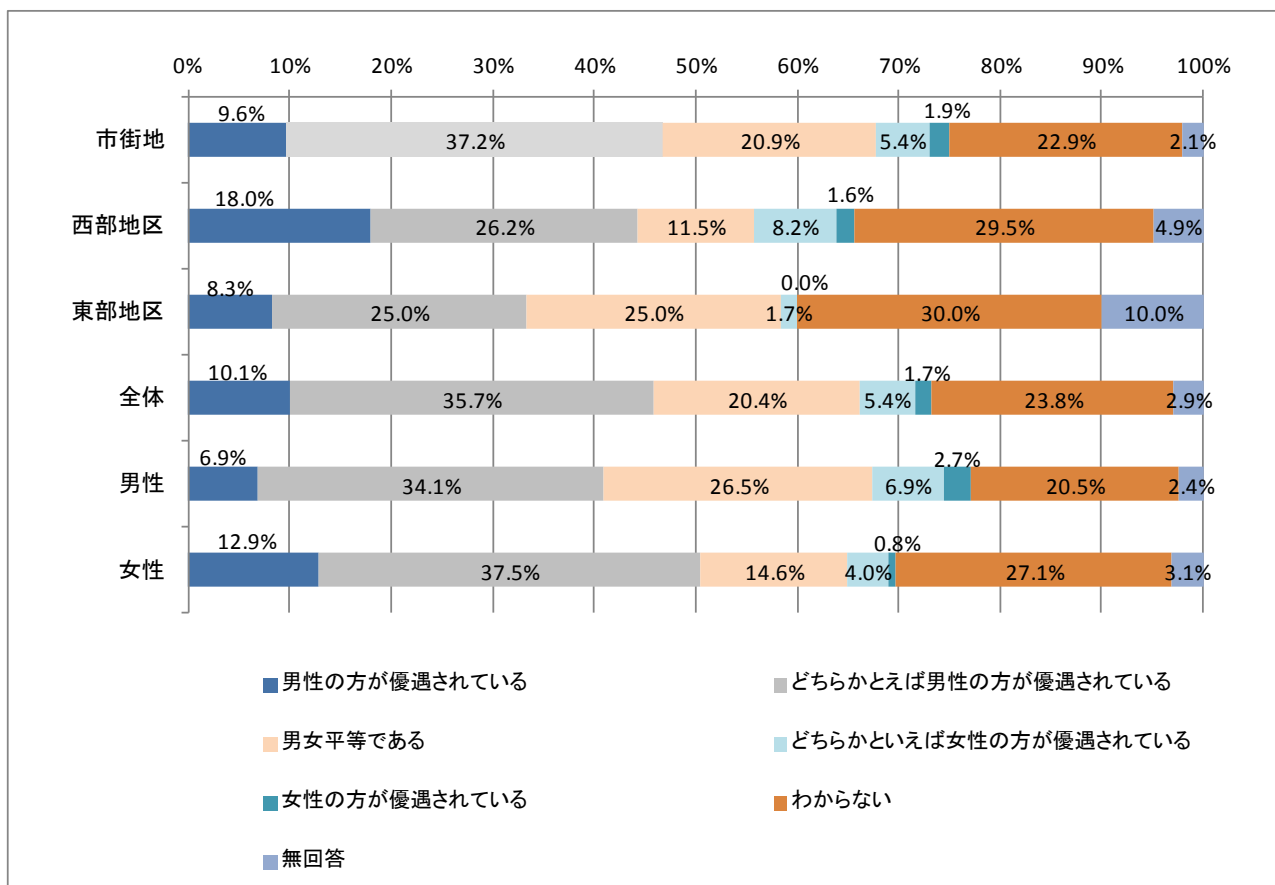
一方、男女別でみると、女性では、「男性の方が優遇されている」が 5 割を超えており、男性よりも男女が平等であるという意識は低い状況となっている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると、ほぼ同様の結果であり、特に男女での平等意識にギャップがある状況が伺える。

<29 年度調査>



<28 年度調査>

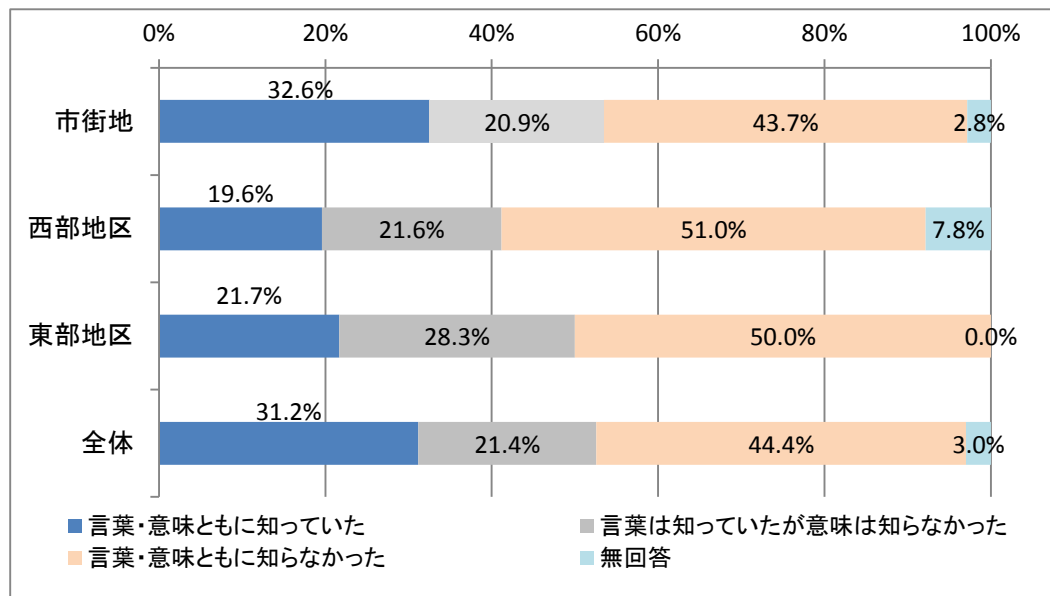


3. 2 2 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

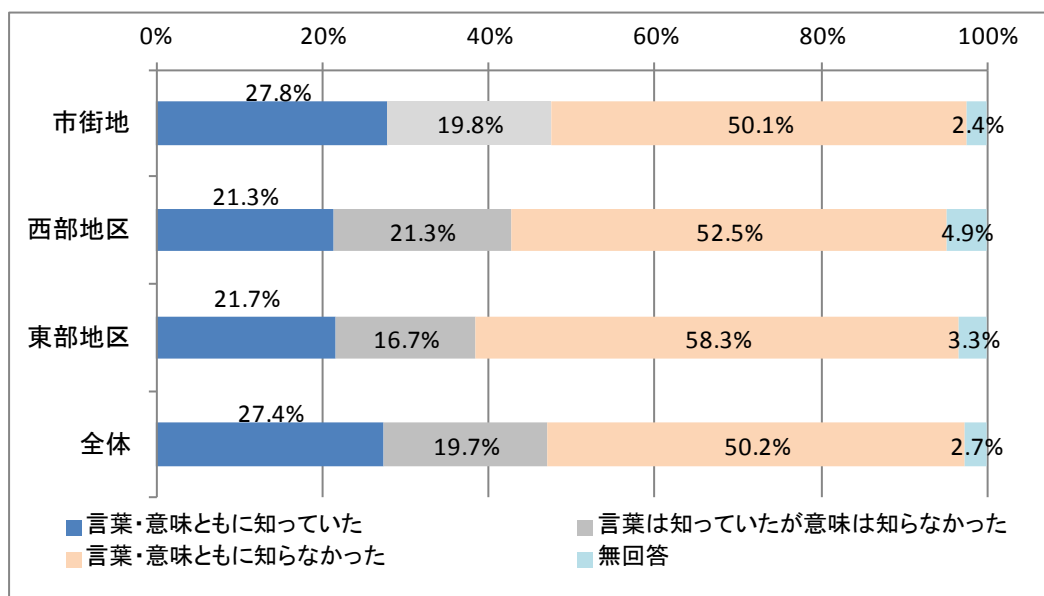
市民の「ワーク・ライフ・バランス」の認知度をみると、市民全体では、「言葉・意味ともに知らなかった」がほぼ4割となっており、認知度はそれほど高くはない状況が把握された。

平成28年度調査の結果と比較すると、「言葉・意味ともに知っていた」あるいは「言葉は知っていたが意味は知らなかった」とする住民割合がやや増加しており、ワーク・ライフ・バランスに対する関心が徐々に高まりつつある状況が伺える。

<29 年度調査>



<28 年度調査>



4. 市民意識調査結果のまとめ

本調査では、現行の第9期根室市総合計画（平成26年度策定）及び根室市創生総合戦略（平成27年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはK P Iのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成25年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成28年度調査に引き続き設定した。

また、本調査は、平成25年度に実施した市民意識調査実施時から4年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止など経済環境も大きく変化しており、市民の不安意識も増長されているなどの状況が生じている。

そのような背景を踏まえ、本市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

<回収率>

- ・本調査の有効回収率は29.1%となっており、平成28年度調査の31.4%をやや下回っているはあるが、高い回答率となっている。本調査の結果でも明らかなように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいという意向が平成28年度調査の結果と同様に高いことから、積極的に回答いただいた結果となっている。
- ・特に、若い世代での回答割合が高くなっており、こうした世代でも市政への関心度合が高まっている状況が把握された。

<根室市のイメージについて>

- ・全体的に根室市のイメージは否定的な意識が強くなっているが、特に、「明るいまち」「活気のあるまち」に対するイメージの低下が大きく、漁業に代表される経済環境への変化が影響している状況が把握される。
- ・平成28年度調査の結果と比較すると、否定的な意識がやや強くなっている状況となっているが、こうした意識の動向は年単位での変動が予測されることから、今後の継続調査の結果から評価することが適切と考えられる。

<定住意識>

- ・市民の定住意向は高いものの、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満意識が高まっている状況が把握された。
- ・平成28年度調査の結果と同様、根室市のイメージについては否定的な意識が強いものの、定住意向は60%以上となっており、潜在的に高い状況が把握されている。

<まち全体の満足度>

- ・根室市の自然景観や町並み景観等に対する満足意識は、平成25年度調査の結果から大きくは変わっていないが、「病院などの医療機関の状況」「観光施設の状況」「レクリエーション・娯楽施設の状況」「公共交通機関の便利さ」での不満が高いことが、ここでも明らかとなっている。
- ・平成25年度及び平成28年度調査の結果と比較すると、特に景観に関しては満足意識が低下しているものの、不満意識も低下しており、「普通」の意識が高まっている状況もみられている。

＜根室市の将来像＞

- ・市民が描く根室市の将来像は、市民の不滿意識を反映して「福祉・医療が充実したまち」が多くなっていると同時に、近年の経済環境に対する不安意識を反映して「産業が盛んなまち」、「自然環境を活かした観光の盛んなまち」といった産業振興に対する意識が高い状況が把握されている。
- ・この結果は、平成 28 年度調査とほとんど変化はみられていない。

＜保健医療支援・子育て支援・高齢者支援＞

- ・市民の健康管理意識は依然として高く、健康のための運動意識も平成 28 年度調査の結果と同様に高い。こうした健康志向が高いことを反映し、医療の質の向上を望む割合が高くなっている。
- ・少子化・子育て支援に関しては、平成 29 年 4 月から市立根室病院で 11 年ぶりに分娩が再開されたことなどから、総じて出産に対する不安意識よりも小児科の充実、保育料等の経済負担の軽減、子どものための施設などに重要度の意識が高まっている状況が伺える。
- ・高齢者支援に関しては、60 歳以上の健康管理意識、高齢者の生きがい意識は高い。また高齢者支援策としては経済的支援に対する要望が高い。この結果は、平成 28 年度調査とほぼ同じ結果である。
- ・社会福祉施策としての意識は、平成 28 年度調査の結果とほぼ同様であり、従来の高齢者対策だけでなく、子育て世代への支援策に対する要望も高くなっている。

＜交通・生活環境・防災・減災＞

- ・交通に関しては、平成 28 年度調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」、「バス便の確保」に対する要望が高いが、釧路－根室間の鉄道路線の廃止が取り上げられてきている背景から、「鉄道便の確保」に対する要望も高まっている。
- ・生活環境に関しては平成 28 年度調査の結果とほぼ同様であり、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に対する要望が高い。
- ・防災・減災に関しても平成 28 年度調査とほぼ同様の結果であり、「避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「避難場所など防災拠点の整備」が重要施策としてあげられている。

＜教育・スポーツ・文化＞

- ・学校教育・社会教育全般では、「児童・生徒の健全育成」、「教育内容の充実」、「生涯学習教育の指導者育成」が重要としており、平成 28 年度調査とほぼ同様の結果である。
- ・学校教育に関しても、平成 28 年度調査とほぼ同様の結果であり、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」が上位にあげられている。
- ・スポーツ・文化に関しては、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、「芸術・文化の振興」、「音楽会・講演会の開催」、「スポーツ・レクリエーションの振興」が上位にあげられており、平成 28 年度調査では 4 位であった「文化財や史跡の保護」が 5 位に順位を下げている。

＜産業＞

- ・産業施策に関しては「水産業基盤及び生産体制の整備」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「観光開発、観光関連

産業の育成」が上位にあげられている。昨年度から春季のロシア 200 海里内サケマス流し網漁が禁止になった影響を反映して、「水産業基盤及び生産体制の整備」を望む割合は平成 28 年度調査の結果よりもさらに増加している。

＜行政情報・市民協働・市民参画＞

- ・行政情報としては、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高く、平成 28 年度調査の結果と同様であった。
- ・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加するとの回答が多かった活動は、「清掃活動や花いっぱい運動」、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」であるが、平成 28 年度調査と比較して「特にない」との回答割合が増加しており、市民協働の意識がやや低下している状況が伺える。
- ・まちづくりへの参加方法についてみると、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」が多くあげられており、平成 28 年度調査とほぼ同様の結果となっている。
- ・男女共同参画に関しては、平成 28 年度調査の結果と同様に男女平等であるという意識は低く、特に女性でその傾向が強くなっている。

5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるKPIの動向

現行の第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値のうち、市民意識に関する指標について、その達成状況を以下に整理する。

ただし、総合計画でも目標値の中には、今回の調査と同様の手法で実施した前回の市民意識調査のほかに、平成23年度に実施された「根室市高齢者実態把握調査」、平成26年度に実施された「根室市健康づくりのためのアンケート」、「子ども・子育て支援アンケート」の結果も用いられており、調査対象者数の違いなどから、直接的に比較することが困難な指標もある。

また、市民意識そのものには、「あいまいさ」という不安定要因が含まれていることから、今回の調査だけではなく、継続的に実施することによる傾向を把握することで、より適切な評価が可能であることに留意することが必要である。

従って、ここでは平成29年度調査の結果については平成28年度調査との比較を避け、第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値策定年度との比較を行った。

<上昇指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今年度調査で上昇が確認された指標は以下のとおりである。

平成29年度調査において上昇が確認された指標

- ・健康管理に努めている市民の割合
- ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60歳以上）
- ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60歳以上）
- ・健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）
- ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合
- ・週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合

- ・市民の健康管理意識、高齢者の健康管理・生きがい意識・町会行事等への参加意識の高さのほか、身近な自然への評価が高くなっている。

<減少指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今回低下（1ポイント以上）が確認された指標は以下のとおりである。

今回上低下（1ポイント以上）が確認された指標

- ・健康状態が良好と感じている市民の割合
- ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合
- ・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合
- ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合
- ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65歳以上）
- ・上水道の整備におおむね満足している市民の割合
- ・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合
- ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合
- ・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合
- ・教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合
- ・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合
- ・郊外の森林景観について満足している市民の割合
- ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合
- ・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

- ・評価指標が計画策定時から低下している項目は、概ね医療関連、子育て関連、交通関連、買い物利便性関連となっており、これらの項目については、本調査の複数の設問に対する回答からも不満足意識が確認されていることから、さらに一層の重点的な対応が求められている分野と考えられる。
- ・一方、下水道の整備、郊外の森林景観に関しては平成28年度調査では、満足度が上昇していた項目であるが、これらの項目は不満足意識も低下しており、「普通」としての意識が強くなっている状況も伺える。
- ・ただし、指標値については、本調査で実施した市民意識調査以外の調査結果の値も含まれていることから、今後の継続的な調査から総合的に評価していくことが必要である。

現行総合計画及び総合戦略における市民意識に関する指標の増減傾向

指標もしくは KPI		総合 計画	総合 戦略	目標値 (H32)	計画策定時の値		H28 調査	増 減	H29 調査	増 減
					調査年	値				
1	健康状態が良好と感じている市民の割合	○		45.0%	H26	39.8%	39.3%	▽	35.3%	▼
2	健康管理に努めている市民の割合	○		66.0%	H26	66.0%	70.5%	△	73.5%	△
3	病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	○	○	35.0%	H25	10.3%	6.0%	▼	7.8%	▼
4	子育ての環境や支援に満足している保護者の割合	○	○	30.0%	H25	7.7%	6.3% (注 2)	▼	4.0% (注 2)	▼
5	乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	○	○	30.0%	H25	5.7%	4.0%	▼	4.3%	▼
6	趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合 (60 歳以上)	○		65.0%	H26	61.1%	67.1%	△	68.2%	△
7	町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合 (60 歳以上)	○		55.0%	H26	52.9%	52.7%	▽	55.7%	△
8	高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合 (65 歳以上)	○		30.0%	H23	21.9%	8.0% (注 3)	▼	11.4% (注 3)	▼
9	健康管理に努めている市民の割合 (60 歳以上)	○		75.0%	H26	69.6%	85.6%	△	85.1%	△
10	上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		88.0%	H25	85.1%	84.0%	▼	81.7%	▼
11	下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		83.6%	H25	78.0%	79.3%	△	77.3%	▽
12	公園等の利用しやすさに満足している市民の割合	○		44.4%	H25	20.0%	18.0%	▼	17.7%	▼
13	住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合	○		59.7%	H25	36.4%	38.4%	△	37.7%	△
14	公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	○		28.0%	H25	9.5%	4.5%	▼	5.2%	▼
15	市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		74.1%	H25	62.6%	55.6%	▼	54.1%	▼
16	教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.5%	46.4%	▼	43.4%	▼
17	スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.6%	39.8%	▼	38.9%	▼
18	週 1 回以上スポーツ (運動) をする市民の割合	○		45.0%	H26	36.0%	55.4%	△	54.1%	△
19	郊外の森林景観について満足している市民の割合	○		43.0%	H25	35.9%	37.8%	△	34.8%	▼
20	日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	○		36.0%	H25	22.5%	13.0%	▼	14.2%	▼
21	北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	○		25.0%	H25	20.7%	17.1%	▼	15.1%	▼
22	まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	○	○	85.0%	H25	79.4%	79.3%	▽	74.0%	▼

注 1：増減の「△」は総合計画・総合戦略策定時から上昇、「▽」は減少、「▼」は 1 ポイント以上減少を示す。

注 2：分母を 20 歳代～40 歳代の子育て世代の回答。(ちなみに市民全体では H28：5.2%、H29：4.9%)。

注 3：現状値は 65 歳以上 6,578 名の回答に対し、H28 調査は 275 名、H29 調査は 268 名。

注 4：網掛けは平成 29 年時点で目標値を達成している項目

6. 根室市創生総合戦略の評価

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略は、客観的効果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に的確に対応し、逐次改善していくための P D C A サイクルを構築している。

ここでは、この効果検証の一環として、平成 29 年 6 月～7 月にかけて実施した市民意識調査の結果をもとに、昨年度調査の結果を踏まえ、市民意識の観点から根室市創生総合戦略の施策実施効果についての評価検討を行うものである。

評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し、総合戦略策定後 2 年経過した市民意識を整理した。

なお、根室市創生総合戦略においては、「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性を始め、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、移住者の受入など新しい人の流れを創造することを目指して、以下 3 つの基本目標が設定されている。

- (1) 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- (2) 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。
- (3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

6. 1 基本目標別の政策評価の検討

- (1) 基本目標 1 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①子育て・少子化対策の推進

根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

- a) 出会い、結婚、妊娠、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
- b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担の軽減
- c) 保育施設の整備と多様な保育サービスの充実
- d) 家庭と仕事の両立を図り子育てに取り組む環境づくりの推進

1) 子育て・少子化対策に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。

市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、平成 25 年度に実施された計画策定時の市民意識調査（以下、計画策定時調査とする）の結果と比較してみると、不満と感じている

市民が多いことがわかる。特に、「子どもの教育施設や教育環境」では、不満と感じている市民の割合が高まり、満足と感じている市民の割合が低下している。

平成 28 年度調査の結果と比較すると「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」では、不満と感じている市民の割合がやや低下し、満足と感じている市民の割合もやや増加する結果となっている。

ただし、数ポイントの変動であり、計画策定時と比較すると、満足度が低下し、不満意識が増加している状況には変化がないことから、今後の動向をみていく必要がある。

子育て・少子化に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足				不満足			
	H29	H28	計画策定時	増減	H29	H28	計画策定時	増減
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	4.3%	4.0%	5.8%	▼	46.4%	47.7%	45.5%	△
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	4.9%	5.2%	—	—	42.1%	41.6%	—	—
「子どもの教育施設や教育環境」について	4.1%	4.7%	5.4%	▼	46.6%	42.8%	43.3%	△

注:※は平成28年度調査から追加した項目

:増減は、計画策定時に対する増減を示す

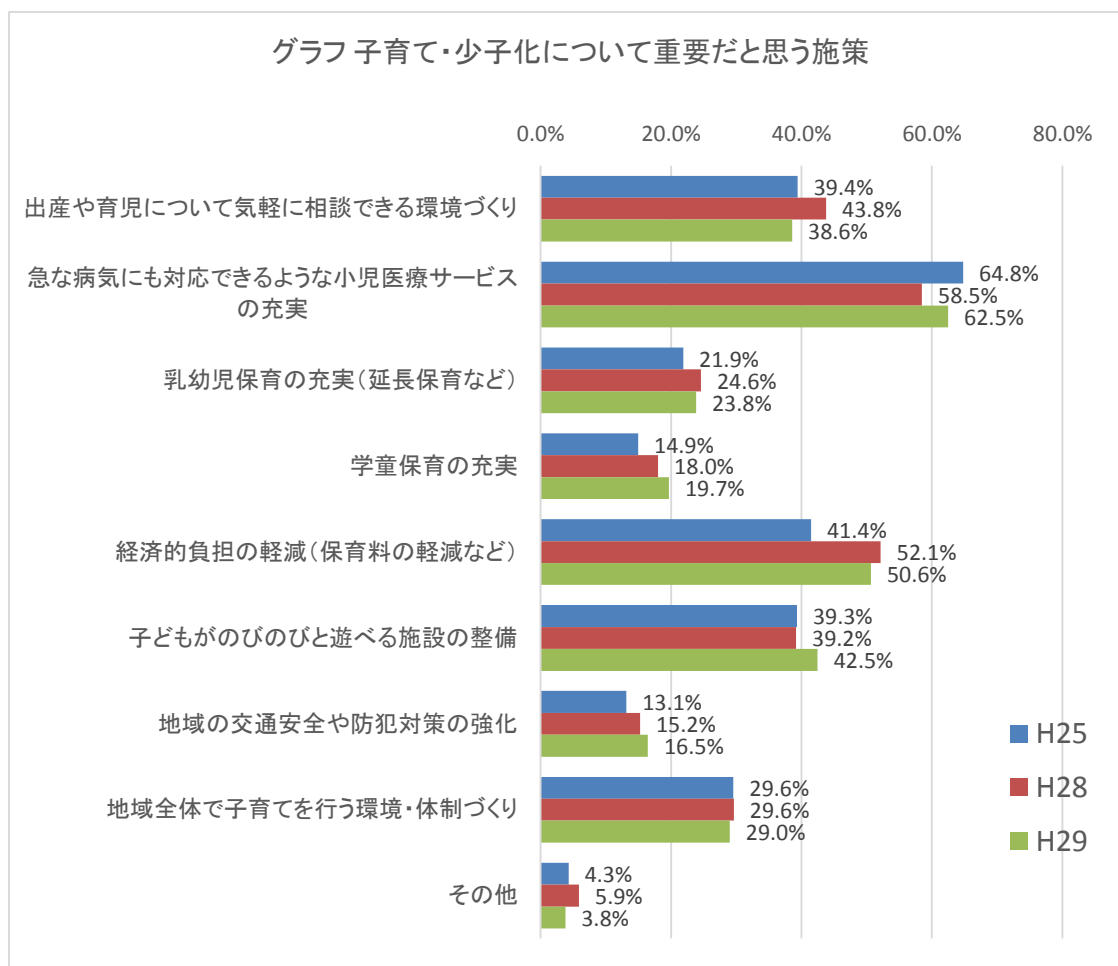
:△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2) 子育て・少子化について重要だと思う施策

次に、子育て・少子化について重要だと思う施策についてみると、「急な病気にも対応できるよう小児医療サービスの充実」が最も多くあげられており 6 割強の回答率となっている。次いで「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」の順となっている。

この結果は、平成 25 年度に実施された計画策定時調査及び平成 28 年度調査とほぼ同様の結果となっている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」と「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」の順位が逆転しており、平成 29 年 4 月から市立根室病院で 11 年ぶりに分娩が再開されたことの効果とも推察されるが、今後の動向から評価していくことが適切である。



3) 子育て・少子化についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、概ね、経済的支援に関すること、託児機能に関すること、子どものための全天候室内施設に関することに集約されている。

具体的には、経済的支援に関しては、保育料や医療費、育児手当に関することに加え、母子家庭、障がい児家庭への支援などがあげられている。

託児機能に関しては、共働き家庭や母子家庭における子どもの病気時の託児、5時以降の延長託児機能等への要望があがっている。

最も多い要望が、悪天候時や冬期でも安心して子どもを遊ばせることのできる全天候型の施設であった。

この他、出会いの場を求める意見もみられている。

このような意見の内容は、平成28年度はもとより、計画策定時の調査においても同様の内容が多くあげられており、さらなる施策の充実が求められている状況となっている。

＜子育て・少子化対策に関する意見＞

性別	年齢	市民意識調査における自由意見・提案
女	30	・小さい子供でも参加しやすいイベントをやってほしい。
女	60-64	・何十年前に1億でアスレチックを整備したと思いますが、あれはどうなっているのでしょうか。現状として休日になると何時間もかけ地方に子どもを遊ばせに連れて行く親子が多勢いると聞きました。映画館もしかり・・・親子が楽しめる施設がないことが地方での購買につながり結局は商店街も衰弱するのではと思います。
男	65-74	根室には子供が親と一緒に遊び、学べる施設がありません。「中標津のゆめの森公園」、「釧路の子ども遊学館」のような施設の建設は出来ないのでしょうか。国や道の補助金を取り付け、将来の根室を担う子供の為に是非実現して欲しいです。
女	40	子を持つ親としてですが、市内は子供達が集まる場が少ないと思います。公園などもよく利用していますが、室内で遊べる所がないので、天候が悪いと行くのは釧路や中標津。スマートフォンへの依存も強くなってきている現状もあり、別に楽しめる（体を動かせる）所があると、学力低下を少しでも改善できるのかとも思います。子供達が生き生きと楽しめるまちづくりを希望します。
女	40	子供達と自然を楽しみたい。花を摘んだり、釣りをしたり、金に走る豊かさより、心を豊かにするまちづくりをしたい。
女	50	小学校、中学校のトイレの改善をお願いしたいです。今のままだと子供達がかわいそうです。プールの改善もせっかく子供達が頑張っているのに、もっと、誰もが行きやすくしてほしいです。お母さん達の話聞いたのですが、別海とか中標津のプールに子供を連れて行っているとの事。運動公園ももう少しどうにかして欲しいです。中標津の「ゆめの森公園」とまでいなくても何かそのような遊び場があったらいいなと思います。子供の遊び場がないと思います。スケートもその通り、何をつくっても中途半端なような気がします。寒くて外で何をするのにも、今はスケート場も室内ですよね。まして、根室は風が強く、作った方の考えがわかりません。
女	30	共働き夫婦で、土日祝日も関係なく仕事している場合、子供を預ける所がない。皆が祖父母を頼れるとは限らず、3歳になり保育所へ預けても日・祝日を全て休むのは無理である。同じ仕事していても祖母が子供を見てくれる人は幼稚園に預け、料金も保育園より安い金額。誰も見てくれない所は他より高い保育料を払い、日・祝日休むと嫌みを言われてしまう。少子化だ、子供を産めと言う割には、仕事しながら子育てする人には厳しい環境で、正職員として働くには働きづらい。 小学校になった時、児童館等の利用も出来るのが不安。 ・保育園の保育料の見直し、育休も使用できるようにしてほしい。 ・土日・祝日の児の預け先 ・病児保育がないのも不思議 ・児童館等の充実 ・1歳未満児を一時保育できるように 子供を育てやすい環境をお願いします。そういう情報が子を産んだ時や検診など一定の時しか知ることができません。もっと広く色々な情報（細かく）を教えて下さい。
女	30	少子化対策として無償化していますが、子供の人数で判断するのではなく、2人でも1人半額や所得を細かく分けても良いと思います。子供手当を多くもらい無償化され、2人以下は有料的な感じに不公平さを感じます。2人以下の家庭にも何かプラスになるものがほしいです。医療費がかからない等の。
女	30	子供達が天候を気にせず、のびのびと遊べる施設があればいいと思います。
女	20	ひとり親の医療費について、入院だけでなく、通院も無料にしてほしい。
女	20	出産できるようになったのはとても素晴らしい進歩だと思います。（初産の方は従来通り不可ですが）根室から出て行くのは若者だけではありません。医療の充実を求め、札幌などに移住する定年退職者もいます。若者がUターンし、長く暮らしたいと思えるまちになりますように。
女	40	・子育て中のお母さんが働きやすいパートの職種が多くなってもらいたいです。 ・子供の室内施設があったらいいです。冬や6月位でも寒い日が多いので、家で遊ぶ事で運動不足やゲーム、テレビ見ている回数が多いため。
女	60-64	・若いお母さんが安心して子供を産める環境になってほしい。

		・浜は独身者が多い。本人達ではどうしようもなく、回り（組合、市）が後押しして出会いを作ってもらいたいと思う。
女	30	私は転勤のある主人と根室へ来て、この街で子供ができました。子供を産んでみて思った事は近くに頼れる人がいなくて急に自分が病気になったときとても困るという事です。まつもと保育所は事前に申込みしないと預けられないし、前もって予定が分かっている時は利用できますが、それも狭き門でなかなか……。わがままだとは思いますが、根室は転勤で来る人も多いし、そういう人達が利用できる所も必要だと思います。クルクルはよく利用させて頂いています。先生方がとても親切で本当に助かります。
女	60-64	最近の少子化に寂しい感じがします。若い人達が増え、子供達の声が聞こえる町になってほしいと思います。子供達が走り回り、元気に通学する姿は私達大人にとっても嬉しい姿です。
女	40	・寒く風が強いため、外で遊んだり、スポーツするのが難しい。室内でできるような大きな体育館や遊具施設があると良い。大会などで人をたくさん呼べるような運動施設の充実、小さい子供が遊べる施設が少ない（休日）。 ・西浜児童館、土日の開放をしてほしい（幼児も遊べるように） ・比較的学校の振替え休日が、月曜日が多く、市内のセンターやプールなどの施設も休みのため、子供達の事も考えてくれるなら休みの調整をしてほしい。 ・夜間保育の充実と延長、休日保育の充実
男	20	土日や雨降りなど、子供を遊ばせる場所がないため、どうしても釧路や中標津へ出向く事に……。根室市にも、子供達がすくすく育っていけるよう体をたくさん動かせる施設ができたらいと思います。
女	30	育児をしています。クルクルやぶらんこを通じて情報交換でき、よく会うお母さんと顔見知りになれる（どこに行っても誰かに会える）くらいの規模の町で子育てにちょうどよいと思っています。ただ、転勤属なので、自分が病気をした時、育児、家事ができなくなった時、どこに助けを求めて良いかわからず大変でした。（託児の送迎時間が夫の仕事を合わないし、絶対安静の時、自宅で育児するにはどうするかなど）
女	50	道立ゆめの森公園のように、室内、屋外でも遊べる施設があるといいなと思います。小さい子供からお年寄りまで家族で楽しめる場がほしいです。また、若い学生等はスケートボードを持ち歩く姿を見かけましたが、そのように遊べる場がないので、歩道で乗っていました。公園内に設けたりするといいのでは。また、スキーやスノーボードもやっている人も多くいると思いますが、近場で金山や阿蘇まで行かないと出来ないため、根室にも一つスキー場があるといいです。高齢化になってくることから、高齢者とのふれあい事業や施設訪問等子どもと高齢者の関わりを多く持てると良いなと思います。
女	20	小さな子供が遊べる施設（屋内）が少なすぎると思います。雨の日でも自由に使用できる施設があれば便利だと思います。あとは、伝染病等の流行情報がわかれば出かけやすいと思います。病院で二次感染が多くみられると思います。
男	20	街コンの開催をお願いします。
女	60-64	少子化が問題になっている現状で子供を取り巻く犯罪に心が痛みます。根室市の子供達の健全な育成を家庭、地域、社会で守っていききたいです。
男	40	小学校の部活動において、学校終了後、一時帰宅し、また学校に行く状況となり、共働きや片親等は仕事を抜け出す事が困難で、部活動加入や送り迎えのためあきらめたりする事があると思いますので、授業終了後、一時帰宅をせず、学校で着替えが可能となるように望みます。
男	30	これからの未来を担う子ども達への手当や、サービス、施設等をもっと充実させるべき。公園一つにしても魅力的なところはない。 中標津の「ゆめの森公園」のような外でも屋内でも遊べる施設を作ってほしい。網走の道立オホーツク公園はアスレチックがリニューアルし、今では遠方からでも行く人がたくさんいる。自分も子供を連れて3時間かかったが行ってきた。また行きたいと思える施設である。いずれも道立だが、誘致的な事は出来ないのか、根室の魅力を活かしたプレゼン出来ないのか。運動公園に遊具が一つしかないのもおかしいと思う。子供に対して親はフットワークが軽い。「じゃらん」等に取り上げてもらえる位の屋外・屋内施設（大型公園）を作り、根室に住んでいない人にも来てもらえるようにしたらどうか。
男	75	2、3年前にアスレチック跡地にゆめの森公園の構想が検討されている旨新聞報道で知りました

		が、その後計画の進捗状況はどのようになっていますか。その実現に大いに期待しています。
女	20	発達障害の子供達に通える高校を作ってほしいです。毎週別海や中標津、釧路に送ったり、通ったりするのも、親や子供にも負担になるので、根室にも絶対に必要なので作ってほしいです。
男	30	うちの子は重度の卵アレルギーを持っていますが、市民の皆さんの理解度が低いように思います。幼稚園に子供を預けても、先生方は戸惑うばかりで、どの程度の症状になると緊急の対応が必要かという事などを今ひとつよく理解できていないように思います。飲食店なども原材料の詳細を正確に把握しておらず、危険な目にあうではと思わずにいられません。ぜひ、アレルギーに関する基礎知識を学ぶ講座や料理教室をしたり、アレルギーにも対応できる災害時の食糧備蓄、教育機関への啓発などを行い、持病を持つ子も優しく見守ってもらう事ができる街にして頂きたいです。
女	65-74	・少子化について。子供をたくさん産める環境。例として3人以上に出産祝い金を出す。子育てについては、老人（60歳以上で）仕事をしていない人がボランティアで協力する。 ・ロシア語での教育。小学校にロシア語教育学科を設ける。小さいうちから、ロシア人教師による日常的な言語教育をする。 ・子育て世帯が都会へ出なくても良い。生活環境を市民で作り上げるのに協力したい。
女	50	娘には子供一人います。保育所に預けていますが、家のローンと同じ位保育料を払っています。少し保育料が高すぎると思います。少子化対策と言われますけれど、このままでは二人目を産みたいと思っても、仕事も辞められず、だからといってまた高い保育料を払わなければいけないと思うと、二人目を産むのに決意がなかなかつきません。今の若い人の話を聞くと、口をそろえて、そのような考え方をしている人が多いのがわかります。子供は根室、国の宝物だと思う。そのためにももう少し保育料を、今の1割～2割位下げてくださいました方が皆助かります（三人目を無料にするよりも）。少し検討して頂きたいです。
女	65-74	・親子で一緒に遊べる施設（雨天関係なく）がない。公園等の遊具やトイレは数か所あるが、それはそれで小さな子供とのコミュニケーションの場があり良いと思う。時々公園内のトイレを利用することがあるが、装飾品等が飾ってあったりとかわいらしくほほえましく思うのですが、全体的に清潔に欠け掃除が行き届いていない感がある。 ・子育て支援に保健師の定期的訪問があればよいと思う（保健所内での集団検診とは別に）母乳・ミルク・離乳食等の相談（2か月から5か月位）を受ける。話し相手（母親）の個別訪問。 ・乳幼児の衣類（下着、オムツカバー等）取扱店が一店しかなく、間に合わなければ、中標津等まで行かなければ手に入らないものが多々あります。ベビー専門店の誘致他、障がい者の就労、細々とはあると思うが、集団で指導者を育成している場所で働きやすい環境の場があればよい（老人施設や市の環境施設内の掃除）
女	30	子供医療費について。3歳以上から10%負担になるが、年齢の幅を上げてもらいたい。7歳～（小学生低学年）8歳位までは、常に何かしらの病気（風邪、ウィルス性）にかかりやすく、病院代がものすごくかかります。病院代が無理ならせめて薬代だけでも8、9歳まで無料など子供医療費については十分に検討してもらいたいと思います。
女	30	子供学力低下も心配です。学力を上げるためにも、少人数学級にし、特別支援学級の理解が広まれば良いと思います。
女	30	根室市内の給食メニューのバランスが偏っています。（特にパンの日は炭水化物が多すぎ等）改善してほしいです。 児童、生徒、職員も心のケアが必要だと思います。各校にカウンセラーを常備した方がよいです。また、保護者や、小さな子供がいる家族、お年寄りがいる家族が気軽に相談できる場所も必要だと思います。発達障害の子を持つ保護者もとても悩んでいます。根室市は発達障害の子が多いので幼児健診なども増やしてはどうでしょうか。 家族が気軽に相談できる場所も必要だと思います。根室市にはないという理由で、別海や中標津、釧路などに相談しに行っている人はたくさんいます。根室市民の心のケアに力を入れてほしいです。このアンケートで根室市が少しでも改善しますように。

②周産期医療と小児医療体制の整備

根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期開催はじめ医師、看護師等の確保、充実に向けた週産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。

分娩に関しては、平成 29 年 4 月より市立根室病院で 11 年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a)安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

1)周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、満足と回答した市民の割合は計画策定時に対して 2.5 ポイント減少しているものの、平成 28 年度調査から 1.8 ポイント上昇している。

また、不満とする市民の割合をみても、計画策定時から 2.2 ポイント増加しているものの、平成 28 年度から 5.4 ポイント低下しており、不満意識が緩和している結果となっている。

この設問は必ずしも周産期医療と小児医療に限ったものではないが、平成 28 年度の調査結果では、根室で出産ができないことに対する意見が多かったことを踏まえると、分娩が再開したことも市民の不安意識の緩和に寄与しているものと伺える。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足				不満足			
	H29	H28	計画策定時	増減	H29	H28	計画策定時	増減
「病院などの医療機関の状況」について	7.8%	6.0%	10.3%	▼	64.1%	69.5%	61.9%	△

注：増減は、計画策定時に対する増減を示す

：△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2)医療環境についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から医療環境に関する意見をみると、小児科の充実、夜間・休日等の救急医療の充実、及び市立根室病院における医療サービスの改善等に関することがあげられている。

特に、夜間・休日の医療体制に関しては、医療スタッフの充実などへの要望が多くなっている。

また、自由意見の中には市立根室病院における医療関係者の患者に対する対応などへの不満も少なからずみられている。

経産婦が対象ではあるが、分娩が再開されたことより、平成 28 年度調査時ほど、分娩に対する意見は多くはないが、さらなる充実化に向けた要望のほか、耳鼻科、アレルギー対策などの診療科目の充実に対する要望があがっている。

また、市立根室病院では依然として、他の病院からの医師派遣に依存している科目もあることから、診療曜日、診療時間が限定されていることへの不安もあげられており、夜間、休日の医療体制の確保も含め、医療スタッフの確保に向けたこれまでの継続的取組みのさらなる強化が求められている。

＜周産期医療と小児医療体制に関する意見＞

性別	年齢	市民意識調査における自由意見・提案
女	30	耳鼻科がないことが、子育てする世帯としては、一番つらいです。釧路や中標津まで通院の為に通っているという話もよく聞きます。医療が充実していないことが、定住を妨げているのではないかと思います。
男	40	新生児の為に町にして欲しいです。
女	20	出産できるようになったのはとても素晴らしい進歩だと思います。(初産の方は従来通り不可ですが) 根室から出て行くのは若者だけではありません。医療の充実を求め、札幌などに移住する定年退職者もいます。若者がUターンし、長く暮らしたいと思えるまちになりますように。
女	60-64	・若いお母さんが安心して子供を産める環境になってほしい。
男	20	根室市立病院の内科と産婦人科の待合い場についてですが、どうにかして別に分ける事はできないでしょうか。産婦人科は中にも椅子がありますが、外で待つ妊婦も多く、待っていると、内科の人でたくさんになってしまい、立っている妊婦もいます。根室市の未来を担う子供達が生まれてくるので、少しでも椅子が増えたり改善していただけると嬉しいと思います。感染症対策のためにも。 夜間の緊急外来などにいくと看護師がとても当たりの強い対応をされる事が多い。電話対応なども含め、もう少し親切な言い方をしてほしい。
女	30	子育て世代でもあります。医療面ではとても不安があります。診療の曜日や時間が決まっており、何かあった時にどうしたらよいのか、また、受診をしたくても子供を学校早退させたり、休ませたりしてこちらが時間や曜日に合わせなければいけない所がとても不満です。また、医療従事者の対応の悪さにも疑問を感じます。患者への説明の仕方や言葉遣い、態度、仕事でも良く病院へ行きますが耳を疑う時が多々あります。市立病院のサービスの質の向上も必要だと思います。安心、安全に、不安無く子供を産み育て、老後もサービス等利用して、不自由なく住み続けていけるように対策をお願いします。
男	75	子供を安心して産めるように長期的に医師の確保に努力をして下さい。
男	30	医療の向上：救急患者に対応できるよう医師の確保や医療制度を向上させてほしい。
男	30	うちの子は重度の卵アレルギーを持っていますが、市民の皆さんの理解度が低いように思います。幼稚園に子供を預けても、先生方は戸惑うばかりで、どの程度の症状になると緊急の対応が必要かという事などを今ひとつよく理解できていないように思います。飲食店なども原材料の詳細を正確に把握しておらず、危険な目にあうではと思わずにいられません。ぜひ、アレルギーに関する基礎知識を学ぶ講座や料理教室をしたり、アレルギーにも対応できる災害時の食糧備蓄、教育機関への啓発などを行い、持病を持つ子も優しく見守ってもらう事ができる街にして頂きたいです。
男	65-74	1. 根室市立病院について 建物・医療機器の整備がある程度充実していると思うが、一部のスタッフ以外の質の低下がみられると思います。特に患者及び家族の方に対する優しさが見られない。また、スタッフが土曜日・日曜日には少なくなり、先生は札幌などに帰り、日曜日の夕方に中標津まで迎えに行くとのこと。これでは、医療行為がおろそかになり、高い給料それに伴う経費が有効に生きていないと思います。産科にしても、まだ安心して産めない状態と思われます。 一つの提案ですが、建物は「根室市」のものとして、医療行為すべてを孝仁会・徳洲会などをお願いする方法を検討することも良いのではないのでしょうか。それにより、病院経営と総合病院の活用が出来ると思われます。また、医者と市民が交流し、先生の充実を考えるための「医心伝信」も、講演会を主催するのみの会となっている状態です。この会は、商工会議所でなく市民主体の組織（市役所 OB 以外が中心）となり、活動をしていただきたい。
女	20	市立病院の医師の充実が大切だと思う。出張医ばかりで安心はできないしまかせることもできない。特に産婦人科であるのにもかかわらず、子供は産めない。あれでは婦人科だと思う。人口がどうのこうのとあるのであればまずは子供を産めるようにしないと若い世代はここにいる意味もないし、不安しかない。若い人達が楽しめる場所もないので、結局は根室じゃ駄目に出ていく人が多い。
男	30	医者確保、赤ちゃんを産める体制

(3) 基本目標2 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる

①経済・雇用対策の推進

根室市では、基本目標達成に向け以下の経済・雇用対策が推進されている。

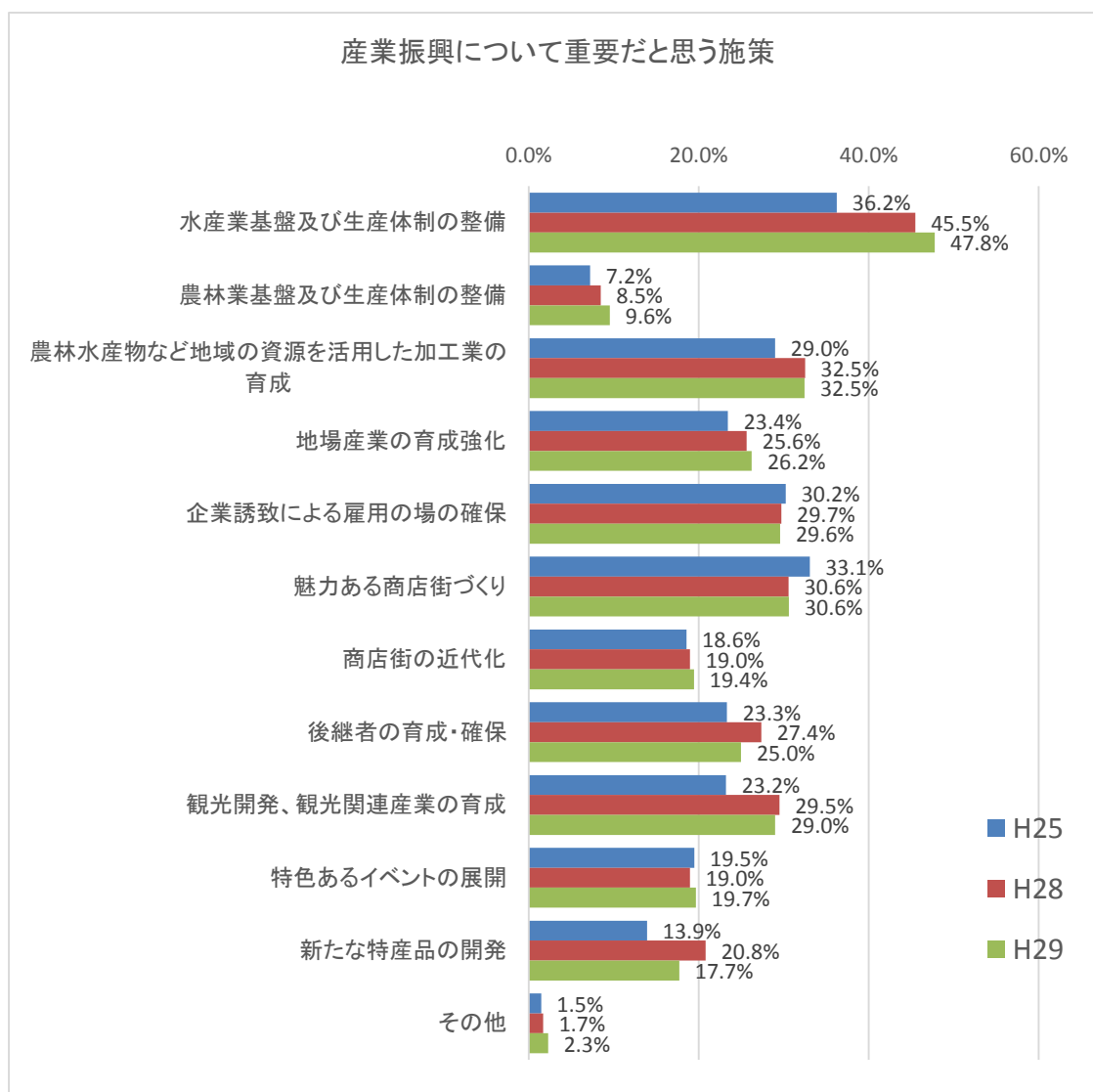
- a) 労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- b) U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- c) 商工業後継者の不足に伴う事業継承のための支援等の充実
- d) 農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- e) 産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

1) 産業振興について重要だと思う施策

根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高い。次いで、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「観光開発、観光関連産業の育成」の順となっている。

計画策定時調査からの変動をみると、昨年度から春季のロシア200海里内サケマス流し網漁が禁止になった影響を反映して、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる市民の割合が高く、平成28年度調査の結果と比較しても、さらにその割合は上昇している。

また、「観光開発、観光関連産業の育成」に関しては、平成28年度調査で大きく増加していたが、今回調査時においても平成28年度調査と同水準となっているなど、水産業、農業といった基幹産業に加え、観光に対する期待が大きい状況が伺える。



2) 経済・雇用対策についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から経済・雇用対策に関する意見をみると、昨年度の調査結果と比較して、昨年度禁止となったロシア 200 海里内サケマス流し網漁の影響の深刻さに加え、北方四島における共同経済活動などの新たな動きを背景とした意見が多くみられている。

具体的には、現在、日露で調整が進められているロシアとの経済交流の具体化、あるいは北方領土返還に向けた取り組みの実現による新たな魚場の確保、養殖事業への取り組み、漁業に代わる新たな産業の振興、企業誘致、就職先がないこと、商店街の活性化等に関する意見が多くあげられている。

産業経済や雇用に関する意見は多く、ロシア 200 海里内サケマス流し網漁の禁止（以下、サケマス問題とする）による根室市経済に対する不安意識が顕著に表れている状況が伺える。

特に、ロシアとの北方四島における共同経済活動に対する期待や獲る漁業から育てる漁業への転換に関する意見はそうした背景を特徴的に示しているものと考えられる。

また、企業誘致、若者の定着、商業の活性化等など、若者の定着、雇用の確保に向けた課題は、従来から大きな課題となっているが、まずは、地域が有する水産技術や資源を活用した産業振興といった現実的な対応から、ITの活用など新たな発想による産業の創出など幅広い対応が求められている。

<経済・雇用対策の推進>

性別	年齢	市民意識調査における自由意見・提案
男	60-64	漁業の復活
女	60-64	・根室で自慢できる新鮮な水産物・農産物を一般人（観光客も）購入できる朝市のような市場があったらどうかと思ったことがあります。 ・根室の人口が減少の一方というのは少子化もありますが、高校以上の学校がないことで、せめて専門学校（水産・農業・服飾・製菓とか）があったらいいのではと単純に思います。
男	30	とにかく水産関係を強くする、そちらの方を強くしなければ根室は良くならないと思います。
女	60-64	若者の働く場がない。企業誘致を図り、雇用の場の確保を。人口減にも歯止めがかかる。
男	30	①毎年、半年根室市、半年本州で働いていますが、まず本州の町で思った事が、どこの町も大々的に大きな看板で「買い物は地元の〇〇町で」と立っています。個人的に根室市は全道の中でも所得は高い方だと思っています。しかし、自分の周りでもそうですが、消費は根室市ではなく、他の地方で、買い物などでかなりの額を消費しているのが現状です。なので、根室市民の意識を変えるためにも根室市民はできるだけ、根室で消費するような意識をさせるのが重要じゃないのかと思います。物価自体も他の地方とほぼ変わらないですし、地元で消費すると色々な面でメリットもあると思うので。
男	30	漁業が衰退するなか、市として今後どのような漁業対策やまちづくりを展開しようと考えているのか。もっと積極的に企業誘致を行い、外からの力を組み込むべきと考える。緑町商店街も真新しさが無く、何も魅力を感じない。富良野のような一極集中型のマルシェみたいなものがあればより活用しやすいし、商店街が連携して運営ができと思う。より市民も観光客も利用すると思う。
女	18	緑町商店街に活気を。
男	20	港町としての根室。港湾の整備、拡張は観光、産業、両方の利益を生みだす。
女	60-64	望みです。若者が働ける企業がほしい。人口減少、活気、シャッター街など全てが働く場所につながっている。
女	60-64	北方領土の返還が根室の町を活気づけると思います。早く返還をお願いします。孫と遊べる施設を作ってほしいです。
女	40	経済的に自立する事ができない若者のために、夜間の技術職の資格取得のための講演会の充実や夜間のバイトを認める。
女	75	根室市は海のまち。魚がとれなければ根室は沈没する。（多くの人々が水産関係またはその周りを支える仕事をしているからです）
男	65-74	日本最東端の街ゆえに他都市との人の交流がない。基幹産業の漁業の衰退等明るい将来がこの街には見えてこない。ただ一つの特徴であるのが北方領土と接している事であり四島との交易推進をはかるべき。領土問題を解決させる事、国の政策であり、相手のある事なので、市が、元島民が、今まで声を大にして運動を進めてきたが進展はない。明るいニュースはないが、根室のまちづくりの大きな原動力が北方領土とかかわる事が、この街にはあると思う。
男	50	根室駅周辺の整備を検討してはどうでしょうか
男	18-19	高校出ても働く所がなくぼうぜんとしている。もう少し皆が元気で働ける（仕事ができる所がほしい）
男	30	・商売柄、地場産業の衰退を感じています。近隣の類似した町で活性化しているものから学び、分析が必要かと思います。 ・町の外の人にPRできるものがあればよいと思います。
男	60-64	今後の根室市のまちづくり及び発展については2島返還が必要と思われます。
男	50	北方領土のビザ無し交流などは必要ない。領土への行き来ができるような仕事、観光が必要。若者が地元に残るような仕事場所が必要。イベント競技が少ない。
女	30	私が根室に長く住みたくない、住めないと思う理由はやはり仕事です。仕事もない、賃金は安い、年間休日は少ない。とても生活できるレベルではないです。加えて家賃が高くなると自活したいと思って到底無理な話で実家のお世話にならざるを得ません。ワーク・ライフ・バランスなど根室の人には無縁なのではないでしょうか。
男	50	他のまちの真似をするのではなく、個性のあるまちづくり、特色あるまちづくりを進めるべき。

		産業の発展は、地域を元気づけ、市民に活力を与えると考えるため、各産業が知恵を出し合い、相乗効果をもたらす事で、雇用の創出が生み出され、人々が集い、活気あふれるまちができると思う。
女	40	人口を増やし、農業、水産業が栄え、建物だけ立派な病院は、中身も立派にして、学校教育ももう少し頑張してほしい。生まれも育ちも根室の私は根室で死にたい。
男	40	根室市は近年、要の産業である漁業が衰退しており、若者が地元に残れる状況にないと感じます。(将来的な不安と他地域から見た給与面や子育て面等) 漁業に変わる産業の創出は非常に困難ですが、企業誘致や産業強化により、次世代が定着可能なまちづくりに期待します。
男	65-74	施設充実 1.プロ野球ができる施設がほしい。 2.スポーツ振興のため施設が足りなくて困っています。一年を通して、計測、誘導出来る、ジョギング、ランニングを室内で出来ないでしょうか。 3.根室市が公設冷凍・冷蔵工場を設置できませんか。最新の設備で一年の漁獲高をクリアできる超大型工場設置で一年を通して出荷できる態勢を作るべきです。
男	20	・漁業に頼った雇用環境を改善すべく、若手起業家の輩出や新規事業の創出に繋がる勉強会や地域団体の創設。 ・行政（官）、民が一体となった事業の創造
男	65-74	現在、日露政府間で平和条約締結交渉に先立ち行われる、経済協力における北方四島をめぐる日露共同経済活動で、お互いがどのような事が出来るか、調査検討が始動する事を聞いております。ロシア 200 海里内、さけます流網漁の禁漁で市の経済は急激に落ち込んでおります。人口は目に見えて減っております。この危機の解消無くして根室市の将来は語れません。このままでは想像を絶する事になるでしょう。その打開策として、前記の日露共同経済活動があります。これによって根室市から一番近い色丹、歯舞諸島での漁獲活動です。 以下、その内容を説明いたします。 ①漁業の形態を、個人経営体でなく、漁業協同組合を中心にし、その下に数社の生産組合法人を作って、資源管理に必要な種々取り決めに不正が出ない漁業を行うためです。個人的経営では利己的になり、これが違反を生み、漁獲交渉において違反しなければ採算を合わせられない事になってしまいます。養殖の良い例では、サロマ湖ホタテ漁、尾岱沼北海シマエビ漁。 ②養殖漁業には、付加価値の高い漁種、カニ、ウニがあります。どちらも昆布を食料として育てますので、ロシアでは昆布採取していません。交渉するにも有利な面があります。その他では、島周辺海域での定置網漁（春～夏さけます漁、夏～秋 秋さけ漁）これはこの活動でも提案されている増養殖事業があり、各漁協に振り分けて参加します。 ③これらの漁獲物は全て根室港へ水揚げされる事、市内の水産加工会社市場を通じて水揚げされます。市内の関連産業への波及効果は確実に出てきます。これらにより、根室市のブランド品として、カニ、ウニ、鮭、さんまを全国にPRします。働く場も増え市全体のGDPを上げる事が人口減少解消に有効な手段です。 最後に、市内の中小企業は、さけます禁漁に伴って、漁業は国からの資金が投入され代替漁業をいろいろ試してみましたが、採算に合うものはなく長くは持ちません。他の関連業者、水産加工会社、エネルギー関連、運送業、製函業等は政府からの援護策もなく、倒産に追い込まれた企業もあります。
男	65-74	1. 温根元にある水産研究所について 現在の水産研究所は、花咲ガニの育成等が中心となっているように思います。初代の所長が「ロブスター」の権威の方だとのことで、自然に影響を与えないように、陸上で「ロブスター」などの、養殖を考えてはどうでしょうか。 2. 水産資源について 根室で獲れる雑魚は、網からはずしてゴメ（カゴメ）の餌になっていますが、2次加工・3次加工して花咲港・根室港市場の2階などで観光客が利用できる食堂などを開設してはどうでしょうか。 3. ごみ焼却場及び農業について 現在ごみ焼却場の老朽化による整備費等が問題化されていますが、以前より根室の入り口にあることが問題だといわれていました。毎年多額の整備費がかかるのであれば、国道から離れたところに新規に建設し焼却熱で温水を作り、ハウス野菜栽培をし、根室市民に還元を考えてみたらどうでし

		ようか。 また、海より発生する霧が、牧草のミネラルを多くしているとのことで廃業した酪農家の牧草地を、小麦とかそばの栽培を奨励してはどうでしょうか。 4. 道の駅について 現在の道の駅は、根室への通過点に位置しており、根室市民になにもメリットがなく、厚岸の道の駅のように根室市内に変えて、現在の場所はネーチャーセンターとし、現在のネーチャーセンターは管理施設及び研究施設にしてはどうでしょうか。 5. 廃校施設の利用 旧キャンプ場あとからの夕日、納沙布・瑤瑤瑠からの日の出・自然をもっと利用してはどうでしょうか。 移住体験住宅を、旧小学校教員住宅を利用して、地域住民との交流を行うことにより、地域の活性化になると思われます。 また、海に影響を与えない陸上での、高級魚の養殖事業等を考えてはどうでしょうか。
男	65・74	根室市の基幹産業である漁業を確立させる事が最重要である。根室に魚が揚がらなければ背後施設も十分に稼働できない。今日のような状態が続けば、色々な関連産業が縮小または倒産に追い込まれる。今は国の補助事業もあり漁業者は何とか繋いでいるが再来年からは補助もなく継続する事も難しくなる。そのような事を思う時、根室からのさけ、ます流し網漁が無くなった事の大きさがよくわかる。したがって、補助事業の継続とさけ・ます漁の復活に全力を注いでほしい。また漁業ばかりでなく他の産業についても色々と議論する時は、一部の者、すなわち上部だけの議論ではなく、末端の現場サイドとの会話、議論を幅広くしなければ後に失敗と汚点を残す一部の者の話だけ聞くのではなく、足で現場を見て回ってほしい。
男	40	漁業関係の見直しをしていかなくは第2の夕張になっていくのでは。 地元産業を活かし観光にも力を入れてみてはどうか。
男	30	今までのやり方では変わらないため、ITを最大限に生かした町づくりを行う。まず初めに大規模データやセンターを建設し、各種インフラの整備を行うことにより、大企業の事業所を積極的に誘致するなど。それにより雇用が生まれ町が発展していくかと。小中学校から人工知能の技術者を育て、研究所を作り、世界レベルのAI技術の活用。
男	75	博物館または科学館が、当市には何十年も施設がない。開校した学校（特に市街地近い）旧共和小学校の活用をしたらと提案します。文化施設がない市は、急ぎ郷土の歴史を学ぶ、小中高生のためにも市民のためにも是非お願いします。

②交流人口の拡大

根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが進められている。

- a)長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進
b)世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化

1)観光施設に対する満足意識

先の「① 1) 産業振興について重要だと思う施策」において、「観光開発、観光関連産業の育成」をあげる市民の割合が前回調査と同様に高く、観光振興に関しての期待が大きい状況が伺える。

今回の市民意識調査から「観光施設の状況」に対する満足意識をみると、前回調査と同様に計画策定時の調査結果と比較して満足と回答した市民の割合が減少し、不満足と回答した市民の割合が増加している。

これは、根室市における自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが、現時点では調査検討段階にあるため、具体的な成果として市民に意識されていないことと、サケマス問題を背景として、新たな産業に対する期待の現れとも伺える。

観光施設の状況に対する満足意識

項目	満足				不満足			
	H29	H28	計画策定時	増減	H29	H28	計画策定時	増減
「観光施設の状況」について	6.2%	6.4%	8.7%	▼	56.2%	59.1%	53.0%	△

注：増減は、計画策定時に対する増減を示す

：△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2)交流人口の拡大に関する意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、観光に関して記載いただいた件数の多さなどから、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。

具体的な内容としては、特に宿泊施設の不足、根室の観光資源に関するPR不足を指摘する意見が多いほか、水産資源、農産資源を活用した新たなグルメの創出、自然環境を活かしたバードウォッチング観光や新たな観光ルートの創出、イベントの充実、商業機能の充実などによる集客機能の整備など幅広い意見がみられている。

平成 28 年度調査の結果と比較すると内容的には大きな変化はないが、PR不足と指摘する意見がやや多い傾向となっている。

観光PRに関しては、自然を活かした観光振興とともに、市によってその具体化に向け検討が進められていることから、早期の具体化が期待される。特に、地元資源の見直しやPR戦略の立案などは、早期に取り組むことが可能なテーマであることから、関係機関の連携による具体化が望まれる。

一方、観光客の受入としての宿泊機能に関しては、入込み数評価など経営的視点からの検討を含め、既存施設の更新、拡充、あるいは宿泊機能の誘致を含めた関係機関による具体的対応が必要と考えられる。

＜交流人口の拡大＞

性別	年齢	市民意識調査における自由意見・提案
女	60-64	・根室への観光は通過型であり、水族館などの建設も考えてはどうか。 ・若者の働く場がない。企業誘致を図り、雇用の場の確保を。人口減にも歯止めがかかる。
男	30	根室は宿泊施設が少ない。よく地方の方から、聞く事なのですが、根室の海産物の素晴らしさはかなり浸透してきていますし、おいしい飲食店もいっぱいあります。しかし宿泊施設の話では、あまりよい話を聞きません。昼は観光、夜はゆっくり飲食店で根室の海産物を堪能したいと思っても、根室に泊まりたい宿泊施設が無いから、夜遅くなる前に釧路などの地方の宿泊施設まで行って泊まる人がかなりいると言っていました。大手のビジネスホテルでもいいですし、宿泊施設の充実が、今の根室には重要ではないかと思います。今ある根室のビジネスホテルが高いという話も聞きます。
男	30	緑町商店街も真新しさが無く、何も魅力を感じない。富良野のような一極集中型のマルシェみたいなものがあればより活用しやすいし、商店街が連携して運営ができると思う。より市民も観光客も利用すると思う。 とにかく、根室にはかくれた魅力が沢山ある。漁業にしろ朝市みたいなものをやる施設をつくったり、PRが足りない。努力が足りないと思います。
女	40	観光客や根室に人が居住してくれるのには、印象が大切だと思っています。国道沿いや観光施設に通じる道、木がボーボーだと思います。電線やエコじゃない防雪棚、景観がよくないです。
女	40	根室には可能性がもっとあるのに、上手く活用できていないと思います。SNSや色々な手段で「最東端の町、あさひの町」をアピールしてもいいと思います。夏も涼しいし、食べ物は美味しい。避暑地としても活用できるのではと思います。本当は漁業やそれに関連した企業や学校など、根室、道東に特化したものがあれば、なお活気が出るのでは。北海道は広いので、道全体で協力し合い根室の特色も出せばよいなと思います。
男	20	港町としての根室。港湾の整備、拡張は観光、産業、両方の利益を生みだす。
女	40	・空港があるといいと思います。 ・納沙布の観光地周辺をもう少しきれいにしてもらいたいです。
男	40	観光資源が沢山ある事が住んで始めて分かりました。もっとPRをするとより多くの方が根室の良さに気づき、来てくれるのではないかと感じました。
男	65-74	日本最東端の街ゆえに他都市との人の交流がない。基幹産業の漁業の衰退等明るい将来がこの街には見えてこない。ただ一つの特徴であるのが北方領土と接している事であり四島との交易推進をはかるべき。領土問題を解決させる事、国の政策であり、相手のある事なので、市が、元島民が、今まで声を大にして運動を進めてきたが進展はない。明るいニュースはないが、根室のまちづくりの大きな原動力が北方領土とかかわる事が、この街にはあると思う。
男	65-74	根室の町に温泉があればかなり違う。もう少し深く掘れば温泉が出るという話だが、昔何か所か掘っているけれど。そうすれば観光客も温泉に入って帰るし、お金も落ちる。学者は掘れば出ると言っているけれど。どんどんさびれる一方だ。北方領土でも返ってくれば変わるけれど、望み無し。段々厳しくなるようで。
女	40	今年の4月から札幌より根室へ来ました。寂しい町というのが第一印象です。坂が多いせいか、歩いている人がほとんどいません。札幌に比べると様々な面で不便を感じますが、住み良い町な方ではないでしょうか。車で少し行くと景色のきれいな場所がたくさんあり（根室十景や釧路のあちこち）魅力に感じます。 ただ、そういった観光場所も人は少なく残念に感じます。もっとPRをして広めた方がよいと思います。生まれてからずっと北海道に住んでいるのに根室に一度も来た事がない私にとっては道民へのPR不足を感じます ・海鳥による糞の汚れはどうにかきれいにはできないのでしょうか ・物価に関しては安い方だと思います
男	40	1.シカの積極的な駆除の実施について ・国道 44 号線がシカ発生率が高い事が知られ（インターネット等の情報網）、観光客等が根室まで足を伸ばさない。 2.空きのある他の官公庁等の住宅及び空き市営住宅等の開放について

		・観光客の宿泊先が市内に少ないためこれらを活用し観光客の確保に利用できないか（市の財政が潤う） ・上記の開放した宿泊施設の管理人等の雇用が増えるのではないか。（資格等を持たない方や専業主婦だった女性も仕事を持てる） ・空いている市営住宅等を安価で賃貸させることにより、人口の爆発的な増加とはならなくとも世帯数が増えることによる市への経済効果が見込めるのではないか。
男	20	根室のチェーン店以外の店員は客対応がすごく悪い印象がある。聞いてみると「漁師町だから仕方がない」という意見がとて多く、それが根付いているなら、改善が難しいと思った。教育で直るのなら、観光客に良い印象を与えるためにも講習を開催するといったのかなと思う。
男	40	静内の二十間道路みたいに「日本一遅い千島桜並木」という道路。 駅前朝市（6:00～11:00）魚、かに、農産、食べる所。お菓子。 日の出と朝市のセットのツアー J R根室直結のホテル（駅の上ホテル） J R一両豪華列車
男	50	根室駅周辺の整備を検討してはどうでしょうか
女	40	根室の良さをもっと道内外にアピールしてほしい。外の人をもっと根室に来てもらえるように。
男	65-74	観光資源を有効活用させるための具体案を作成し、それを全国の観光関連ルートに働きかける。来根者の滞在満足度をアップさせるための施策を立案し、それらに沿って宿泊施設、飲食施設の統廃合を実施し、新たに魅力ある施設が立ち上がるように優遇策を策定し実施する。カジノ施設を誘致し将来は北方領土にも展開していく。
女	20	観光しに来るようなイベントがあればいいと思う。（土地がたくさんあるので、芝桜みたいにたくさん花を植えて花のまつりをしたり、B級グルメのイベントをしたり）子供連れの家族が遊びに行けるような、中標津や釧路からも来たくするような公園とかがあればいいと思う。ゆめの森公園のような。
男	50	北方領土のビザ無し交流などは必要ない。領土への行き来ができるような仕事、観光が必要。若者が地元に残るような仕事場所が必要。イベント競技が少ない。
男	65-74	①水産、農林の地場産業の確立と観光地などのアピール 友知地区の湿原等は規模は別として釧路や小清水にも劣らぬ魅力がある。地元は当たり前としか見ていないが他県からの滞在者から見るともったいない感じがする。
男	40	1.農産物の拡大 海産物は大変良いものがある。しかし、農産物の価格が高いと感じるので、農産物を拡大して朝市などをしてみてはどうでしょうか。 2.娯楽の拡大 娯楽が少なく「根室に遊びに行こう」と考える人が少ないのではないかと感じる。 3.「道民限定ツアー」 他県に住んでいた時に「県民のみを対象とした旅行プラン」等が企画され、よく利用していた。北海道の他地域に住んでいる人に根室の良さを知ってもらおうツアーを企画してみてもいいかなと思う。
女	30	職の少なさ、低賃金を改善するにはやはり観光に力を入れるくらいしか思いつきません。水産は引き続き色々模索していくしかないにしても（とは言え父も漁師なので死活問題）、観光は伸びしろだらけだと思います（どっちもやるのが遅いけど）。 宿泊施設も少なさは致命的だと思います。またグランドホテルが多重権利で他の人が買えずに廃墟のようなまま営業しているというののもいかなものかだと思います。 宿泊施設はわかりやすい課題ですが、観光客からよく聞く「花咲ガニを食べられるご飯屋さんはないのですか」という話。観光客は当然どこのお店でも花咲ガニを食べられると思って来るようです。またご飯屋さんの選択肢が少ないのも気になることです。市民でさえも外食の意欲を削がれるほど選択肢が少ない。
男	30	根室に空港施設を作る。総合体育館等の運動施設の早期建設。合宿等を招致する（気候等が良いと思うので）
女	30	自然を活かした感じのレジャー施設が一つでもあれば観光客も増えるので良い。
女	65-74	根室の鉄道はこの先危機感に迫られています。市のまちづくりで素晴らしい自然と美味しい海の産物、乳製品がたくさんあり、釧路からの各路線駅で手をつなぎ提供しながら観光誘致ができるのではないかと（景色、動物、鳥、海産物、市民全体の協力）

		根室には温泉がありません。ぜひ入浴施設を充実させて下さい（観光で根室にいらした方の不満を耳にして思いました）市民も誰もが利用出来るように交通の便もしっかりと考えた方法を。
男	65-74	最東端の駅、東根室に観光で訪れる人達に立派なものでなくても良いので「ベンチ」の設置を希望します。 先日バス利用で観光に来ている高齢者が階段に座り、標識（駅の）基礎のコンクリートの部分に腰掛けている（おしりが冷たそうでした）のを見て「何にもなくてすみません」と声をかけると、「何もないのが良いです」と言っていました。 以前に市役所の観光課に「ベンチ」の設置をお願いしてみましたが、東根室駅はＪＲの敷地内のため、市の仕事ではないと言わんばかりの返事でした。 東根室の駅に年間、何人の観光客が訪れているのか。その人達がどの程度満足して帰えられているのか。観光に力をいれていこうとする根室。訪れる人に一休みできる些細な「ベンチ」の設置をしてほしいと思います。
女	18	根室チャン跡や西月ヶ岡遺跡を他地域のアイヌ博物館のように復元したものを展示するなど、市外から観光に訪れる人向けに史跡の整備をしてもらえると嬉しいです。
女	30	納沙布岬の施設の充実
男	50	根室という土地はわざわざ寄らないと来られない町なので、魅力ある町にする必要があるので、根室ならではのスイーツや食事、特にスイーツは重要なので町全体で考え開発する必要がある。また、根室の来ないと体験できない事を発見、開発したり、もう一度根室に来たいと感じてもらう町づくりが必要。そのためには、道路整備、案内板、宿泊施設等課題が多い。まず自分達が知らない土地に来たつもりで何が不足してどんな不便があるのか見つめ直してほしい。
男	65-74	廃校施設の利用： 旧キャンプ場あとからの夕日、納沙布・瑤瑤瑠からの日の出・自然をもっと利用してはどうでしょうか。 移住体験住宅を、旧小学校教員住宅を利用して、地域住民との交流を行うことにより、地域の活性化になると思われます。 また、海に影響を与えない陸上での、高級魚の養殖事業等を考えてはどうでしょうか。
男	40	漁業関係の見直しをしていかななくては第２の夕張になっていくのでは。 地元産業を活かし観光にも力を入れてみてはどうか。
女	20	根室から釧路までの高速道路を作って欲しい。
男	65-74	根室～厚床間で根室市の企画で催しを行い集客する事はできないでしょうか。もちろん市外各地からの呼び込みが必要だと思います。鉄道は廃線箇所だけでなく、道東一円で大きく考えてみる事はどうでしょうか。夏の観光には必要だと思います。冬場は少々厳しいかも知れませんが、知恵を出し合って行ってください。
男	75	博物館または科学館が、当市には何十年も施設がない。開校した学校（特に市街地近い）旧共和小学校の活用をしたらと提案します。文化施設がない市は、急ぎ郷土の歴史を学ぶ、小中高生のためにも市民のためにも是非お願いします。
男	20	日本最東端であり、知名度は道内だけではなく本土でも有名（私自身大阪出身）にもかかわらず、観光ＰＲが上手くいっていないように思える。
女	30	夕日のきれいなキャンプ場を作ってほしい。キャンプ場をもう一度整備してバードフェス関係のイベントを行う。
男	40	①英語が話せる人材を育成し、バードウォッチング観光に市を挙げて取り組んでほしい。イギリス圏の富裕層が 1000 億以上のマーケットを形成しているにもかかわらず、バードウォッチング界のビック 3 が根室で見られるにもかかわらず、英語ガイド不足、市全体のホスピタリティの欠如で、他地域に比べ大きな後れをとっている。市から英語圏留学の助成を積極的にする（奨学金）、ガイド育成、旅行者まかせではなく、市が主体となって創造していく姿勢が必要。

(3) 基本目標3 みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

①コミュニティの維持・活性化

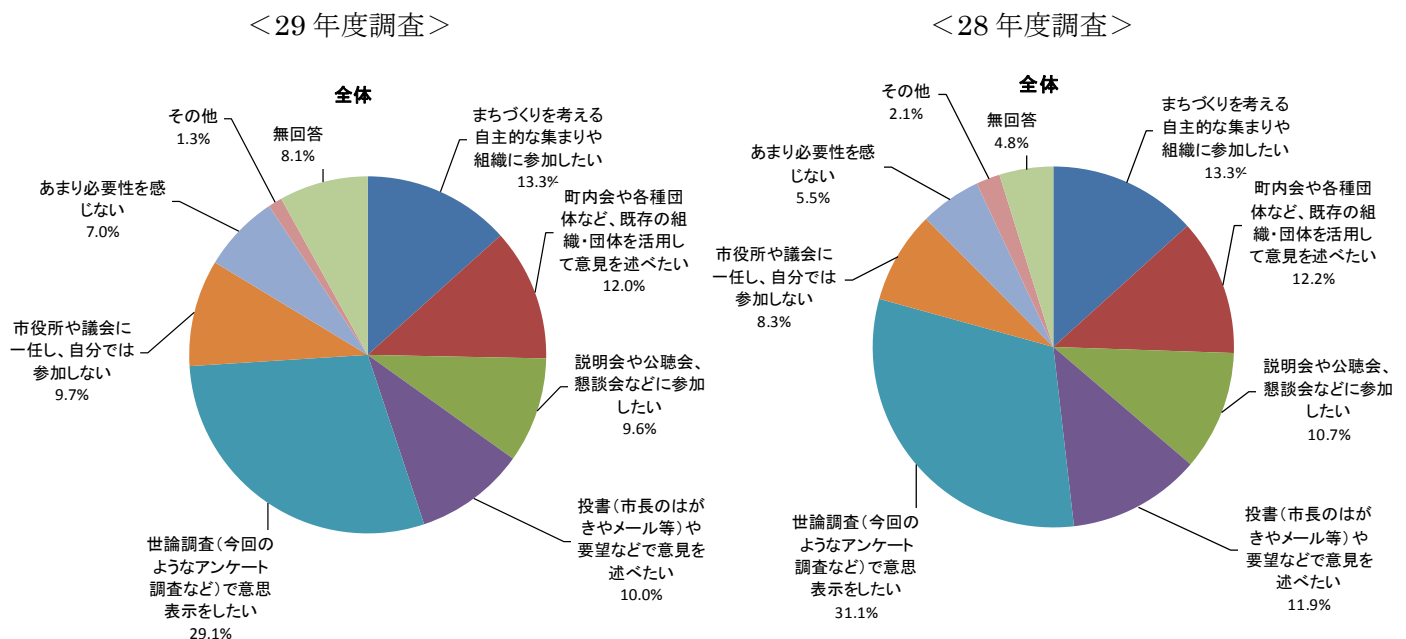
根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

- a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援
- b) コミュニティ活動を牽引する「まちづくりコーディネーター」などの育成

1) 市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、といった要望も比較的多かった。

この結果を、前回調査と比較すると、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は74.0%であり、前回調査の79.3%から5ポイント以上減少しているなど、市民の意見や要望をどのように反映させていくかといった課題が伺える。



2) コミュニティの維持・活性化に関する意見

今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、平成28年度調査と同様に、大きく、行政情報に関する要望、コミュニティの場の確保、市民参加のまちづくりのあり方に関する意見にまとめられる。

行政情報に関しては、イベントや行事に関する要望のほか、行政施策に関する市民との協議、周知のあり方に関する要望があげられている。

コミュニティの場の確保に関しては、子どもから高齢者までが集うことのできる場、美化活動のネットワーク化、高齢者ボランティアの活用などの提案がみられている。

まちづくりへの市民参加のあり方としては、市民意識調査の結果でもみられたようにアンケート等により市民からのアイデアや意見を募集する方法のほか、民間企業の活用・連携、市議会議員への期待に対する意見がみられている。

しかし、たとえば、市で実施するアンケート調査などで募集した意見、アイデアがどのように市政に活かされているのかといった疑問を呈する意見もみられており、市民の意見、要望をどのような形で反映していくかといった仕組みづくりが求められているといえる。

＜コミュニティの維持・活性化＞

性別	年齢	市民意識調査における自由意見・提案
女	40	新たな提案までとは言えませんが、根室市在住はきついです。仕事、収入、学びの場・・・選択する範囲が狭い。子供達にも市外に移り住むことなく教育など充実させたいです。以前、娘がサッカーの全国大会への出場をする機会がありましたが、市からの助けは全くなく、保護者負担となりました。普段からも女子サッカーの環境が無く親の負担は大変でした。子供達がやりたい事をさせてあげられない現実、辛かったです。根室市在住者が住みやすいまちづくり、早く改善してほしいです。
男	18	少しずつでも良いので、根室の環境、整備を良くしてほしいと思います。今後の根室のまちづくりでは特に育児を優先とした環境づくりをしてほしい。高齢者と若者の交流も多く増やしてほしいです。今後の活動に期待しています。
女	60-64	・生活に悩み、子育てに悩み、病気に悩みの場所がない。サークルが少ない。
女	65-74	西月岡橋の川、垂れ流し一部家庭ごみのポイ捨て。この川にはカモの子育て、秋には鮭が遡上してきます。美化に力を貸して下さい。時々、悪臭が漂っています。少ない予算の中で、整備しても無駄の様な気がします。川辺には散歩する市民が多くなってきています。
男	30	根室市の存続には、何が本当に大切なのか、常に考えていきたいと思うと同時に、決定権力のある方には、それをどのような形で、どのようなタイミングで実行すればよいかをよく考えて頂きたい。根室市には子供達の様な無限のパワーがある人間が必要不可欠だと思います。
女	18-19	私は高校を卒業するまで根室に住んでいました。（現在は短大生として釧路で生活）やはり、根室という街は全体的に活気がありません。全部が全部悪いとは言いません。祭りなどイベントの多さなど釧路の方から高い評価をされました。ですが、若者世代にとっては店舗の少なさや娯楽などの憩いの場が不十分だという意見が多いです。若者だけではなく全体を通して満足ができるとは言いがたいです。高齢化社会で高齢者に対する施設や整備などは充実していると思います（バリアフリーなど）少子化という問題に対してはどうでしょうか。私は充実とは言えません。目を向けてほしいです。活性化を目指すならなおさらです。産婦人科などの出産や子育てに関する医療の充実、若者や消費者、全体が少しでも満足できる店舗など設備。イベントなどでも、毎年同じ物ではなくアイデアの追加。色々検討できるものはあると思います。1人の若者の意見です。少しでも耳を傾けて下さい。私は根室が好きです。だからこそ、もっとよりよい街へととなってほしいと思います。「ワーク・ライフ・バランス」これがいつか実現できる事を期待しています
女	65-74	老人達の福祉の充実、ボランティアで活かせる場所作り、知恵のある老人達は沢山います。お金などいりません。心がつながっていくそんな根室にしていきたいです。
男	30	いつも子供が遊べる場の創造について調査（類似）の際、回答しているが、何も反映されていない。何のための調査なのか。
女	65-74	若者が根室市から出ないような取り組みとして、若者が参加しやすい場所や行事があればいいのではと思う。
男	65-74	市と市内と交流の機会（何かの行事・催し）があると良いと思う。紙面での事務的な事ばかりで多々の市民と言うだけ。根室市民として何も自慢できません。楽しみにできるような事案を考えてほしい。
女	50	町内会費を支払っているが、町内会の活動内容が分かりません。根室市では町内会の活動はないのでしょうか。根室市の公報も配布されないのでしょうか。他の町では、配布されており、読む事

		ができました。 ゴミ収集カレンダーも配布してくれていました。
男	20	何年もこういうアンケートをやっていますが、参考になっているのでしょうか。二十数年、住んでいます、あまり変化を感じた事はありません。もう少し住みよい根室市になる事を願っています。
男	30	私は花咲地区に住んでいますが、去年、花咲港小学校が無くなると新聞で見ました。新聞に出る前に本当に市役所の人は地域の人達と話し合いなどを行ったのか疑問に思います。話し合いの結果後新聞に出るならいいですが、そうでないのなら、やり方がどうかと思います。これだけ子供の数や人口が減少している中で、学校の問題は大変だと思いますが、話を進めたいのであればもっともとはなしあい、意見を出し合い、無くす事だけが正確かどうかやってほしいと思います。
男	50	1.組織づくりに今、方向性が問われています。現状の市の組織で考えると横のつながりに弱さが目立ちます。同じことを他の課（部署）で行い、それを結果につなぐ人がいないと思います。それは市民にとっても、市、職員にとっても非常に残念なものです。横の連携を合理的に出来ればと考えます。 2.市としてのあり方が問われています。ひとつひとつの小さいことかもしれませんが、今年のどこが重点かをもっと明確にし、小さなことの積み重ねで市全体に、市としての方向性を強く主張していく時だと考えます。当たり前が当たり前にならないと真面目な市民はとても残念に思っています。
男	60-64	根室市が将来にわたって存続するには優秀な人材の流出を防ぎ、根室に残って地域の活性化を生み出せる環境づくりが大切であると思います。なぜ皆根室に残らないのか考える所から出発しては。
女	20	街を明るくしたい。特に緑町。最近、歩いたりするけどゴミとか落ちていてとても不快です。ゴミをそこら辺に落とす人の気が知れないです。皆で協力してボランティア活動すると良いです。
女	30	・高齢者で働きたい人がいれば働けるようなネットワークがあればよいと思う。 ・ワーク・ライフ・バランスをやりたいなら、もっと週3回1日3時間の労働などニーズに応じた働き方をさせるべき。フルタイムをちゃんとこなせるのは独身の人のみ。医療分野でも人材不足を言う前に短時間労働のパートを雇って生活を両立させるべき。フルタイム、残業ありじゃ家庭がある人は無理でしょう。
女	65-74	チャレンジ精神、夢いっぱいの子供を応援するそんな教育方針があるといいです。 高齢者の努力で現在があると思う。多種にわたり技術者に協力して頂き技術の伝承、指導のできる施設の整備、支え合ってこの街で暮らせて良かったと思えるように、そしてボランティアに参加するだけがボランティアでなく、今生きている事が本当のボランティアと認識できるような街づくりにしてほしいです。やはり人、物、お金です。頑張ってください
男	75	行政側としては、多くの要請に応じたいと思いますが、財源や職員体制にも限界があるでしょうから、生活困難者を優先にしてほしいのです。
男	65-74	頑張っていて活動している方も多いと思いますが、どうしても我になり、自分の周り、立場が大事でなかなか周りを見ていない事が多いように思う。精神的な面でも何かできると良いです。
男	75	根室のまちづくりについて、政策戦略が欠落しています。問題は過去の成長戦略の成果が上がっていないのに結果を検討する姿勢がない事です。経済構造を転換し成長に導くまでには試行錯誤があつて当然であり、成果が出ていない原因をしっかりと分析し、次に活かすという事を大切に議論してほしい。
女	65-74	・少子化について。子供をたくさん産める環境。例として3人以上に出産祝い金を出す。子育てについては、老人（60歳以上で）仕事をしていない人がボランティアで協力する。 ・ロシア語での教育。小学校にロシア語教育学科を設ける。小さいうちから、ロシア人教師による日常的な言語教育をする。 ・子育て世帯が都会へ出なくても良い。生活環境を市民で作り上げるのに協力したい。
男	40	次世代を育成するための環境が整っていません。教育をサポートする体制（人は頑張っているけれど、人・モノが不足している）状況を変えなければ、大変な状況です。教育施策について、市長・議会・役所・市教委でぜひ公聴会を開いてほしいです。現場の状況は皆さんに是非知っていただきたいです。いじめ防止条例推進会議のような場を年に3回位、青少年健全育成会議のような場を形式的なものでなく、教育、予算執行、教育施策実行のための諮問機関にしてほしいです。現場の声を施策に取り入れてほしいです。

②地域環境との共生

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下の地域環境との共生が推進されている。

- a)既存公共施設の有効活用による都市機能の充実
b)地方創生の計画的な推進と財政運営

今回の市民意識調査における自由意見の中から、地域環境との共生に向けた施策に関する市民の意見をみると、大きく、既存公共施設の更新・改修の要望、空き住宅、旧学校施設の有効活用、街並み景観の整備、などに関する意見がみられている。

既存公共施設の更新・改修に関しては、特に老朽化した小学校の改修に対する要望が複数件みられている。

空き住宅に関しては、コミュニティ施設としての活用、観光客向け宿泊施設（民泊施設）としての利用などの意見のほか、街並み景観の観点から老朽住宅の撤去などの意見もみられている。

旧学校施設に関しては、博物館等の文化施設としての利用などのアイデアも寄せられた。

街並み景観に関しては、観光受入の観点及び愛着のあるまちづくりの観点から、植樹や花壇の整備、ごみ対策等の街路景観整備の重要性を訴える意見がみられている。

一方、ふるさと納税の有効活用に関しても複数件の意見が寄せられている。

<地域環境との共生>

性別	年齢	市民意識調査における自由意見・提案
女	50	小学校、中学校のトイレの改善をお願いしたいです。今のままだと子供達がかわいそうです。プールの改善もせっかく子供達が頑張っているのに、もっと、誰もが行きやすくしてほしいです。お母さん達の話聞いたのですが、別海とか中標津のプールに子供を連れて行っているとの事。
男	40	・学校、校舎の市民への規制緩和、空きスペースを老人の会合、体育館での歩行練習、デイサービスに使ってみては。まだまだ動ける 70 代前後の遊び場作り。 ・ホースホスピタルをしてほしい。協力はしたいと考えます。 ・老人、老年と小学校、中学校の融合、大人の目が子供達に届くので見守りになるし、子供も大人を見るはず。全世代が協力できる場所を学校に作る。 ・バッチェンセンターを作りたい。
女	40	使用していない建物を利用しての脱出ゲーム等の企画があると楽しいと思う（根室の事を調べないと解けないクイズを入れたりして）
女	30	根室はふるさと納税で資金があるのに、根室の為に使ってくれない駄目な街です。改善など無理でしょう
女	40	地域でサロンをしたい。古家の改修で年寄りや若人とお茶をしたりしたい。根室の一部の人が頑張ってまちづくりしてくれていて疲れているのではないのでしょうか。どんどん子供達を地域で活躍できる機会があって役割を感じて、それをのばしていけるような支える大人の役割を。「ねむろだしね」何かにつけて言う癖を払いたいです。
女	65-74	西月岡橋の川、垂れ流し一部家庭ごみのポイ捨て。この川にはカモの子育て、秋には鮭が遡上してきます。美化に力を貸して下さい。時々、悪臭が漂っています。少ない予算の中で、整備しても無駄の様な気がします。川辺には散歩する市民が多くなっています。
男	50	ふるさと納税を見ても国内でも有数の資源、商材を持った街だと思います。有効に活用して無駄のないように市民に還元、まちづくりに活用してもらえればと思います。これから税収の伸びは期待できないでしょうから。
女	65-74	早く青少年センターを建て替えて欲しい。サークルで毎年9月に高校生とお年寄りの集いなどがあり、参加しておりますが、今ですと、椅子を出すのにシートを敷いて使用しております。先月も巡回講習があり使用したのですが、シートを敷いて使用しているのでつまづいて転びました。また、道東の大会なども今のままでは出来ません。1日も早く建て替えて他都市の方を迎えて大会など

		色々な行事が出来る事を願っております。落石など施設も新しく建て替えているようですが、まずは体育館を先にして欲しかったです。よろしくお願いします。
男	40	空きのある他の官公庁等の住宅及び空き市営住宅等の開放について ・観光客の宿泊先が市内に少ないためこれらを活用し観光客の確保に利用できないか（市の財政が潤う） ・上記の開放した宿泊施設の管理人等の雇用が増えるのではないかな。（資格等を持たない方や専業主婦だった女性も仕事を持てる） ・空いている市営住宅等を安価で賃貸させることにより、人口の爆発的な増加とはならなくとも世帯数が増えることによる市への経済効果が見込めるのではないかな。
男	50	空き家が多すぎてそのうち強風や吹雪で屋根が飛んだりして危ないと思うので、行政等が窓口になって売るか更地にして処分した方がいいと思います。公務員の空き家がたくさん目立つのでまだまだ使えそうなので一般に安く貸すか、売って道・市の財源にしたらいと思います。
男	75	行政側としては、多くの要請に応じたいと思いますが、財源や職員体制にも限界があるでしょうから、生活困難者を優先にしてほしいのです。
女	75	厚床の公営住宅の老朽化が目立っています。何らかの対策が必要でないでしょうか。
男	65-74	根室公園の池の整備、花壇整備
女	20	ふるさと納税で1位になっているということはお金もそれなりに入ってきているはず。だがしかし、そのお金が市民への戻りはなく、実際何に利用されているかも全く分からない状況である。
女	40	汚は汚を呼ぶ。朽ちている建物、錆びたシャッターは見る人に明るさをもたらしません。暗い街だなと。婚活イベントやフリーマーケットも良いとは思いますが、出会いや交流を求める若者を集めて「再生」をテーマにした活動をしてみるというのはどうでしょう。 D I Yをやってみたいけど1人じゃできない等という方も多いはず。家主に相談し、空き家を若者の感性でおしゃれにD I Y。おしゃれになれば住みたい人もいられるかもしれないし、イベント会場として注目されます。 税金は市民の喜びに使って欲しい。楽しみをつくってほしい。 学校の校舎も壁がかびていて、ぜん息の子が多い根室なのに放置です。 根室はおしゃれな方が多い町だと思います。もったいない。
女	60-64	桜前線が日本列島を縦断する最終地であるので、将来、根室にも美しい桜並木が見られるよう、植樹する事を望みます。縁が少ない街だと思います。
男	75	博物館または科学館が、当市には何十年も施設がない。開校した学校（特に市街地近い）旧共和小学校の活用をしたらと提案します。文化施設がない市は、急ぎ郷土の歴史を学ぶ、小中高生のためにも市民のためにも是非お願いします。

6. 2 まとめ

平成 26 年度に策定された根室市創生総合戦略は、少子高齢化や人口減対策として、若い女性をはじめとした次世代の若者、子育て世代が安心して働くことができ、結婚し、出産し、子育てしていけるまちづくりを目指すとともに、もって移住者等の新しい人の流れを創り出すことを目的とした計画である。

このため、戦略の目標は、結婚支援、出産・子育て支援であったり、産業の活性化・雇用の創出、観光客等の交流人口の創出であったり、コミュニティの確保と市民協働のまちづくりによる市民サービスの充実等であり、高齢者や障がい者等の社会福祉、教育、交通・生活インフラ、環境、北方領土対策等を含めた根室市総合計画の一部を重点的に戦略化したものである。

この総合戦略に基づく各種の施策の実施効果を把握するために、主として根室市総合計画に対する市民意識の変化を把握するためのアンケート調査結果から、総合戦略に対する意識調査に関連する項目や自由意見を抜粋し、市民意識を整理した。

(1) 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。(基本目標 1)

- ・ 昨年までの市民の最大の関心は、市内で分娩できることと、夜間・休日診療を含む小児医療体制の充実であったが、市内分娩に関して、平成 29 年 4 月より市立根室病院にて 11 年ぶりに再開されたことを反映して、さらなる充実の望む意見はみられたものの、不満意見は大幅に減少している。
- ・ しかし、初産を可能とするためのスタッフの充実を含め、夜間・休日診療だけでなく、平日の診療体制に対しても、小児科、耳鼻科など出張医に依存している科目や、診療できない科目などもあることから、さらなる医療スタッフの充実に向けた対応が求められている状況にある。
- ・ しかし、産婦人科医や小児科医の確保が困難であるという状況は全道的に抱える課題でもあることから、スタッフ募集の強化のほか、医療機関間の連携の構築、安心確保に向けたサポートシステムの構築など、継続的な対応が必要と考えられる。
- ・ また、子育てや医療、教育にかかる経済的支援制度の充実や、託児機能の充実などに対する市民ニーズは依然として高いことから、施策の着実に実施が求められているものといえる。
- ・ 子育てに関連して、悪天候時や冬期に子どもを遊ばせることのできる全天候型の施設に対する要望は、総合戦略策定時に実施した市民アンケート調査の結果や昨年度調査でも多くあげられており、引き続き、その具体的対応が求められている状況にある。

(2) 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。(基本目標 2)

- ・ 若者の定着、移住促進を推進していく上で、市民の最も大きな関心が寄せられている課題は、地域産業の活性化による雇用の確保である。
- ・ 平成 28 年から禁止となったロシア 200 海里内サケマス流し網漁の影響など根室市の経済環境に対する市民の不安が大きい状況が把握されている。
- ・ 一方、新たな動きとして北方四島、極東ロシアをめぐる日露経済交流の動きもみられてきており、市民の期待も大きい状況が把握されている。
- ・ しかし、日露経済交流に関しては、根室市が主体的に動くことができないテーマであることから、まずは、市政としての産業振興を推進していく必要がある。

- ・具体的には、漁業に関しては育てる漁業（養殖事業）の推進、水産加工品の高付加価値化、ブランド化、新規産業の創出、商店街の活性化など、多くの課題に取り組む必要がある。
- ・こうした産業振興としての観光振興は、水産業の振興に次いで、市民の大きな関心が寄せられている。
- ・観光振興に対する市民の期待は大きく、観光ポイント整備だけでなく漁業者はじめ地域産業との連携や宿泊機能の強化、街並み景観の整備など、受入体制強化に向けた関係者、市民を含めた一体的検討を進めることが重要と考えられる。
- ・その中には総合戦略の事業としても位置づけられているインバウンド観光としてのバードウォッチング観光への期待する意見もみられている。
- ・観光に関して、最も提案の多かった課題は、宿泊機能の整備と観光ルートの創出や特産品等を含めた根室観光PRあり、特に、根室のPRは早急に取り組むべきテーマといえる。

（３）みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

（基本目標３）

- ・市民意識調査の自由回答に対する意見をみると、根室市の再生に向けた活発な意見やアイデアが多く、潜在的にはまちづくりへの参加意識は、平成 28 年度調査の結果と同様に高いものと考えられる。
- ・このため、具体的な施策や事業、計画に関する情報、施策の進捗状況に関する情報提供に対する要望も多くあがっていることから、市民協働を具体化するための前提となるこれらの情報を周知するための方法を検討することが必要と考えられる。
- ・また、まちづくりへの参加方法としては、市民意識調査のようなアンケート調査による参加意識も高いことから、個別施策や事業に関するアンケートを実施することも有効と考えられる。
- ・しかし、昨年度調査では少数であったが、アンケート調査で回答した市民の意見がどのように市政に反映されているのか疑問に感じている旨の意見が、今回の調査では比較的多くみられている。
- ・このため、まちづくりに関する自主的な集まりや組織に参加するだけでなく、多くの市民は市が実施するアンケート調査等に参加することが現実的な対応であることから、市民参画システムのあり方に関する検討を進めることが必要と考えられる。
- ・平成 28 年度調査の結果との大きな違いは、ふるさと納税に対する認知度が高まっていることである。
- ・しかし、大きな成果が得られているとの認識が高まっているものの、その財源の活用方法に関しては、十分な理解が得られていない状況もみられていることから、用途に関する市民理解を得るための周知が必要と考えられる。

資 料 編

資料1 市民意識調査自由回答（問24）

性別	年齢	問24 意見・提案
女	40	新たな提案までとは言えませんが、根室市在住はきついです。仕事、収入、学びの場・・・選択する範囲が狭い。子供達にも市外に移り住むことなく教育など充実させたいです。以前、娘がサッカーの全国大会への出場をする機会がありましたが、市からの助けは全くなく、保護者負担となりました。普段からも女子サッカーの環境が無く親の負担は大変でした。子供達がやりたい事をさせてあげられない現実、辛かったです。根室市在住者が住みやすいまちづくり、早く改善してほしいです。
女	40	光洋団地には来客用駐車場がありません。路上駐車したら苦情が来ます。ぜひ来客用の駐車場を作ってもらいたい。
男	60-64	漁業の復活
男	40	・学校、校舎の市民への規制緩和、空きスペースを老人の会合、体育館での歩行練習、デイサービスに使ってみては。まだまだ動ける70代前後の遊び場作り。 ・ホースホスピタルをしてほしい。協力はしたいと考えます。 ・老人、老年と小学校、中学校の融合、大人の目が子供達に届くので見守りになるし、子供も大人を見るはず。全世代が協力できる場所を学校に作る。 ・バッティングセンターを作りたい。
女	30	・鉄道の便数をもう少し利便性のあるようにしてほしい。 ・小さい子供でも参加しやすいイベントをやってほしい。
男	40	ニムオロ塾というブログをご覧になられると良いと思います。教育、市政等参考になるかと。
女	60-64	・何十年前に1億でアスレチックを整備したと思いますが、あれはどうなっているのでしょうか。現状として休日になると何時間もかけ地方に子どもを遊ばせに連れて行く親子が多勢いると聞きました。映画館もしかり・・・親子が楽しめる施設がないことが地方での購買につながり結局は商店街も衰弱するのではと思います。 ・根室で自慢できる新鮮な水産物・農産物を一般人（観光客も）購入できる朝市のような市場があったらどうかと思ったことがあります。 ・根室の人口が減少の一方というのは少子化もありますが、高校以上の学校がないことで、せめて専門学校（水産・農業・服飾・製菓とか）があったらいいのではと単純に思います。 ・雇用については、働く意欲があり、身体も動ける人には年齢に関係なく長期の雇用の道を広げられるように市も取り組んでほしいです。年金は徐々に減額になっているようだし、厚生年金の方は良いとしても国民年金のみの方は将来生活していけなくなると、市への負担も増えるでしょうし、何か考えたら良いでしょう。（思いつくままに記載しまとまり無くなり失礼しました）
女	40	使用していない建物を利用しての脱出ゲーム等の企画があると楽しいと思う（根室の事を調べないと解けないクイズを入れたりして）
男	30	とにかく水産関係を強くする、そちらの方を強くしなければ根室は良くなれないと思います。
男	20	アンケートがナンセンス。これで聞いていると思うことのないように
男	65-74	根室には子供が親と一緒に遊び、学べる施設がありません。「中標津のゆめの森公園」、「釧路の子ども遊学館」のような施設の建設は出来ないのでしょうか。国や道の補助金を取り付け、将来の根室を担う子供の為に是非実現して欲しいです。
女	50	旅先などで根室市と言っても知らない人が多い。根室市を知ってもらう為のメディアを利用することも無いように感じられる。緑町を何とか活気のある町にしてください。
女	75	根室市の国道ですが寂しい限りです。地方から帰りには何とも心が暗くなります。
男	18	少しずつでも良いので、根室の環境、整備を良くしてほしいと思います。今後の根室のまちづくりでは特に育児を優先とした環境づくりをしてほしい。高齢者と若者の交流も多く増やしてほしいです。今後の活動に期待しています。
男	65-74	根室市の市会議員の仕事を教えて下さい。
男	50	すべて金が無いのに意味があるように思えない
女	30	中標津「ゆめの森公園」のような無料で子供達が遊べる施設があると良い。外以外での遊ぶ施設が少ない。もっと市が行っている事を詳しくどんな事をしているのか教えてほしい。大きな店な

		どが少なく、街（市内）がさみしく感じる。
女	50	ますます人口が減っていくと思われます。小さくてもきれいな充実した明るい町になったらいいと思っています。
女	60-64	・根室への観光は通過型であり、水族館などの建設も考えてはどうか。 ・若者の働く場がない。企業誘致を図り、雇用の場の確保を。人口減にも歯止めがかかる。 ・市立根室病院の医師確保と診療科の充実を願います。
女	30	耳鼻科がないことが、子育てする世帯としては、一番つらいです。 釧路や中標津まで通院の為に通っているという話もよく聞きます。医療が充実していないことが、定住を妨げているのではないかと思います。
男	40	新生児の為に町にして欲しいです。
女	30	根室はふるさと納税で資金があるのに、根室の為に使ってくれない駄目な街です。改善など無理でしょう
男	65-74	町づくりについて、市を中心に努力、計画をしていることは新聞などの記事で知ってはいます。戦後、70年を超えて、根室市の産業構造が変化して生産業無くして人口の増加など考えられません。現状のままであれば、あとわずか人口2万前後になると思っています。 今でも出張販売で、旅に出る事が多く1年のうちに、春、秋、関東、関西、四国、九州、北陸と動いていますが、帰ってきて市内の人の動き、出歩く人の少なさには寂しい思いをしています。何をしても、根室は日本の端の端ですので交通の便の悪さと人間の移動費を札幌の業者間と比べても商売にならないと思う事があります。観光にしても、根室市内に温泉が出ないのが一番のネックです。これからどうなる事か、しかし、どこの土地も地方都市は根室以上に大変な所が沢山あります。
男	20	ページの導入
男	30	①毎年、半年根室市、半年本州で働いていますが、まず本州の町で思った事が、どこの町も大々的に大きな看板で「買い物は地元の〇〇町で」と立っています。個人的に根室市は全道の中でも所得は高い方だと思っています。しかし、自分の周りでもそうですが、消費は根室市ではなく、他の地方で、買い物などでかなりの額を消費しているのが現状です。なので、根室市民の意識を変えるためにも根室市民はできるだけ、根室で消費するような意識をさせるのが重要じゃないのかと思います。物価自体も他の地方とほぼ変わらないですし、地元で消費すると色々な面でメリットもあると思うので。 ②もう一つが根室の宿泊施設の少なさです。よく地方の方から、聞く事なのですが、根室の海産物の素晴らしさはかなり浸透してきていますし、おいしい飲食店もいっぱいあります。しかし宿泊施設の話では、あまりよい話を聞きません。昼は観光、夜はゆっくり飲食店で根室の海産物を堪能したいと思っても、根室に泊まりたい宿泊施設が無いから、夜遅くなる前に釧路などの地方の宿泊施設まで行って泊まる人がかなりいると言っていました。大手のビジネスホテルでもいいですし、宿泊施設の充実が、今の根室には重要ではないかと思っています。今ある根室のビジネスホテルが高いという話も聞きます。
女	40	子を持つ親としてですが、市内は子供達が集まる場が少ないと思います。公園などもよく利用していますが、室内で遊べる所がないので、天候が悪いと行くのは釧路や中標津。スマートフォンへの依存も強くなってきている現状もあり、別に楽しめる（体を動かせる）所があると、学力低下を少しでも改善できるのかとも思います。子供達が生き生きと楽しめるまちづくりを希望します。
男	30	漁業が衰退するなか、市として今後どのような漁業対策やまちづくりを展開しようと考えているのか。もっと積極的に企業誘致を行い、外からの力を組み込むべきと考える。 いつも子供が遊べる場の創造について調査（類似）の際、回答しているが、何も反映されていない。何のための調査なのか。 緑町商店街も真新しさが無く、何も魅力を感じない。富良野のような一極集中型のマルシェみたいなものがあればより活用しやすいし、商店街が連携して運営ができると思う。より市民も観光客も利用すると思う。 とにかく、根室にはかくれた魅力が沢山ある。漁業にしる朝市みたいなものをやる施設をつくったり、PRが足りない。努力が足りないと思います。
女	60-64	・農業、産業にも活気のある町に

		・緑、花のある町に ・生活に悩み、子育てに悩み、病気に悩みの場所がない。サークルが少ない。
女	50	根室市、市職員、経済界などすべてに絶望している。未来がない。 海産物、自然環境は好きだから出来れば死ぬまで住み続けたかったけど、今は「たぶん無理」と思っています。残念です。
女	40	観光客や根室に人が居住してくれるのには、印象が大切だと思っています。国道沿いや観光施設に通じる道、木がボーボーだと思います。電線やエコじゃない防雪棚、景観がよくないです。 地域でサロンをしたい。古家の改修で年寄りや若人とお茶をしたり。 子供達と自然を楽しみたい。花を摘んだり、釣りをしたり、金に走る豊かさより、心を豊かにするまちづくりをしたい。 根室の一部の人が頑張ってまちづくりしてくれていて疲れているのではないのでしょうか。 どんどん子供達を地域で活躍できる機会があって役割を感じて、それをのばしていけるような支える大人の役割を。「ねむろだしね」何かにつけて言う癖を払いたいです。
女	40	私は、高校卒業後に根室を出て、他市町村へ進学、就職しました。それは根室が田舎で早く都会に出たかったし進学する学校が根室にはないためです。それからずっと旭川、札幌でしたが、やはり医療や交通の便が良い町は住みやすいと感じます。しかし、40 台で根室に戻り改めて根室の自然の素晴らしさを感じました。流水や地平線に沈む太陽や農場のどこまでも続く地平線などこんなにきれいだったのかと感動しました。札幌の知人は「道東を旅行しようとしても情報が少ない、もっと色々な情報を出して欲しい」と話していました。根室には可能性がもっとあるのに、上手く活用できていないと思います。SNS や色々な手段で「最東端の町、あさひの町」をアピールしてもいいと思います。夏も涼しいし、食べ物は美味しい。避暑地としても活用できるのではと思います。本当は漁業やそれに関連した企業や学校など、根室、道東に特化したものがあれば、なお活気が出るのでは。北海道は広いので、道全体で協力し合い根室の特色も出せばよいなと思います。
男	75	長谷川市長以下市役所の職員皆様はよく頑張っていると思います。今後ともよろしく願いいたします。
女	50	ファミリーレストラン（市が主導となって）あれば喜ばしい。
女	50	・根室には動物病院が一軒しかなくて、釧路に通う事が大変でした。 ・キャンプ場もお願いしたい。最東端ノサップに来てくれる方に。 ・市役所、税金で給料もらって、しまいには根室に家を建てないで、逃げるようにして札幌、東京へと行く事が残念です。これは自分達だけ良ければ良いと言う事です。さびれても最後まで根室へと言う方数人です、悲しい。 ・根室振興局のある方（独身女性、40 代）は、神戸から来て、根室に家を今建てておられます、素晴らしいです、感謝です。
女	18	緑町商店街に活気を。
男	20	若年層の人口増加する施策を行ってほしい。
男	75	市会議員は市の行事に参加しない（清掃）春、秋。議員の給料高すぎる。
女	20	公共施設に出入りしていると、古い建物が多く、地震が多いと聞くこの街で耐久性や安全性等がしっかりなっているのかが心配です。他の市に比べ、人口は少ないと言えども、買い物（服や小物、インテリア等）の場所が無く、不便です。充実したスポーツショップもあると良いです。送料にお金がかかってしまいます。検討よろしくお願いします。
女	50	小学校、中学校のトイレの改善をお願いしたいです。今のままだと子供達がかわいそうです。プールの改善もせつかく子供達が頑張っているのに、もっと、誰もが行きやすくしてほしいです。お母さん達の話聞いたのですが、別海とか中標津のプールに子供を連れて行っているとの事。運動公園ももう少しどうにかして欲しいです。中標津の「ゆめの森公園」とまでいなくても何かそのような遊び場があったらいいなと思います。子供の遊び場がないと思います。 スケートもその通り、何をつくっても中途半端なような気がします。寒くて外で何をするのにも、今はスケート場も室内ですね。まして、根室は風が強く、作った方の考えがわかりません。
女	20	この町は老人が多く、そのサービスは充実しているけど、若い人のためのサービスがあまりにも少なすぎて、どんどん人口が減っていると思う。 都会の店を建てたり、流行物なるべく取り入れるべき。また、仕事で遅くなった時に、買い物

		が出来ないから不便だと思う。 そして、建てた店や建物に面白みが感じられない。正直に、若者向けのものが少なすぎて、活気がない。
男	40	給食費をきちんと徴収して下さい。
女	30	共働き夫婦で、土日祝日も関係なく仕事している場合、子供を預ける所がない。皆が祖父母を頼れるとは限らず、3歳になり保育所へ預けても日・祝日を全て休むのは無理である。同じ仕事していても祖母が子供を見ってくれる人は幼稚園に預け、料金も保育園より安い金額。誰も見てくれない所は他より高い保育料を払い、日・祝日休むと嫌みを言われてしまう。少子化だ、子供を産めと言う割には、仕事しながら子育てする人には厳しい環境で、正職員として働くには働きづらい。 小学校になった時、児童館等の利用も出来るのが不安。 ・保育園の保育料の見直し、育休も使用できるようにしてほしい。 ・日・祝日の児の預け先 ・病児保育がないのも不思議 ・児童館等の充実 ・1歳未満児を一時保育できるように 子供を育てやすい環境をお願いします。そういう情報が子を産んだ時や検診など一定の時しか知ることができません。もっと広く色々な情報（細かく）を教えて下さい。
女	40	もう少し、小学生、中学生が遊べる場所増やしてほしい。低所得ばかり優遇でなく平等に。またプレミアム商品券発行してほしい。
女	65-74	西月岡橋の川、垂れ流し一部家庭ごみのポイ捨て。この川にはカモの子育て、秋には鮭が遡上してきます。美化に力を貸して下さい。時々、悪臭が漂っています。少ない予算の中で、整備しても無駄の様な気がします。川辺には散歩する市民が多くなってきています。
男	60-64	町中が汚い。特にたばこの吸い殻、ごみのポイ捨てが良く見ます。根室に住んでいて残念です。色々な地方に行ってきたけれど、根室が一番汚い。マナーの問題ですか。冬の除雪の問題、町の歩道の除雪が特に悪い。空き地の前の歩道、交差点の四つ角に雪の山。
男	30	根室市の存続には、何が本当に大切なのか、常に考えていきたいと思うと同時に、決定権力のある方には、それをどのような形で、どのようなタイミングで実行すればよいかをよく考えて頂きたい。根室市には子供達の様な無限のパワーがある人間が必要不可欠だと思います。
女	75	もう少し若い人に意識調査をお願いいたします。
女	60-64	①サイクリングロードを作り、イベント等を開催したらよいのではないかと思います。 ②年金生活者の方々は新公営住宅家賃が高すぎると思います。収入で決まるのですが、低所得者には（年金生活者）生活が苦しいのではと思います。きめ細かい収入割があっても良いのではないのでしょうか。
男	20	港町としての根室。港湾の整備、拡張は観光、産業、両方の利益を生みだす。
女	30	これからも根室市をPRして、まちを盛り上げていければよいと思います。応援しています。
男	30	人口が減っている中で、子供や子供を育てる家庭を助ける制度をもっとすべき。他の地域の、人口減を少なくする努力をしている市や町や村を見習って未来ある根室市になるよう期待しています。
女	30	・青少年センターを新しくしてほしいです。根室市でのスポーツ大会が少なく、市外でやる事が多く交通費の負担が増えるばかりです。中標津町も新しくなり広く、根室市にも来てもらえるように1日も早い建て替えをお願いします。人の集約が少ない落石での保育所兼施設を作る前にセンターの建て替えを希望します。 ・小中学校の統合もきちんと学区内での入学をすれば、子供は片寄りもなくなり存続できると思います。徒歩通学を基本として考えてもらいたいです。統合は断固として反対です。 ・子供達に興味を持ってもらいたいのので、元全日本選手等有名なスポーツ選手や活躍した方を根室市にも呼んでほしいと思います。別海や中標津などには来ても、町民が対象のため根室市民は参加できない事が多く、残念です。 ・子供手当や母子手当の受け取りのため、実家での暮らしや偽装離婚も見られるので、徹底してほしいです。 ・市職員の娯楽施設の出入りも控えてもらいたいです。平日昼間から夜遅くなど市民が見ている

		所での通いは、市民の税金で給料もらい、使い道は自由ですが、日常的な方も多く残念です。 ・少子化対策として無償化していますが、子供の人数で判断するのではなく、2人でも1人半額や所得を細かく分けても良いと思います。子供手当を多くもらい無償化され、2人以下は有料的な感じに不公平さを感じます。2人以下の家庭にも何かプラスになるものがほしいです。医療費がかからない等の。 ・市営住宅敷地内でバーベキューは火や2階住民、近所に迷惑なのでやめるよう徹底してもらいたい。動物も室内にいるのを見かけている。
男	60-64	北方四島にヘリコプターで行ける話も出てきていますが、どうしてロシア側の会社を使うのでしょうか。日本からのヘリコプターを使うと費用もロシア側に払わなくていいのではないですか。根室は全部、ロシアからのサインが出なければ、魚と昆布も採りに行けないし、年々、生活は大変な状態です。調査をしていますが実行しなくては何の足しにもならないと思います。
女	60-64	望みです。若者が働ける企業がほしい。人口減少、活気、シャッター街など全てが働く場所につながっている。
女	20	根室を、地元の友達を呼びたいと思われるまちにしたいと思います。(交通の便、観光、ホテル等) 冬場、松の内の除雪がされていなくて仕事中に困った事があるので何とか改善してほしいです。結婚したら、絶対根室には住みたくないです(医療施設の不足等)
男	65-74	市議会議員の質の低下が著しい。地方自治法を改正すべきである。公選と各業界(例:商工会議所、福祉団体、体育分野などから)の推薦で選ばれた議員で構成する議会とする。業界から選出された議員は原則無報酬でよい。また公選された者のみ議決権を与えられる。
女	40	北方領土返ってくるわけない。返還運動にお金使う位なら市民の暮らしに使ってほしい。ふるさと納税金、市民の税額を減らせるように使ってほしい。強者に利益をもたらし、弱者に不利益をもたらしているこの市に何も希望はない。諦めている。
女	50	このようなアンケート企画で少しでも自分の意見を言えるのはとてもいい事だと思います。根室にとって医療問題は切実です。おいしい物がある根室なので地元でしか味わえない施設や子供から老人までふれ合える町づくり期待しています。
女	18-19	私は高校を卒業するまで根室に住んでいました。(現在は短大生として釧路で生活)やはり、根室という街は全体的に活気がありません。全部が全部悪いとは言いません。祭りなどイベントの多さなど釧路の方から高い評価をされました。ですが、若者世代にとっては店舗の少なさや娯楽などの憩いの場が不十分だという意見が多いです。若者だけではなく全体を通して満足ができるとは言い難いです。高齢化社会で高齢者に対する施設や整備などは充実していると思います(バリアフリーなど)少子化という問題に対してはどうでしょうか。私は充実とは言えません。目を向けてほしいです。活性化を目指すならなおさらです。産婦人科などの出産や子育てに関する医療の充実、若者や消費者、全体が少しでも満足できる店舗など設備。イベントなどでも、毎年同じ物ではなくアイデアの追加。色々検討できるものはあると思います。1人の若者の意見です。少しでも耳を傾けて下さい。私は根室が好きです。だからこそ、もっとよりよい街へと変わってほしいと思います。「ワーク・ライフ・バランス」これがいつか実現できる事を期待しています
女	30	子供達が天候を気にせず、のびのびと遊べる施設があればいいと思います。
女	20	ひとり親の医療費について、入院だけでなく、通院も無料にしてほしい。
女	20	前から思っていますが、医療の充実を望みます。市立根室病院で診て頂いた診断で納得できず釧路へ通わざるを得ません。中には親身に診てくださるドクターもいますが、そうでないドクターの方が多いです。私も含め、両親や友人・知人まで「根室では治らない」と他へ通う方が多いと感じます。建物だけ立派で、病院の中身は何も変わらないです(接遇など)。病院のシステムが分からないご年配の方が窓口の人に尋ねるととても親切とは言えない対応で見ていていつも悲しい気持ちになります。「市民に愛される病院」はまだまだ難しそうです。出産できるようになったのはとても素晴らしい進歩だと思います。(初産の方は従来通り不可ですが)根室から出て行くのは若者だけではなくありません。医療の充実を求め、札幌などに移住する定年退職者もいます。若者がUターンし、長く暮らしたいと思えるまちになりますように。
男	50	ふるさと納税を見ても国内でも有数の資源、商材を持った街だと思います。有効に活用して無駄のないように市民に還元、まちづくりに活用してもらえればと思います。これから税収の伸びは

		期待できないでしょうから。
男	30	市役所の人はあまり部署異動しないほしい。せっかく顔の見える関係になっても、保健所や振興局はすぐ転勤あるので相談しても「どうせいなくなる人だから」と思い、深く相談できない。
女	40	・空港があるといいと思います。 ・納沙布の観光地周辺をもう少しきれいにしてもらいたいです。 ・子育て中のお母さんが働きやすいパートの職種が多くなってもらいたいです。 ・子供の室内施設があったらいいです。冬や6月位でも寒い日が多いので、家で遊ぶ事で運動不足やゲーム、テレビ見ている回数が多いため。 ・もっとチェーン店があるといいと思います
男	65・74	・場当たりの建物が多い。 ・図書館イメージが暗く、本を借りたいと思わない。
女	65・74	娘達のいる東京にいと都会の生きづらさを感じ、心が苦しくなります。根室に帰ってくると、気持ちがホットして楽になります。長く住み着いて根室の良さを再発見するような感じです。しかしながら、文化的・教育的な面、病院や福祉に関する一番大事な所が欠けていると思います。せっかくののんびりした生きやすさの生活が時に苦しくなってきます。 教育的な面で考えると、雨漏りがしている校舎、どうか建て替えてあげてください。子供達が、学校が楽しいと思える環境づくりを1日も早く考えてほしい。(いつでも本が読めるオープンスペースなど) 子供が健全な育ちを考えられる教育の場を整える環境が一番大事なのではないでしょうか。そんな子供達が大きくなって根室へ帰って仕事をしたいと思える、故郷へ帰って恩返しをしたいし、結婚して子供を育てたい、自分が成長してきた根室を大事にしたいと思える教育が今一番大事です。大人が愛情を持って大事に育てた子供達はまた帰ってきます。故郷は成長してきた心と体の原点です。また、定年後根室を去っていくような事をできるだけなくして老後は根室で(色々事情はあるでしょうが) 安心して生活できるような老人達を支える根室が大事ではないでしょうか。それは、病院の科の充実(特に産婦人科、脳外科)、老人達の福祉の充実、ボランティアで活かせる場所作り、知恵のある老人達は沢山います。お金などいりません。心がつながっていくそんな根室にしていきたいと思います。
女	60・64	・人口減、若者が街にいない。 ・働く場所が少なく楽しみが持てない。 ・若者を呼び寄せる対策が必要だと思う。 ・若いお母さんが安心して子供を産める環境になってほしい。 ・浜は独身者が多い。本人達ではどうしようもなく、回り(組合、市)が後押しして出会いを作ってもらいたいと思う。
女	40	年々、分煙、禁煙の活動に力が入られ、禁煙の建物が増え、外の人気の少ない場所に喫煙が設けられる事は理解できますが、年間3億円以上のたばこ税が市に入っていると聞きました。たばこは陰で吸うものと扱うのではなくしっかりした喫煙場所で正しいマナーを子供達に見せる事も大切ではないかと思います。 病院の建物が立派になっても中身の改善がなされないために地方の病院へ行く羽目になっている場合があるのではないかと。身内が救急搬送された時の看護師、医師の態度、対応の悪さにショックを受けましたが、その後、釧路の病院に回され、その病院の看護師、医師の対応の良さに癒されました。
女	65・74	若者が根室市から出ないような取り組みとして、若者が参加しやすい場所や行事があればいいのではと思う。
男	40	根室を活性化するアイデアがあればとくに試しています。産業などの活性化を望むのは無理です。せめて、ゴミのないきれいな町であってほしいと願いますが、人間性の低い地域なのでそれも無理でしょう。北方領土北方領土といつまでも言っていますが、そろそろ別の視点で根室を残す事を考えないと、市民はどんどん他の町へ出て行きます。かといって、何も浮かばないのが今の根室です。魅力がないのです。どうしたよいかと聞かれても市民も困ると思います。
女	60・64	北方領土の返還が根室の町を活気づけると思います。早く返還をお願いします。孫と遊べる施設を作ってほしいです。
女	30	障害年金を受給しながら飲み屋へ行ったり外食ばかりして働かず、のうのうと暮らしている人がいます。受給資格を厳しくしてはどうか。生活保護受給者もそうですが、働けるはずなのに受給

		資格を得るために演技をして病院で証明を書いてもらったりしている人も沢山います。普通に働いている人以上に良い物を食べ贅沢な生活を送れている事に納得できません。本当に受給が必要な人は半数以下ではないでしょうか。根室の漁業が厳しくなっていくにつれ失業者が増え、これからの根室は今のままでは、不正受給者だらけで、夕張のようになるのではないですか。そのような人のために税金を払うのが馬鹿くさいと働いている人は皆話しています。根室にこれ以上怠け者を増やさないよう対策を考えてください。
男	40	観光資源が沢山ある事が住んで始めて分かりました。もっとPRをするとより多くの方が根室の良さに気づき、来てくれるのではないかと感じました。
女	18	青少年センターの利用料をとる（1回100円など）そして収入を得て、新しい器具や設備の向上を目指す。
女	30	私は転勤のある主人と根室へ来て、この街で子供ができました。子供を産んでみて思った事は近くに頼れる人がいなくて急に自分が病気になったときとても困るという事です。まともと保育所は事前に申込みしないと預けられないし、前もって予定が分かっている時は利用できますが、それも狭き門でなかなか……。わがままだとは思いますが、根室は転勤で来る人も多いし、そういう人達が利用できる所も必要だと思います。クルクルはよく利用させて頂いています。先生方がとても親切で本当に助かります。
男	75	明治公園にスポーツ施設を作る予定はどうなっているのか、さっぱり情報がない。
男	65・74	市と市内と交流の機会（何かの行事・催し）があると良いと思う。紙面での事務的な事ばかりで多々の市民と言うだけ。根室市民として何も自慢できません。楽しみにできるような事案を考えてほしい。
女	60・64	最近の少子化に寂しい感じがします。若い人達が増え、子供達の声が聞こえる町になってほしいと思います。子供達が走り回り、元気に通学する姿は私達大人にとっても嬉しい姿です。
女	40	・寒く風が強いため、外で遊んだり、スポーツするのが難しい。室内でできるような大きな体育館や遊具施設があると良い。大会などで人をたくさん呼べるような運動施設の充実、小さい子供が遊べる施設が少ない（休日）。 ・西浜児童館、土日の開放をしてほしい（幼児も遊べるように） ・比較的学校の振替え休日が、月曜日が多く、市内のセンターやプールなどの施設も休みのため、子供達の事も考えてくれるなら休みの調整をしてほしい。 ・夜間保育の充実と延長、休日保育の充実
女	65・74	下町に行ってもさみしいです。ほとんどバスで利用しています。ファミリーレストランが少ないです。
女	50	高速道路を早くつくってほしい。
男	20	根室市立病院の内科と産婦人科の待合い場についてですが、どうにかして別に分ける事はできないでしょうか。産婦人科は中にも椅子がありますが、外で待つ妊婦も多く、待っていると、内科の人でたくさんになってしまい、立っている妊婦もいます。根室市の未来を担う子供達が生まれてくるので、少しでも椅子が増えたり改善していただけると嬉しいと思います。感染症対策のためにも。 夜間の緊急外来などにいくと看護師がとても当たりの強い対応をされる事が多い。電話対応なども含め、もう少し親切的な言い方をしてほしい。 土日や雨降りなど、子供を遊ばせる場所がないため、どうしても釧路や中標津へ出向く事に……。根室市にも、子供達がすくすく育っていけるよう体をたくさん動かせる施設ができたらいいいと思います。 何年もこういうアンケートをやっていますが、参考になっているのでしょうか。二十数年、住んでいますが、あまり変化を感じた事はありません。もう少し住みよい根室市になる事を願っています。
女	30	介護の仕事をしています。高齢者が思うようにサービスを受けられない現状です。また、サービス自体を知らず大変な（独居や老老介護等）生活を送っている方々がまだ多くいます。また、現場で働く者として人材不足が問題です。私の働いている会社以外、どこかの介護の現場でも人材不足だと思います。全ての高齢者の方々が上手くサービスを利用し、元気に幸せに不安無く日常生活が送れるよう、介護現場での対策など、市からの高齢者への対策など改善が必要だと思います。

		また、子育て世代でもあります。医療面ではとても不安があります。診療の曜日や時間が決まっており、何かあった時にどうしたらよいのか、また、受診をしたくても子供を学校早退させたり、休ませたりしてこちらが時間や曜日に合わせなければいけない所がとても不満です。また、医療従事者の対応の悪さにも疑問を感じます。患者への説明の仕方や言葉遣い、態度、仕事でも良く病院へ行きますが耳を疑う時が多々あります。市立病院のサービスの質の向上も必要だと思います。安心、安全に、不安無く子供を産み育て、老後もサービス等利用して、不自由なく住み続けていけるように対策をお願いします。
女	40	経済的に自立する事ができない若者のために、夜間の技術職の資格取得のための講演会の充実や夜間のバイトを認める。
男	50	根室市には住む上で不安要素がたくさんあります。 ・若い人も含め働く場所がない ・賃金が安い・賃貸物件の金額が高い ・水道代が高い ・若者が楽しめる場所がない。複合施設などは遠くまで行かないといけない・医療にも不安がある ・気候も平均寒い日が多いため室内でも楽しめる場所がほしい（温泉施設までとは言わないがもう少し大きめの公衆浴場＋食事ができる） ・子供の学力低下も気になります。魅力ある教育。幼稚園、小学校から徹底して英語（英会話）を教える。公立の学校で国際化に対応できるスキルを獲得できるのはとても魅力だと思います。（中国語、ロシア語などでもいいです）
女	75	根室市は海のまち。魚がとれなければ根室は沈没する。（多くの人々が水産関係またはその周りを支える仕事をしているからです）
男	65-74	日本最東端の街ゆえに他都市との人の交流がない。基幹産業の漁業の衰退等明るい将来がこの街には見えてこない。ただ一つの特徴であるのが北方領土と接している事であり四島との交易推進をはかるべき。領土問題を解決させる事、国の政策であり、相手のある事なので、市が、元島民が、今まで声を大にして運動を進めてきたが進展はない。明るいニュースはないが、根室のまちづくりの大きな原動力が北方領土とかかわる事が、この街にはあると思う。
女	50	町内会費を支払っているが、町内会の活動内容が分かりません。根室市では町内会の活動はないのでしょうか。根室市の公報も配布されないのでしょうか。他の町では、配布されており、読む事ができました。 ゴミ収集カレンダーも配布してくれていました。
男	65-74	根室の町に温泉があればかなり違う。もう少し深く掘れば温泉が出るという話だが、昔何か所か掘っているけれど。そうすれば観光客も温泉に入って帰るし、お金も落ちる。学者は掘れば出ると言っているけれど。どんどんさびれる一方だ。北方領土でも返ってくれば変わるけれど、望み無し。段々厳しくなるようで。
女	40	市役所の職員が自ら行動を起こすべきだと思います。 公園担当者が時折見回りに訪れますが、毎日手ぶら。例えば見回りながらゴミ拾いをしたり、その程度の事ができないはおかしい。ほぼ毎日公園に行っていますが、正直、委託業者はトイレ清掃も適当に済ませ、知人や犬と遊んでいる姿が目立ちます。整備の前に職員の手できれいにする事も可能なのではないのでしょうか。
女	75	若い人達が段々いなくなって私達のような年寄りばかり、街は寂しくなっていくようで悲しいです。もっと若い人の住みやすい街になるように偉い方は考えてあげてください。 ライフ・ワーク・バランスのそろった根室で安心して生活ができなければ皆去って行ってしまいます。 早く四島も帰って若い人達が皆自由に行けるようになると活気のある街も戻ってくると思います。
女	40	お年寄りへの対応を考えてもらいたいです（年金は減る、物価は上がる、病院代も増える）少子化で子供がいる世帯への支援ばかり目に付くというか。市内を走るバスも前は無料だったのに、今は100円かかります。100円位と思うかもしれませんが、少ない年金で暮らしている人達には、大変なお金です。たくさんもらっている方はいいですが、そんな方ばかりではありません。今と違って子供も多かったためまともに年金をかけたくてもかけられなかった人達がたくさんいま

		す。良い対策を考えてください。本当に細々と暮らしています。それと特に一人暮らしのお年寄りには2日に1回のヤクルトも良いですが、声かけしながらのお弁当も良いと思います。お年寄りになると自分で作って食べるのも大変になってスーパー等で総菜などを買っているのを目にします。色々と問題もあるかもしれませんが、少しでも改善される事を願います。 街中から離れた宝林町周辺でのことですが、先日も生ものが腐ったような異臭がする事があり、この時期から良くあります。これから暖かくなってくる時期なので窓を開けたくても家の中まですごくなるので。原因がはっきり分からないので、どうする事もできませんが、我慢するしかないのでしょうか。その日にもよってする時としない時もあります。風向きもあるのでしょうか。どこへ言ったらいいかも分からず困っております。もし調査をするような人がいるなら調査してもらいたいと思います。
男	40	何をするにも不便でたまらない。子供の進学等今後根室にいても不安しかありません。病院等設備が整っても意味がない。診てくれる医者は適当だし、土日など出張医しかいないので、行っても分からないと言うだけなので。子供を育てるにも不安です。
男	60-64	市職員の知識が低い（一部）。また、一般常識が分からない（一部）。努力しない（一部）
女	30	医療面：急患での時間外診療の充実化。がん検診等 40 歳以上対象にするのが分からない。低年齢化（発祥）している中、早期発見、治療が大事と言いながら、その施設もないのであれば、検診・クーポンくらいは今よりも充実させるべきではないのか。
男	60-64	街の中を歩いていて良く気付くのが「歩道」に雑草等が年中あり景観が損なわれている。 ・市会議員の定年制導入と議員数削減 ・駅前近隣で歩道に市会議員の車が駐車しているのをよく見かける。
男	30	私は花咲地区に住んでいますが、去年、花咲港小学校が無くなると新聞で見ました。新聞に出る前に本当に市役所の人は地域の人達と話し合いなどを行ったのか疑問に思います。話し合いの結果後新聞に出るならいいですが、そうでないのなら、やり方がどうかと思います。これだけ子供の数や人口が減少している中で、学校の問題は大変だと思いますが、話を進めたいのであればもっともっとはなしあい、意見を出し合い、無くす事だけが正確かどうかやってほしいと思います。
女	40	今年の4月から札幌より根室へ来ました。寂しい町というのが第一印象です。坂が多いせいか、歩いている人がほとんどいません。札幌に比べると様々な面で不便を感じますが、住み良い町な方ではないのでしょうか。車で少し行くと景色のきれいな場所がたくさんあり（根室十景や釧路のあちこち）魅力に感じます。 ただ、そういった観光場所も人は少なくて残念に感じます。もっとPRをして広めた方がよいと思います。生まれてからずっと北海道に住んでいるのに根室に一度も来た事がない私にとっては道民へのPR不足を感じます ・海鳥による糞の汚れはどうにかきれいにはできないのでしょうか ・物価に関しては安い方だと思います
男	40	1.シカの積極的な駆除の実施について ・国道 44 号線がシカ発生率が高い事が知られ（インターネット等の情報網）、観光客等が根室まで足を伸ばさない。 2.空きのある他の官公庁等の住宅及び空き市営住宅等の開放について ・観光客の宿泊先が市内に少ないためこれらを活用し観光客の確保に利用できないか（市の財政が潤う） ・上記の開放した宿泊施設の管理人等の雇用が増えるのではないか。（資格等を持たない方や専業主婦だった女性も仕事を持てる） ・空いている市営住宅等を安価で賃貸させることにより、人口の爆発的な増加とはならなくとも世帯数が増えることによる市への経済効果が見込めるのではないか。
女	30	かに祭りやさんま祭り、歯舞こんぶ祭り等の行事に「杜このみ」さんをよんでほしいです。
女	40	退職してお金のある人は根室をはなれ医療の充実した都会に転居しています。お金がない（引越したり）人は根室の医療でがまんして暮らしている（小児～高齢者まで）お金のあるなしで受けられる医療に差がある。雇用の場がなく若くても働けない人、閉じこもりで誰かの支援がないと社会に出られない人、何か支援策がほしい。
男	20	根室のチェーン店以外の店員は客対応がすごく悪い印象がある。聞いてみると「漁師町だから仕方がない」という意見がとて多く、それが根付いているなら、改善が難しいと思った。教育で

		直るのなら、観光客に良い印象を与えるためにも講習を開催するといいいのかなと思う。
男	65-74	札幌でデータ化されるのでしょうか。データのみのまちづくりはいかなるものなのでしょう。
女	30	育児をしています。クルクルやぶらんこを通じて情報交換でき、よく会うお母さんと顔見知りになれる（どこに行っても誰かに会える）くらいの規模の町で子育てにちょうどよいと思っています。ただ、転勤属なので、自分が病気をした時、育児、家事ができなくなった時、どこに助けを求めて良いかわからず大変でした。（託児の送迎時間が夫の仕事を合わないし、絶対安静の時、自宅で育児するにはどうするかなど）
男	60-64	がんばってください。
男	65-74	西浜町の田村板金横道路、簡易舗装してください。
男	40	静内の二十間道路みたいに「日本一遅い千島桜並木」という道路。 駅前朝市（6:00～11:00）魚、かに、農産、食べる所。お菓子。 日の出と朝市のセットのツアー J R根室直結のホテル（駅の上ホテル）J R一両豪華列車
男	50	根室駅周辺の整備を検討してはどうでしょうか
男	40	市民は、税金ばかり取られて、自分達には返ってくることはない。市役所の人間の対応の悪さ、言ったところで変わらないなら言うこと無し。市議会議員の多さ、なぜそんなに税金ばかり使う。人口3万以下なのに議員は2人位でいい。市民の税金をなんだと思っているのか。
女	50	道立ゆめの森公園のように、室内、屋外でも遊べる施設があるといいなと思います。小さい子からお年寄りまで家族で楽しめる場がほしいです。また、若い学生等はスケートボードを持ち歩く姿を見かけましたが、そのように遊べる場がないので、歩道で乗っていました。公園内に設けたりするといいのでは。また、スキーやスノーボードもやっている人も多くいると思いますが、近場で金山や阿蘇まで行かないと出来ないため、根室にも一つスキー場があるといいです。高齢化になってくることから、高齢者とのふれあい事業や施設訪問等子どもと高齢者の関わりを多く持てると良いなと思います。
女	40	根室の良さをもっと道内外にアピールしてほしい。外の人をもっと根室に来てもらえるように。
女	50	明治公園を桜並木にして、もう少し利用できる公園にしては。どっちにもつかないようなもったいない使い方だと思う。交通の便を考えると明治公園が一番利用価値が高いと思いますが。
女	20	ゴミの収集回数を増やしてほしいです。リサイクル、分別をきちんとしている家庭だとプラゴミや紙ゴミは可燃ゴミと同じか、それ以上にできます。それなのに月に2回の収集では家の中にゴミがたま一方です。収集日まで保管しておける物置などもなく、自動車免許もない我が家では非常に困っています。共同スペースのゴミ箱も資源ゴミですぐいっぱいになっています。資源ゴミの回収日を増やしていただければようご検討お願いします。
男	18-19	高校出ても働く所がなくぼうぜんとしている。もう少し皆が元気で働ける（仕事出来る所がほしい）
男	65-74	観光資源を有効活用させるための具体案を作成し、それを全国の観光関連ルートに働きかける。来根者の滞在満足度をアップさせるための施策を立案し、それらに沿って宿泊施設、飲食施設の統廃合を実施し、新たに魅力ある施設が立ち上がるように優遇策を策定し実施する。カジノ施設を誘致し将来は北方領土にも展開していく。
男	30	・商売柄、地場産業の衰退を感じています。近隣の類似した町で活性化しているものから学び、分析が必要かと思います。 ・町の外の人にPRできるものがあればよいと思います。
女	20	観光しに来るようなイベントがあればいいと思う。（土地がたくさんあるので、芝桜みたいにくたくさん花を植えて花のまつりをしたり、B級グルメのイベントをしたり）子供連れの家族が遊びに行けるような、中標津や釧路からも来なくなるような公園とかがあればいいと思う。ゆめの森公園のような。
男	20	スポーツジム等がほしいです。
女	60-64	街を歩いていた時に思ったのですが、グリーンベルト花壇等に雑草ばかりで、花が無く、残念に感じました。市の管轄ではないと思いますが、やはり街並みが美しい方が良くかと。観光客の方達はあまり見てないかもしれませんが自分は感じました。
男	30	この調査は役に立つのか。紙の無駄だ。
女	50	ペットを飼っている人が根室でも多いと思いますが、動物病院はありますが、日曜・夜間もなく、

		地方に走っている状況なので、できれば充実させてもらいたいです。ペットも家族なので人間も大事ですが、病院だけでなく動物病院の方もお願いします。また、ファミリーレストランみたいな所もあればいいかな。 根室市の人口の減少を何とか食い止めないといけないと思います。段々、根室市も過疎化していく一方なのは。
女	65-74	年々、街の様子に活気がなくなり、以前の姿に戻ることは出来ないと思う。人口の減少に商業も成り立たない、このままですと5年後の状況は現在の半減を思われます。 他都市でも移住者の努力をしております。根室にも何かありませんか。私は毎月札幌へ行っていますが、帰宅したら外歩きしようと思いません。夢も希望も失う感じです。自分なりのことを意見しました。
男	50	1.組織づくりに今、方向性が問われています。現状の市の組織で考えると横のつながりに弱さが目立ちます。同じことを他の課（部署）で行い、それを結果につなぐ人がいないと思います。それは市民にとっても、市、職員にとっても非常に残念なものです。横の連携を合理的に出来ればと考えます。 2.給食の問題を含む、税未納者への対応について、市としての方針が伺えない。例にとって言えば、給食費については協会ができてから今まで、組織のあり方も変わっておらず、そのため、給食費が市全体として完納されない状況が続くばかりか、増加の傾向も伺える。同じような状況が市税にもあるのではないだろうか。市としてのあり方が問われています。ひとつひとつの小さいことかもしれませんが、今年のどこが重点かをもっと明確にし、小さなことの積み重ねで市全体に、市としての方向性を強く主張していく時だと考えます。当たり前が当たり前にならないと真面目な市民はとても残念に思ってしまう。
男	60-64	今後の根室市のまちづくり及び発展については2島返還が必要と思われる。
女	30	ひとつでいいから市内近郊に温泉がほしいです。 鹿保険（市民のみでも）作ってもらえたら、加入したいです。 水産に関係のない家の子でも競りとか見学したり産業に触れてみては。 花粉症や酷暑の時期に道外から観光客を呼んでみては。 この街に来て地味に困ることは海沿いの飲食店の駐車場の無さです。お酒は飲まない、ただ食事したいだけでも駐車場がないので諦めてしまいます。 違法駐車は皆しているけれど、いやなのです。有料でもちゃんと払ってゆっくり食事がしたいのです。お祭りの時も人の土地に皆当たり前前に止めますけどいいのかしらと思います。
女	30	特に冬は、街灯が少なくて夜の運転が不安です。釧路病院からの帰りで雪が降っている時、本当に前が見えにくく大変でした。病院も根室の病院ではだめで、釧路の病院に行かないとだめで通いづらいです。釧路はだいぶ街灯が増えて見えやすいです。できれば街灯を増やしてほしいです。 あと、嫁姑問題の話や相談できる所もほしいです
男	20	企業と人を増やしてください。
男	60-64	・根室市が将来にわたって存続するには優秀な人材の流出を防ぎ、根室に残って地域の活性化を生み出せる環境づくりが大切であると思います。なぜ皆根室に残らないのか考える所から出発しては。 ・企業の給与が少ない、企業の体力が弱い・・・どうしたら企業が潤うか ・子育て環境の不安（医療福祉文化面）義理も情けも深いとは昔の話、今の人はつながり浅く無関心 ・夕張のように居住区を中心部に凝縮させて行政サービスの効率化を図ったらどうか（何年かかるか分からないが）。中心部の居住区から牧草地や港の船場まで稼ぎに行く。半島にはびっくりするかもしれないが半島や落石の人が皆中心街に住んでくれば効率的で経費（インフラ等）がシュリンクできる（車で30-40分の移動では都会じゃ当たり前） ・トラックは44号線、乗用車は今度開通するであろう高規格道を通行するようにして（あるいは逆でもいいけど）物流を良くする。 ・根室ジオパーク計画を立案し、登録認定してもらい観光のPRに役立てる。大物アーティストの野外ライブを企画する。
男	50	北方領土のビザ無し交流などは必要ない。領土への行き来ができるような仕事、観光が必要。若者が地元に残るような仕事場所が必要。イベント競技が少ない。

女	20	街を明るくしたい。特に緑町。最近、歩いたりするけどゴミとか落ちていてとても不快です。ゴミをそこら辺に落とす人の気が知れないです。皆で協力してボランティア活動すると良いです。
女	65-74	生活保護のお金をもらいながら、毎日おにぎり持参でハイヤーでパチンコやって、帰りもハイヤー。 市役所の人はそういうことに無関心で、市役所窓口は暇なように見える。 毎日大変だということは知っているが、巡回と言うのも大切だと思う。
男	20	若い人でも安心して仕事ができるように、最低賃金の底上げ、労働と生活を安全におくれるような制度作り、また、仕事がない人への斡旋など、働きたくても働けない人が出ないようにすれば、少子化や人口減少等への対策にも繋がっていくと思います。
女	20	小さな子供が遊べる施設（屋内）が少なすぎると思います。雨の日でも自由に使用できる施設があれば便利だと思います。あとは、伝染病等の流行情報がわかれば出かけやすいと思います。病院で二次感染が多くみられると思います。
男	30	平成 29 年 4 月に転勤に伴い根室市に居住することになりました。当初の根室市についての来る前のイメージは、北海道の端に位置し、寒くさびれた街というもので、転居はできればしかなかったというのが本音でした。しかし、実際に居住してみると、特に食べ物が安く、新鮮、街も住みやすく大変満足しており、できるだけ長く住みたいと思うようになりました。根室市はイメージより実際の街の方がずっと良い所だと思います。もう少しイメージアップが必要なのではないでしょうか。海産物の新鮮さ、安さなどは道内でもトップレベルだと思います。良い所がたくさんあります。ただ、現状では子供達が市外に出て行くことが多いと思うので、人口減をどう食い止めるかが大事だと思います。来たばかりでよく分かりませんが、子供達が大人になり、根室市に就職する場所があるのでしょうか。地元民が外にたくさん出て行ってしまっははこの街の将来は期待できません。
女	60-64	市職員の夫婦を片方だけにし、片方を非常勤にし、少しでも多くの若い力を受け入れて、少しでも多くの人を就職させてほしい。コネクション採用は絶対になくレクリエーションな所を見せてほしい。市職員達だけがいい暮らしをするのではなく、市民に万遍なくチャンスが与えられるようなグレーでもブラックでもない桜色の根室市役所を待望しています。 税金を根室市役所職員のために使うのではなく、根室市民のために上手に使ってください。
男	65-74	1.環境 ①各種建造物の廃墟化した物件の除去（放置物件等） ②豊富な緑、自然破壊の制限（太陽光パネル等） 2.生活 ①水産、農林の地場産業の確立と観光地などのアピール 友知地区の湿原等は規模は別として釧路や小清水にも劣らぬ魅力がある。地元は当たり前としか見ていないが他県からの滞在者から見るともったいない感じがする。 ②産業、就職、出産の確立及びSNSを利用した根室のアピールの強化 追加、ゴルフ場前の産廃置き場等の道路沿いは許可しないで頂きたい。 もっとグローバルに物事を見てほしい。
女	30	・観光地（納沙布やスワンなど）行ってもいまいち楽しくない。 ・車椅子に不便な街、公共施設にスロープが少ない。 ・遊べる所が少ない（アスレチックとかでなく）カラオケやボーリングぐらい。若い子がかわいそう。映画館なども欲しいし、買い物をするにも（ファッション等）地方に行く。 ・高齢者も楽しめて、ゆっくり過ごせる所がない。 ・私は介護の仕事をしていますが、かに祭りに行った時にお年寄りが見えやすいように端の方に場所取りをしていたら、他の人に不満文句を言われました。床には座ることができないので、椅子を持って行ったり車椅子の分を空けていたりして、できるだけ迷惑がかからないように注意しています。根室市民だけではないですが、お年寄りだけじゃなく障害を持っている方とかもそうですが、安心して楽しめる環境が欲しいです。もう少し配慮して欲しいです。 ・食事に街に出ても、駐車場が少なく路駐してしまいます。しかし、路駐するのはよくないのは分かっているので、増やして欲しいです。 ・観光客にも地元民も楽しめる街になって欲しい。お金がかかることですが、イベントや娯楽施設を増やして欲しい。あとは医療関係者がもう少し優しく、親切に対応して欲しい。大変なの

		はどの仕事も同じ、どの仕事の人が偉いと言うことはない。
女	50	北方領土さえ戻ってくれば全く変わるのでしょうが、今の根室には働き場所がなく、若者が町から出て行き、人口減少も危機的で心配です。 特に提案もないのですが、しいて言わせてもらおうと就職先、働ける場所が選べる位あるとよいです。安い賃金の働き口が多くてもそれでは誰も根室に戻ってこないです。とても難しいとおもうのですが。
男	40	1.農産物の拡大 海産物は大変良いものがある。しかし、農産物の価格が高いと感じるので、農産物を拡大して朝市などをしてみてはどうでしょうか。 2.娯楽の拡大 娯楽が少なく「根室に遊びに行こう」と考える人が少ないのではないかと感じる。 3.「道民限定ツアー」 他県に住んでいた時に「県民のみを対象とした旅行プラン」等が企画され、よく利用していた。北海道の他地域に住んでいる人に根室の良さを知ってもらうツアーを企画しては
男	40	室内で遊べる施設が欲しい。不審者が出るわりに全く捕まらないので防犯に力を入れてほしいと思う。
女	30	私が根室に長く住みたくない、住めないと思う理由はやはり仕事です。仕事もない、賃金は安い、年間休日は少ない。とても生活できるレベルではないです。加えて家賃が高くなると自活したいと思っても到底無理な話で実家のお世話にならざるを得ません。ワーク・ライフ・バランスなど根室の人には無縁なのではないでしょうか。 また、住みづらい理由として病院と交通の問題です。 母や祖母も病院に通ってはいますが、市立病院だけでは用が足りないので、母も祖母も釧路の病院にも通っています。が、二人とも免許を持っていないので JR やバスで通います。母に至っては日帰りが出来ず一泊してきます。本当にお金もかかるし、JR やバスがなくなると病院にも通えなくなります。利用者は少ないかもしれませんが、特にこの辺の人にとっては命を繋ぐ為の大切な公共交通機関でもあると思います。どうかなくなりませんように。 職の少なさ、低賃金を改善するにはやはり観光に力を入れるくらいしか思いつきません。水産は引き続き色々模索していくしかないにしても（とは言え父も漁師なので死活問題）、観光は伸びしろだらけだと思います（どちらもやるのが遅いけど）。 宿泊施設も少なさは致命的だと思います。またグランドホテルが多重権利で他の人が買えずに廃墟のようなまま営業しているというののもいかなものかだと思います。 宿泊施設はわかりやすい課題ですが、観光客からよく聞く「花咲ガニを食べられるご飯屋さんはないのですか」という話。観光客は当然どこのお店でも花咲ガニを食べられると思って来るようです。またご飯さんの選択肢が少ないのも気になることです。市民でさえも外食の意欲を削がれるほど選択肢が少ない。
女	30	・市内の飲食店が、喫煙者がたくさんいて入りづらい。全店禁煙にしてほしい。 ・保健所が新生児訪問で家に来る時にゴミ袋も沢山持って行ってあげたらよいと思う。役所でもらえると言うだけで、子育て中の人は役所行くのも大変。 ・出生届を出した時点で、子供医療証や子育て支援金の手続きなどを自動的にやって欲しい。役所に行くのも大変。 ・高齢者で働きたい人がいれば働けるようなネットワークがあればよいと思う。 ・ワーク・ライフ・バランスをやりたいなら、もっと週3回1日3時間の労働などニーズに応じた働き方をさせるべき。フルタイムをちゃんとこなせるのは独身の人のみ。医療分野でも人材不足を言う前に短時間労働のパートを雇って生活を両立させるべき。フルタイム、残業ありじゃ家庭がある人は無理でしょう。
男	30	医療の向上：救急患者に対応できるよう医師の確保や医療制度を向上させてほしい。 商業施設の充実：釧路市や中標津町に行かなくても満足できるような商業施設や娯楽施設を充実させてほしい。
女	30	子供と高齢者に優しいまちづくりにして下さい。市立病院が最低すぎます。ゴーストタウン化を何とかしてほしい。
男	65・74	水洗トイレに。

男	65-74	国、道、市の行政が一体となって考えていかなければならない問題だと思います。道路や環境整備、観光設備の充実（宿泊施設等）
女	30	子供が小学校の時に、少年団に入っていたのですが、一度家に帰り、ランドセルとおいてから学校へ戻らなければいけないというのが、とても負担でした。 実際、両親共働きの家庭も多く、学校と家の距離があると子供の足で歩いて往復させるのは無理があり、子供が少年団に入りたくても入らせてあげられないという家庭もたくさんあります。放課後、そのまま参加できるようにさせてあげればよいのにと思いました。
男	50	財政は赤字なのにボーナスが当たる。人口が減っているのに職員の数はそのまま。何を考えているのか。この町は終わっている。
男	20	街コンの開催をお願いします。
男	50	空き家が多すぎてそのうち強風や吹雪で屋根が飛んだりして危ないと思うので、行政等が窓口になって売るか更地にして処分した方がいいと思います。公務員の空き家がたくさん目立つのでまだまだ使えそうなので一般に安く貸すか、売って道・市の財源にしたらいと思います。
男	50	他のまちの真似をするのではなく、個性のあるまちづくり、特色あるまちづくりを進めるべき。産業の発展は、地域を元気づけ、市民に活力を与えると考えるため、各産業が知恵を出し合い、相乗効果をもたらす事で、雇用の創出が生み出され、人々が集い、活気あふれるまちができると思う。
女	65-74	根室市のまちづくりに直接関係ないのかもしれませんが、市立病院の事で一言いわせて頂きたいと思いました。 40日余り身内の入院で毎日、食事介護に出かけていました。一部の看護師さんなのかもしれませんが、医師に対しての言葉遣いに驚かされました。どちらが偉いとかいう問題ではないと思いますが、患者や家族の居る病室で本当に聞きづらくびっくりしました。根室に医師が長続きしないとの声も耳にします。一市民として決してこのような事が原因とは思いませんし、思いたくもありませんが、少しでも根室市立病院の評判が良くなる事を願っております。
女	40	人口を増やし、農業、水産業が栄え、建物だけ立派な病院は、中身も立派にして、学校教育ももう少し頑張ってもらいたい。生まれも育ちも根室の私は根室で死にたい。
女	60-64	少子化が問題になっている現状で子供を取り巻く犯罪に心が痛みます。根室市の子供達の健全な育成を家庭、地域、社会で守っていききたいです。
男	30	根室に空港施設を作る。総合体育館等の運動施設の早期建設。合宿等を招致する（気候等が良いと思うので）
男	40	根室市は近年、要の産業である漁業が衰退しており、若者が地元に残れる状況にないように感じます。（将来的な不安と他地域から見た給与面や子育て面等） 漁業に変わる産業の創出は非常に困難ではありますが、企業誘致や産業強化により、次世代が定着可能なまちづくりに期待します。 小学校の部活動において、学校終了後、一時帰宅し、また学校に行く状況となり、共働きや片親等は仕事を抜け出す事が困難で、部活動加入や送り迎えのためあきらめたりする事があると思いますので、授業終了後、一時帰宅をせず、学校で着替えが可能となるように望みます。
男	20	行政の質（市役所）が極めて低レベルだと感じる。いまだに無駄な事業や仕事をしているため、本当に市民のニーズに答えられる仕事をしていないような感じ。アンケートも重要だが市民のニーズに答えられる行政づくりを実施した方がよいのでは。
女	30	自然を活かした感じのレジャー施設が一つでもあれば観光客も増えるので良い。 病院の先生の充実、何かあれば信用がないので釧路に行くしかない。 あと子育てに対してもっと相談できるところを増やしてほしい。
女	65-74	チャレンジ精神、夢いっぱいの子供を応援するそんな教育方針があるといいです。 高齢者の努力で現在があると思う。多種にわたり技術者に協力して頂き技術の伝承、指導のできる施設の整備、支え合ってこの街で暮らせて良かったと思えるように、そしてボランティアに参加するだけがボランティアでなく、今生きている事が本当のボランティアと認識できるような街づくりにしてほしいです。やはり人、物、お金です。頑張ってください
女	30	私の住んでいる地域は特にやる事も考え方も古いと思います。 いちいちや、わざわざな事が多すぎです。 例：学校の給食費を親が一軒一軒クラスの子の家へ集金しに行くとか、わざわざそんな事をしな

		くても学校へ持って行くか、引き落としにすればいいと思います。まずはそういうところから変えてもらいたい。
男	20	ロシア人や中国・ベトナム人と海外の方と接する機会がある中、外国語を話せないと関係性や利益を生まないの、学ぶ環境を作り、指導者や経営者等を先頭に始めて昔の北方領土のような分け隔てのない関係を作れたら良い。 発展途上国に工場を作り、特産物等を世界に発信。
男	75	市内の人口減少が急速に進んでいるように思われるが、歯止めには何か良い方法はないのでしょうか。
女	65-74	根室の鉄道はこの先危機感に迫られています。市のまちづくりで素晴らしい自然と美味しい海の産物、乳製品がたくさんあり、釧路からの各路線駅で手をつなぎ提供しながら観光誘致ができるのではないかと（景色、動物、鳥、海産物、市民全体の協力） 根室には温泉がありません。ぜひ入浴施設を充実させて下さい（観光で根室にいらした方の不満を耳にして思いました）市民も誰もが利用出来るように交通の便もしっかりと考えた方法を。まちづくりではないですが、介護保険、車の税金の請求等、根室市の広報紙、毎月中旬でなければ届かずどうしてなのか不思議に思っています。
男	30	これからの未来を担う子ども達への手当や、サービス、施設等をもっと充実させるべき。公園一つにしても魅力的なところはない。 中標津の「ゆめの森公園」のような外でも屋内でも遊べる施設を作ってほしい。網走の道立オホーツク公園はアスレチックがリニューアルし、今では遠方からでも行く人がたくさんいる。自分も子供を連れて3時間かかったが行ってきた。また行きたいと思える施設である。いずれも道立だが、誘致的な事は出来ないのか、根室の魅力を活かしたプレゼンは出来ないのか。運動公園に遊具が一つしかないのもおかしいと思う。子供に対して親はフットワークが軽い。「じゃらん」等に取り上げてもらえる位の屋外・屋内施設（大型公園）を作り、根室に住んでいない人にも来てもらえるようにしたらどうか。
男	75	行政側としては、多くの要請に応じたいと思いますが、財源や職員体制にも限界があるでしょうから、生活困難者を優先にしてほしいのです。 1.子供を安心して産めるように長期的に医師の確保に努力をして下さい。 2.郡部で特に落石方面などでバスがないために病院や買い物などに「乗り合いタクシー」などの気遣いをして下さい。 3.それらのためには、道路などの補修などに少し位の我慢はしなければならないと思っています。 4.除雪や道路補修には感謝しています。
男	75	2、3年前にアスレチック跡地にゆめの森公園の構想が検討されている旨新聞報道で知りましたが、その後計画の進捗状況はどのようになっていますか。その実現に大いに期待しています。
女	18	税金の負担が若い人達に大きくかかっています。その上、若い人達が住み続けたいと思う要素がありません。高齢者の方が多い地域なので高齢者が優遇されているように見えます。
女	60-64	市の年2回の清掃日、ほとんど参加者がいない時の方が多い。その後の他地域を見てみるとゴミだらけの所があったりする。公報だけでは日がありすぎて忘れる人もいると思う。時間も7時からでは早すぎるのかも。あと道路淵の雑草、グリーンベルトの雑草、とても見苦しいと思う。それが無ければ街がすっきりして見え通りがかりの観光客にも少しはきれいな街としてみてもらえると思う。
女	18-19	前、新聞で、根室で生まれた子の人数が少ないという記事がありました。私はそれを見て、寂しいような気持ちになりました。少子化が進んでいる中で、根室で生まれる子が少なく高齢化が進んでいるとなるとこれから根室は大変になっていくと思いました。若い子達も進学して町を出て行ってしまふ。このままじゃ根室は良くない方向にいつてしまふそうですが、私はそうなってほしくないです。なので、私がこのアンケートで回答したように少しずつでも良くなっていつてほしいとは思いますが、難しいです。でも、ゴミ拾いや花を植える事は私でも出来ると思いました。ゴミのポイ捨てが減るだけでもきれいな町にはなると思います。会社で月に1回でもゴミ拾いをする日などがあれば積極的にやります。そして、会社の残業は出来るだけでなくした方が身体にも良いし、仕事と生活を両立させるためにもいいと思います。仕事の量に対して人が足りていないから残業になってしまうのですか。少しでも色々な人の意見を聞いて多くの人が少しでも満足できるようにしていけたら、人も増えたりするのですか。あまり意見ではなく感想のようにな

		りましたが、私も根室を良い町にしていきたいと思っています。
男	65-74	施設充実 1.プロ野球ができる施設がほしい。 2.スポーツ振興のため施設が足りなくて困っています。一年を通して、計測、誘導出来る、ジョギング、ランニングを室内で出来ないでしょうか。 3.根室市が公設冷凍・冷蔵工場を設置できませんか。最新の設備で一年の漁獲高をクリアできる超大型工場設置で一年を通して出荷できる態勢を作るべきです。
男	50	選択肢が多すぎて、消去法でしか答えられないようなアンケートはかなりナンセンスだと思う。特に「3つ選んで」というのはそのような傾向が強く、おそらく回答にも「現実」が反映しないと思う。アンケートはもっと練ってやらないと単なる税金の無駄遣いに終わりがねないので再検討を。
男	20	・行政の情報発信力が弱いと感じている。 ・行政担当者の対応の質が低い。 ・漁業に頼った雇用環境を改善すべく、若手起業家の輩出や新規事業の創出に繋がる勉強会や地域団体の創設。 ・行政（官）、民が一体となった事業の創造
女	40	・運動公園内に野球場や屋内場を作る等、便利にしてほしい。青少年センター等、子供達が通うにも遠いし、暗くて安全性に不安。 ・根室港にも屋根付き岸壁を早急に作った方が良い。イベント時の雨天でも実行できて観光客も来てくれる。 ・広大な空き地に一つの花でも良いし、季節毎でも良いので、花畑を作ると観光地になる。（芝ザクラ、ラベンダーは他にもあるので、ポピーや藤棚、あじさい等、近隣地域では行っていないものを） ・国道、道道（西浜セイコーマート位～明治公園近くの交差点）まで同じ花を植えると一直線なのできれいに感じる。これは他の地域で行っていて、とてもきれいな町に思うし思い出に残る。
女	75	老後の生活に入って最低の健康を維持する事に努めています。 今後入院するほどじゃないが、生活を補助してくださる方を有料でお願いしたいが、しっかりした組織や信用性のある事業に属する人材を育て、必要とした際に安心して依頼できる有能な官民共存の会社組織を運営する気運を高めていただきたいと思います。 ボランティアでなく職業としてプロの方がいてくださり、きちんと自分で支払いをお願いしたいと思っています。
男	65-74	最東端の駅、東根室に観光で訪れる人達に立派なものでも良いので「ベンチ」の設置を希望します。 先日バス利用で観光に来ている高齢者が階段に座り、標識（駅の）の基礎のコンクリートの部分に腰掛けている（おしりが冷たそうでした）のを見て「何にもなくてすみません」と声をかけると、「何もないのが良いです」と言ってくださいました。 以前に市役所の観光課に「ベンチ」の設置をお願いしてみましたが、東根室駅はJRの敷地内のため、市の仕事ではないと言わんばかりの返事でした。 東根室の駅に年間、何人の観光客が訪れているのか。その人達がどの程度満足して帰えられているのか。観光に力をいれていこうとする根室。訪れる人に一休みできる些細な「ベンチ」の設置をしてほしいと思います。
女	20	発達障害の子供達に通える高校を作ってほしいです。毎週別海や中標津、釧路に送ったり、通ったりするのも、親や子供にも負担になるので、根室にも絶対に必要なので作ってほしいです。
女	18	根室チャン跡や西月ヶ岡遺跡を他地域のアイヌ博物館のように復元したものを展示するなど、市外から観光に訪れる人向けに史跡の整備をしてもらえると嬉しいです。
男	20	市民の数が減少しているのもあり、現状のままでは衰退するのは明白です。個人の意見として、不安や不満が強いのではと考えます。子供のいじめ問題は、社会人の自分でさえ聞きます。住みやすさを考えれば近くの街では釧路市という上位互換のような街があるため、釧路市に近づく、または差別化を図るのも大事かと考えます。数年の間、別の街で暮らしていた自分として感じるのは市民のモラルの低さです。漁師の傲慢さは最も印象悪化に繋がり、周りに伝染しモラル低下と悪循環にはまり自分の目には癌のようにうつります。

		市民による行動を期待するのであれば、モラル低下を止める他、無いと思います。自分に害を成すと分かっている、火の中に飛び込む者は大馬鹿者以外いる訳がありません。改善しようとする者を増やし、その上で市がバックアップする事でその勢いを強める事がはじめて出来ると思います。
女	40	根室は何もないのが良い所だと思うのですが、誰も住んでいない家やシャッターをおろして使われていない店舗が目立ち、活気がないように益々見えてしまいます。古い建物は解体する等し、さっぱりしてほしい。
男	65-74	頑張っている方も多いと思いますが、どうしても我になり、自分の周り、立場が大事でなかなか周りを見ていない事が多いように思う。精神的な面でも何かできると良いです。
男	75	根室のまちづくりについて、政策戦略が欠落しています。問題は過去の成長戦略の成果が上がっていないのに結果を検討する姿勢がない事です。経済構造を転換し成長に導くまでには試行錯誤があつて当然であり、成果が出ていない原因をしっかりと分析し、次に活かすという事を大切に議論してほしい。
男	40	根室市のためにと思っているのは官公署の人々が多数であり、他の一般市民はそう思う人がテレビ等で見る感じよりあまりに少ない。特に男性は、自分中心的、自分さえ良ければよいと思う人が多く、女性はそれに意見できない。極端な話、同市民には官公署、特に警察機関等是不必要と考える者が多く残念である。自分の町であるが故、他の町を良い手本としない。前項に記載したが、他県、他都市の人々、企業、教職員を受け入れるべきである。決して、嫌いではない町であるので良い町になってもらいたい。
女	50	根室市の職員にはもう少ししっかり仕事をしてほしいです。 ・給食費も払わない親たちがいるのにびっくりしました。 ・学校や住宅、住んでいないのはそのまま廃校になってどうなるのか。 ・多く税金払っているのだがさっぱりどうなっているのか、払っていない人どうなっているのか。
女	50	私が子供の頃は人口5万人、駅前も緑町も賑やかで活気がありました。漁業関係が悪いと全ての事に影響があり、人口も半分に減り、シャッターの閉じている商店街を見ると悲しくなります。市役所の正職員は毎年採用があるようですが、臨時職員、嘱託職員の扱いはどうなのでしょう。病院関係や保育所等、何年働いても臨時で仕事の内容は嘱託にしても良いのではないのでしょうか。経済的に自立する、長年働く事が出来るなど、仕事に不安を持っている人はいっぱいいると思うのです。臨時職員と嘱託職員とでは待遇がまるで違うと思います。働く人が頑張ろうと思って働けるように、ワーク・ライフ・バランス、まずは市役所関係の所から見直して欲しいです。 病気になるのと釧路、中標津へと流れてしまうのは、今の病院に対して不安があるから、医師が次々と変わってしまうから、安心して生活出来るようにお願いします。 西浜町のゴミ焼却で働いている人は、ゴミを持って行くただただ見ているばかりです。トラックから降ろしたり、運んだり手伝って欲しいと思いました。
女	65-74	人口減についての対策を急ぐ事を望みます。
女	20	アンケートは少々問題数が多すぎるように思いました。加えて、答えにくい(どの選択にも当てはまらない)問題が多いので、この回答の統計がはたしてどれだけ利用価値があるのか疑問です。もっと回答する人の事を考えたアンケートを作成願います。また、住所区分が細かすぎるため、個人が特定されそうで答えられませんでした。
女	65-74	税金、物価が上がったのに、市内の企業の賃金が上がらないので、生活にとっても影響があります。経済的に苦しくなっています。 子供服を売っている所が少なすぎる。ファミレスがあればいい。学校の部活動にお金がかかりすぎる。母子手当が欲しいために籍を入れない理由の人達が腹立たしい。税金を支払っている私達がばからしいです。 生活のために仕事に追われ、気持ちに余裕がありません。
女	65-74	野球場の整備、青少年センターの整備
男	65-74	バス路線の見直し。 高齢者が多くなり、運転免許の自主返還(早期)や、足腰が弱くなり、歩いている人が多く見られる。運動の為に歩く人もいますが長距離も苦痛の人が多いと思います。バス停も300~400m位の間にして行き先もいまひとつ不明ですから使いやすいようにしてほしいと思います。

男	65・74	現在、日露政府間で平和条約締結交渉に先立ち行われる、経済協力における北方四島をめぐる日露共同経済活動で、お互いがどのような事が出来るか、調査検討が始動する事を聞いております。ロシア 200 海里内、さけます流網漁の禁漁で市の経済は急激に落ち込んでおります。人口は目に見えて減っております。この危機の解消無くして根室市の将来は語れません。このままでいては想像を絶する事になるでしょう。その打開策として、前記の日露共同経済活動があります。これによって根室市から一番近い色丹、歯舞諸島での漁獲活動です。 以下、その内容を説明いたします。 ①漁業の形態を、個人経営体でなく、漁業協同組合を中心にし、その下に数社の生産組合法人を作って、資源管理に必要な種々取り決めに不正が出ない漁業を行うためです。個人的経営では利己的になり、これが違反を生み、漁獲交渉において違反しなければ採算を合わせられない事になってしまいます。養殖の良い例では、サロマ湖ホタテ漁、尾岱沼北海シマエビ漁。 ②養殖漁業には、付加価値の高い漁種、カニ、ウニがあります。どちらも昆布を食料として育てますので、ロシアでは昆布採取していません。交渉するにも有利な面があります。その他では、島周辺海域での定置網漁（春～夏さけます漁、夏～秋 秋さけ漁）これはこの活動でも提案されている増養殖事業があり、各漁協に振り分けて参加します。 ③これらの漁獲物は全て根室港へ水揚げされる事、市内の水産加工会社市場を通じて水揚げされます。市内の関連産業への波及効果は確実に出てきます。これらにより、根室市のブランド品として、カニ、ウニ、鮭、さんまを全国にPRします。働く場も増え市全体のGDPを上げる事が人口減少解消に有効な手段です。 最後に、市内の中小企業は、さけます禁漁に伴って、漁業は国からの資金が投入され代替漁業をいろいろ試してみましたが、採算に合うものはなく長くは持ちません。他の関連業者、水産加工会社、エネルギー関連、運送業、製函業等は政府からの援護策もなく、倒産に追い込まれた企業もあります。 エネルギー関連では、元来、元売り各社による余った油の値下げ（業転玉）の大手量販店への販売で市内の中小販売店は、仕入価格差による不公平な価格での仕入れを余儀なくされ、大手量販店による値下げ競争で経営が厳しくなっています。各業者が一社倒産に追い込まれれば、その従業員家族など、人口減に即繋がります。地元各官庁においては、使用するエネルギーは、地元企業の団体等を優先に使用するよう望みます。
女	40	・根室は天気も悪かったり、寒い事が多いので、室内で遊べる施設を増やして欲しい。 ・通学路でも歩道がない所があり、危ないので何とかして欲しい。 ・人口も減少してきているので、若い人やUターン就職しやすいように、もっと働ける仕事を確保し、根室で働ける所もあるという事をもっと伝えて欲しい。 ・お年寄等は近くの店で買い物する事が多く、他の店に行きたくてもバスの便が悪かったりするので、週に何回かでも店舗ごとに止まるバスがあればいいと思う。
男	30	うちの子は重度の卵アレルギーを持っていますが、市民の皆さんの理解度が低いように思います。幼稚園に子供を預けても、先生方は戸惑うばかりで、どの程度の症状になると緊急の対応が必要かという事などを今ひとつよく理解できていないように思います。飲食店なども原材料の詳細を正確に把握しておらず、危険な目にあうではと思わずにいられません。ぜひ、アレルギーに関する基礎知識を学ぶ講座や料理教室をしたり、アレルギーにも対応できる災害時の食糧備蓄、教育機関への啓発などを行い、持病を持つ子も優しく見守ってもらえる街にして頂きたいです。
女	30	・納沙布岬の施設の充実 働く世代（稼いでいる人達）が観光に来た時に、コーヒーでも飲める場所があるば。北方領土問題を出し過ぎていて、堅く、少し悲劇の雰囲気漂っているのももう少し明るくなれば。市外に住む友人を案内する時に特に推せるものがない。 ・医療の充実（人間ドックも遠方へ行ってしまうので） ・遊び心 ・市内和菓子屋による和菓子作り体験 ・市内在住外国人（ベトナム人、ロシア人）に日本文化の紹介（市民の消費につながる気がします）
男	20	北方領土の関連するまちづくり

女	65-74	とにかく根室は他町村と比較してもイベントが少なすぎます。
女	75	市議の活躍はあまりないです。名前だけで亡くなった方の葬儀委員でお金をもらっているとか。医者もパソコンばかり見て患者の顔をみてきちんと説明して欲しいです。特に内科は看護師ももう少し勉強してほしい。中には生意気な方も。釧路に入院した時は医者も看護師も感じが良かったです。患者は安心します。 市長さんも健康に充分気をつけてください。花咲線の件で頑張ってください。 老人にはバスは大変です。また高校生も地方に行く人が多くなりますから。 市の職員もしっかりしてください。水産衰退で人口が減るばかりです。市議の方々もおっとしてないで勉強してください。
男	50	根室という土地はわざわざ寄らないと来られない町なので、魅力ある町にする必要があるので、根室ならではのスイーツや食事、特にスイーツは重要なので町全体で考え開発する必要がある。また、根室の来ないと体験できない事を発見、開発したり、もう一度根室に来たいと感じてもらう町づくりが必要。そのためには、道路整備、案内板、宿泊施設等課題が多い。まず自分達が知らない土地に来たつもりで何が不足してどんな不便があるのか見つめ直してほしい。
男	65-74	1. 根室市立病院について 建物・医療機器の整備がある程度充実していると思うが、一部のスタッフ以外の質の低下がみられると思います。特に患者及び家族の方に対する優しさが見られない。また、スタッフが土曜日・日曜日には少なくなり、先生は札幌などに帰り、日曜日の夕方に中標津まで迎えに行くとのこと。これでは、医療行為がおろそかになり、高い給料それに伴う経費が有効に生きていないと思います。産科にしても、まだ安心して産めない状態と思われます。 一つの提案ですが、建物は「根室市」のものとして、医療行為すべてを孝仁会・徳洲会などをお願いする方法を検討することも良いのではないのでしょうか。それにより、病院経営と総合病院の活用が出来ると思われます。また、医者と市民が交流し、先生の充実を考えるための「医心伝信」も、講演会を主催するのみの会となっている状態です。この会は、商工会議所でなく市民主体の組織（市役所 OB 以外が中心）となり、活動をしていただきたい。 2. 温根元にある水産研究所について 現在の水産研究所は、花咲ガニの育成等が中心となっているように思います。初代の所長が「ロブスター」の権威の方だとのことで、自然に影響を与えないように、陸上で「ロブスター」などの、養殖を考えてはどうでしょうか。 3. 水産資源について 根室で獲れる雑魚は、網からはずしてゴメ（カゴメ）の餌になっていますが、2次加工・3次加工して花咲港・根室港市場の2階などで観光客が利用できる食堂などを開設してはどうでしょうか。 4. ごみ焼却場及び農業について 現在ごみ焼却場の老朽化による整備費等が問題化されていますが、以前より根室の入り口にあることが問題だといわれていました。毎年多額の整備費がかかるのであれば、国道から離れたところに新規に建設し焼却熱で温水を作り、ハウス野菜栽培をし、根室市民に還元を考えてみたらどうでしょうか。 また、海より発生する霧が、牧草のミネラルを多くしているとのことで廃業した酪農家の牧草地を、小麦とかそばの栽培を奨励してはどうでしょうか。 5. 道の駅について 現在の道の駅は、根室への通過点に位置しており、根室市民になにもメリットがなく、厚岸の道の駅のように根室市内に変えて、現在の場所はネイチャーセンターとし、現在のネイチャーセンターは管理施設及び研究施設にしてはどうでしょうか。 6. 北方領土による補助金頼みの根室であっていいのか 北方領土あつての根室であったが、近年変換運動よりロシア主体の四島開発が中心となり、中心となる根室が置き去りになるように思われる。 これから「自立できる根室」を、市民中心で考え実行できる組織作りが必要ではないのでしょうか。（メンバーの主体は、JC・商工会議所及び市職員でなく、新しい市民のリーダーが必要です） 7. 廃校施設の利用 旧キャンプ場あとからの夕日、納沙布・瑤瑤瑤からの日の出・自然をもっと利用してはどうでし

		ようか。 移住体験住宅を、旧小学校教員住宅を利用して、地域住民との交流を行うことにより、地域の活性化になると思われます。 また、海に影響を与えない陸上での、高級魚の養殖事業等を考えてはどうでしょうか。
男	65-74	根室市の基幹産業である漁業を確立させる事が最重要である。根室に魚が揚がらなければ背後施設も十分に稼働できない。今日のような状態が続けば、色々な関連産業が縮小または倒産に追い込まれる。今は国の補助事業もあり漁業者は何とか繋いでいるが再来年からは補助もなく継続する事も難しくなる。そのような事を思う時、根室からのさけ、ます流し網漁が無くなった事の大きさがよくわかる。したがって、補助事業の継続とさけ・ます漁の復活に全力を注いでほしい。 また漁業ばかりでなく他の産業についても色々と議論する時は、一部の者、すなわち上部だけの議論ではなく、末端の現場サイドとの会話、議論を幅広くしなければ後に失敗と汚点を残す。今の市長をはじめ市役所は本当に市民のために汗のかき方が足りないと思う。一部の者の話だけ聞くのではなく、足で現場を見て回ってほしい。
女	75	厚床の公営住宅の老朽化が目立っています。何らかの対策が必要でないでしょうか。
女	30	まちづくりには対してこうして欲しいという意見はありません。というより、意見を出したところで反映されない事もわかっているのです。 「市民」というよりも市役所勤務の人の態度をもう少しどうにかして欲しい。
女	65-74	早く青少年センターを建て替えて欲しい。サークルで毎年9月に高校生とお年寄りの集いなどがあり、参加しておりますが、今ですと、椅子を出すのにシートを敷いて使用しております。先月も巡回講習があり使用したのですが、シートを敷いて使用しているのでつまずいて転びました。 また、道東の大会なども今のままでは出来ません。1日も早く建て替えて他都市の方を迎えて大会など色々な行事が出来る事を願っております。落石など施設も新しく建て替えているようですが、まずは体育館を先にして欲しかったです。よろしくお願いします。
男	65-74	・市役所の職員（根室市の公務員）の中に、町内会に加入していない者がいるなどという現実をみると、そういう人達は何をを考えて根室市の公務員をやっているのかと考えてしまう。法的な事はよくわからないが、条例化するなどして、全員加入を義務づけるべきだろう。未加入の根室市公務員の無関心者が果たしてこの町を良くしたいと考えているとは思えない。 ・桜の時期になると、各地の町の桜情報が流れる。中標津町では町役場の前（下）の通りが桜並木となってとても綺麗だ。しかるに、この根室には桜並木を言えるような通りはあるのか。清隆寺などの局所的な場所はあるが、市民が憩えたり、観光客を呼び込めたりするような「千島桜の並木道」「千島桜の咲き乱れる公園」のようなものが市街地に欲しい。せっかくの列島最後の桜、しかも千島桜である。関連して、鳴海公園など何に利用しているのだろうか。公園と呼ばれる空き地がただ広がっているだけではないだろうか。
男	75	食事提供付「市営住宅」の設置 高齢あるいは一人身となり根室を離れ子供のところへ身を寄せる人が多く、これが人口減の大きな要因の1つとなっている。そんな中に「自分の事は自分で出来る」人もおり、食事さえ提供されれば自力生活ができ根室にとどまる人が結構いると思われる。それで「食事付き市営住宅」を建設し、そのような人を入居させる施策を提案する。 期待効果 ①人口減を抑止 ②入居が持ち家がある場合、市で借り上げ市営住宅として家族構成に合わせて市民に貸与する。また移住民の受入住宅として利用する。空き室対策にも施す。
男	65-74	根室公園の池の整備、花壇整備
女	65-74	自転車に乗っている人のマナーについてのお願いです。 私はサークルの集まりや買い物と出歩く事が多くあります。歩道なのにスピードを出して、ベルの合図も音もなく歩いている人すれすれに自転車が走り、抜かれます。非常に恐怖を感じるところは「キッチンからイオンへの坂道」と「花咲小学校から啓雲中学校の坂道」です。その時の恐怖は計り知れません。 歩道は歩く人が安心して歩けるように指導して頂きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。安心して歩ける歩道に。
男	40	漁業関係の見直しをしていかなくは第2の夕張になっていくのでは。

		地元産業を活かし観光にも力を入れてみてはどうか。
男	65-74	市老人センター浴室の拡充を。 ①狭く 3 人入ればいっぱいの状態。 ②浴室は現在、利用時は午前 10 時～午後 3 時までで、午後 5 時まで延長願いたい。
女	65-74	・少子化について。子供をたくさん産める環境。例として 3 人以上に出産祝い金を出す。子育てについては、老人（60 歳以上で）仕事をしていない人がボランティアで協力する。 ・ロシア語での教育。小学校にロシア語教育学科を設ける。小さいうちから、ロシア人教師による日常的な言語教育をする。 ・子育て世帯が都会へ出なくても良い。生活環境を市民で作り上げるのに協力したい。
男	18-19	喫茶店や書店を増やして欲しいです。
女	65-74	根室市に移り住んで 60 年がたちました。自然豊か、人材豊富、人情暑い、こんな素晴らしい故郷はありません。我々はもう高齢者だから、後は健康に気をつけ終活を終えるだけですが、若者の仕事がないのが気がかりです。我が家の子供達も資格を取るのに進学、各種学校へあげたのですが、それを生かす職場が狭き門で札幌に落ち着きました。若者の流出痛手です。深刻な問題と思います。
女	50	娘には子供一人います。保育所に預けていますが、家のローンと同じ位保育料を払っています。少し保育料が高すぎると思います。少子化対策と言われますけれど、このままでは二人目を産みたいと思っても、仕事も辞められず、だからといってまた高い保育料を払わなければいけないと思うと、二人目を産むのに決意がなかなかつきません。今の若い人の話を聞くと、口をそろえて、そのような考え方をしている人が多いのがわかります。子供は根室、国の宝物だと思う。そのためにももう少し保育料を、今の 1 割～2 割位下げてくださいました方が皆助かります（三人目を無料にするよりも）。少し検討して頂きたいです。
女	65-74	市民が安心した生活が出来るように街を整備して欲しい。
男	60-64	①市会議員定員減による経費削減 ②コンパクトなまちづくり（施設など集約化） ③「金」第一主義的な発想、心のあり方の転換 ④地元にお金を落とす様々な工夫（日常の買い物も含めて）地産地消の推進
男	20	道や家などの古さが目立つと思います。少しでも綺麗になればいいなと普段から思っています。また、スポーツ施設で屋内球技があまり出来ないのも気になります。若者の娯楽がほとんど無いような状態ですので、せめてスポーツの出来る場所が増えてくれたら嬉しいと思います。仕事に関しては、「ブラック企業」と呼ばれてしまうような会社が多いと思います。劣悪な環境をどうにか直してストレスフリーな会社が増えてくれる事を願います。あくまで個人の経験談ではありますが、今まで市内の色々な職種を経験してきましたが、どこも未経験者に対して厳しく「これじゃ後継者は育たない」と思うような場所ばかりでした。（バイト、パート、正社員問わず） また、賃金も決して良いとは言えない額がほとんどで、中には残業時間をごまかす会社もありました。若者が根室から出ていくのも納得です。 「職」と「娯楽」この 2 つをしっかりと解決しなければ、まちは良くなれないと思います。根室が好きなので少しでも良くなってほしいと思います。
女	20	ふるさと納税で 1 位になっているということはお金もそれなりに入ってきているはず。だがしかし、そのお金が市民への戻りはなく、実際何に利用されているかも全く分からない状況である。市立病院の医師の充実が大切だと思う。出張医ばかりで安心はできないしまかせることもできない。特に産婦人科であるのにもかかわらず、子供は産めない。あれでは婦人科だと思う。人口がどうのこうのとあるのであればまずは子供を産めるようにしないと若い世代はここにいる意味もないし、不安しかない。若い人達が楽しめる場所もないので、結局は根室じゃ駄目で出ていく人が多い。
女	65-74	親子で一緒に遊べる施設（雨天関係なく）がない。公園等の遊具やトイレは数か所あるが、それはそれで小さな子供とのコミュニケーションの場があり良いと思う。時々公園内のトイレを利用することがあるが、装飾品等が飾ってあったりとかかわらしくほほえましく思うのですが、全体的に清潔に欠け掃除が行き届いていない感がある。 子育て支援に保健師の定期的訪問があればよいと思う（保健所内での集団検診とは別に）母乳・

		ミルク・離乳食等の相談（2か月から5か月位）を受ける。話し相手（母親）の個別訪問。 乳幼児の衣類（下着、オムツカバー等）取扱店が一店しかなく、間に合わなければ、中標津等まで行かなければ手に入らないものが多々あります。ベビー専門店の誘致他、障がい者の就労、細々とはあると思うが、集団で指導者を育成している場所で働きやすい環境の場があればよい（老人施設や市の環境施設内の掃除）
男	30	医者確保、赤ちゃんを産める体制、賃金の底上げ
男	50	魅力ある施設（映画館、総合的大型商店、スポーツゲームができる大型施設、若者が中心となって、コンサートやイベントができる施設、子供達が一日中楽しめる総合施設）があれば釧路や中標津にわざわざ行くこともなくなると思います。
女	40	根室はど田舎、中標津町民に馬鹿にされている。都会のまねしても駄目。ふるさと納税の収支流れを事細かく市民に公表すること。 私自身と友人・知人・同僚の提案、まず、根室市役所職員を半数に減らす。窓口業務はパート職員で足りる。シフト性にして土日営業する（もちろん正社員）平日も夜は8時まで、平日パート以外の職員は全員外回り、不正受給や滞納の解消、現状把握。 役所の職員（パートも）市民のために働く気概も何も感じられない。 「役所勤めでラッキー、あとはどうでも」と思っている人ばかりに見える。
女	40	提案という程ではありませんが、自分が住んでいる区域の生活道路が砂利道で車で通る際、壊れてしまうのではないかと思う程、激しく揺れるため、子供を乗せている時などは特に気になります。難しいのかもしれませんが、舗装されることがあれば大変嬉しくストレスからもかなり軽減されると常日頃感じています。毎日、通る所なのでかなりストレスです。
女	40	汚は汚を呼ぶ。朽ちている建物、錆びたシャッターは見る人に明るさをもたらしません。暗い街だなど。婚活イベントやフリーマーケットも良いと思うのですが、出会いや交流を求める若者を集めて「再生」をテーマにした活動をするというのはどうでしょう。 DIYをやってみたいけど1人じゃできない等という方も多いはず。家主に相談し、空き家を若者の感性でおしゃれにDIY。おしゃれになれば住みたい人もいいるかもしれないし、イベント会場として注目されます。 税金は市民の喜びに使って欲しい。楽しみをつくってほしい。 学校の校舎も壁がかびていて、ぜん息の子が多い根室なのに放置です。 根室はおしゃれな方が多い町だと思います。もったいない。
女	20	根室から釧路までの高速道路を作って欲しい。
男	30	今までのやり方では変わらないため、ITを最大限に生かした町づくりを行う。まず初めに大規模データやセンターを建設し、各種インフラの整備を行うことにより、大企業の事業所を積極的に誘致するなど。それにより雇用が生まれ町が発展していくかと。小中学校から人工知能の技術者を育て、研究所を作り、世界レベルのAI技術の活用。
女	20	市役所、警察が17時までなのはどうして。どう考えても17時まで皆仕事なのに同じ時間に終わったら働いている人間はいつ市役所へ行けるのか、休まなければだめなのか。あと、課によってとても対応の悪い人がいます。仕事なのだから、人と向き合っているときくらいは笑顔にならないものか。 たぶん、このアンケートしても何も変わらないと思う。出さない人もいるし、どうせ都合の良いようにしか受け取らないから、市民の声はいつだって届いていないと思う。だから、紙と郵便代の無駄じゃないか。こんなものを行っている暇があるなら職員教育をもっとちゃんとやって欲しい。全部に対応して欲しいとはいわないから本当に17時に市役所終わるのだけはやめてほしい。繁忙期は市役所へ用事あっても行けなくなる（休めない）
女	30	子供医療費について。3歳以上から10%負担になるが、年齢の幅を上げてもらいたい。7歳～（小学生低学年）8歳位までは、常に何かしらの病気（風邪、ウィルス性）にかかりやすく、病院代がものすごくかかります。病院代が無理ならせめて薬代だけでも8、9歳まで無料など子供医療費については十分に検討してもらいたいと思います。
女	60-64	根室市の水道料は他の市町村に比べ高いと感じます。特に下水道料は上水道の使用料に対し倍に加算されるのは何故なのでしょう。桜前線が日本列島を縦断する最終地であるので、将来、根室にも美しい桜並木が見られるよう、植樹する事を望みます。緑が少ない街だと思います。

男	30	まちづくりとは関係ないが、人口が減っている今、根室市議会議員の数をさらに減らすべきだと思う。いや絶対に減らすべきである。
男	20	老人介護福祉の充実と押し出していますが、まず介護を行う職員の環境を整えないと誰も介護を行うとする人がいない。もしくは今後激減する。とにかく、仕事量に対し給料が少なすぎる。人も少なすぎる。まずは給料面等整え、人も増やし（介護職員を）老人、障害者への介護を、ゆとりを持って万全に対応、仕事ができる環境を作ってもらいたい。 市立根室病院の対応が悪すぎる。施設はすごくきれいになり整ったが、医者・看護師の対応が悪すぎて怖くて市立にはかかりたくない。高い給料を払っているのだからもっと質の高い対応を求めます。とにかく診察で命にまでかわる事なのに医者・看護師の意識が低すぎる。たいした医療の提供もできず、上から目線でものを言う医者も多くただの金取り亡者だと思います。根室市を潤わせたいなら、もっと目をひく環境作りをした方がいいと思う。
女	60-64	少し高齢化が進む中で、医療や介護の充実はますます期待したいところです。 特に、急に体調の悪化などで、土日入院した場合の専門医の不在などで、適切な医療が受けられない場面も見受けられると聞きます。いつ入院しても安心して治療や介護が受けられる病院の体制を望みます。
女	75	根室市のまちづくりご苦労様です。屋外屋内職員の動作が目立たないのが残念です。
女	40	年々、若い人が札幌等都市に出て行ってしまい、その後、Uターンする人が少ないので、若い人の仕事場の確保をしていかないと、どんどん市の活気もなくなり、財政も悪くなる。 ふるさと納税で税収は上がっているかもしれないが、ふるさと納税を頼らない市になってもらいたい。水産の町であるが、酪農業も市にとって大きな産業だと思うので、酪農に対する発展にも力を入れてもらいたい。
男	60-64	一市民として現在の根室市の現状を考える事は必要だろうと思います。しかし、今の自分の置かれている状況を見ていると多少厳しいのかなと感じる。 62歳独身（私の同期には結構います）日々の生活に追われ、物事をじっくり考える事もなく（と言うより避けているのかも知れないが）ただ忙しく毎日を消化しているにすぎないのではないかな。今の自分の日常についてそう思う事が多々あります。ときどき息抜きがしたくなります。若い頃は映画を見るのが好きだったけれど、今の根室では「箱」がないので話題作も見られません。もし有志で金を出し合って上映できる企画でもあればいいかなと。あとプロレス興業とかはよく観戦しますし、ジャズもロックも好きです。やはり映画館は大きなスクリーンで見ないと見た気がしない。「ツタヤ」ではだめなのです。
男	65-74	道路交通についてです。JRの報告によると将来、根室～釧路間の運行取りやめが大きいと思います。今から沿線住民を含め対策する事はいかがでしょうか。1～2か月前の北海道新聞のコラムで道民1人500円で鉄道を利用すると毎日か毎月かは定かではないですが、維持する事は可能だと言う事です。 例：根室～厚床間で根室市の企画で催しを行い集客する事はできないでしょうか。もちろん市外各地からの呼び込みが必要だと思います。鉄道は廃線箇所だけで考えるのではなく、道東一円で大きく考えてみる事はどうでしょうか。夏の観光には必要だと思います。冬場は少々厳しいかも知れませんが、上下分離方式もあって良いと思います。大事な事は早くから問題に向かって対処する事だと思います。鉄道の魅力をもっともっと住民に訴えて再認識していきたいと思います。難しい事かも知れませんが、知恵を出し合って行ってください。
男	20	私は鉄道業に携わっており仕事をしていく中で、この仕事（鉄道業）に対して理解を深めていただきたいと思っていました。そしてこの鉄道業を通じて、根室市のまちづくりにどう貢献できるかを良ければアイデアの一つとしてお考えいただければと思っています。
男	30	現時点では特に思い浮かびません。 緑豊かな自然が大きな魅力の根室だと思うので、きれいな自然がいつまでも残る都市であってほしいと思います。
男	30	市立病院の医師の質を向上させた方がよいのでは。看護師、医師ともに患者に対する姿勢が雑すぎる。 ブラック企業が多すぎるので市の方で調査してほしい。 生活保護を受けているのにパチンコやっている人が多すぎるので生活保護を与える必要はないのでは。そういったお金を市の繁栄に使った方がいいと思います。市民の税金を正しい方向で使

		ってほしい。 そもそも調査して意味があるのですか。この調査が意味のあるものとなるよう願います。
女	50	ワーク・ライフ・バランスが私達の生きるキーポイントだと思います。人生は学びの場です。歴史や古来の社会を勉強し、生き抜く、また守るための強い精神を学び、養い、何事をするにも大事な一歩かなという気持ちです。
女	30	昔からの交流がある地域がある一方、困っていても助けを求められない家庭もあるのかと思います。仕事やお金がないと、子供の生活も苦しくなります。根室で働きたいという場ができればよいと思います。そのためにも、息抜きできる場（レジャー施設など）も必要。人との関わりができる場が増えていくと良いと思います。また、子供学力低下も心配です。学力を上げるためにも、少人数学級にし、特別支援学級の理解が広まれば良いと思います。 子供の将来のために、今やらなければならない事をし、根室市の未来のために、根室を誇りに思える子供達を育てていける環境づくりが必要だと思います。ただ、具体的にと言われるとアイデア不足で申し訳なく思います。根室に住み続けたいと思う人が増えるように頑張ってください。
男	75	博物館または科学館が、当市には何十年も施設がない。開校した学校（特に市街地近い）旧共和小学校の活用をしたらと提案します。文化施設がない市は、急ぎ郷土の歴史を学ぶ、小中高生のためにも市民のためにも是非願います。
女	30	根室に転居して一年が経ちました。最初の印象は街が暗く淋しい感じがしました。身内感が強くよそ者をあまり受け入れてくれない街だと思います。店の人の態度も他の土地では考えられない態度でサービス業としてどうなのかと疑問を持つ店も多々あります。観光で来た人でも不快に思う人もいるのではないのでしょうか。イメージが悪くなるのではと思います。職場関係でも身内感が強く職場としての人間関係を形成できづらいと思います。他の土地から来た人間としてはそういう環境にとまどいを感じています。人材の育成やサービス業のあり方等推進してはどうでしょうか。
男	20	日本最東端であり、知名度は道内だけではなく本土でも有名（私自身大阪出身）にもかかわらず、観光PRが上手くいっていないように思える。また、市内の産業についても公共部門偏重で産業構成が。
女	30	根室市内の給食メニューのバランスが偏っています。（特にパンの日は炭水化物が多すぎ等）改善してほしいです。 児童、生徒、職員も心のケアが必要だと思います。各校にカウンセラーを常備した方がよいです。また、保護者や、小さな子供がいる家族、お年寄りがいる家族が気軽に相談できる場所も必要だと思います。発達障害の子を持つ保護者もとても悩んでいます。根室市は発達障害の子が多いので幼児健診なども増やしてはどうでしょうか。 家族が気軽に相談できる場所も必要だと思います。根室市にはないという理由で、別海や中標津、釧路などに相談しに行っている人はたくさんいます。根室市民の心のケアに力を入れてほしいです。このアンケートで根室市が少しでも改善しますように。
女	30	夕日のきれいなキャンプ場を作ってほしい。キャンプ場をもう一度整備してバードフェス関係のイベントを行う。
男	40	①英語が話せる人材を育成し、バードウォッチング観光に市を挙げて取り組んでほしい。イギリス圏の富裕層が 1000 億以上のマーケットを形成しているにもかかわらず、バードウォッチング界のビック 3 が根室で見られるにもかかわらず、英語ガイド不足、市全体のホスピタリティの欠如で、他地域に比べ大きな後れをとっている。市から英語圏留学の助成を積極的にする（奨学金）、ガイド育成、旅行業者まかせではなく、市が主体となって創造していく姿勢が必要。 ②次世代を育成するための環境が整っていません。教育をサポートする体制（人は頑張っているけれど、人・モノが不足している）状況を変えなければ、大変な状況です。教育施策について、市長・議会・役所・市教委でぜひ公聴会を開いてほしいです。現場の状況は皆さんに是非知っていただきたいです。いじめ防止条例推進会議のような場を年に 3 回位、青少年健全育成会議のような場を形式的なものでなく、教育、予算執行、教育施策実行のための諮問機関にしてほしいです。現場の声を施策に取り入れてほしいです。
男	60-64	夜になると車、バイクの音が響きますので、外の取り締まりの要請をしても良いと思います。市役所の通路が少しせまく感じます。

市 民 意 識 調 査

「市民意識調査」へのご協力のお願い

根室市は、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」をそれぞれ策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところです。

これらの計画を実現していくためには、市民みなさんのご理解と参画をいただきながら推進していくことが不可欠です。

本調査は、市民のみなさんのまちづくりに関する率直なご意見をお伺いし、確認しながら着実に進めていくことを目的として実施するものです。

今回の調査は、市内の 16 歳以上の住民の方々の中から、無作為に 3,000 名を抽出した結果、あなたが調査の対象となったものです。

また、この調査は無記名となっておりますことから、個人の意見が直接発表されることや、ご迷惑をおかけすることは決してありませんので、ご協力をお願いいたします。

平成 29 年 6 月

根室市長 長谷川 俊 輔

「市民意識調査」記載要領

1. あて名のご本人がお答え下さい。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。
3. 「その他」などを選ばれた場合は、() 内にその内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信封筒に調査票を入れて、平成29年6月16日（金）までに切手を貼らずにご投函をお願いします。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記までお問い合わせ下さい。

■根室市総合政策部

TEL：0153-23-6111（内線2254）

FAX：0153-24-8692

E-mail：sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

調 査 票

問1. 最初にあなた自身のことについてお伺いします。(1)～(5)の各項目について、該当する番号1つに○印をつけて下さい。

(1) 性別 1. 男性 2. 女性

(2) 年齢

1. 18歳未満	2. 18～19歳	3. 20歳代	4. 30歳代
5. 40歳代	6. 50歳代	7. 60～64歳	8. 65～74歳
9. 75歳以上			

(3) 職業（その他の方は、具体的に記入してください）

1. 農業・林業	2. 漁業	3. 製造業・建設業
4. 商業・金融・サービス業	5. 公務員・教育・団体職員	6. パート・アルバイト
7. 主婦（専業）	8. 学生	9. 年金受給者
10. 無職	11. その他（ ）	

(4) 根室市での居住年数（通算でお答えください）

1. 5年未満	2. 5～9年	3. 10～19年	4. 20～29年
5. 30～39年	6. 40年以上		

(5) 居住地域

1. 北浜町	2. 琴平町	3. 弁天町	4. 駒場町	5. 汐見町
6. 海岸町	7. 千島町	8. 栄 町	9. 月見町	10. 明治町
11. 曙 町	12. 宝 町	13. 有磯町	14. 朝日町	15. 鳴海町
16. 本 町	17. 花咲町	18. 松ヶ枝町	19. 弥栄町	20. 幸 町
21. 大正町	22. 常盤町	23. 緑 町	24. 梅ヶ枝町	25. 弥生町
26. 清隆町	27. 光和町	28. 北斗町	29. 平内町	30. 岬 町
31. 定基町	32. 松本町	33. 敷島町	34. 花園町	35. 西浜町
36. 月岡町	37. 宝林町	38. 昭和町	39. 光洋町	40. 牧の内
41. 桂 木	42. 花咲港	43. 穂 香	44. 幌茂尻	45. 温根沼
46. 東 梅	47. 酪 陽	48. 東和田	49. 西和田	50. 長 節
51. 浜 松	52. 昆布盛	53. 落石東	54. 落石西	55. 別当賀
56. 初田牛	57. 東厚床	58. 厚 床	59. 西厚床	60. 明 郷
61. 湖 南	62. 川 口	63. 槍 昔	64. 友 知	65. 双 沖
66. 鹵 舞	67. 瑠瑠瑠	68. 納沙布	69. 温根元	70. 豊 里
71. 春国岱				

《根室市の印象について》

問2. 根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。

（1）～（6）の各項目ごとに、該当する1～5の番号を1つずつ選んで番号に○印をつけて下さい。

項 目	そう思う	やや思う	さほど 思わない	思わない	わからない
（1）明るいまち	1	2	3	4	5
（2）清潔なまち	1	2	3	4	5
（3）活気のあるまち	1	2	3	4	5
（4）個性（特色）のあるまち	1	2	3	4	5
（5）ふれあいや連帯感のあるまち	1	2	3	4	5
（6）市民として誇りや郷土愛があるまち	1	2	3	4	5

《居住の満足度について》

問3. あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. とても住みよい
 2. 住みよい
 3. 普通
 4. 住みにくい（理由： _____）
 5. とても住みにくい（理由： _____）

《定住度について》

問4. あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. ずっと住み続けたい ⇒問6へ
 2. できれば住み続けたい⇒問6へ
 3. できれば住みたくない⇒問5へ
 4. 住みたくない ⇒問5へ

問5. 問4で、「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。そう思われた主な理由は何でしょうか。

次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 自分にあう職業がない
 2. 商売や事業経営に不利
 3. 交通の便が悪い
 4. 買い物などの生活の利便が悪い
 5. 物価が高い
 6. 進学などの教育上の問題
 7. 医療・福祉面が不安
 8. 娯楽や余暇活動の場が少ない
 9. 自然が厳しい
 10. その他（具体的に： _____）

《まち全体に対する満足度について》

問6. あなたは、根室市の現状についてどの程度満足されていますか。

(1)～(32)の各項目ごとに、該当する1～5の番号を1つずつ選んで番号に○印をつけて下さい。

項目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
(1) 根室市全体を見て目に映る緑の豊かさ	1	2	3	4	5
(2) あなたの住んでいる地域の緑の豊かさ	1	2	3	4	5
(3) 街並みの美しさ	1	2	3	4	5
(4) 郊外の酪農景観	1	2	3	4	5
(5) 郊外の森林景観	1	2	3	4	5
(6) 観光施設の状況	1	2	3	4	5
(7) 海・魚場の環境	1	2	3	4	5
(8) 市内幹線道路の整備状況	1	2	3	4	5
(9) 市外へ通じる道路の整備状況	1	2	3	4	5
(10) 自宅周辺の生活道路の整備状況	1	2	3	4	5
(11) 道路・交通の安全性	1	2	3	4	5
(12) 道路除雪などの冬期対策	1	2	3	4	5
(13) 公園や広場の整備状況	1	2	3	4	5
(14) 公園や広場の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
(15) 上水道の整備状況	1	2	3	4	5
(16) 下水道の整備状況	1	2	3	4	5
(17) ごみの収集・処理状況	1	2	3	4	5
(18) 家畜・ふん尿の処理状況	1	2	3	4	5
(19) 地震・火災・水害からの安全性	1	2	3	4	5
(20) 公共交通機関の便利さ	1	2	3	4	5
(21) 日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
(22) 病院などの医療機関の状況	1	2	3	4	5
(23) 乳幼児や子どものための福祉施設の状況	1	2	3	4	5
(24) 子育ての環境や支援制度の状況	1	2	3	4	5
(25) お年寄りのための福祉施設の状況	1	2	3	4	5
(26) 高齢者のための福祉制度の状況	1	2	3	4	5
(27) 子どもの教育施設や教育環境	1	2	3	4	5
(28) レクリエーション・娯楽施設の状況	1	2	3	4	5
(29) スポーツ施設の状況	1	2	3	4	5
(30) 芸術・文化施設の状況	1	2	3	4	5
(31) 学習施設(図書館など)の状況	1	2	3	4	5
(32) 公共施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5

《まちの将来像について》

問7. あなたは、将来の根室市がどのようなまちになることを望みますか。

次の中から該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 福祉・医療が充実したまち
2. 産業が盛んなまち
3. 市民活動が盛んで活気のあるまち
4. 環境美化が生き届いた快適なまち
5. 自然環境を活かした観光の盛んなまち
6. 文化・教育のかおりたかいまち
7. 道路・公園・下水道などの都市基盤が整備されたまち
8. 既存企業の拡充や新規企業の立地などにより発展するまち
9. 消費者の多様な要求を満足させる商業のまち
10. その他（具体的に： _____）

○「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」に関する事項について

《保健医療について》

問8. あなたの健康状態と根室市の保健医療についてお尋ねします。

（1）あなたの現在の健康状態はいかがですか。

- | | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|-----------|
| 1. きわめて良好 | 2. 良好 | 3. 普通 | 4. 悪い | 5. きわめて悪い |
|-----------|-------|-------|-------|-----------|

（2）あなたは日頃の健康管理に努めていますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 努めている | 2. 努めていない |
|----------|-----------|

（3）あなたは1日30分以上の運動をどの程度行っていますか。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 毎日している | 2. 週に2日以上している | 3. 週に1日程度している |
| 4. 月に2～3日している | 5. 月に1日している | 6. ほとんどしていない |

（4）根室市の保健医療について、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. お年寄りの医療の充実
2. 乳幼児・母子等医療の充実
3. 保健（健康づくり）対策の推進
4. 健康診断や予防対策の充実
5. 保健施設の充実
6. 医療の資質の向上
7. 休日夜間などの救急医療対策
8. 医療機器・施設の整備
9. その他（具体的に： _____）

《少子化・子育て支援について》

問9. あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、どのような施策が重要だと思いますか。
次の中から該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 出産や育児について気軽に相談できる環境づくり
2. 急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実
3. 乳幼児保育の充実（延長保育など）
4. 学童保育の充実
5. 経済的負担の軽減（保育料の軽減など）
6. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備
7. 地域の交通安全や防犯対策の強化
8. 地域全体で子育てを行う環境・体制づくり
9. その他（具体的に： _____）

《高齢者支援について》

問10. 根室市の高齢者支援の現状についてお伺いします。

（1）60歳以上の方にお伺いします。

①あなたは、趣味や楽しみ、生きがいになることありますか。

1. ある
2. 以前はあったが今はない
3. 以前からない

②あなたは、町会等の行事、サークル地域イベントに出かけたりしていますか。

1. よく出かける
2. たまに出かける
3. あまり出かけない

（2）すべての方にお伺いします。

あなたは、お年寄りが健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、どのような対策が必要だと思いますか。次の中から該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 年金の増額
2. 健康診断、検診機会の充実
3. 寝たきりのお年寄りや独居のお年寄りへの在宅福祉の充実
4. お年寄りのための福祉施設の充実
5. お年寄りのためのスポーツや学習機会の充実
6. お年寄りの経験や技術を活かせる活動の場づくり
7. お年寄りを思いやる心を育てる人間教育の充実
8. 若い世代との交流の機会の充実
9. 段差解消など公共施設・道路環境等の整備・改善
10. 介護付きお年寄り専用住宅の充実
11. 在宅の各種サービスを行うシルバー産業の振興
12. お年寄りの雇用促進
13. 自治会などの地域活動への参加促進
14. その他（具体的に： _____）

《社会福祉について》

問 1 1. 根室市の社会福祉政策について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. お年寄りのための施策の充実
2. 障がい者のための施策の充実
3. ひとり親家庭対策の充実
4. 子育て支援対策の充実
5. 保育サービスの充実
6. 地域ボランティア活動の推進
7. その他（具体的に： _____）

○安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまちに関する事項について

《道路交通について》

問 1 2. 根室市の道路交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備
2. 鉄道便の確保
3. バス便の確保
4. 身近な生活道路の整備
5. お年寄りや障がい者等に配慮した安全な歩道の整備
6. 除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実
7. 街路灯・防犯灯や案内板の整備
8. 信号・ガードレールなどの安全対策
9. 駐車場や駐輪場の整備
10. その他（具体的に： _____）

《生活環境について》

問 1 3. 根室市の生活環境について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 公営住宅の整備
2. 宅地の供給
3. 水道や下水道の整備
4. 公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備
5. 環境美化活動の促進
6. 消防・防災・防犯対策の充実
7. 環境保全や公害防止対策の充実
8. 美しい景観（まちなみ）の創出
9. ゴミの減量化、再利用の促進
10. し尿の衛生的処理の促進
11. 河川の改修
12. その他（具体的に： _____）

《防災・減災対策について》

問14. あなたは根室市の「防災対策」として何が重要だと考えますか。

次の中から該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 食糧・水・日常生活用品の備蓄
2. 災害時の情報連絡手段の整備
3. 避難場所など防災拠点の整備
4. 防災マニュアル・マップの配布
5. 地域防災組織の育成
6. 防災対策講習会・防災訓練の開催
7. その他（具体的に： _____）

○個性を伸ばし豊かな心と感性を育むまちに関する事項

《学校教育・社会教育全般について》

問15. 根室市の学校教育・社会教育全般について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 生涯学習教育の指導者育成
2. 各種サークル活動の充実
3. 各種講座・教室などの充実
4. 各種講座・教室などの利用施設の整備
5. 青少年の健全育成
6. 教育内容の充実
7. 小中学校施設の充実
8. 教材・教具の充実
9. 児童・生徒の健全育成
10. その他（具体的に： _____）

《学校教育について》

問16. あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。

次の中から該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 少人数教育の充実
2. 生きる力を育てる総合的な学習の充実
3. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実
4. 個性や才能を伸ばす教育の充実
5. 小中一貫教育、2学期制などの教育システムの導入
6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実
7. 情報化社会に適合した教育内容の充実
8. 国際化に対応できるコミュニケーション能力の養成
9. その他（具体的に： _____）

問17. 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1

問18. 根室市の産業振興について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。該当する番号を3つ選んで番号に○印をつけて下さい。

-

問19. あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。
次の中から該当する番号を2つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- ;

《市民協働について》

問20. まちづくりには、市民のみなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 清掃活動や花いっぱい運動
- 2. お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動
- 3. 郷土の歴史、文化を守り育てる活動
- 4. 自然保護活動
- 5. リサイクル活動、省資源活動
- 6. 子ども会などの青少年育成のための活動
- 7. 祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
- 8. 交通安全や防災・防犯活動
- 9. 新しい特産品や土産品の研究開発
- 10. 自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援
- 11. 特にない
- 12. その他（具体的に： _____）

《市民参画の方法について》

問21. これからのまちづくりには、市民のみなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
- 2. 町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
- 3. 説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
- 4. 投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
- 5. 世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
- 6. 市役所や議会に一任し、自分では参加しない
- 7. あまり必要性を感じない（理由： _____）
- 8. その他（具体的に： _____）

《男女共同参画について》

問22. あなたは生活全般を通して男女は平等になっていると思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 男性の方が優遇されている
- 2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている
- 3. 男女平等である
- 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 5. 女性の方が優遇されている
- 6. わからない

問23. あなたは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉や意味を知っていましたか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 言葉・意味ともに知っていた。
- 2. 言葉は知っていたが意味は知らないかった
- 3. 言葉・意味ともに知らなかった

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と私生活との調和をとり、その両方が充実していることをいいます。

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことができないものであり、その充実があってこそ、人生の生きがい、喜びは増えます。

しかしながら、現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると云えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現です。

（内閣府ホームページより引用）

《新たな提案について》

問24. 横濱市のまちづくりについて、ご意見・ご提案やアイデアがあれば、自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

* 記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、6月16日（金）までに、
投函してください。